

ORPHIS GLシリーズ

9730/9730C/9731/
7430/7430C/9730PREMIUM

本機の操作や設定、日常の管理方法、
取り扱い上の注意について説明しています。

ユーザーズガイド

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

本装置は、ドイツ環境ラベル「DE-UZ205」の物質エミッション試験に適合しています。



安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

本書について

はじめに

このたびは、ORPHIS GLシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ORPHIS GLシリーズは、ネットワーク環境に対応したインクジェット方式の高速カラープリンターです。

本機は、発色性に優れた油性インクを搭載しています。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グレイの5色のインクで、なめらかな階調表現を実現します。

そのほかにも、パソコンからのデータ出力やプリンターの管理、紙原稿のコピーやスキャン*、ステープルやパンチなどの後処理加工*、大容量の給排紙*など、多彩な機能をご活用いただけます。

*各種オプションを組み合わせるとご利用いただけます。

本機に付属する取扱説明書は、次のとおりです。

● スタートガイド

本機の基本的な使いかたや、消耗品の交換について説明しています。

機器本体の近くなど、すぐに手に取れる場所に保管し、ご利用ください。

● ユーザーズガイド(本書)

取り扱い上の注意、仕様、各種機能の操作や設定について説明しています。

本機について詳しく知りたいときに、このガイドをお読みください。

● 管理者ガイド

管理者を対象とした本機やオプション(ICカードリーダー、スキャナー等)の設定について説明しています。

● こんなときには

故障かな?と思ったときや、紙づまりなどのトラブルの対処方法について説明しています。

取扱説明書の記述内容について

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
- (3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet ExplorerおよびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Mac、macOSおよびSafariは、Apple Inc.の商標です。

Adobe、Adobeロゴ、PostScriptおよびPostScript 3は、Adobeの商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ColorSetは米国の特許商標局で登録されるMonotype Imaging社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

①、RISO、ORPHISおよびFORCEJETは、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

その他の社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。



カラーユニバーサルデザイン認証を取得

ORPHIS GLシリーズ(本体、オプション*)は色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。

* 認定オプション製品

スキャナー／オフセットステープルトレイ／増設トレイ／大容量給紙ユニット／大容量排紙ユニット／マルチフィニッシャー

表記について

■本文中で使用されるマークについて



安全にご利用いただくための注意事項が書かれています。



操作上守っていただきたいことなどの重要事項が書かれています。



覚えておくと便利なことや補足説明が書かれています。

■記載方法について

以下の名称を[]でくくって表しています。

- 操作パネルなどのハードキー
- タッチパネル画面のボタンや項目名
- パソコン操作画面のボタンや項目名

例：[ストップ]キーを押します。

■オプション名の表記

本書では、オプションを以下のように総称で表記しています。それぞれに固有の事項を説明する場合には、個別の名称を表記しています。

表記	オプション名称
給紙台	大容量給紙ユニット
排紙台*	オートフェンス排紙台
	排紙台(W)
	フェイスアップ排紙台
	大容量排紙ユニット
マルチフィニッシャー	マルチフィニッシャーM(中とじ機能つき)
	マルチフィニッシャーS

* 本体右側に接続するオプションの排紙台です。

■本文中の操作手順や画面について

- 本書の操作手順や画面、イラストは、ORPHIS GL9730にスキャナー(オプション)を装着した状態で記載しています。また、各機能は工場出荷時の設定、[ログイン設定]は[ON]の状態に記載しています。
- 本書に掲載している画面やイラストは、本体の機種、オプション機器の装着状況など、お使いの環境によって異なる場合があります。

オプションを導入すると可能になる機能

本機の機能を拡張するための各種オプションをご用意しています。

機能を拡張して使うには、以下のようなオプションが必要です。

詳しくは、「オプション」(p.177)を参照してください。

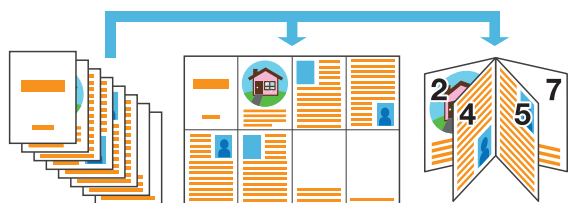
拡張する機能	必要なオプション(いずれか1つ)
ステープル	オフセットステープルトレイ マルチフィニッシャー
パンチ	パンチユニット付きマルチフィニッシャー
二つ折り	マルチフィニッシャーM
三つ折り、Z折り	紙折りユニット付きマルチフィニッシャー
中とじした小冊子の作成	マルチフィニッシャーM
オフセット排紙	オフセットステープルトレイ 大容量排紙ユニット マルチフィニッシャー
排紙先の選択	オートフェンス排紙台 排紙台(W) フェイスアップ排紙台 大容量排紙ユニット マルチフィニッシャー
排紙先の自動切り替え(連続排紙)	オートフェンス排紙台 大容量排紙ユニット マルチフィニッシャー
大容量の給紙	増設トレイ 大容量給紙ユニット
大容量の排紙	大容量排紙ユニット
封書(メール)の印刷・封入・封緘	メーリングフィニッシャー
くるみ製本	くるみ製本フィニッシャー
認証カードでのログイン	ICカード認証キット
PostScript 3 対応の専用プリンタードライバーを使ったプリント	PostScriptキット プリントコントローラー
USBメモリーに保存したPDFファイルのプリント	PostScriptキット
macOSからのプリント	PostScriptキット プリントコントローラー
専用アプリケーションRISO PRINT-Sを使ったタブレット やスマートフォンからのプリント	PostScriptキット

こんなことができます

ページを並び替えてプリント

ページ集約(p.70、p.115)、連写(p.70、p.116)、小冊子(p.70、p.116)

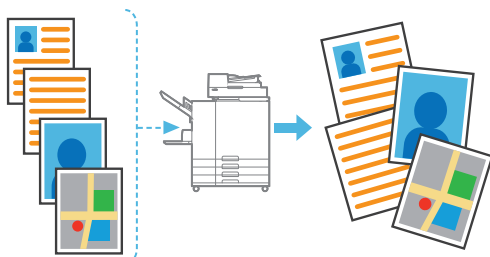
複数のページを1枚にまとめたり、1ページのデータをいくつか並べて印刷したりできます。二つ折りにするとページ順になるように並び替えることもできます。



原稿の種類に合わせて画像処理

原稿種類(p.73、p.95、p.122)

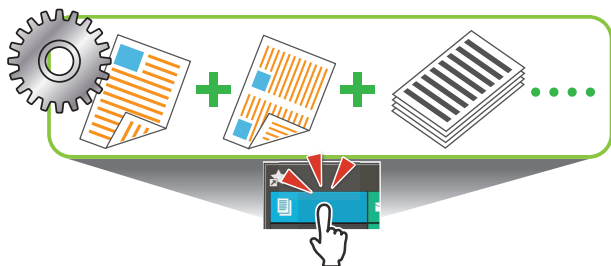
写真や鉛筆書きなど、原稿の種類に合わせた画像処理をしてコピー／スキャン／プリントできます。



設定内容を登録して呼び出し

お気に入り(p.83、p.97、p.114、p.142、p.153)

よく使う[お気に入り]のショートカットを[ホーム2]画面に登録できます。各モードに移らずにお気に入りの設定を呼び出すことができます。



大量にプリントする前に確認

試しコピー(p.83)、確認プリント(p.111)

1部だけプリントして仕上がりや設定内容を確認できます。



スキャンした原稿をまとめて出力

スキャンジョブ結合(p.81)

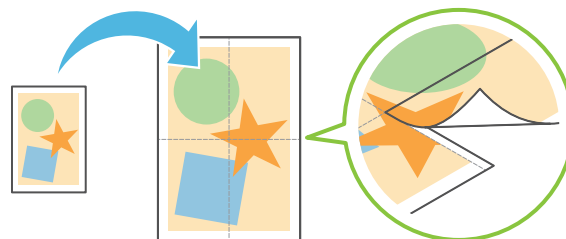
異なる設定でスキャンした原稿を1つのジョブにまとめてコピーします。



拡大して複数枚の用紙にプリント

ポスター(p.117)

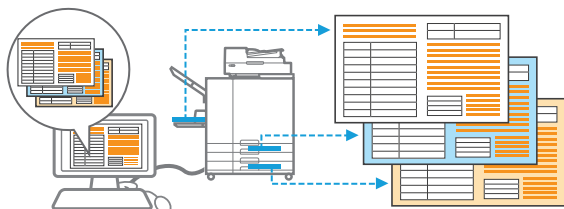
1ページの画像データを拡大して、複数枚の用紙に分割してプリントします。プリントした用紙を貼り合わせることで、ポスターのような大きな印刷物を作成できます。



複数枚からなる帳票用紙を作成

複写プリント(p.128)

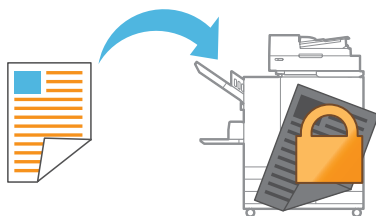
複写式の帳票などのように複数枚で一式となる帳票を作成できます。



暗証番号で文書を保護

暗証番号(p.95、p.126)

スキャンした文書やプリントジョブに暗証番号を設定できます。限られた人だけが文書やジョブを処理できます。



外部のサーバーやシステムと連携

外部システム連携(p.133)

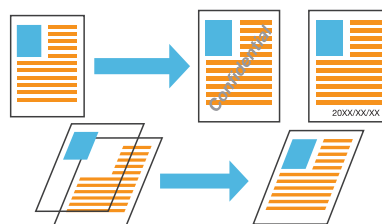
外部のサーバーでユーザーを認証して本機の利用を制限したり、外部のシステムに保存された文書をプリントしたりできます。



原稿に画像やテキストを合成

スタンプ(p.71、p.118)、オーバーレイ(p.75)、ウォーターマーク(p.117)

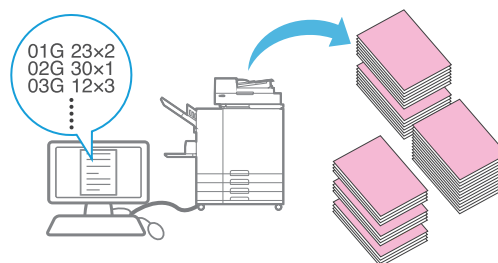
ページ番号、日付、テキストのスタンプや透かし模様などを原稿に追加してプリントできます。また、ボックスに保存した画像を原稿に重ねてコピーすることもできます。



必要な部数を必要な組数でプリント

プログラム印刷(p.76、p.126)

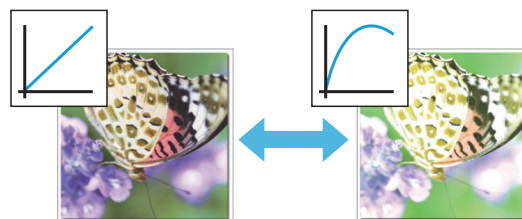
配布先によって部数が異なる場合でも、あらかじめ部数や組数をプログラムしておけば、その都度設定する手間が省けて手早くプリントできます。



色バランスを補正

ガンマ補正(p.73、p.95、p.124)

原稿に含まれる色のバランスを補正して、より自然な発色に近づけます。



目次

本書について	1
表記について	2
オプションを導入すると可能になる機能	3
こんなことができます	4
ページを並び替えてプリント	4
原稿の種類に合わせて画像処理	4
設定内容を登録して呼び出し	4
大量にプリントする前に確認	4
スキャンした原稿をまとめて出力	4
拡大して複数枚の用紙にプリント	4
複数枚からなる帳票用紙を作成	5
暗証番号で文書を保護	5
外部のサーバーやシステムと連携	5
原稿に画像やテキストを合成	5
必要な部数を必要な組数でプリント	5
色バランスを補正	5
安全上のご注意	14
警告表示 / 絵表示	14
電源プラグについて	14
設置場所	14
電源の接続	15
アースの接続	15
本機の取り扱い	15
インクについて	16
ご使用の前に	17
機種別構成表	17
設置場所と使用環境	17
電源の接続	17
パソコンとの接続	18
設置に必要なスペース	19
本機の取り扱い	23
紙原稿について	23
最大プリント可能範囲について	24
用紙について	25
印刷物について	26
複写に関する注意	27
インクカートリッジの保管方法と取り扱いについて	27

インクカートリッジとクリーニングタンクの回収について	28
使用済み製品について	28
各部の名称とはたらき	29
本体とスキャナー(オプション)	29
操作パネル	31
タッチパネル	33
[ホーム1]画面	33
[ホーム2]画面	34
各モード画面	35
タッチパネルについて	43
準備	46
電源について	46
ログインについて	47
用紙のセット	48
プリンタードライバーのインストールとアンインストール	52
動作環境	52
インストール	52
アンインストール	53
ジョブについて	54
[処理中/待機中]画面	54
[終了(履歴)]画面	55
[給紙元情報]画面	55
1章 コピー	57
コピー操作の概要	58
手順	58
設定項目一覧	61
コピーの各種設定	63
カラーモード	63
倍率	63
用紙選択	63
読み取りサイズ	65
原稿セット方向	66
両面/片面	66
ソート	66
読み取り濃度	66
印刷濃度	67
AF連続読み込み	67
原稿サイズ混在	67
ブック原稿	68

ページ分割	68
ページ集約	70
連写	70
小冊子	70
スタンプ	71
ページ罫線	72
画像品質	73
原稿種類	73
ガンマ補正	73
画像詳細設定	74
地色除去	74
画像位置調整	74
オーバーレイ	75
プログラム印刷	76
表紙付け	78
仕分け	79
とじしろ	79
ステープル/パンチ	80
紙折り	80
低速モード	80
排紙先	80
排紙面	80
連続排紙	80
連続給紙	81
自動画像回転	81
スキャンジョブ結合	81
割り込みコピー	81
コピーモードの機能ボタン	83
お気に入り	83
追加コピー	83
試しコピー	83
設定確認	84
カスタムメニュー	84
2章 スキャン	87
スキャン操作の概要	88
手順	88
設定項目一覧	91
スキャンの各種設定	92
文書名	92
カラーモード	92

読み取りサイズ	93
ファイル形式	93
両面 / 片面	93
読み取り濃度	94
原稿セット方向	94
解像度	94
原稿サイズ混在	94
保存サイズ	94
ブック原稿	94
ページ分割	95
暗証番号	95
原稿種類	95
ガンマ補正	95
画像詳細設定	95
地色除去	95
倍率	96
スキャンジョブ結合	96
スキャンモードの機能ボタン	97
お気に入り	97
設定確認	97
送信プレビュー	97
カスタムメニュー	98
3章 プリント	101
プリント操作の概要	102
プリンタードライバでの手順	102
プリントモードでの手順	102
プリンタードライバ画面	105
設定項目一覧	106
プリンタードライバの設定	109
共通ボタン	109
[基本]タブ	110
[お気に入り]タブ	114
[レイアウト]タブ	115
[仕上 ガ]タブ	120
[イメージ処理]タブ	122
[応用]タブ	126
[環境]タブ	128
プリントモードの機能ボタン	132
表示切り替え	132
ネットワーク接続	132

すべて選択	132
詳細確認	132
設定変更	132
外部システム連携	133
4章 ボックス	135
ボックス操作の概要	136
ボックス保存の手順	136
ボックス利用の手順	137
ボックス保存の設定項目一覧	139
ボックス利用の設定項目一覧	141
ボックスモードの機能ボタン	142
ボックス保存の機能ボタン	142
ボックス利用の機能ボタン	143
5章 USB	147
USB操作の概要	148
USB保存の手順	148
USB利用の手順	149
USB保存の設定項目一覧	151
USB利用の設定項目一覧	152
USBモードの機能ボタン	153
USB保存の機能ボタン	153
USB利用の機能ボタン	154
6章 RISOコンソール	157
RISOコンソールの概要	158
トップ画面	158
RISOコンソールの起動	159
共通のボタン操作	160
[システム情報]メニュー	161
[消耗品情報]画面	161
[機種情報]画面	161
[ユーザー情報]画面	163
[ライセンス情報]画面	163
[スキャン]メニュー	164
[スキャン]メニュー画面	164
[プリント]メニュー	165
[プリント]メニュー画面	165
[ボックス]メニュー	166
[利用]画面	166

[ジョブ確認]メニュー	167
[処理中 / 待機中]画面	167
[終了(履歴)]画面	167
[メンテナンス]メニュー	168
[メンテナンス]メニュー画面	168
7章 バーコード領域指定アプリケーション	169
バーコードアプリの概要	170
バーコードアプリのインストール	170
バーコードアプリの起動	171
メイン画面	171
バーコード領域指定ファイルの作成と登録	173
手順	173
繰り返し機能	176
バーコード原稿をプリントする	176
8章 オプション	177
オフセットステーブルトレイ	178
警告ラベルについて	179
設定項目一覧	180
プリンタドライバの設定	180
コピーモードの設定	183
増設トレイ	185
用紙をセットする	185
大容量給紙ユニット	187
用紙をセットする	188
用紙を追加する	190
排紙台(オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台)	191
警告ラベルについて	192
排紙台をセットする	193
設定項目一覧	194
プリンタドライバの設定	195
コピーモードの設定	195
メンテナンスモードの設定	196
大容量排紙ユニット	197
コルゲーターをセットする	198
印刷物を取り出す	198
排紙台を台車にセットする	200
設定項目一覧	201

プリンタードライバーの設定	201
コピーモードの設定	202
メンテナンスモードの設定	203
マルチフィニッシャー	204
警告ラベルについて	206
設定項目一覧	207
プリンタードライバーの設定	208
コピーモードの設定	215
PostScriptキット	220
動作環境	220
Windowsへのインストール	220
macOSへのインストール	221
Linuxへのインストール	225
プリントのしかた	225
プリンタードライバーの設定	226
[基本]タブ	226
[お気に入り]タブ	227
[レイアウト]タブ	228
[仕上げ]タブ	228
[イメージ処理]タブ	229
[応用]タブ	230
[環境]タブ	233
RISOコンソールの設定	233
USB利用について	234
フォント一覧	237
スマートフォン/タブレットからのプリント	239
9章 付録	241
メンテナンス	242
ヘッドクリーニング	242
前カバーロック解除	242
排紙フェンス調整	243
糊ユニット温度確認	243
封入枚数上限設定	243
インクカートリッジについて	244
インクカートリッジの交換	244
仕様	245
消耗品	258
インクカートリッジ	258
推奨紙	258

索引	260
アフターサービスについて	265

安全上のご注意

ここでは本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記述しています。ご使用前に必ずお読みください。

警告表示 / 絵表示

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、以下のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

絵表示の例

	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

電源プラグについて

■ 以下のオプション接続時は、電源プラグが複数になります。

- ・ スキャナー
- ・ オフセットステーブルトレイ
- ・ 大容量給紙ユニット
- ・ 大容量排紙ユニット
- ・ マルチフィニッシャー

設置場所

⚠ 注意

- 傾いたところや不安定な場所には置かないでください。
傾いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- スキャナーを専用架台を使用せずに設置する場合は、他の機械の振動が伝わる場所など、振動がちな場所では使用しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 機械には通気口があります。機械は壁から100mm以上離して設置してください。
通気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続

⚠ 警告

- 本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。
定格電圧値および定格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。火災、感電のおそれがあります。 
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。 
- 同梱されている電源コードは本機専用です。他の電気製品には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続

⚠ 警告

- アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源に接続する前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 
万一、アースを接続しないで漏電した場合、火災や感電のおそれがあります。
なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。
- 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は以下の場所に取り付けてください。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを75cm 以上地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事(A種～D種)が行われている接地端子
 - ・ 水道局がアースの対象物として承認した水道管

本機の取り扱い

⚠ 警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、本機の内部に入ったりした場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは、外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。 
- 本機を分解したり改造したり、しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電のおそれがあります。

■ 万一、異物が本機の内部に入った場合は、 すぐに操作パネルの[電源]キーを長押しして操作用の電源を切ってから、主電源スイッチを切ります。その後、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

■ 万一、発熱している、煙が出ている、変なおいが出るなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
すぐに操作パネルの[電源]キーを長押しして操作用の電源を切ってから、主電源スイッチを切ります。その後、必ずすべての電源プラグをコンセントから抜き、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

■ ICカードリーダー接続時
ICカードリーダーは常に弱い電波を発しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらすぐに本製品から離れてください。その後ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

■ 給紙台(増設トレイ)や排紙台まわりのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。

■ 本機の動作している部分には、触らないでください。けがの原因となることがあります。

■ 用紙を取り除く際など本体内部に手を入れる場合は、突起物や板金端面にご注意ください。端や縁に触れるとけがの原因となることがあります。

■ 本機の内部にはインクがついていることがあります。手や衣服などが触れないように注意してください。インクがついた場合は、早めに洗剤で洗い落としてください。

■ 本機を移動する場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。無理に移動させると、本機が横転してけがの原因となることがあります。

■ オフセットステーブルトレイ接続時

  指挟み注意!

動作中は指を挟むおそれがあります。オフセットステーブル本体と排紙トレイとのすきまに指を入れないようにしてください。

■ マルチフィニッシャー接続時

  指挟み注意!

動作中は指を挟むおそれがあります。マルチフィニッシャー本体とスタックトレイとのすきまに指を入れないようにしてください。

 高温注意!

高温注意ラベルのある周辺部品は、高温になる可能性があります。触れると火傷のおそれがあります。直接触れないでください。

■ オートフェンス排紙台接続時

  指挟み注意!

排紙台の開閉時に指を挟むおそれがあります。排紙台本体と連結板とのすきまに指を入れないようにしてください。

インクについて

⚠ 注意

■ 目や皮膚にインクが接触しないようにしてください。目に入った場合はすみやかに多量の水でよく洗い流してください。また、皮膚についた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。

■ プリント中は充分な換気を行ってください。気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動してください。

■ 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

■ プリント以外の用途には使用しないでください。

■ 使用済みのインクカートリッジを火の中に入れてください。インクは可燃性のため炎が大きくなり、火傷のおそれがあります。

■ インクカートリッジは、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

■ インクは可燃性の液体です。火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。



火気厳禁

ご使用の前に

本機を使用するときに、注意していただきたいことを記述しています。

機種別構成表

本体の機種により、装備や機能が異なります。お使いの機種名で機能をご確認ください。

	ORPHIS GL9730/GL9730C/ GL7430/GL7430C	ORPHIS GL9731	ORPHIS GL9730PREMIUM
用紙トレイ(1、2および3)	あり	なし* ¹	あり* ²
増設トレイ(オプション)の接続	可	不可	不可
メーリングフィニッシャー (オプション)の接続	可	不可	可

*1 コピー機能やプリント機能、ボックス機能の[原稿サイズ混在]、[表紙付け]、[合紙]、[連続給紙]は使用できません。また、プリンタードライバの[複写プリント]も使用できません。ただし、スキャン機能の[原稿サイズ混在]は読み取りのみのため使用できます。

*2 用紙トレイ(1、2および3)に加えて、大容量給紙ユニットを標準装備しています。

設置場所と使用環境

以下のことに注意してください。

- **設置場所***につきましては、納入時にお客様とご相談の上、決定させていただきます。

* 専用室への設置をおすすめします。(設置場所や使用環境により、稼働音が大きいと感じられる場合があります。)

- 本機を移動される場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

- 以下の条件下では使用しないでください。誤動作、故障、事故の原因となる場合があります。

- 直射日光のあたる場所や、窓際などの明るい場所(やむを得ない場合は、窓にカーテンなどを付けてください。)
- 温度が急激に変化する場所
- 高温多湿、低温少湿な場所
- 火気、熱気のある場所
- クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風、ふく射熱などが直接あたる場所
- 通気性、換気性の悪い場所
- ほこりの多い場所
- 振動の多い場所

- 本機の水平度が以下の範囲内になる場所が設置の条件です。

設置水平度：2度以下

- **適正環境は以下の通りです。**

温度範囲：15℃ ～ 30℃

湿度範囲：40% ～ 70%(結露しないこと)

電源の接続

以下のことに注意してください。

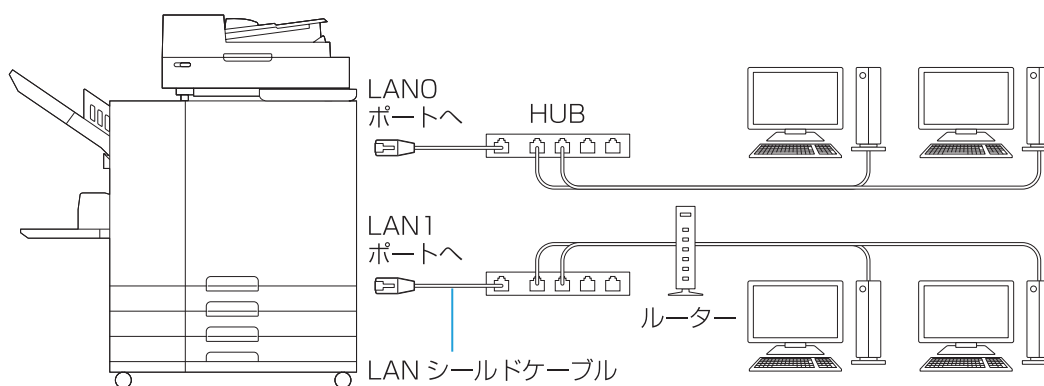
- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。電源プラグは、オプションの接続により複数ある場合があります。

- 本機はコンセントの近くに設置してください。

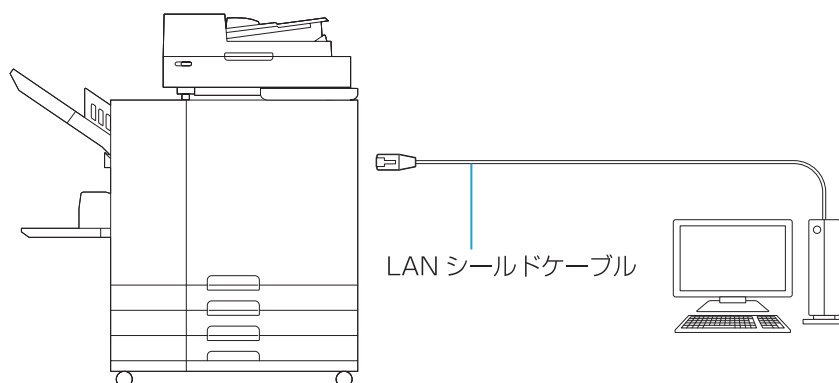
- オプションのスキャナーと本機をUSBケーブルで接続すると、スキャナーの電源は本機の電源と連動します。

パソコンとの接続

■ 複数台のパソコンと接続する場合



■ 1台のパソコンと接続する場合



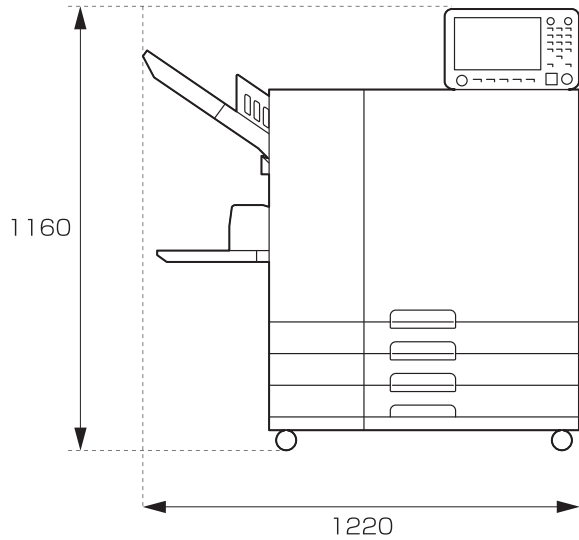
- LANケーブルは、市販のシールドケーブルを使用してください。本機は、ストレートケーブル、クロスケーブル共に使用できます。
お使いのネットワーク環境に応じて、以下の各カテゴリーのシールドケーブルを推奨しています。
 - 100BASEの環境で使用する場合は、CAT5(CAT5E)
 - 1000BASEの環境で使用する場合は、CAT5E
- パソコンからプリントする場合は、プリンタードライバーのインストールが必要です。インストールの方法については、「プリンタードライバーのインストールとアンインストール」(p.52)を参照してください。
- オプションのプリントコントローラーに接続する場合は、本機のLAN1ポートに接続してください。
- 電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線に、本機を直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

設置に必要なスペース

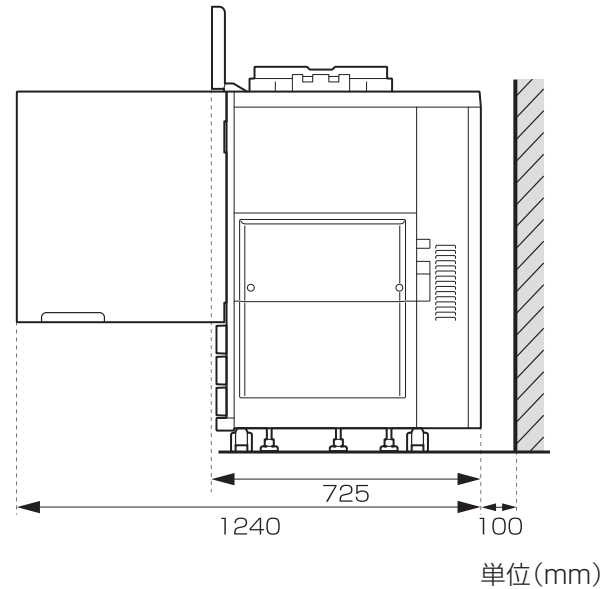
■ 本体

給紙台や前カバーを開くためのスペースが必要になります。

- 正面から見た図(給紙台を開いた状態)



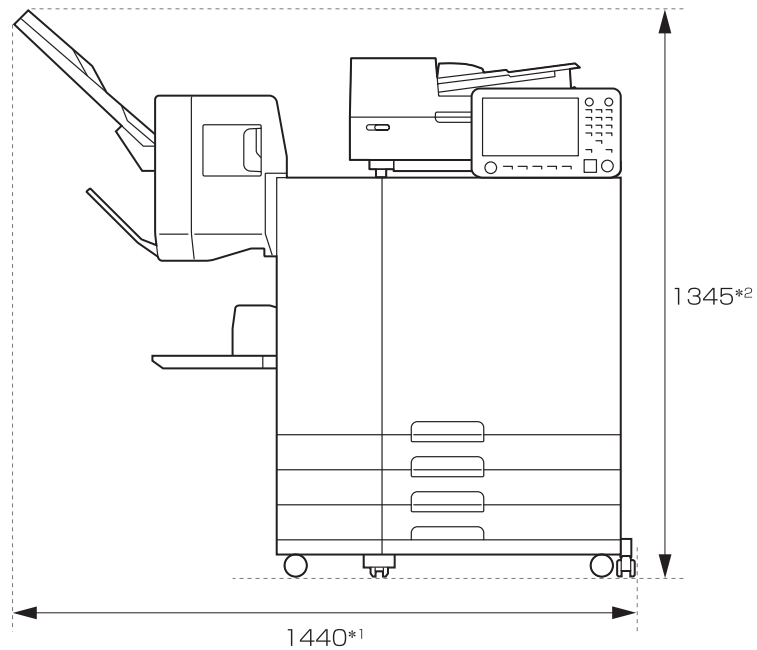
- 横から見た図(前カバーを開いた状態)



■ 本体+オプション

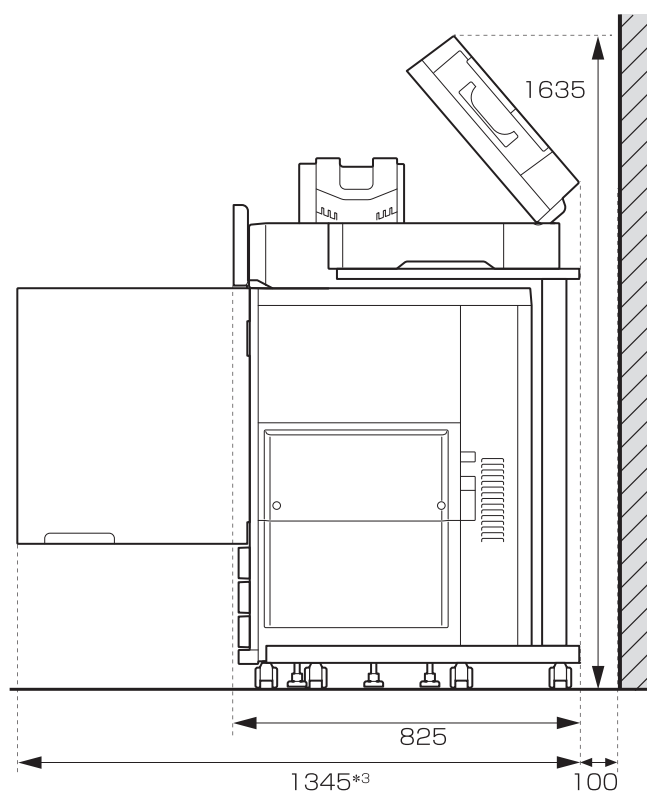
給紙台や前カバー、原稿カバーを開くためのスペースが必要になります。

- 正面から見た図



単位(mm)

• 横から見た図



単位(mm)

オプションの設置状態により、サイズが異なります。

*1 幅	オプションなし	1,220mm
	+スキャナー(スキャナー台使用時)	1,235mm
	+オフセットステーブルトレイ	1,440mm
	+マルチフィニッシャーM+紙折りユニット	2,655mm
	+マルチフィニッシャーM	2,415mm
	+マルチフィニッシャーS+紙折りユニット	2,615mm
	+マルチフィニッシャーS	2,375mm
	+排紙台(W)	1,875mm
	+オートフェンス排紙台	1,745mm
	+フェイスアップ排紙台	1,750mm
	+オフセットステーブルトレイ+排紙台(W)	2,100mm
	+オフセットステーブルトレイ+オートフェンス排紙台	1,970mm
	+オフセットステーブルトレイ+フェイスアップ排紙台	1,975mm
	+オフセットステーブルトレイ+大容量排紙ユニット	2,425mm
	+増設トレイ	1,480mm
	+増設トレイ+排紙台(W)	2,135mm
	+増設トレイ+オートフェンス排紙台	2,005mm
	+増設トレイ+フェイスアップ排紙台	2,010mm
	+増設トレイ+大容量排紙ユニット	2,470mm
	+増設トレイ+マルチフィニッシャーM+紙折りユニット	2,915mm
	+増設トレイ+マルチフィニッシャーM	2,670mm
	+増設トレイ+マルチフィニッシャーS+紙折りユニット	2,875mm
	+増設トレイ+マルチフィニッシャーS	2,635mm
	+大容量給紙ユニット	1,565mm
	+大容量排紙ユニット	2,210mm
	+大容量給紙ユニット+大容量排紙ユニット	2,555mm
	+大容量給紙ユニット+排紙台(W)	2,225mm
	+大容量給紙ユニット+オートフェンス排紙台	2,095mm
	+大容量給紙ユニット+フェイスアップ排紙台	2,095mm
	+大容量給紙ユニット+マルチフィニッシャーM+紙折りユニット	3,000mm
	+大容量給紙ユニット+マルチフィニッシャーM	2,760mm
	+大容量給紙ユニット+マルチフィニッシャーS+紙折りユニット	2,960mm
	+大容量給紙ユニット+マルチフィニッシャーS	2,720mm
*2 高さ	オプションなし(操作パネルを90°立てた状態)	1,160mm
	+スキャナー(スキャナー台使用時)	1,260mm
	+オフセットステーブルトレイ	1,345mm
	+マルチフィニッシャー	1,215mm

*3 奥行	オプションなし	1,240mm
	+スキャナー(スキャナー台使用時)	1,345mm
	+マルチフィニッシャー	1,325mm
	+マルチフィニッシャー+紙折りユニット	1,325mm
	+スキャナー(スキャナー台使用時)+マルチフィニッシャー+紙折りユニット	1,420mm
	+増設トレイ	1,240mm
	+大容量給紙ユニット	1,240mm
	+大容量排紙ユニット	1,315mm

本機の取り扱い

- 動作中に主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- 動作中に、各部のカバーを開けないでください。
- 本機を移動させないでください。
- 内部には精密部品や駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 本機の上に重い物を載せたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 各部のカバーは、静かに開け閉めしてください。
- 本機の主電源を切ってから再び主電源を入れるときは、[主電源]LEDが消灯してから操作してください。
- 長期間使用しない場合または使用しなかった場合は、必ずヘッドクリーニングを行ってください。
本体内部のインク送液経路でインクの劣化や乾燥が起こり、ヘッドが目づまりしてしまいます。これらの障害を防ぐためにも、定期的なご使用をおすすめします。
- 故障や画像劣化の原因となるので、プリントヘッド部には、絶対に触らないでください。
- 本機は、常にすべてのインクカートリッジをセットした状態で設置してください。ご使用にならない場合でも、インクカートリッジをはずした状態で放置しないでください。

紙原稿について

オプションのスキナーが接続されている場合に、原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取って、コピーやスキャンができます。本機に適さない原稿を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。

原稿の基本仕様

■ 原稿台ガラス

サイズ	最大303mm × 432mm
耐荷重	200N(A3サイズ)

■ オートフィーダー

サイズ	100mm × 148mm～ 297mm × 432mm
重さ	52g/m ² ～128g/m ²
種類	普通紙
最大積載枚数	200枚 (80g/m ² の場合)

原稿に関する注意

インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。

上記仕様範囲内であっても、以下の原稿は、オートフィーダーを使った読み取りはできません。

原稿台ガラスにセットしてください。

- ・ 切り貼りしている原稿
- ・ しわ、カールが激しい原稿
- ・ 折れ曲がっている原稿
- ・ のり付けされている原稿
- ・ 穴があいている原稿
- ・ 破れていたり、先端がぎざぎざになっている原稿
- ・ OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度が高い原稿
- ・ アート紙、コート紙など、表または裏がコーティングされている原稿
- ・ ファクシミリやワープロ用の感熱紙
- ・ 表面の凹凸が大きい原稿

また、原稿をきれいに読み取るために、以下の点にもご注意ください。

- ・ 写真や印刷物などを読み取るときは、表面が平らな原稿を使用してください。
- ・ 原稿に使用するフォントサイズは、5pt以上をおすすめします。

最大プリント可能範囲について

プリンタードライバーからプリントする場合と、オプションのスキャナーで読み込んでコピーする場合で、最大プリント可能範囲(サイズ)が異なります。

■ 最大プリントとプリント領域

最大プリント可能範囲

プリント	314mm × 548mm
コピー (オートフィーダー使用時)	295mm × 430mm*

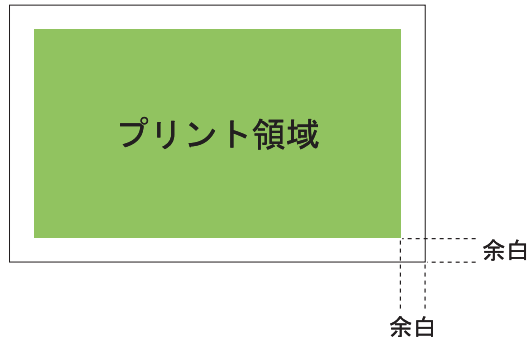
* 原稿台ガラス使用時：303mm × 432mm

プリント領域切替(周囲余白)

標準	3mm
最大	1mm



- 縁なし印刷はできません。必ず用紙の周囲に余白が付きます。



原稿のデータサイズにかかわらず、プリントする用紙の周囲にはプリントできない部分があります。用紙の周囲内側が、保証プリント領域です。

- 原稿の内容によっては、文字や画像の欠け、にじみなどが発生する場合があります。
- 用紙サイズが最大プリント面積内の場合でも、必ず3mm(または1mm)の余白が付きます。
- コピーする場合、原稿用紙の周囲1mmは読み取ることができません。

■ 封筒のプリント領域

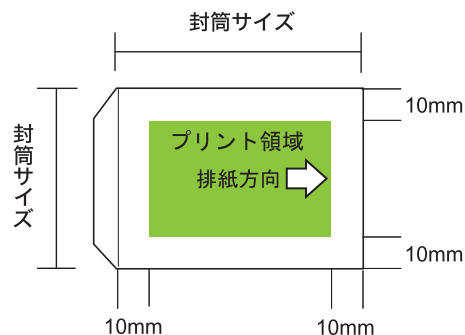
プリントできる封筒のサイズは以下のとおりです。(フタ部分を除く)

定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、事前に「用紙サイズ」の登録を行ってください。(p.130「用紙サイズ登録」)

- 角0：287mm × 382mm
- 角1：270mm × 382mm
- 角2：240mm × 332mm
- 角3：216mm × 277mm
- 長3：120mm × 235mm
- 長4：90mm × 205mm(オプションのマルチフィニッシャーが接続されている場合は使用できません。)

封筒にプリントできる領域は、封筒サイズの周囲から10mm内側の範囲です。

画像がプリント領域に収まらない場合、はみ出した部分はプリントされません。



- 封筒は、オプションの排紙台や、封筒給紙アタッチメントを接続してプリントすることをおすすめします。
- フタ部分にもプリントするときは、フタ部分を含めたサイズで用紙登録を行う必要があります。詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。
- 封筒には、両面印刷はできません。

用紙について

- 本機に適さない用紙を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。
機械の性能やインクの特性を十分にいかすため、理想用紙の使用をおすすめします。
- 用紙トレイ、給紙台、増設トレイでは、セットできる用紙の仕様が異なります。

用紙の基本仕様

用紙トレイ

サイズ	182mm × 182mm～ 297mm × 432mm
重さ	52g/m ² ～104g/m ² (45kg～90kg 連量：四六判)
種類	普通紙、再生紙、軽量紙* ¹ 、理想用紙各種
最大積載枚数	各トレイ500枚* ² (積載高さ56mm)

給紙台／大容量給紙ユニット

サイズ	給紙台： 90mm × 148mm～ 340mm × 550mm 大容量給紙ユニット： 90mm × 148mm～ 340mm × 465mm
重さ	46g/m ² ～210g/m ² (40kg ～180kg 連量：四六判)
種類	普通紙、再生紙、軽量紙* ¹ 、封筒、 圧着紙、日本郵便株式会社製はが き(普通紙／インクジェット用)、理 想用紙各種
最大積載枚数	給紙台：1000枚* ² (積載高さ110mm) 大容量給紙ユニット：4000枚* ² (積載高さ440mm)

*¹ 52g/m²とし、普通紙に比べ薄くて軽い用紙です。

*² 理想用紙IJの場合

増設トレイ

サイズ* ¹	A4横/B5横/Letter-R/十六開横
重さ	52g/m ² ～104g/m ²
種類	普通紙、再生紙、理想用紙各種

最大積載枚数	2000枚* ² (積載高さ220mm)
--------	---------------------------------

*¹ 用紙サイズ(用紙ガイド位置)を変更したい場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

*² 理想用紙IJの場合

- 排紙先によって、使用できる用紙サイズが異なります。

排紙先の用紙サイズ

フェイスダウン 排紙トレイ	90mm × 148mm～ 340mm × 550mm* ¹
オフセットステー プルトレイ	ノンソート時： 90mm × 148mm～ 340mm × 550mm* ¹ (オフセット時： 定形：182mm × 257mm～ 297mm × 431.8mm 不定形：131mm × 148mm～ 305mm × 550mm) (ステーブル時：A3/B4/A4/ A4横/B5/B5横/Ledger/ Legal/Letter/Letter-R/ Foolscap/八開/十六開/十六開 横 定形用紙のみ)
オートフェンス排 紙台	90mm × 148mm～ 320mm × 432mm (432mm を超える用紙は、ストップ パーを倒して使用)
排紙台(W)	90mm × 148mm～ 340mm × 550mm
フェイスアップ排 紙台	90mm × 148mm～ 320mm × 432mm
大容量排紙ユ ニット	ノンソート時： 90mm × 148mm～ 340mm × 460mm* ² オフセット時： 90mm × 182mm ～ 340mm × 432mm* ³

*¹ 封筒を除く

*² 4000枚(積載高さ 440mm)

理想用紙IJ(85g/m²)使用時

A5、ハガキ、封筒、不定形サイズなどは積載高さ110mm
以下

*³ 3650枚(積載高さ 405mm)

理想用紙IJ(85g/m²)使用時

A5、ハガキ、封筒、不定形サイズなどは適用外



・マルチフィニッシャーの各トレイについては、「付録」の「ORマルチフィニッシャー(M/S)(オプション)」(p.254)を参照してください。



・仕様内の「サイズ」および「重さ」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。
あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

■ 以下のような用紙は、紙づまりや故障などの原因となりますので使用しないでください。

- ・ 基本仕様の条件にあてはまらない用紙
- ・ 感熱紙やカーボン紙など、表面を加工処理した用紙
- ・ そり（カール）のある用紙（3mm以上）
- ・ しわのある用紙
- ・ 折れ曲がっている用紙
- ・ 破れている用紙
- ・ 波打っている用紙
- ・ アート紙など、コーティングされている用紙
- ・ 先端がぎざぎざになっている用紙
- ・ のり付けされている用紙
- ・ 穴があいている用紙
- ・ フォト用光沢紙
- ・ OHPシート
- ・ ユボ紙

■ 必ず未開封の用紙を使用してください。

■ プリント終了後、給紙台に残った用紙は包装紙に包んで保管してください。給紙台に載せたままにしておくと、「そり（カール）」が生じて紙づまりの原因となることがあります。（給紙台にセットする場合、必要な枚数だけを包装紙から取り出して使用することをおすすめします）

■ 裁断がよくない紙や表面がざらざらした画用紙などは、よくさばいてから使用してください。

■ 用紙は、高温、多湿、直射日光を避けて、水平な状態で保管してください。

印刷物について

■ 両面プリント時に、原稿によっては用紙の端（縁）が汚れる場合があります。

■ 印刷物は、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響で退色（変色）してきます。
印刷物を十分乾燥させた後、ガラス付き額縁に入れたり、ラミネート加工して保存したりすると、変色しにくくなります。

■ 印刷物をクリアファイルに入れて保管するときは、PET製のものをお使いください。

■ 印刷物は、水ぬれや汗によって脱色します。水滴のかかる場所での保管は避けてください。
また、油性ペンで記入すると、にじむことがあります。

■ プリント直後と24時間経過後の印刷物では、印字濃度が異なります。
時間の経過と共に印字濃度が低下していきますが、ご了承ください。

■ 印刷物をレーザープリンターやコピー機などのトナーを使用した印刷物と重ねないでください。
トナー印字部分に用紙が貼り付いたり、印刷物にトナーが転写する場合があります。

■ 印刷物を感熱紙や感圧紙と重ねないでください。
感熱紙や感圧紙の印字部分が薄くなったり、消えてしまう場合があります。

■ 印刷物には微量の揮発分が含まれます。印刷物を机などに載せたままにしておくと、まれに揮発分が転写してみえる場合がありますが、時間の経過と共に乾燥して消失します。

複写に関する注意

- 個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています）
- ・ 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・ 未使用郵便切手、日本郵便株式会社製はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- ・ 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類



・ 関係法律

- 通貨及証券模造取締法
- 外国に於いて流通する貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及び模造に関する法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

- 次のような複写はおやめください。

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- ・ 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- ・ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。）

インクカートリッジの保管方法と取り扱いについて

本インクカートリッジの一部は、「紙」でできているため、保管方法・環境によっては、変形して使えなくなる場合があります。「保管方法」に従って、適切に保管してください。

保管方法

- インクカートリッジは、梱包箱に入れた状態で、記載されている「天地マーク」に従い、水平に保管してください。
- 凍結、直射日光を避け、5℃以上35℃以下の場所で保管してください。
また、温度変化の激しいところでの保管は避けてください。
- ビニール袋開封後のインクを保管する場合は、保管方向を守り、なるべく早く本体にセットしてください。

取り扱いについて

- 使用前に振らないでください。気泡が発生し、印字不良の原因となることがあります。
- インクを注ぎ足さないでください。
- インクカートリッジは、本体にセットする直前に箱から出し、ビニール袋を開封してください。
- 本機の適正使用温度は、15℃～30℃です。
適正使用温度範囲外での使用は、印字不良（吐出量低下）の原因となることがあります。
インクジェットプリンターは、インクの粘度で噴射特性が変わります。特に低温では粘性が高くなり、ヘッドが目づまりする原因となります。使用環境および保管温度を守り、製造年月日をご確認の上、24か月を目安にご使用ください。
- 一度、キャップを外したインクが、長時間使い切らずに残っていると、空気中に含まれるさまざまな成分で劣化することがあります。
劣化・変質したインクを使用すると、プリントヘッドや、インク流路の故障の原因となることがあります。
- インクカートリッジ内に残ったインクは、排水溝に流さないでください。
- インクは、可燃性の液体です。
火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。

インクカートリッジとクリーニングタンクの回収について

- 使用済みのインクカートリッジは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご返送ください。回収対象は、理想科学製のインクカートリッジに限ります。
- カートリッジのインク供給口からインクが漏れることがあります。返送時にはキャップを付け、内袋および梱包材に入れてください。
- 使用済みクリーニングインクタンクは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）が交換いたします。理想科学製以外のインクカートリッジをお使いになられた場合、クリーニングインクタンクの廃インクを処理するために成分を調査する必要があります。別途必要な書類と追加の処理費用を請求させていただきます。

使用済み製品について

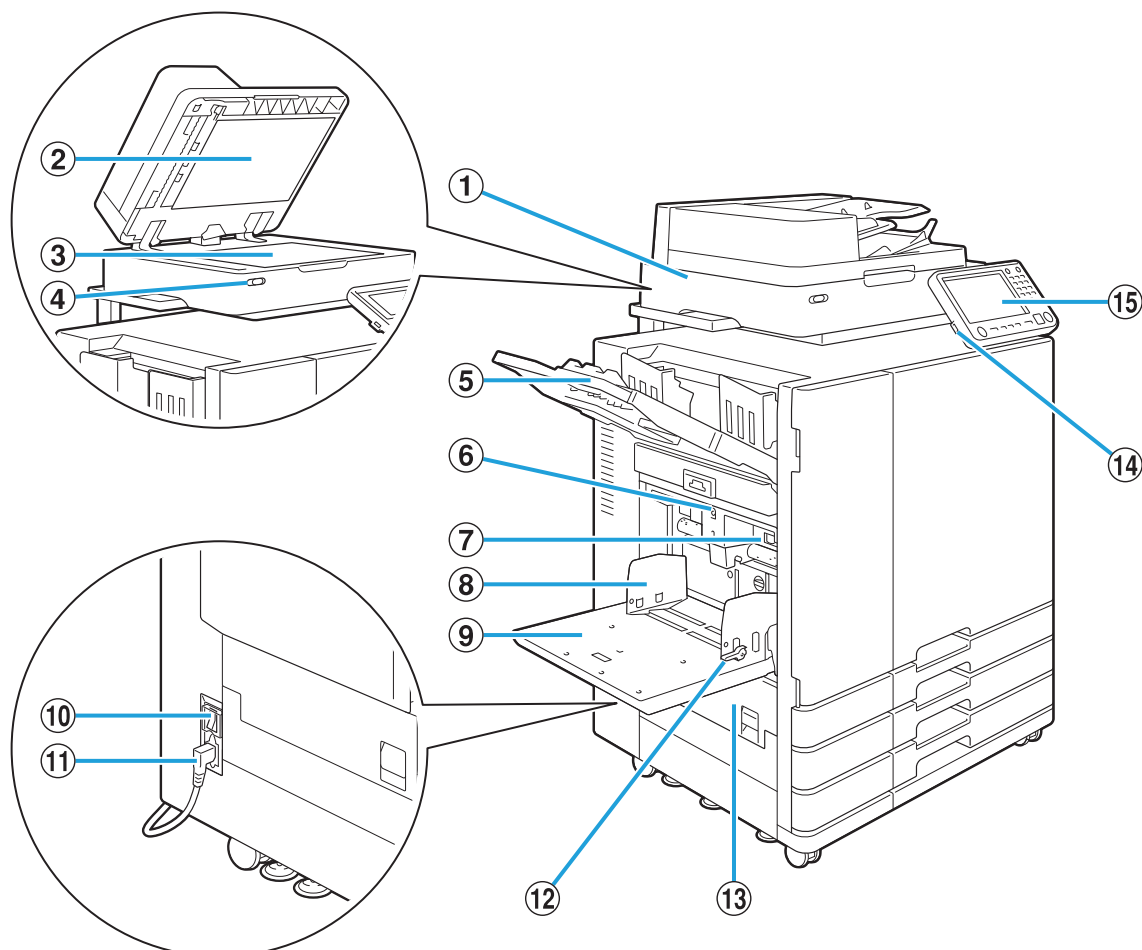
本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用（リユース）や再利用（リサイクル）を行うシステムがあります。再利用・再使用できない部品は、環境への負荷が少ない方法で処理を行っています。

- **使用済み製品の回収について**
お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
使用済み製品は、回収の前に作業*が必要になります。回収日に合わせて作業をさせていただきます。当社の引取りをご希望されない場合は、お客様が廃棄物処理法に基づき処分していただく必要があります。

* アフターサービスと同様、当社の定める研修を受講し、ORPHISテクニカルスタッフと認定された者が作業いたします。

各部の名称とはたらき

本体とスキャナー(オプション)



① スキャナー(オプション)

原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取ってコピーやスキャンができます。

② 原稿カバー

原稿台で原稿を読み取るときに開閉します。

③ 原稿台ガラス

左上の矢印の位置に合わせて、原稿を下向きにセットします。

④ スキャナーLED(青／赤)

スキャナーの状態を表示します。

- ・ 青点灯：使用可能な状態
- ・ 青点滅：起動中や読み取り動作中
- ・ 赤点滅：エラーが発生したとき

⑤ フェイスダウン排紙トレイ

印刷物が、フェイスダウンで排出されます。

⑥ 給紙台上下ボタン

給紙台の用紙を交換／追加するときなどに、給紙台を上下させます。

⑦ 給紙圧調節レバー

給紙台にセットした用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。

⑧ 給紙フェンス

給紙台にセットした用紙がずれるのを防ぎます。

⑨ 給紙台

特殊用紙(厚紙・封筒など)をセットします。普通紙もセットできます。

⑩ 主電源スイッチ

主電源を入れます。通常は入れたままにしておきます。

⑪ 本体用ソケット

本体の電源コードを接続します。

⑫ 給紙フェンスレバー

給紙フェンスをスライドするときや、固定するとき 사용합니다。給紙フェンスの両側(2箇所)にあります。

⑬ 左カバー

用紙がつまったときに開きます。

⑭ USBポート

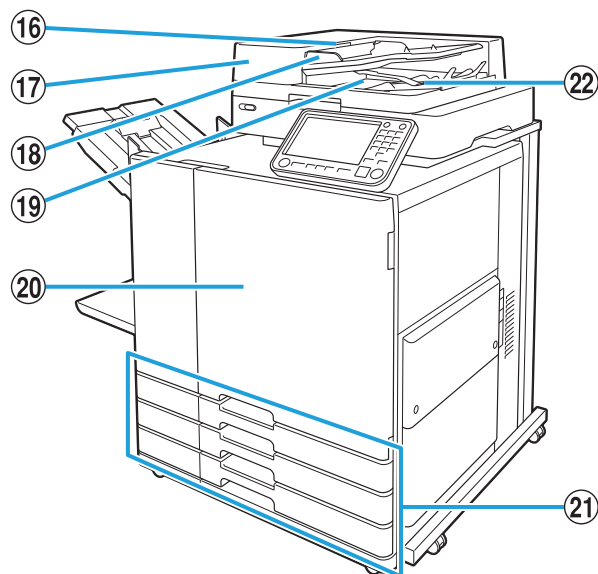
USBメモリーを接続してスキャンデータを保存したり、USBメモリーに保存したデータをプリントしたりできます。



• USBメモリーは、マスタストレージクラスおよびフォーマット形式 (FAT16、FAT32、exFAT) に対応したものを使用してください。

⑮ 操作パネル

操作や設定をするときに使用します。見やすい角度に調節してお使いください。



⑯ 原稿ユニットレバー

原稿がつまったときはこのレバーを上を引いて、原稿ユニットカバーを開きます。

⑰ オートフィーダー

最大約200枚の原稿を自動で送ることができます。

⑱ 原稿フェンス

原稿の幅に合わせてスライドさせます。

⑲ 原稿排紙トレイ

オートフィーダーで読み取った原稿が排出されます。

⑳ 前カバー

通常はロックされていて開けられません。紙づまりなどのトラブルがあった場合には自動的にロックが解除されます。

それ以外の場合に前カバーを開くには、[ホーム1]画面の[メンテナンス]で[前カバーロック解除]をタッチします。

㉑ トレイ1、トレイ2、トレイ3(用紙トレイ)

プリントする用紙をセットします。



• 厚紙など特殊な用紙は、給紙台にセットしてください。

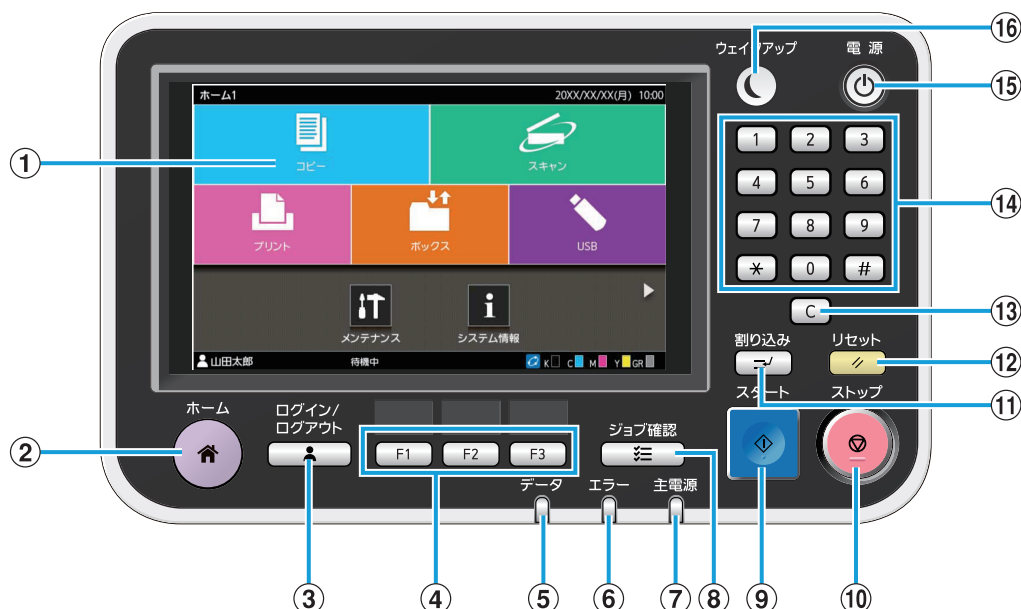
㉒ 排紙整列レバー

排紙された原稿を整えます。排紙の妨げになる場合は、上に上げて固定してください。

操作パネル

操作パネルを使っていろいろな操作や設定をします。

LEDの色と点灯や点滅の状態で、紙づまりなどのエラーや本機の状態を知ることができます。



① タッチパネル

操作や設定をするときに使用します。また、エラーメッセージや確認メッセージなども表示されます。画面やリストによっては、タッチパネル上で指を左右や上下に払うように動かすフリック操作ができます。(p.33「タッチパネル」)

② ホームキー

「ホーム1」画面を表示するときに押します。

③ ログイン/ログアウトキー

ログイン/ログアウトするときに押します。

④ ファンクションキー

よくお使いになる機能や設定を登録できます。短縮キーとしてお使いください。



・登録については、管理者にお問い合わせください。

⑤ データLED

保留ジョブがあるときに点灯し、データの受信中に点滅します。

⑥ エラーLED

エラーが発生したときに点滅します。

⑦ 主電源LED

主電源が入っているときに点灯します。

⑧ ジョブ確認キー

進行中のジョブや終了したジョブを確認するときに押します。

⑨ スタートキー

動作を開始するときに押します。

⑩ ストップキー

進行中のジョブを停止するときに押します。

⑪ 割り込みキー

プリント中のジョブより優先してコピーをしたいときに押します。プリント中のジョブを一時停止し、別の原稿のコピーを開始します。

⑫ リセットキー

設定した内容を、初期値に戻すときに押します。



・選択しているモードの設定がリセットされ、その他のモードの設定はリセットされません。

⑬ クリアキー

入力した文字や数字を取り消すときに押します。

⑭ テンキー

数値を入力するときに押します。

⑮ 電源キー

主電源が入っているときに押すと、動作用の電源が入り、キーが点灯します。長押しすると動作用の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

⑯ ウェイクアップキー

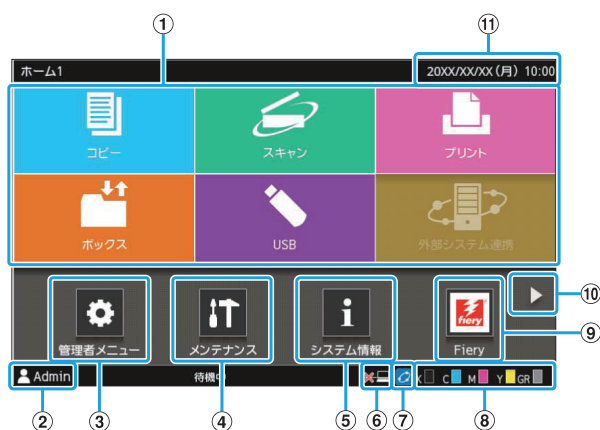
本機が省電力モードのときに点灯します。点灯時にキーを押すと、本機の操作が可能になります。



- 消灯時にこのキーを押すと、強制的にスリープ状態に移行させることができます。

タッチパネル

【ホーム1】画面



操作パネルの[ホーム]キーを押すと表示されます。
使いたいモードのボタンをタッチして設定や操作をします。



・表示される画面は、お使いの機種、接続されているオプションや設定内容により異なります。

① モード選択ボタン

これらのボタンをタッチして、各モードの画面に移行します。

ボタンの右上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。

② ユーザー名

現在ログインしているユーザー名を表示します。

③ 管理者メニューボタン

管理者の設定を変更します。



・管理者権限のないユーザーがログインしている場合には表示されません。

④ メンテナンスボタン

各種メンテナンスを行います。

⑤ システム情報ボタン

消耗品情報、機種情報、およびユーザー情報を表示します。

⑥ オフライン

[ネットワーク接続]を[OFF]に設定した場合に表示されます。

⑦ FORCEJET™ リンクマーク

プリントにかかわる各部が正常に機能しているかを表示します。消耗品や設定内容により表示が異なります。

- ・理想科学製インクをお使いの場合
- ・理想科学製ではないインクをお使いの場合

点灯しているとき：インク情報入力済み

点滅しているとき：インク情報未入力

インク情報の入力については、別冊の「こんなときには」を参照してください。

⑧ インク残量

各インクの残量を表示します。表示が点滅し始めたら、インクカートリッジの交換時期です。点滅している色のインクカートリッジを準備してください。



・理想科学製ではないインクをお使いの場合、インク残量は表示されません。

⑨ Fieryボタン

オプションのプリントコントローラー ComuColor Express FS2100Cをお使いの場合に表示されます。タッチするとFieryモードの画面に移行します。

詳しくは、プリントコントローラー ComuColor Express FS2100Cのユーザーズガイドを参照してください。

⑩ 再生ボタン

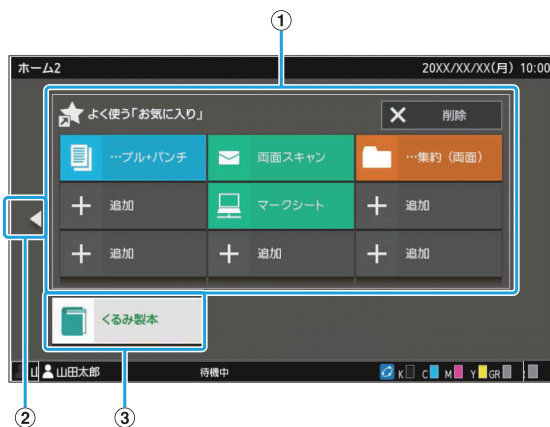
タッチすると[ホーム2]画面に移動します。

⑪ 日時

現在の日時を表示します。

【ホーム2】画面

【ホーム1】画面で[▶]をタッチするか、画面を左にフリックすると表示されます。



① よく使う「お気に入り」

各モードの「お気に入り」のショートカットを【ホーム2】画面に、9個まで登録できます。

② ◀ ボタン

タッチすると【ホーム1】画面を表示します。



・【ホーム2】画面で右方向にフリックしても【ホーム1】画面を表示できます。

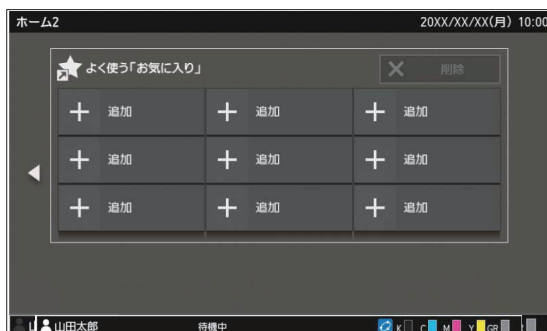
③ くるみ製本ボタン

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合に表示されます。印刷済みの本文と表紙をセットして、一冊分の製本を行います。

詳しくは、くるみ製本フィニッシャーのユーザーズガイドを参照してください。

お気に入りショートカット

各モードでよく使う、個人の「お気に入り」のショートカットを9個まで登録できます。



■ お気に入りショートカットを登録する

1 【ホーム2】画面を表示させる

2 【追加】をタッチする

【お気に入りショートカット追加】画面が表示されます。

3 モードを選択する

4 お気に入りを選擇する

5 【OK】をタッチする



・【ホーム2】画面に登録されたお気に入りのショートカットは、どのモードのお気に入りかによって、ボタンの色やアイコンの種類が異なります。

■ お気に入りショートカットを削除する

1 【ホーム2】画面を表示させる

2 【削除】をタッチする

3 削除したいショートカットを選択する

選択したショートカットにチェックマークが付きます。

4 【削除】をタッチする

【確認】画面が表示されます。

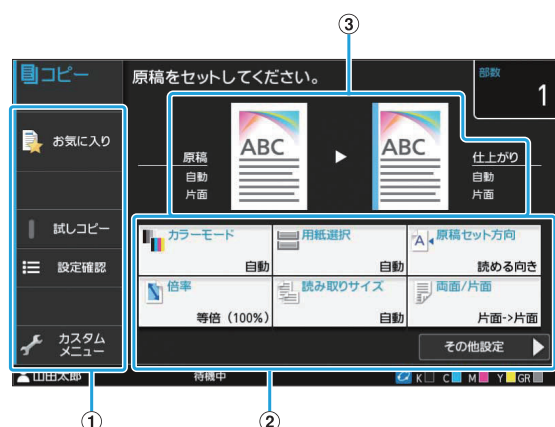
5 【OK】をタッチする

各モード画面

[ホーム1]画面でモード選択ボタンをタッチすると、各モードの画面に移行します。

【コピー】画面

オプションのスキヤナーをお使いの場合に、コピージョブを操作／確認します。



- ① 機能ボタン
コピーモードで使える機能を選択します。
- ② 設定ボタン
コピーのさまざまな設定をします。
[その他設定]をタッチすると、その他の設定ボタンを表示します。
- ③ 原稿イメージと仕上がりイメージ
表示されるアイコンで設定内容が確認できます。
左側が原稿のイメージ、右側が仕上りのイメージです。

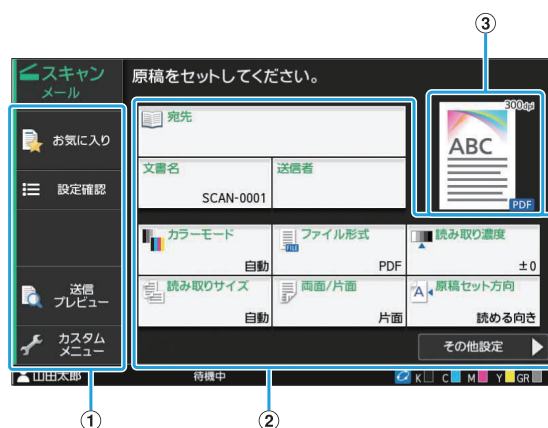
- ④ 部数
コピー部数を設定／表示します。
- ⑤ ページ切り替えボタン
設定ボタンのページを切り替えます。
設定ボタンのエリアを左右にドラッグしても切り替えられます。

【スキャン】画面

オプションのスキヤナーをお使いの場合に、スキャンジョブを操作／確認します。
スキャンデータの送信には、3つの方法があります。

■ メール

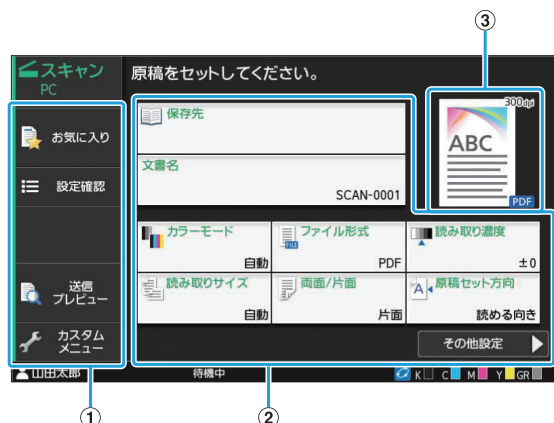
スキャンデータをメールで送信します。



- ① 機能ボタン
スキャンモードで使える機能を選択します。
- ② 設定ボタン
[宛先]や[文書名]、[送信者]を入力したり、スキャンのさまざまな設定をします。
[その他設定]をタッチすると、その他の設定ボタンが表示されます。
- ③ 仕上がりイメージ
表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

■ PC

スキャンデータをネットワーク上のパソコンに送信します。



① 機能ボタン

スキャンモードで使える機能を選択します。

② 設定ボタン

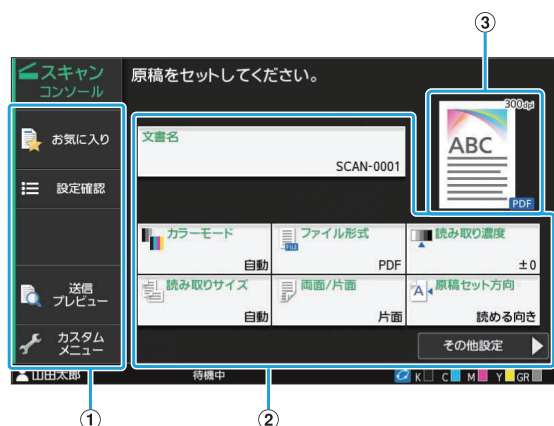
[保存先]や[文書名]を入力したり、スキャンのさまざまな設定をします。
[その他設定]をタッチすると、その他の設定ボタンが表示されます。

③ 仕上がりイメージ

表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

■ コンソール

スキャンデータを本機の内蔵SSDに保存します。
保存したデータは、RISOコンソールからダウンロードできます。



① 機能ボタン

スキャンモードで使える機能を選択します。

② 設定ボタン

[文書名]を入力したり、スキャンのさまざまな設定をします。
[その他設定]をタッチすると、その他の設定ボタンが表示されます。

③ 仕上がりイメージ

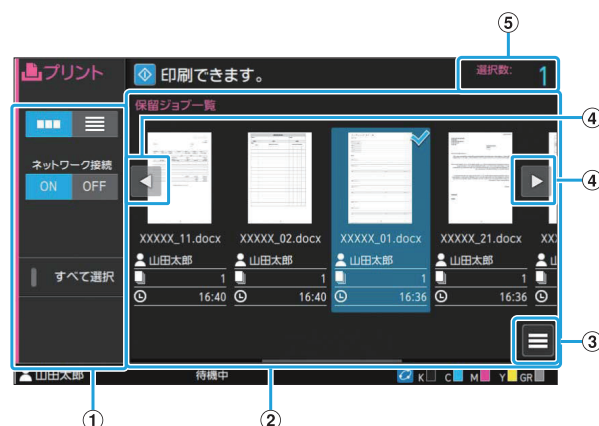
表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

【プリント】画面

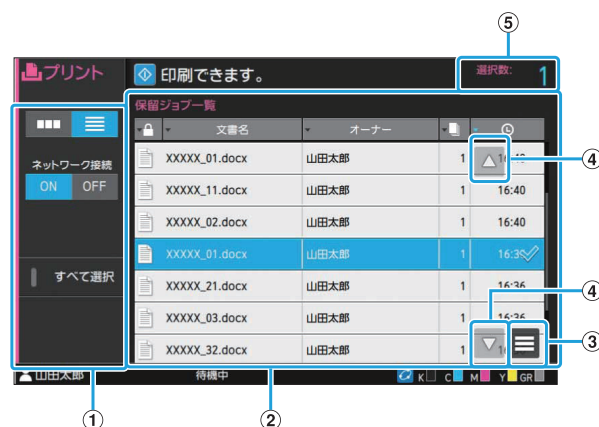
パソコンから送信したプリントジョブを操作／確認します。

■ 保留ジョブ一覧画面

サムネイル表示



リスト表示



① 機能ボタン

プリントモードで使える機能を選択します。

② 一覧表示

保留ジョブを一覧で表示します。

③ サブメニュー

選択したジョブの詳細を確認したり、設定を変更したり、削除したりします。

④ ◀/▶/▲/▼ ボタン

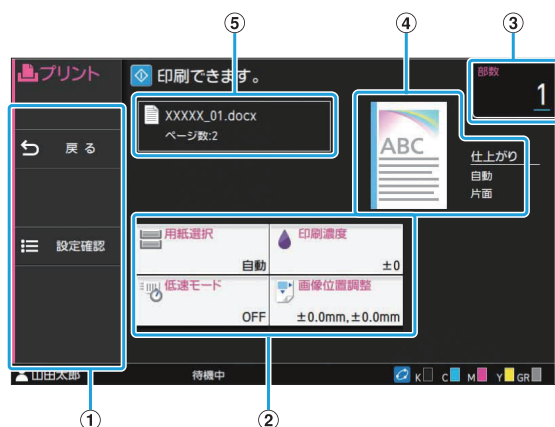
一覧表示をスクロールします。

⑤ 選択数

選択したジョブの数を表示します。

■ 設定変更画面

[保留ジョブ一覧] 画面でサブメニューの[設定変更]を選択すると表示されます。



① 機能ボタン

設定変更画面で使える機能を選択します。

② 設定ボタン

プリントのさまざまな設定をします。

③ 部数

プリント部数を設定／表示します。

④ 仕上がりのイメージ

表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

⑤ 文書名

選択した文書の名称を表示します。

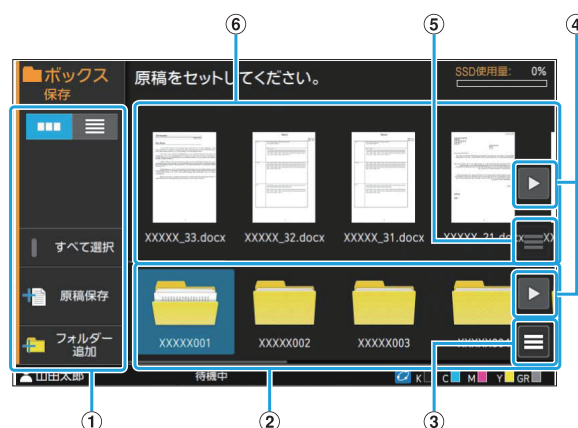
【ボックス】画面

ボックスジョブを操作／確認します。

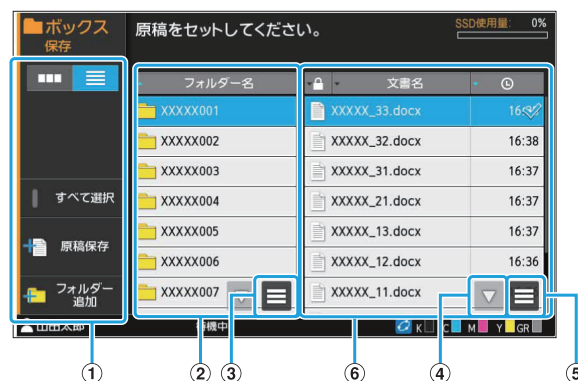
ボックスモードにはデータをフォルダーに保存する[保存]と、フォルダーに保存されている文書をプリントする[利用]の機能があります。

■ ボックス保存／一覧画面

アイコン表示



リスト表示



① 機能ボタン

ボックスモードで使える機能を選択します。

② フォルダー一覧表示

利用できるフォルダーを表示します。

③ サブメニュー

選択したフォルダーの色や名称を変更できます。

④ ◀/▶/▲/▼ ボタン

リストをスクロールします。

⑤ サブメニュー

選択した文書に対して、以下の設定ができます。

- ・ 詳細確認
- ・ 名称変更
- ・ 削除

⑥ 文書一覧表示

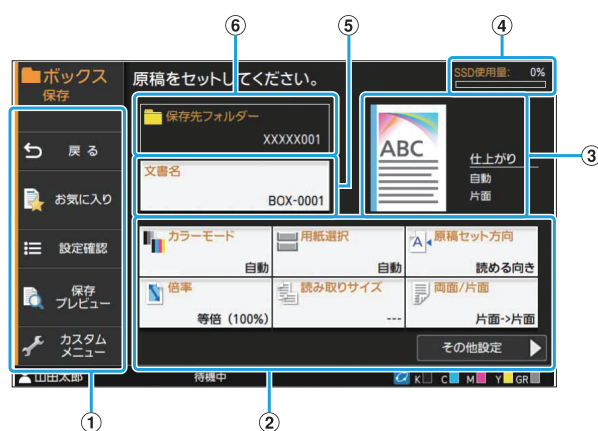
選択したフォルダーに保存されている文書を表示します。



- ・リスト表示では、タイトル部分をタッチしてリストの内容を並び替えることができます。フォルダー名、暗証番号の有無、文書名、保存日時をもとに、昇順または降順に並び替えができます。

■ ボックス保存／原稿保存画面

一覧画面で[原稿保存]をタッチすると表示されます。



① 機能ボタン

ボックスモードで使える機能を選択します。

② 設定ボタン

ボックス保存のさまざまな設定をします。

③ 仕上がりイメージ

表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

④ SSD使用量表示

内蔵SSDの使用量をパーセントで表示します。

⑤ 文書名ボタン

[文書名設定]画面が開きます。文書名の付けかたを設定します。

⑥ 保存先フォルダー

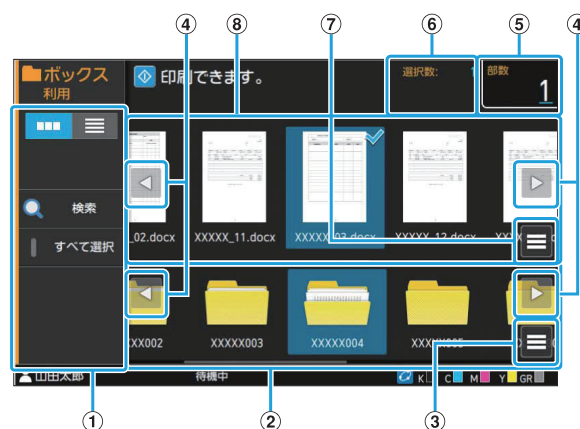
一覧画面で選択した、保存先フォルダーの名称を表示します。



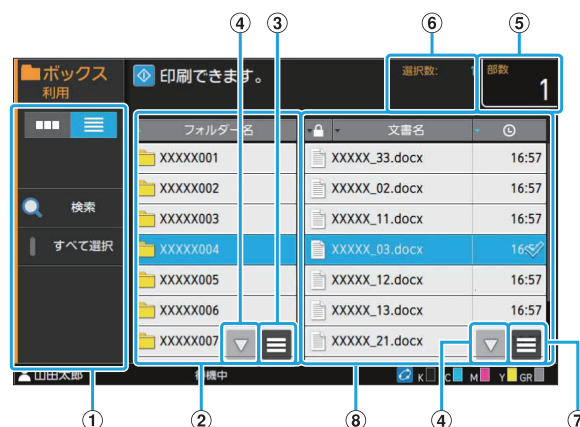
- ・内蔵SSDの空き容量が少ない場合は、フォルダー内の不要な文書を削除して空き容量を増やしてください。
- ・1つのフォルダーに1,000件まで保存できます。

■ ボックス利用／一覧画面

アイコン表示



リスト表示



① 機能ボタン

ボックスモードで使える機能を選択します。

② フォルダー一覧表示

利用できるフォルダーを表示します。

③ サブメニュー

選択したフォルダーの色や名称を変更できます。

④ ◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタン

リストをスクロールします。

⑤ 部数

プリント部数を設定／表示します。

⑥ 選択数

選択した文書の数を表示します。

⑦ サブメニュー

選択した文書に対して、以下の設定ができます。

- ・詳細確認
- ・設定変更
- ・名称変更
- ・削除

- USB メモリーへコピー
- フォルダへコピー

⑧ 文書一覧表示

選択したフォルダに保存されている文書を表示します。



- リスト表示では、タイトル部分をタッチしてリストの内容を並び替えることができます。フォルダ名、暗証番号の有無、文書名、保存日時をもとに、昇順または降順に並び替えができます。

[USB] 画面

USBジョブを操作／確認します。

USBモードには、USBメモリーにスキャンデータを保存する[保存]と、プリンタードライバーからUSBメモリーに保存した文書（PRNファイル）をプリントする[利用]の機能があります。

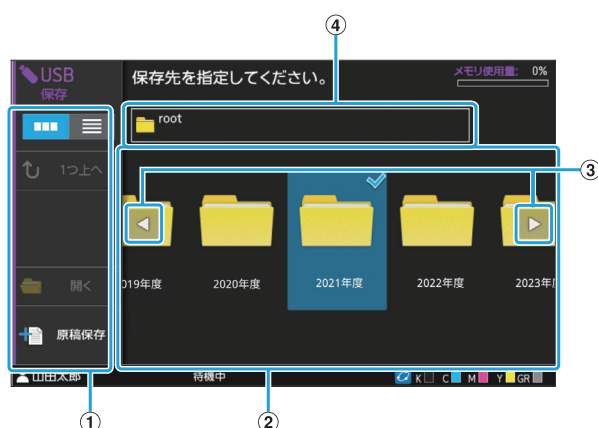
USBメモリーに文書を保存するには、「プリント」の「出力方法と保存先」（p.113）を参照してください。



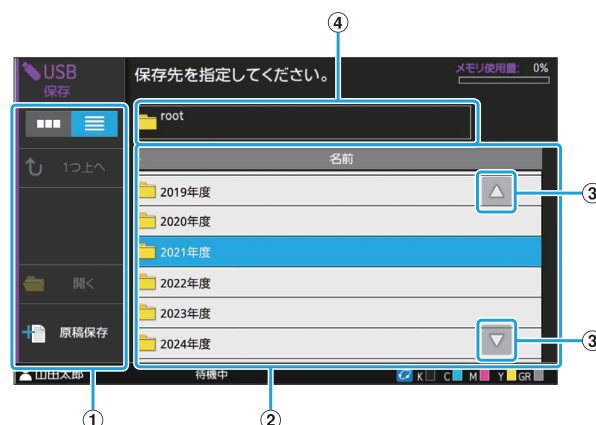
- プリントできるファイルは、PRN形式のみです。
- PRNファイルとは、プリンタードライバーで出力した当社専用のファイル形式です。他社製のプリンターやアプリケーションでは、ファイルを開くことはできません。

■ USB保存／一覧画面

アイコン表示



リスト表示



① 機能ボタン

USBモードで使える機能を選択します。

② フォルダ一覧表示

利用できるフォルダを表示します。

③ ◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタン

リストをスクロールします。

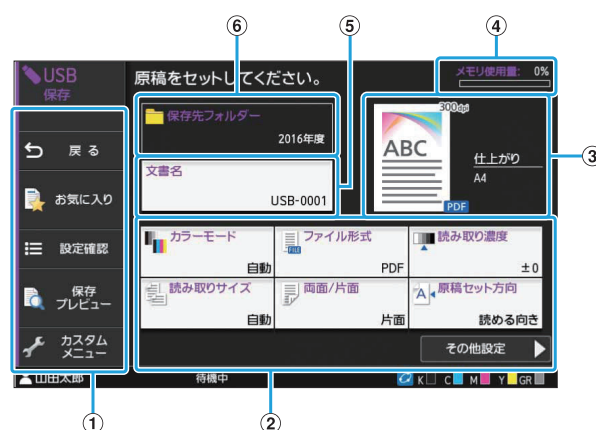
④ フォルダパス表示

選択したフォルダの、USBメモリー内での場所をフルパスで表示します。



- リスト表示では、タイトル部分をタッチしてリストの内容を並び替えることができます。フォルダ名をもとに、昇順または降順に並び替えができます。

■ USB保存／原稿保存画面



① 機能ボタン

USBモードで使える機能を選択します。

② 設定ボタン

USB保存のさまざまな設定をします。
[その他設定]をタッチすると、その他の設定ボタンが表示されます。

③ 仕上がりイメージ

表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

④ メモリ使用量

USBメモリの使用量をパーセントで表示します。

⑤ 文書名ボタン

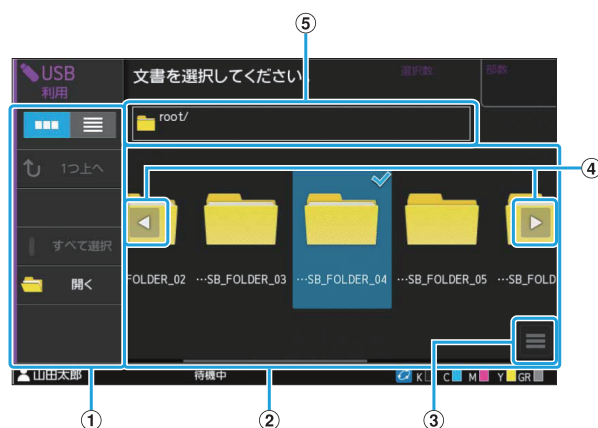
[文書名設定]画面が開きます。文書名の付けかたを設定します。

⑥ 保存先フォルダー

一覧画面で選択した保存先フォルダーの名称を表示します。

■ USB利用／一覧画面

アイコン表示



リスト表示



① 機能ボタン

USBモードで使える機能を選択します。

② 一覧表示

USBメモリーに保存されているフォルダーや文書を、一覧で表示します。

③ サブメニュー

選択した文書に対して、以下の設定ができます。

- ・ 詳細確認
- ・ 設定変更
- ・ フォルダーへコピー

④ ◀/▶/▲/▼ ボタン

リストをスクロールします。

⑤ フォルダーパス表示

選択したフォルダーの、USBメモリー内での場所をフルパスで表示します。



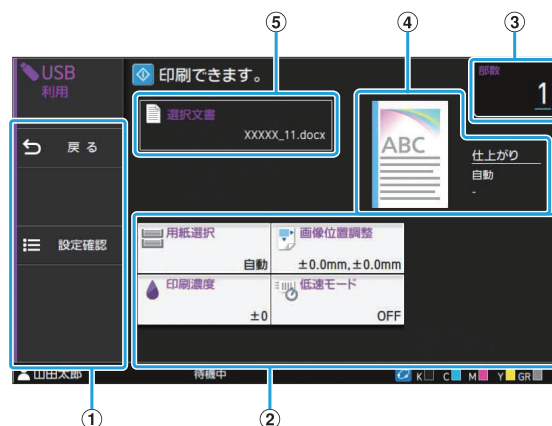
・ リスト表示では、タイトル部分をタッチしてリストの内容を並び替えることができます。フォルダー名や文書数をもとに、昇順または降順に並び替えができます。

■ USB利用／設定画面

文書一覧画面のサブメニューで[設定変更]をタッチすると表示されます。



・ オプションのPostScriptキットをお使いの場合、PDFファイル選択時は[印刷設定]をタッチすると表示されます。



① 機能ボタン

USBモードで使える機能を選択します。

② 設定ボタン

USB利用のさまざまな設定をします。
PDFファイル選択時は、[その他設定]ボタンを押すと、その他の設定ボタンが表示されます。

③ 部数

プリント部数を設定／表示します。

④ 仕上がりイメージ

表示されるアイコンで設定内容が確認できます。

⑤ 文書名

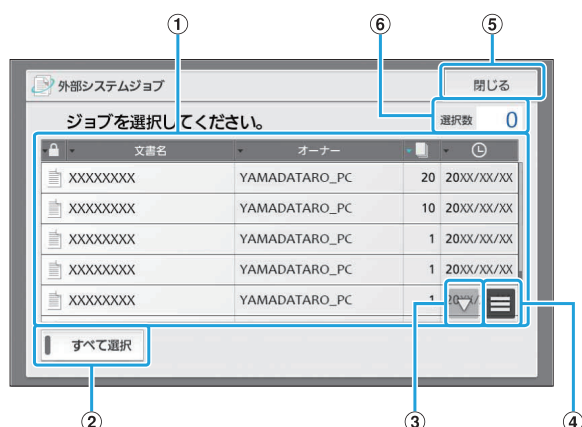
選択した文書の名称を表示します。

【外部システム連携】画面

外部システム連携機能をお使いの場合、外部システムに保存された文書进行操作します。

お使いの外部システムによって、本機に表示される画面が異なります。ここでは、MPSソフトウェアを利用して外部システムと連携する場合を例に説明します。

■ 文書一覧画面



① 文書一覧表示

利用できる文書が表示されます。



・タイトル部分をタッチしてリストの内容を並び替えることができます。文書名、オーナーの名称、ページ数、保存日時をもとに、昇順または降順に並び替えができます。

② すべて選択ボタン

文書一覧に表示されているすべての文書を選択します。

③ ▲／▼ ボタン

リストをスクロールします。

④ サブメニュー

選択した文書を削除したり、選択した文書の詳細情報や合計金額を表示します。

⑤ 閉じるボタン

画面を閉じ、外部システムとの接続を解除します。

⑥ 選択数

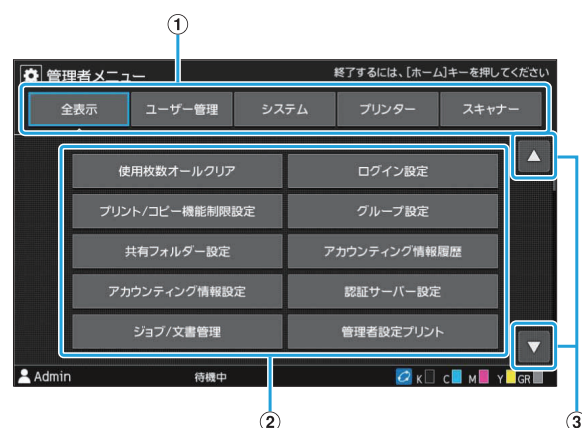
選択した文書の数を表示します。



・[外部システム連携] ボタンは、管理者の設定によっては表示されていないかったり、別の名称で表示されている場合があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

【管理者メニュー】画面

管理者権限を持つユーザーがログインしている場合に表示します。管理者としての各種設定ができます。詳しくは、別冊の「管理者ガイド」を参照してください。



① カテゴリー選択ボタン

管理者メニューの設定ボタンをカテゴリーごとに表示します。

[全表示] をタッチすると管理者メニューのすべての設定ボタンを表示します。

② 設定ボタン

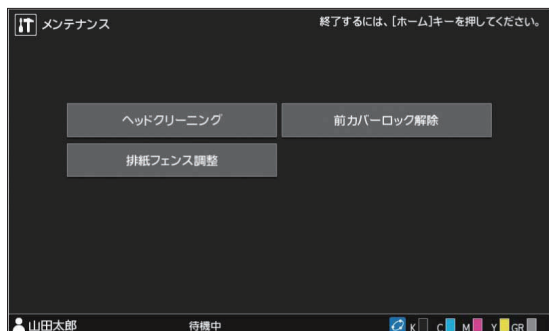
管理者メニューのさまざまな設定をします。

③ ▲／▼ ボタン

リストをスクロールします。

【メンテナンス】画面

[ヘッドクリーニング]や[前カバーロック解除]などができます。詳しくは、「付録」の「メンテナンス」(p.242)を参照してください。



【システム情報】画面

■ 消耗品情報画面

用紙やインクなどの消耗品の状態を表示します。トレイ設定を変更することもできます。



■ 機種情報画面

本機に関する情報を表示します。



① 機種情報リスト

IPアドレスやファームウェアのバージョンなどが確認できます。

② ▲ / ▼ ボタン

リストをスクロールします。

③ カウント表示ボタン

用紙サイズごとの詳細カウントや、チャージカウントを表示します。

④ 情報プリントボタン

システム情報やサンプル画像をプリントします。

⑤ トータルカウント

プリント・コピー時の用紙の搬送回数を合計で表示します。

両面印刷した場合は、用紙1枚につき2回カウントされます。

⑥ 接続オプション / ステータスボタン

接続しているオプション機器とその状態を表示します。

■ ユーザー情報画面

ログインしたユーザー名と所属グループを表示します。



① 各種情報表示ボタン

ユーザーの利用状況を表示できます。

[パスワード変更]をタッチすると、パスワードを変更できます。

管理者によってコピーやプリントの枚数に制限がかけられている場合は、[制限枚数表示]をタッチすると利用状況が確認できます。

オプションのICカードリーダーをお使いの場合は、[カード登録]をタッチすると、ログインしているユーザーのカード情報を登録できます。



- 外部システム連携をお使いの場合は、以下のボタンが表示されます。

- [残金表示]：ログインしているユーザーの残金を確認できます。

[外部システム連携]機能での課金システムについては、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

■ ライセンス情報画面

本製品で使用されているシステムのライセンス情報を表示します。

タッチパネルについて

本機の操作や設定は、タッチパネルで行います。画面に表示されるボタンを指でタッチして選択したり、タッチパネル上で指を払うように動かすフリック操作で画面を切り替えたり、リストをスクロールしたりできます。

画面を切り替える

[ホーム1]画面と[ホーム2]画面では、画面を左右にフリックして切り替えられます。詳しくは、「[ホーム1]画面」(p.33)と「[ホーム2]画面」(p.34)を参照してください。

スクロールする

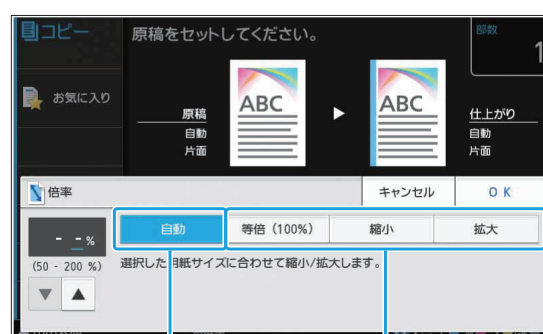
設定項目が表示される画面や、フォルダーや文書などのリストは、左右または上下にフリックしてスクロールできます。画面をタッチすると、スクロールは止まります。

スクロールできる画面やリストでは、タッチパネルから指を離さずに左右または上下にスライドさせるドラッグ操作でスクロールすることもできます。タッチパネルから指を離すと、スクロールは止まります。

ボタンを選択する

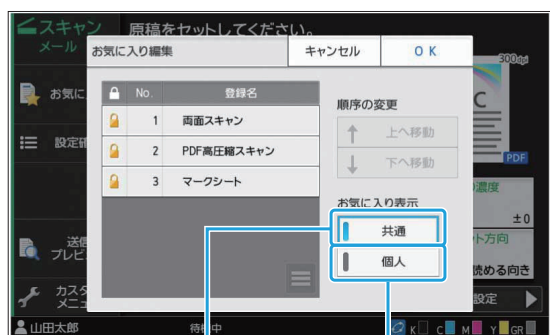
タッチパネル上のボタンを選択するには、指でそのボタンをタッチします。

選択したボタンの全体または一部が青色に変わります。



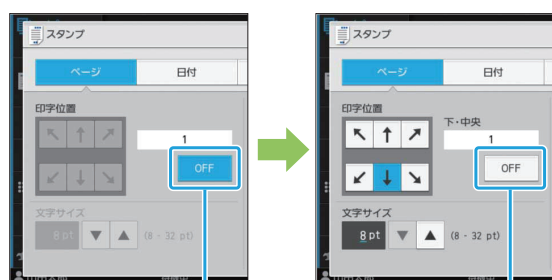
選択したボタン

選択されていないボタン



選択した状態

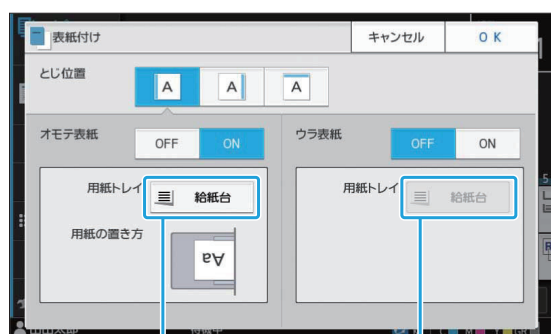
選択されていない状態



選択した状態

選択されていない状態

グレーアウトされているボタンは、ある一定の条件を満たさないと使用できない状態になっています。条件を満たすと、選択できるようになります。

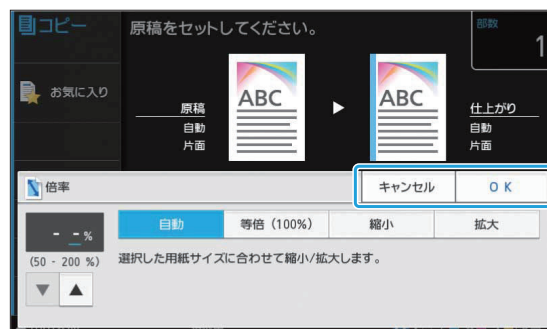


[オモテ表紙] で [ON] が選択されているのでタッチできる

[ウラ表紙] で [OFF] が選択されているのでタッチできない

設定を確定する／取り消す

設定している画面上に [OK] が表示されている場合、設定内容を保存するためには [OK] をタッチする必要があります。[OK] をタッチしないと設定内容がキャンセルされてしまうことがあります。設定した内容を取り消したい場合は、[キャンセル] をタッチします。



設定ボタンの色

設定ボタンで設定内容を変更すると、ボタンの色が変わり、初期値とは異なる設定になっていることを示します。



文字を入力する

ユーザー名やパスワードの登録などをするときは、文字入力画面から必要な情報を入力します。

1 入力する文字の種類を選択する





- ・パスワードなど使用できる文字が限られている場合、使用できない文字のボタンはグレーアウトします。

2 入力したい文字を一文字ずつタッチする

[←][→]をタッチすると、カーソル位置を移動できます。また[✕]をタッチすると、カーソルの左側にある文字を一文字消去できます。

漢字へ変換する場合は、ひらがなで入力し、[変換]をタッチします。変換候補リストから、変換したい漢字を選択します。



- ・入力文字の制限数と現在の入力文字数は、文字入力欄の右に表示されます。



3 入力が終わったら、[OK]をタッチする



- ・入力するエリアによっては、エリアをタッチしても入力用の画面が表示されないことがあります。その場合はテンキーで入力します。
- ・数字や文字の下に短い横線が点滅しているエリアが現在選択されているエリアです。エリアを切り替えるには、入力したいエリアをタッチします。

準備

電源の入れかたやログインのしかた、用紙のセットのしかたなど、本機を使える状態にするための準備について説明します。



- 用紙トレイを使用する場合は、給紙台をセットする必要はありません。
- RISOコンソールを起動すると、パソコンの画面で本機の状態を確認できます。(p.158「RISOコンソールの概要」)

電源について

本機には、主電源スイッチと[電源]キーがあります。主電源スイッチでプリンター全体の主電源を入れます。

[電源]キーは、本機を動作させるときに押します。



- 通常の使用で本機の電源を切るときは、操作パネルの[電源]キーを長押しします。
- 落雷や長期間使用しない場合など以外は、主電源を切らないでください。

電源を入れる

- 1 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認する
- 2 主電源スイッチを入れる
操作パネルの[主電源]LEDが点灯します。
- 3 操作パネルの[電源]キーを押す
電源が入り、[電源]キーが点灯します。

電源を切る

- 1 操作パネルの[電源]キーを長押しする
- 2 [電源]キーが消灯していることを確認し、主電源スイッチを切る
[主電源]LEDが消灯します。



- 再び主電源を入れるときは、[主電源]LEDが消灯していることを確認してください。
- 電源プラグは、必ず主電源スイッチを切ってから抜いてください。

省電力機能について

本機を一定時間操作しない場合、自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードには、バックライト消灯とスリープ状態があり、それぞれのモードへの移行時間やスリープ時の消費電力値は、管理者により設定されています。

省電力モードに移行すると、タッチパネルが消灯し、[ウェイクアップ]キーが点灯します。

[ウェイクアップ]キーを押すことで省電力モードから復帰します。

スリープ状態は、バックライト消灯よりも省電力状態になるため、復帰により長い時間がかかります。

ログインについて

モード選択ボタンの右上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。



- ・初めてログインするときには、管理者から連絡された仮パスワードが必要です。

ログインする

- ・オプションのICカードリーダーをお使いの場合は、カードリーダーにICカードをかざすと、ログインできます。

1 [ログイン/ログアウト]キーを押す

2 [ログイン]画面でユーザー名を選択する

画面をスクロールするか、見出しボタンからユーザー名を表示させて検索します。
ユーザー名を選択すると、[パスワード]画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、[ログイン]をタッチする

画面の指示に従って操作してください。

- ・初めてログインするときには、ここで仮パスワードをご自分のパスワードに変更します。

ログインが完了すると、[ログイン/ログアウト]キーを押したときの画面に戻ります。画面の左下にユーザー名が表示されます。



- ・操作が終了したら、必ず[ログイン/ログアウト]キーを押してログアウトしてください。



- ・ユーザー名が見当たらないときや、パスワードを忘れてしまったときは、管理者にお問い合わせください。
- ・[ホーム1]画面の左下にユーザー名が表示されていない場合は、モード選択ボタンをタッチし、「ログインする」の手順2と3に従って操作してください。ログインが完了すると選択したモードの画面が表示されます。

ログインパスワードを変更する

1 ログインした状態で、[ホーム1]画面の[システム情報]をタッチする

2 [ユーザー情報]-[パスワード変更]をタッチする

3 新しいパスワードを入力し、[次へ]をタッチする

4 [パスワード変更(再入力)]画面で、新しく設定したパスワードを再度入力し、[OK]をタッチする

用紙のセット

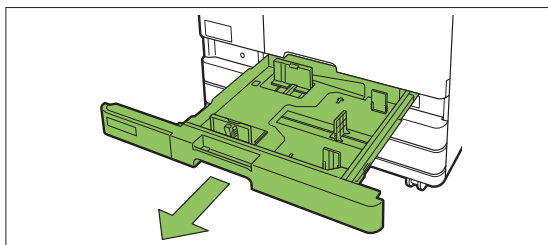
用紙は、用紙トレイおよび給紙台にセットします。



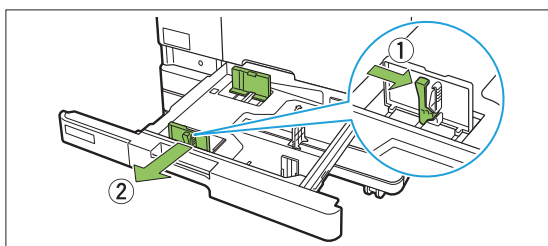
- 通常使用する用紙は、用紙トレイにセットすることをおすすめします。
 - 以下のような用紙は、給紙台にセットしてください。
 - 厚紙など、特殊な用紙
 - 片面がプリント済みの用紙
 - 日本郵便株式会社製はがき
 - 封筒
- 詳しくは、「用紙について」(p.25)を参照してください。
- オプションの増設トレイまたは大容量給紙ユニットをお使いの場合、用紙をセットする方法については以下を参照してください。
 - 増設トレイの場合
(p.185「用紙をセットする」)
 - 大容量給紙ユニットの場合
(p.188「用紙をセットする」)

用紙トレイにセットする

1 トレイを手前に引き出す

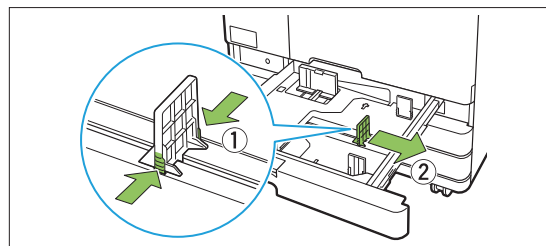


2 フェンスのレバーをつまみながら手前に止まるまで引き、フェンスを広げる



3 ストッパーを広げる

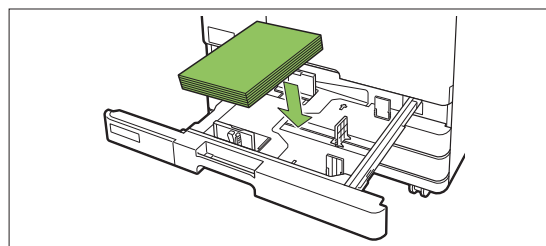
ストッパーを両サイドからつまむようにして動かします。



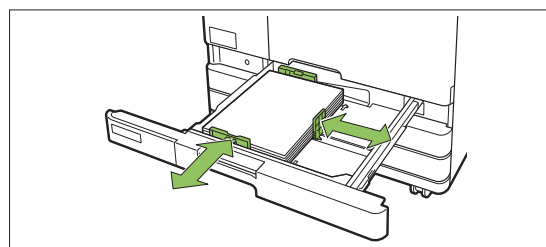
4 用紙をセットする

表と裏の質に差がある用紙は、プリントする面を下にしてセットします。積載高さ上限のシールを超えないようにしてください。

用紙の端がフェンスなどに当たって折れ曲がらないようにしてください。

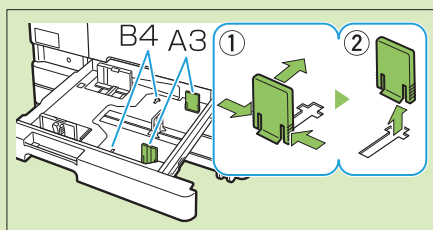


5 フェンスとストッパーを用紙のサイズにぴったりと合わせる





- ・本機は、ストッパーの位置で用紙サイズを検知しています。必ず用紙にぴったりと合わせてください。
- ・A3用紙またはB4用紙をセットするときは、A3/B4用紙ガイドをそれぞれの用紙に合わせて取り付けてください。A3/B4用紙ガイドの移動は、両端をつまみながらスライドさせて外し、それぞれの用紙サイズの穴に差し込んでください。



A3用紙を使用時

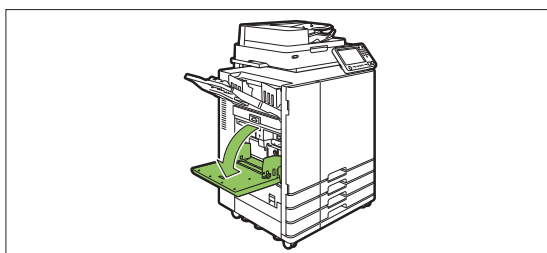
6 トレイを戻す

7 操作パネルでトレイの設定を確認する

用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。(p.63「用紙選択」)

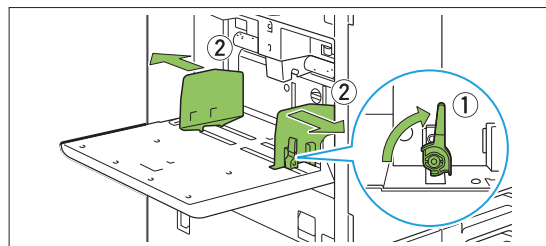
給紙台にセットする

1 給紙台を矢印の方向に、止まるまで開く



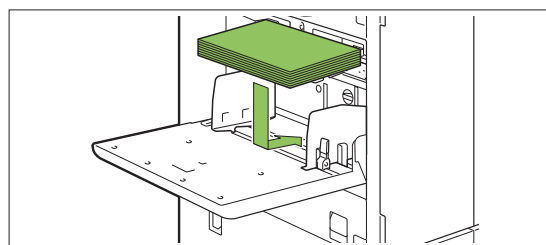
2 フェンスを広げる

給紙フェンスレバー(両側2箇所)をフリーにして、フェンスをスライドさせます。

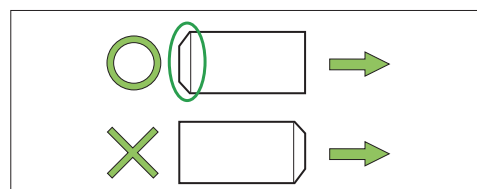


3 用紙をセットする

プリントする面を上にしてセットします。



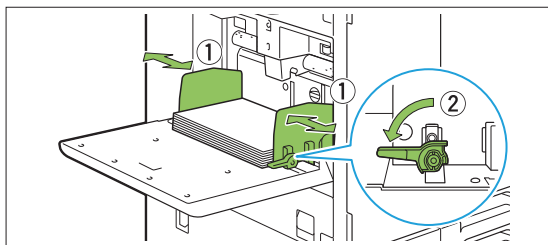
- ・封筒にプリントする場合は、オプションの排紙台や封筒給紙アタッチメントを接続することをおすすめします。
- ・封筒をセットする場合は、必ず封筒のフタを開いた状態で、底側から給紙されるようにセットします。



- ・パソコンから封筒にプリントする場合は、[画像回転]を使うと便利です。

4 フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

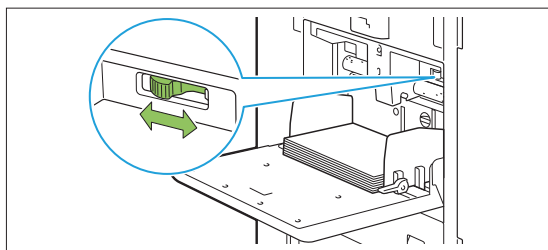
用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーをロックしてフェンスを固定します。



- ・フェンスの位置で用紙サイズを検知しています。必ず用紙にぴったりと合わせてください。
- ・A4、B5サイズなどの用紙をセットする際に、用紙サイズ検知センサーの上に予備の用紙などの物を置かないでください。センサーが塞がれると用紙サイズを正しく検知できません。

5 給紙圧調節レバーをセットする

通常は「標準」で使い、画用紙、日本郵便株式会社製はがきなどの場合は「厚紙」にセットします。



- ・封筒の場合、厚み(坪量)によっては「厚紙」に設定してください。

6 操作パネルでトレイの設定を確認する

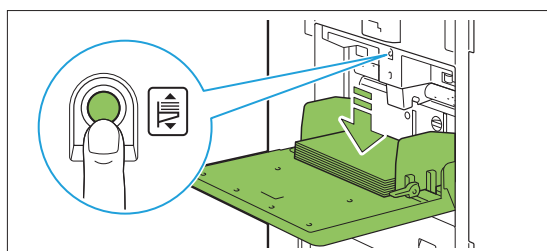
用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。(p.63「用紙選択」)

給紙台に用紙を追加する／載せ替える

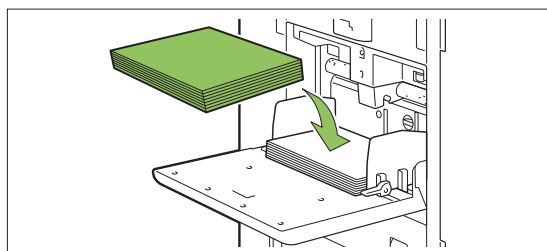
セットされている用紙を追加する、または違うサイズ of 用紙に載せ替えるときは、給紙台上下ボタンを使用します。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

1 給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げる

下げたい位置までボタンを押し続けます。

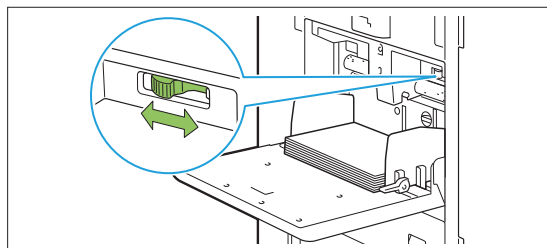


2 用紙を追加、または載せ替える



3 給紙圧調整レバーをセットする

厚さの違う用紙に載せ替えた場合は、給紙圧調整レバーをセットします。通常は「標準」で使い、画用紙、日本郵便株式会社製はがきなどの場合は「厚紙」にセットします。



- ・封筒の場合、厚み(坪量)によっては「厚紙」に設定してください。

4 操作パネルでトレイの設定を確認する

用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。(p.63「用紙選択」)

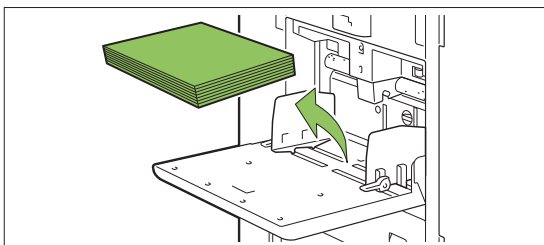
給紙台を閉じる



・電源が入っている状態で操作してください。

1 セットされている用紙を取り除く

給紙台が下がり始めます。



2 給紙台を閉じる



・給紙台が最下部まで下がっていることを確認してから、閉じてください。

プリンタードライバーのインストールとアンインストール

パソコンからデータを送信して本機でプリントする場合は、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。



- Administrator権限のあるユーザーでログインしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- アンインストールする場合は、アンインストーラーをお使いください。詳しくは、別冊の「管理者ガイド」を参照してください。
- macOSまたはLinuxをお使いの場合は、オプションのPostScriptキットをお使いください。PostScript対応の専用プリンタードライバーのインストールについては、「オプション」の「PostScriptキット」(p.220)を参照してください。

動作環境

プリンタードライバーを動作させるためには、パソコンは以下の動作環境を推奨します。

メモリ	8GB以上
CPU	Core i5-8400 2.8GHz以上
ディスプレイ	解像度1024 × 768以上

インストール



- プリンタードライバーをアップデートする場合は、いったん旧ドライバーをアンインストールしてから行ってください。(p.53「アンインストール」)

1 パソコンのDVD-ROMドライブに、付属のDVD-ROMをセットする

自動的にインストールウィザードが起動します。インストールウィザードが起動しない場合は、DVD-ROM内の「Install.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 プルダウンメニューからプリンターの機種を選択し、[OK]をクリックする

3 プルダウンメニューから[日本語 (Japanese)]を選択し、[OK]をクリックする

4 [次へ]をクリックする

5 画面の指示に従って操作する

6 テストページ印刷画面で、[はい]をクリックする

7 テストページが正しくプリントされたことを確認し、[OK]をクリックする



- [ReadMeを表示]を押すと、ご使用にあたっての注意事項が表示されます。必ずお読みください。
- 機器情報の更新を促すメッセージが表示された場合は[OK]をクリックして、インストール終了後に[環境]タブでプリンター構成を設定してください。また、本機にオプションを増設した場合もプリンター構成の設定が必要です。接続しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能はグレースアウトされて選択できません。(p.128「環境」タブ)

8 [終了]をクリックする

プリンタードライバーを上書きインストールした場合は、パソコンが再起動します。



- すぐに再起動したくないときは、[終了]をクリックする前に、[今すぐ再起動する]のチェックマークをはずしておいてください。

9 パソコンからDVD-ROMを取り出す



- 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

アンインストール

■ Windows 11/Windows Server 2022の場合

[スタート]-[すべてのアプリ]-[RISO ORPHIS-GL]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。
アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016の場合

[スタート]-[RISO ORPHIS-GL]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。
アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 8.1/ Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2の場合

[アプリ]画面から、[RISO ORPHIS-GL]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。
アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

ジョブについて

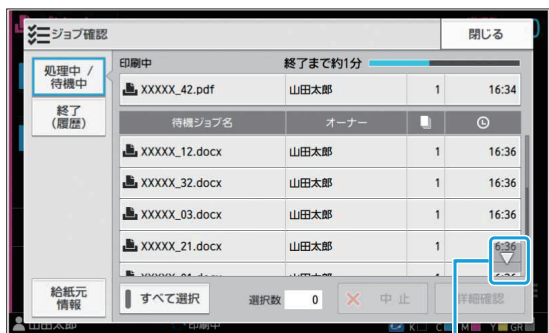
各画面の文書一覧から[詳細確認]、[プリント]、[削除]などを行う方法を説明します。[ジョブ確認]キーを押すと、進行中および終了したジョブの確認ができます。



- 「ジョブ」とは、プリント、コピーなどの各モードにおいて、本機が行う処理の単位です。
- 以下の場合、ジョブ名が「*****」で表示されます。
 - プリンタードライバーの[ジョブ名を隠す]にチェックマークがついているジョブ(p.126「暗証番号」)

「処理中/待機中」画面

「処理中/待機中」をタッチすると、現在プリント中のジョブと、これからプリントされる待機ジョブのリストが表示されます。ジョブは、リストの上から順番にプリントされます。



- 「処理中/待機中」の出力順(ジョブの優先順位)について
プリンタードライバーからジョブを送信していても、本機で割り込みコピーを実行したジョブが優先されます。

ジョブリスト

ジョブリストには、プリント中、展開中、待機中のジョブ名と、処理状況、オーナー名、部数(■)、受付時間(🕒)が表示されます。

ジョブ名の左側にはジョブの種類を表すアイコンが表示されます。

アイコン	ジョブの種類
	コピージョブ
	プリントジョブ
	ボックス利用ジョブ
	USB利用ジョブ
	PSジョブ(オプションのPostScriptキット利用時)
	暗証番号付きジョブ
	破損ジョブ



- ▲ / ▼ をタッチすると、リストをスクロールできます。
- [すべて選択]をタッチすると、リストのすべてのジョブが選択できます。

ジョブの進捗状況を確認する

プリント中および展開中のジョブの進捗状況は、プログレスバーで表示されます。またプリント中のジョブについては、終了までの予測時間も表示されます。



- 原稿サイズ混在機能が設定されている場合や、プリントジョブのページ数が不明なときは、終了までの予測時間は表示されません。

ジョブを中止する

ジョブを中止する場合は、中止したいジョブを選択して[中止]をタッチするか[ストップ]キーを押します。暗証番号付きジョブを中止するには、暗証番号を入力する必要があります。

ジョブの詳細を確認する

[詳細確認] をタッチすると、処理中および待機中ジョブの詳細を確認できます。

【終了(履歴)】画面

[終了(履歴)] をタッチすると、処理を終了したジョブが一覧で表示されます。



サブメニュー

文書名／ジョブ名、オーナー名、プリント部数(■)、プリント終了日時(🕒)、処理結果が確認できます。ジョブ名の左側にはジョブの種類を表すアイコンが表示されます。

アイコン	ジョブの種類
📄	コピージョブ
🖨️	プリントジョブ
✉️	スキャン(メール)ジョブ
💻	スキャン(PC)ジョブ
📠	スキャン(コンソール)ジョブ
📁	ボックス(保存)ジョブ
📁	ボックス(利用)ジョブ
🔌	USB(保存)ジョブ
🔌	USB(利用)ジョブ
🖨️	PSジョブ (オプションのPostScriptキット利用時)
🔑	暗証番号付きジョブ
🗑️	破損ジョブ



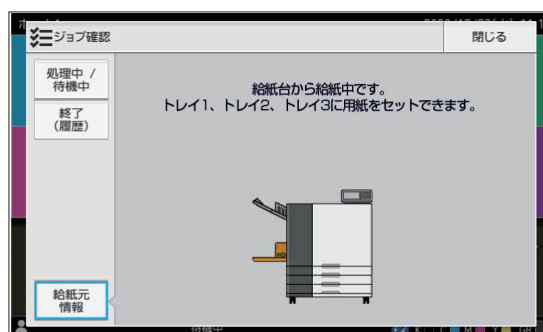
- サブメニューをタッチすると、ジョブの詳細を確認したり、再プリントしたり、削除したりできます。

- ▲ / ▼ をタッチすると、リストをスクロールできます。
- [文書名／ジョブ名]、[オーナー]などのカテゴリーをタッチすると、昇順／降順で並べ替えて表示できます。
- [すべて選択] をタッチすると、リストのすべてのジョブが選択できます。
- リストの下にあるアイコンのボタンをタッチすると、選択した種類のジョブだけを表示できます。アイコンのボタンをひとつも選択していない場合は、すべてのジョブが表示されます。
- このリストは、本機が処理したジョブの履歴を兼ねていますが、リストに表示されるジョブの種類や保管期間、数は、管理者によって設定されています。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

【給紙元情報】画面

[給紙元情報] をタッチすると、給紙中のトレイが表示されます。

本機がプリントしているときに用紙を追加したい場合は、この画面で使用できるトレイを確認します。



- [給紙元情報] 画面はORPHIS GL9731では表示されません。

スキャナーを使用して紙原稿を読み取りコピーします。
両面コピーや、複数の紙原稿を1枚にまとめてコピーするなど、使用用途に合わせて、さまざまな形のコピーを行うことができます。

コピー操作の概要

p.58

1. 原稿をセット



2. [ホーム1]画面で[コピー]をタッチ



3. 設定を変更



4. テンキーで部数を入力



5. [スタート]キーを押す

コピーの各種設定

p.63

コピーの各設定を詳細に説明しています。

コピーモードの機能ボタン

p.83

コピーモードで使える機能を説明しています。

コピー操作の概要

コピーの基本的な操作を説明します。

手順

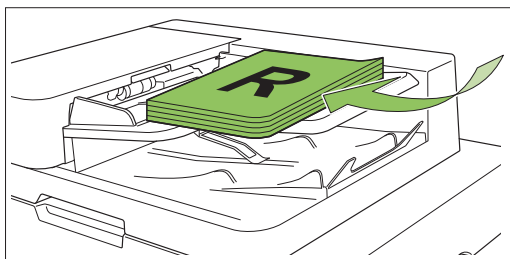
1 原稿をセットする

セットできる原稿については「紙原稿について」(p.23)を参照してください。

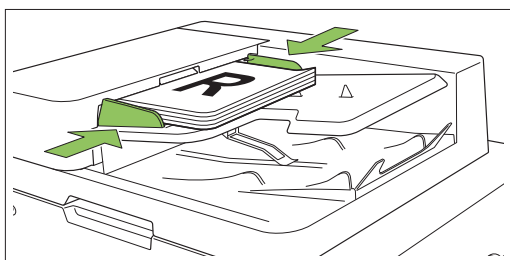
■ オートフィーダーの場合

1) 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、コピーする面を上に向けてください。



2) 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

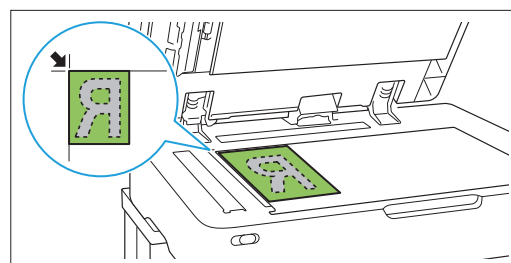


■ 原稿台ガラスの場合

1) 原稿カバーを開く

2) 原稿をセットする

コピーする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。



3) 原稿カバーを閉じる



・原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

2 [ホーム1]画面で[コピー]をタッチする



3 設定を変更する

コピーの詳細を設定します。
設定できる機能については、「設定項目一覧」(p.61)を参照してください。

4 テンキーで部数を入力する

部数には 9999 まで入力できます。

5 [スタート]キーを押す

[コピー中]画面が表示され、原稿のコピーが始まります。進捗状況が画面に表示されます。



- [低速モード]をタッチしてチェックマークをつけると印刷スピードが遅くなります。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。
- プリント中のジョブより優先してコピーをしたい場合は、[割り込み]キーを押します。

■ 複数ページの原稿を原稿台ガラスで読み取る場合

原稿を1枚読み取ると、次の原稿を読み取るかどうかを確認する画面が表示されます。

次の原稿をセットし、[読み取り]をタッチします。すべての原稿の読み取りが終わったら[読み取り終了]をタッチします。



- 上記の確認画面は、[ソート]を[部ごと]に設定した場合に表示されます。(p.66「ソート」)

コピーを予約する

コピー中であっても、原稿の読み取りが完了していれば、次の原稿の読み取りを始められます。

1 [コピー中]画面で[閉じる]をタッチする

2 原稿をセットして[スタート]キーを押す

メッセージが表示され、次のジョブとしてコピーされます。

コピーを中止する

1 [ストップ]キーを押す

[一時停止中]画面が表示されます。



2 [中止]をタッチする

[確認]画面が表示されます。

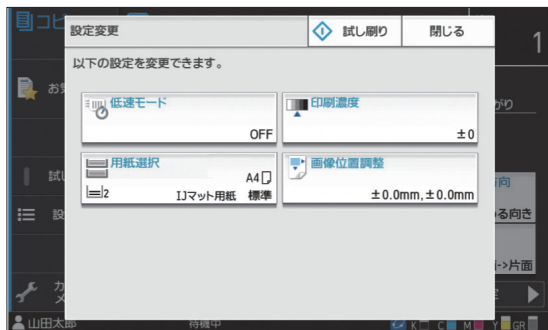
3 [OK]をタッチする

コピーが中止されます。

4 [閉じる]をタッチする

コピーの途中で設定を変更する

- 1 [ストップ]キーを押す
[一時停止中]画面が表示されます。
- 2 [設定変更]をタッチする
[設定変更]画面が表示されます。



- 3 設定を変更する
以下の設定を変更できます。
 - 低速モード(p.80「低速モード」)
 - 印刷濃度(p.67「印刷濃度」)
 - 用紙選択(p.63「用紙選択」)
 - 画像位置調整(p.74「画像位置調整」)



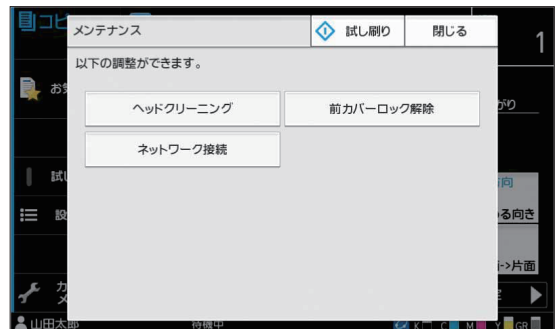
- [試し刷り]をタッチすると、[ストップ]キーを押したときのページだけを1枚コピーします。

- 4 [閉じる]をタッチする
- 5 [続行]をタッチする
設定を変更したジョブのコピーが開始されます。

コピーの途中でメンテナンスを行う

- 1 [ストップ]キーを押す
[一時停止中]画面が表示されます。

- 2 [メンテナンス]をタッチする
[メンテナンス]画面が表示されます。



- 3 必要な調整を行う
以下の調整ができます。

- ヘッドクリーニング
- 前カバーロック解除
- ネットワーク接続
- 排紙フェンス調整



- [ネットワーク接続]をタッチすると[ネットワーク接続]画面が表示されます。
[OFF]に設定すると、パソコンなどのネットワーク機器からのジョブを受信しなくなります。他のジョブに割り込まれずに本機を使用したい場合に便利です。
- [ヘッドクリーニング]と[前カバーロック解除]については、「付録」の「メンテナンス」(p.242)を参照してください。
- [試し刷り]をタッチすると、[ストップ]キーを押したときのページだけを1枚コピーします。
- オプションのオートフェンス排紙台または大容量排紙ユニットをお使いの場合は、[排紙フェンス調整]で排紙フェンスの位置を調整できます。
詳しくは、「付録」の「メンテナンス」(p.242)を参照してください。

- 4 [閉じる]をタッチする
- 5 [続行]をタッチする
調整を行ったジョブのコピーが開始されます。

設定項目一覧

コピーモードでの設定項目を、以下に示します。



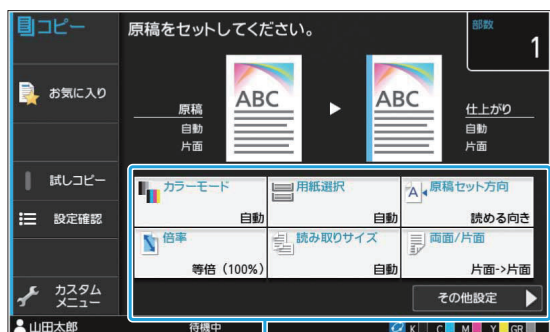
- オプションのオフセットステーブルトレイ、排紙台またはマルチフィニッシャーを接続した場合にだけ表示される項目もあります。その場合、接続されたオプションによって表示や機能が異なることがあります。

設定項目	説明	参照ページ
カラーモード	コピーする色を選択します。	p.63
倍率	拡大コピー、縮小コピーをします。	p.63
用紙選択	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p.63
読み取りサイズ	原稿の読み取りサイズを設定します。	p.65
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。	p.66
両面 / 片面	読み取る面とコピーする面を設定します。	p.66
ソート	複数部数をコピーするときのプリント方法を設定します。	p.66
読み取り濃度	原稿を読み取る濃度を調整します。	p.66
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.67
AF連続読み込み	原稿の枚数が多く、数回に分けてセットした場合でも、一つのジョブとしてコピーします。	p.67
原稿サイズ混在	原稿に複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.67
ブック原稿	本などの中央(とじ部分)にできる影を消去します。	p.68
ページ分割	本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。	p.68
ページ集約	連続したページを1枚の用紙に割り付けます。	p.70
連写	1枚の用紙に同じ原稿を複数割り付ける設定をします。	p.70
小冊子	小冊子にするための面付けを設定します。オプションのマルチフィニッシャーM接続時は、二つ折りにして中とじすることもできます。	p.70
スタンプ	ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します。	p.71
ページ罫線	用紙の周囲に枠線を追加して印字します。	p.72
画像品質	原稿を読み取る際の解像度を設定します。	p.73
原稿種類	適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。	p.73
ガンマ補正	原稿を読み取る際の色バランス(CMYK)を調整します。	p.73
画像詳細設定	原稿に適した画像処理を設定します。	p.74
地色除去	文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。	p.74
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p.74
オーバーレイ	ボックスに保存した画像を原稿に重ねてコピーします。	p.75
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。	p.76
表紙付け	印刷物の前後に、表紙、裏表紙をつけるときに設定します。	p.78
仕分け	合紙の設定をします。オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャー接続時は、オフセット排紙も設定できます。	p.79
とじしろ	とじしろを空けてプリントするかどうかを設定します。 とじ位置ととじしろ幅の値が設定できます。	p.79

1章 コピー

設定項目	説明	参照 ページ
ステーブル/パンチ	ステーブルの位置を設定します。	
	オプションのオフセットステーブルトレイ接続時	p.184
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.216
	パンチの位置を設定します。 (パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャー接続時)	p.216
紙折り	用紙の折り方を設定します。 (オプションのマルチフィニッシャーM、またはマルチフィニッシャーS に紙折りユニット接続時)	p.217
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.80
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
排紙面	排紙先のトレイに対して、フェイスアップで排紙するか、フェイスダウンで排紙するかを設定します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	
	オプションのオートフェンス排紙台接続時	p.196
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
連続給紙	指定したトレイの用紙がなくなっても、用紙サイズ、用紙種類が同じ別のトレイから自動的に給紙します。	p.81
自動画像回転	原稿と用紙の向きが一致しない場合、自動的に画像を90度回転します。	p.81
スキャンジョブ結合	異なる設定でスキャンした原稿を1つのジョブにまとめてコピーします。	p.81
割り込みコピー	プリント中の作業を一時停止し、別の原稿をコピーできます。	p.81
お気に入り	よく使う設定内容呼び出します。	p.83
追加コピー	直前にコピーした原稿を、再度読み取ることなくコピーします。	p.83
試しコピー	部数の多いコピーをするときに、仕上がりを確認するために、1部だけコピーして停止します。	p.83
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.84
カスタムメニュー	お気に入りや初期値の登録と、設定ボタンの並べ替えをします。	p.84

コピーの各種設定



設定ボタン

カラーモード

コピーする色を選択します。

【自動】

原稿の色を自動的に判断し、カラー(シアン/マゼンタ/イエロー/グレイ/ブラック)または白黒でコピーします。

【カラー】

5色(シアン/マゼンタ/イエロー/グレイ/ブラック)のデータに変換してコピーします。

【白黒】

原稿色に関係なく、ブラック1色でコピーします。

【単色シアン】

原稿色に関係なく、シアン1色でコピーします。

【単色マゼンタ】

原稿色に関係なく、マゼンタ1色でコピーします。

1 【カラーモード】をタッチする

【カラーモード】画面が表示されます。

2 カラーモードを選択する

3 【OK】をタッチする

倍率

指定した倍率でコピーします。

【等倍(100%)】

等倍でコピーします。

【自動】

原稿サイズと用紙サイズから、倍率が自動的に設定されます。(p.63「用紙選択」)

【縮小】

定形サイズ of 原稿を、他の定形サイズ of 用紙に縮小してコピーします。

【拡大】

定形サイズ of 原稿を、他の定形サイズ of 用紙に拡大してコピーします。

数値入力

任意の倍率で拡大または縮小してコピーします。

1 【倍率】をタッチする

【倍率】画面が表示されます。

2 倍率を設定する

任意の倍率を設定したい場合は、[▼][▲]をタッチして設定します。テンキーでも入力できます。

3 【OK】をタッチする

用紙選択

用紙トレイを選択します。

トレイの設定変更(用紙サイズ・用紙種類・重送検知・自動選択)も、ここから行います。

【自動】

自動選択対象になっている用紙トレイから、自動的に選択されます。

用紙トレイ選択

原稿サイズと異なるサイズにコピーする場合や、[自動選択]を[ON]に設定していないトレイを使用する場合に選択します。

【用紙トレイ設定】

用紙トレイの設定を変更します。

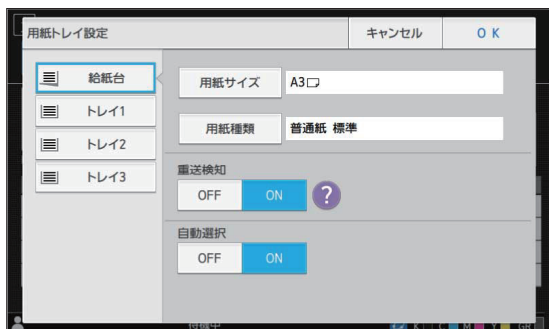
- 1 **【用紙選択】をタッチする**
[用紙選択]画面が表示されます。
- 2 **【自動】または用紙トレイを選択する**
- 3 **【OK】をタッチする**



・「原稿サイズ混在」(p.67)を設定すると、[用紙選択]は[自動]になります。

用紙トレイの設定を変更する

【用紙トレイ設定】をタッチすると、用紙トレイの設定を変更できます。トレイにセットする用紙を変更するときは、必ず設定を変更してください。



用紙トレイ選択

設定を変更する用紙トレイを選択します。

【用紙サイズ】

用紙サイズを選択します。



・オプションの増設トレイの場合、用紙サイズは選択できません。

【用紙種類】

用紙種類や用紙の厚さを選択します。

【重送検知】

用紙が重なったまま送られる「重送」を検知するかどうかを設定します。通常は[ON]にします。光の透過性から検知するため、裏面がプリント済みの用紙や地色の濃い用紙、封筒にプリントするときは、[OFF]に設定してください。

【自動選択】

[ON]に設定すると、自動選択の対象になります。

- 1 **【用紙選択】画面で【用紙トレイ設定】をタッチする**
[用紙トレイ設定]画面が表示されます。
- 2 **設定変更する用紙トレイを選択する**
- 3 **【用紙サイズ】をタッチする**
[用紙サイズ]画面が表示されます。
- 4 **用紙サイズを設定して【OK】をタッチする**
- 5 **【用紙種類】をタッチする**
[用紙種類]画面が表示されます。
- 6 **用紙種類を設定して【OK】をタッチする**
- 7 **【重送検知】を設定する**
- 8 **【自動選択】を設定する**
- 9 **【OK】をタッチする**



・特殊な用紙(高品質紙、色紙、厚紙、レターヘッドなど)をセットするトレイは、自動選択の対象外に設定することをおすすめします。

■ 用紙サイズについて

【自動】

定形サイズの用紙を自動で検知します。

【定形】

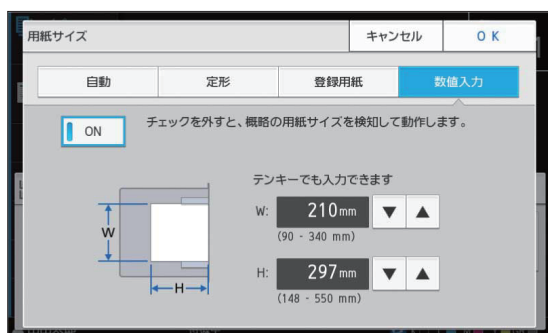
定形サイズを指定します。

【登録用紙】

あらかじめ管理者が登録した不定形用紙サイズを選択します。

【数値入力】

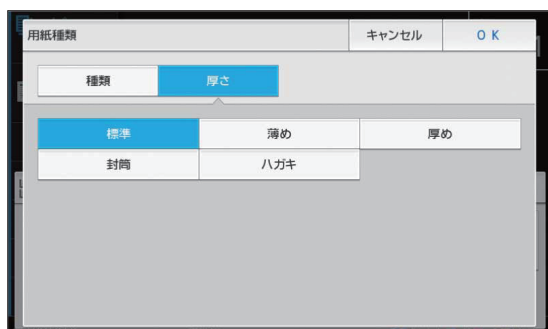
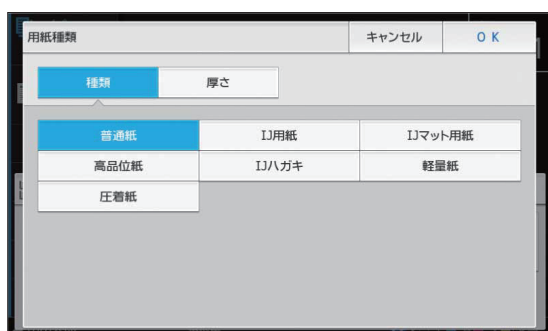
未登録の不定形用紙サイズを設定します。



- ・[ON]を選択しない場合、用紙の幅は各用紙トレイのフェンス幅、長さは各トレイの最大値が設定されます。

■ 用紙種類について

[種類] / [厚さ]



- ・用紙種類の設定で[種類]を[軽量紙]に設定した場合、[厚さ]は選択できません。
- ・圧着紙はコピーでは使えません。
- ・給紙台にセットする用紙の厚さを[封筒]に設定した場合、給紙台からの両面プリントはできません。
- ・厚さの異なる用紙に載せ替えた場合は、給紙圧調節レバーの設定も確認してください。詳しくは、「給紙台に用紙を追加する／載せ替える」(p.50)を参照してください。

- ・以下のいずれかの操作を給紙台で行った場合、[厚さ]が自動で[封筒]に変更されます。
 - [用紙サイズ]の[定形]で封筒サイズを選択
 - [用紙サイズ]が[自動]の状態、サイズ検知可能な封筒を給紙台にセット
- そのあと以下のいずれかの操作を行った場合は、[厚さ]は元の設定に戻ります。
 - [用紙サイズ]の[定形]で封筒以外の用紙サイズを選択
 - [用紙サイズ]が[自動]の状態、サイズ検知可能な封筒以外の用紙を給紙台にセット
- ・本機では、選択された用紙種類によって、カラープロファイルを選択しています。(用紙種類を変更すると、プリントの仕上がりが変わります。)印刷物の仕上がりがイメージと異なる場合は、用紙種類を変更してください。
- ・特殊な用紙を使用する場合は、[厚さ]の[U1]～[U5]に設定を追加できます。詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。

読み取りサイズ

原稿の読み取りサイズを設定します。

【自動】

原稿を自動で検知します。

【定形】

原稿と異なる定形サイズを使用するときに選択します。

【登録用紙】

あらかじめ管理者が登録した不定形用紙サイズを選択します。

【数値入力】

未登録の不定形用紙サイズを設定します。

1 [読み取りサイズ]をタッチする

[読み取りサイズ]画面が表示されます。

2 原稿の読み取りサイズを設定する

未登録の不定形用紙サイズを設定する場合は、[数値入力]画面で[▼][▲]をタッチして設定します。テンキーでも入力できます。

3 [OK]をタッチする

原稿セット方向

【読める向き】

原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって奥側にセットする場合に選択します。

【左向き】

原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって左側（原稿の文字が横向き）にセットする場合に選択します。

1 【原稿セット方向】をタッチする

【原稿セット方向】画面が表示されます。

2 原稿セット方向を選択する

3 【OK】をタッチする

両面/片面

原稿の読み取り面とコピー面との組み合わせを指定します。

【片面->片面】

原稿の片面を読み取り、片面コピーします。

【片面->両面】

原稿の片面を読み取り、両面コピーします。

【両面->両面】

原稿の両面を読み取り、両面コピーします。

【両面->片面】

原稿の両面を読み取り、片面コピーします。

【ページめくり方向】

左右開きまたは上下開きに設定します。

【原稿セット方向】(p.66「原稿セット方向」)

片面原稿から両面コピーをする場合を例に説明します。

1 【両面/片面】をタッチする

【両面/片面】画面が表示されます。

- ・【確認】画面が表示された場合は、原稿をセットする方向を【読める向き】または【左向き】に設定します。

2 【片面->両面】をタッチする

3 【ページめくり方向】を設定する

4 【OK】をタッチする

ソート

複数部数をコピーするときの排紙方法を設定します。

【自動】

原稿をオートフィーダーにセットした場合は部ごとに、原稿台ガラスにセットした場合はページごとにソートします。

【部ごと】

部ごとにコピーします。

【ページごと】

ページごとにコピーします。

1 【ソート】をタッチする

【ソート】画面が表示されます。

2 ソートの種類を選択する

3 【OK】をタッチする

読み取り濃度

原稿を読み取るときに濃度を調整できます。

[-2] / [-1] / [±0] / [+1] / [+2]

1 【読み取り濃度】をタッチする

【読み取り濃度】画面が表示されます。

2 読み取り濃度を選択する

3 【OK】をタッチする



・背景に色の付いた文字原稿や色紙など、コピーすると文字が読みにくい場合には、【地色除去】をお使いください。背景色（地色）だけを薄くできます。(p.74「地色除去」)

印刷濃度

印刷時のインク量を調整できます。

[-3] / [-2] / [-1] / [±0] / [+1] / [+2] / [+3]

1 **【印刷濃度】をタッチする**
[印刷濃度]画面が表示されます。

2 **印刷濃度を選択する**

3 **【OK】をタッチする**

AF連続読み込み

原稿の枚数が多く、オートフィーダーに数回に分けてセットする必要がある場合でも、全原稿を一つのジョブとして、コピーできます。片面原稿1000枚、両面原稿500枚までを1ジョブとしてコピーできます。



- オートフィーダーに、一度にセットできる最大枚数は、200枚(80g/m²)です。
- 原稿は、すべてオートフィーダーを利用して読み取り、原稿台ガラスは使用しないでください。
- [AF連続読み込み]と[ブック原稿]、[スキャンジョブ結合]は併用できません。(p.68「ブック原稿」、p.81「スキャンジョブ結合」)

[OFF] / [ON]

1 **【AF連続読み込み】をタッチする**
[AF連続読み込み]画面が表示されます。

2 **【ON】をタッチする**

3 **【OK】をタッチする**

4 **【スタート】キーを押す**

[コピー中]画面が表示され、原稿の読み取りが始まります。進捗状況が画面に表示されます。オートフィーダーにセットした原稿がなくなると、原稿追加確認画面が表示されます。

5 **続きの原稿をオートフィーダーにセットして、【読み取り】をタッチする**

原稿の読み取りが始まります。

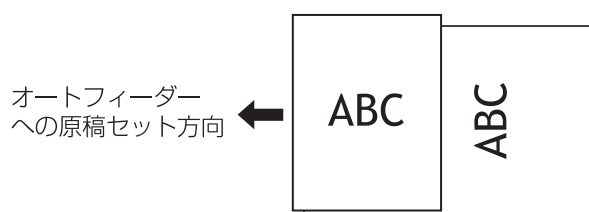
続きの原稿がなくなるまで手順を繰り返します。

6 **【読み取り終了】をタッチする**
ジョブのコピーが開始されます。

原稿サイズ混在

2種類のサイズの原稿をオートフィーダーにセットする場合に設定します。

ページの一辺が同じ長さの原稿(A4横とA3/B5横とB4/Letter-RとLedger)をセットしてください。



- [原稿サイズ混在]と[読み取りサイズ]、[ブック原稿]、[ページ分割]、[ページ集約]、[連写]、[小冊子]、[ページ罫線]、[オーバーレイ]、[表紙付け]は併用できません。(p.65「読み取りサイズ」、p.68「ブック原稿」、p.68「ページ分割」、p.70「ページ集約」、p.70「連写」、p.70「小冊子」、p.72「ページ罫線」、p.75「オーバーレイ」、p.78「表紙付け」)
- 原稿台ガラスを使用する場合には、原稿サイズの組み合わせに制限はありません。
- 原稿台ガラスを使って、異なるサイズの原稿を[部ごと]にコピーするときは、[原稿サイズ混在]を設定してください。
- [原稿サイズ混在]と[自動画像回転]が[ON]のときに、[ステープル]、[パンチ]または[とじしろ]を[ON]にした場合、[自動画像回転]を[OFF]に設定するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[自動画像回転]は、[OK]をタッチすると[OFF]に、[キャンセル]をタッチすると[ON]のままに設定されます。

[OFF] / [ON]

1 **【用紙選択】で【自動】を選択する**

詳しくは、「用紙選択」(p.63)を参照してください。

2 **【原稿サイズ混在】をタッチする**
[原稿サイズ混在]画面が表示されます。

3 **【ON】をタッチする**

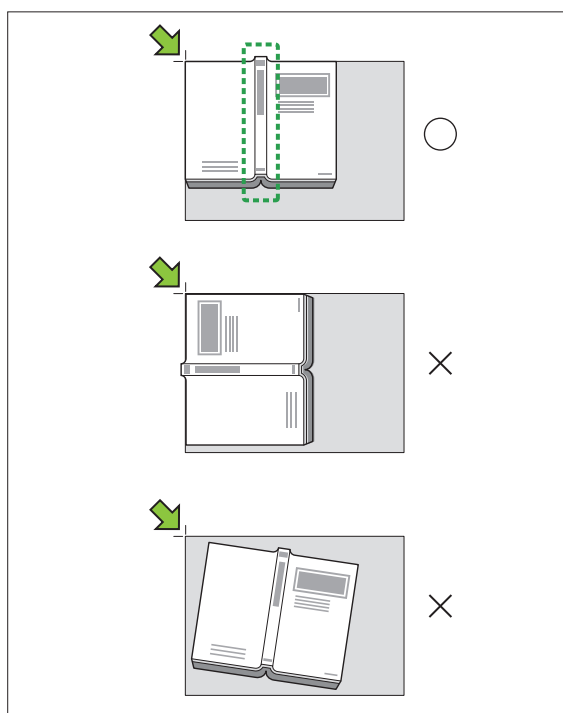
4 [OK]をタッチする

ブック原稿

本などを読み取る場合に、中央(とじ部分)にできる影を消去します。



- 本を原稿台ガラスにセットするときは、ガラス面左奥の矢印に合わせて、[読める向き]にセットしてください。本を縦にセットしたり、斜めにセットしたりすると、この機能を使用できなくなります。
- [ブック原稿]と[AF連続読み込み]、[原稿サイズ混在]は併用できません。(p.67「AF連続読み込み」、p.67「原稿サイズ混在」)



[OFF] / [10mm] / [20mm] / [30mm] / [40mm] / [50mm]
[ページ分割] (p.68「ページ分割」)

1 [ブック原稿]をタッチする

[ブック原稿]画面が表示されます。

2 消去する幅を選択する

3 [ページ分割]を設定する

詳しくは、「ページ分割」(p.68)を参照してください。

4 [OK]をタッチする

ページ分割

本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。

ページ分割ができる原稿サイズは、以下のとおりです。

A3 / A4 / A5 / B4 / B5 / Ledger / Letter



- 本を原稿台ガラスにセットするときは、ガラス面左奥の矢印に合わせて、[読める向き]にセットしてください。本を縦にセットしたり、斜めにセットしたりすると、この機能を使用できなくなります。
- [ページ分割]と[原稿サイズ混在]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」)

[ページ順]

[OFF] : ページ分割しません。

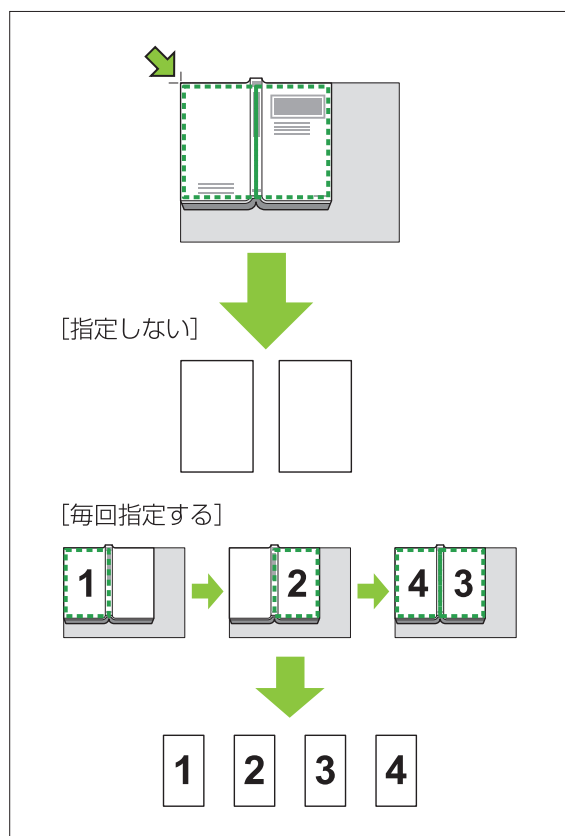
[左から右へ] : 左開きの本の場合に設定します。

[右から左へ] : 右開きの本の場合に設定します。

[分割指定]

[指定しない] : 見開きページの両側を左右2ページに分割します。

[毎回指定する] : 見開きページの読み取りたい範囲を指定できます。

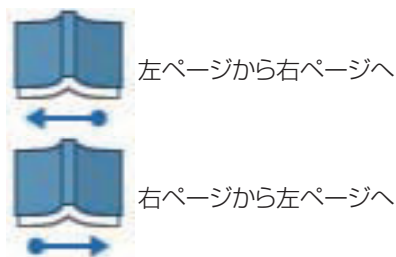


分割指定で[毎回指定する]を選択した場合を例に説明します。

1 [ページ分割]をタッチする

[ページ分割]画面が表示されます。

2 ページ順を設定する



3 [分割指定]を[毎回指定する]に設定する

4 [OK]をタッチする

5 [スタート]キーを押す

読み取り範囲を確認する画面が表示されます。

6 [左側のみ]、[両側]、[右側のみ]の中からどれか1つを選択する

7 [読み取り]をタッチする

原稿の読み取りが始まります。

続きの原稿がなくなるまで手順6～7を繰り返します。

8 [読み取り終了]をタッチする

ジョブのコピーが開始されます。

ページ集約

1枚の用紙に連続したページを割り付けます。



- [ページ集約]と[原稿サイズ混在]、[連写]、[小冊子]、[オーバーレイ]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.70「連写」、p.70「小冊子」、p.75「オーバーレイ」)

[集約枚数]

[OFF]／2面／4面／8面

[レイアウト]

ページを割り付ける順番を設定します。

縦長原稿の場合の例：

集約枚数	レイアウト
2面	
4面	
8面	

[原稿セット方向] (p.66「原稿セット方向」)

1 [ページ集約]をタッチする

[ページ集約]画面が表示されます。

- [確認]画面が表示された場合は、原稿をセットする方向を[読める向き]または[左向き]に設定します。

2 集約枚数を選択する

3 レイアウトを選択する

4 [OK]をタッチする

連写

1枚の用紙に同じ原稿を割り付けます。



- [連写]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[小冊子]、[オーバーレイ]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.70「ページ集約」、p.70「小冊子」、p.75「オーバーレイ」)

[OFF]／[2面]／[4面]／[8面]

[原稿セット方向] (p.66「原稿セット方向」)

1 [連写]をタッチする

[連写]画面が表示されます。

- [確認]画面が表示された場合は、原稿をセットする方向を[読める向き]または[左向き]に設定します。

2 面数を選択する

3 [OK]をタッチする

小冊子

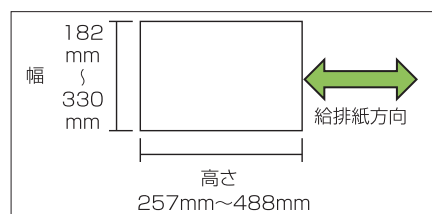
連続するページを面付けして両面印刷します。



- [小冊子]と[倍率]、[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[ページ野線]、[オーバーレイ]、[とじしろ]は併用できません。(p.63「倍率」、p.67「原稿サイズ混在」、p.70「ページ集約」、p.70「連写」、p.72「ページ野線」、p.75「オーバーレイ」、p.79「とじしろ」)

<小冊子が作成できる用紙>

A3／B4／A4／B5／Ledger／Legal／Letter／Foolscap／不定形サイズ



- 幅が高さより長い用紙は使用できません。

[ページ配置]

面付けの順序を設定します。

[OFF]を設定すると、面付けしません。

1 [小冊子]をタッチする

[小冊子]画面が表示されます。

2 ページ配置を設定する

3 [OK]をタッチする



- オプションのマルチフィニッシャーMをお使いの場合は、[製本]と[分冊処理]、[中とししろ]、[自動縮小]を設定できます。詳しくは、「オプション」の「製本(小冊子)」(p.215)、「分冊処理(小冊子)」(p.215)を参照してください。

スタンプ

ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します。



- 合紙用紙、表紙付けの用紙には印字されません。(p.79「仕分け」、p.78「表紙付け」)
- [ページ集約]または[連写]を併用した場合、原稿のページではなく、コピー用紙のページごとに印字します。ただし、[小冊子]だけは、製本後の各ページに印字します。
- 倍率を設定しても、スタンプの大きさは変更されません。
- [スタンプ]と[ページ罫線]は併用できません。(p.72「ページ罫線」)

[ページ]／[日付]／[テキスト]

設定するスタンプの種類を選択します。

[印字位置]

スタンプの位置を設定します。

[OFF]を選択すると、スタンプを印字しません。

[文字サイズ]

印字する文字サイズを設定します。

[印字領域の透過]

[OFF]：印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。

[ON]：印字領域と画像が重なった場合に、画像の上に印字します。

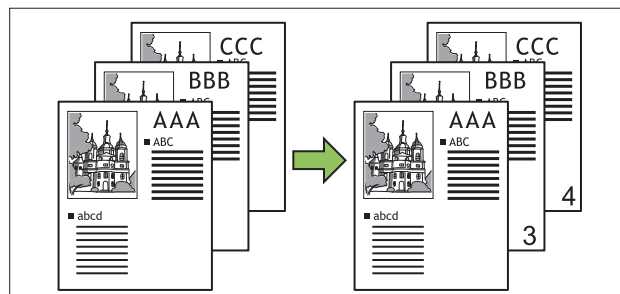
[開始番号]

ページスタンプの最初の番号を設定します。

[印字開始ページ]

ページスタンプの印字をどのページから開始するかを設定します。

例：印字開始ページを「2 ページ」、開始番号を「3」に設定したとき



[適用ページ]

日付スタンプやテキストスタンプを印字するページを設定します。

[全ページ]：全ページに印字を適用します。

[先頭のみ]：最初の1ページだけ印字を適用します。

[印字する日付]

日付スタンプとして使用する日付を設定します。

[今日]：今日の日付(本機に設定されている日付)を印字します。

[日付指定]：任意の日付を印字します。

[印字するテキスト]

テキストスタンプとして使用するテキストを設定します。

ページスタンプを設定する

1 [スタンプ]をタッチする

[スタンプ]画面が表示されます。

2 [ページ]をタッチする

3 印字位置を設定する



- 同じ位置に異なる種類のスタンプを印字することはできません。印字位置を設定する矢印がグレースアウトして選択できないときは、他の印字位置を選択してください。

4 文字サイズを設定する

[▼][▲]をタッチして設定します。[文字サイズ]のテキストボックスをタッチするとテンキーでも入力できます。

5 印字領域の透過を設定する

6 開始番号を設定する

7 印字開始ページを設定する

8 [OK]をタッチする

日付スタンプを設定する

1 [スタンプ]をタッチする

[スタンプ]画面が表示されます。

2 [日付]をタッチする

3 印字位置を指定する



・同じ位置に異なる種類のスタンプを印字することはできません。印字位置を設定する矢印がグレースアウトして選択できないときは、他の印字位置を選択してください。

4 文字サイズを設定する

[▼][▲]をタッチして設定します。[文字サイズ]のテキストボックスをタッチするとテンキーでも入力できます。

5 印字領域の透過を設定する

6 適用ページを設定する

7 印字する日付を設定する

任意の日付を指定する場合は、[日付指定]をタッチし、画面に表示される入力画面をタッチして設定します。テンキーでも入力できます。

8 [OK]をタッチする

テキストスタンプを設定する

1 [スタンプ]をタッチする

[スタンプ]画面が表示されます。

2 [テキスト]をタッチする



・書体は変更できません。

3 印字位置を指定する



・同じ位置に異なる種類のスタンプを印字することはできません。印字位置を設定する矢印がグレースアウトして選択できないときは、他の印字位置を選択してください。

4 文字サイズを設定する

[▼][▲]をタッチして設定します。[文字サイズ]のテキストボックスをタッチするとテンキーでも入力できます。

5 印字領域の透過を設定する

6 適用ページを設定する

7 印字するテキストを設定する

8 [OK]をタッチする

ページ罫線

用紙の周囲に罫線を追加して印字します。



- ・[ページ集約]または[連写]と併用した場合でも、原稿のページごとではなくコピー用紙の周囲に罫線を印字します。
- ・罫線は原稿データの上に印字されます。罫線印字部分に画像が重なると、画像の一部がプリントされないことがあります。
- ・[カラーモード]で[白黒][単色シアン][単色マゼンタ]が選択されている場合、選択できない色はグレースアウトされます。(p.63「カラーモード」)
- ・白黒原稿に罫線を追加して印字することで、掲示物などを目立たせることができます。

- ・[ページ罫線]と[原稿サイズ混在]、[小冊子]、[スタンプ]、[表紙付け]、[とじしろ]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.70「小冊子」、p.71「スタンプ」、p.78「表紙付け」、p.79「とじしろ」)

[OFF] / [赤] / [青] / [緑] / [黄色] / [黒]
枠線幅 (数値入力)

1 [ページ罫線]をタッチする

[ページ罫線]画面が表示されます。

2 枠線の色を選択する

3 [▼] [▲]をタッチして、枠線の幅を設定する

テンキーでも入力できます。

4 [OK]をタッチする

画像品質

原稿を読み取るときの解像度を設定します。

[標準 (300×300 dpi)]

文字を中心とした原稿のときに選択します。

[高精細 (300×600 dpi)]

写真などの原稿のときに選択します。[標準 (300×300 dpi)]よりプリント速度は遅くなりますが、より高い解像度で読み取ります。

1 [画像品質]をタッチする

[画像品質]画面が表示されます。

2 解像度を選択する

3 [OK]をタッチする



- ・[カラーモード]で[白黒]が選択されている場合、[画像品質]はグレーアウトして選択できません。解像度は[標準 (600×600 dpi)]に設定されます。
- ・[標準 (300×300 dpi)]と[高精細 (300×600 dpi)]のどちらを選択しても、ブラックの解像度は常に600×600 dpiに設定されます。

原稿種類

適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。

[文字写真]

文字と写真が混在している原稿の場合に選択します。

[文字]

書類やイラストなどの原稿の場合に選択します。

[写真]

写真などの原稿の場合に選択します。

[地図・鉛筆]

地図などの細かい線や淡い色が多く使用されている原稿、または鉛筆書きの原稿の場合に選択します。

[写真の網点処理]

[自動]：自動的にドットの密度で階調を表現します。密度が高ければ濃くなり、低ければ薄くなります。

[70線]：70線の網点で再現します。

[100線]：100線の網点で再現します。

1 [原稿種類]をタッチする

[原稿種類]画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

3 [文字写真]、[写真]、[地図・鉛筆]を選択した場合は、[写真の網点処理]を設定する

4 [OK]をタッチする

ガンマ補正

読み取ったデータの色バランス(CMYK)を補正します。



- ・[カラーモード]で[白黒][単色シアン][単色マゼンタ]が選択されている場合、ガンマ補正ができるのはKのみです。(p.63「カラーモード」)

[C]～[R]

[1] / [2] / [3] / [4] / [5] / [6] / [7]

数値が小さいほどC(シアン)が強調され、数値が大きいほどR(赤)が強調されます。

[M]～[G]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が小さいほどM(マゼンタ)が強調され、数値が大きいほどG(緑)が強調されます。

[Y]～[B]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が小さいほどY(イエロー)が強調され、数値が大きいほどB(青)が強調されます。

[K]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が大きいほどK(ブラック)が強調されます。

1 [ガンマ補正]をタッチする

[ガンマ補正]画面が表示されます。

2 それぞれの色のバランスを選択する

[調整後の画像イメージ]が、色バランスの調整された画像に変わります。

3 [OK]をタッチする

画像詳細設定

スキャナーで読み取る原稿に対して、適切な画像処理を設定します。

[自動]

[カラーモード]と[原稿種類]の設定から、自動的に値が設定されます。(p.63「カラーモード」、p.73「原稿種類」)

[文字写真処理基準]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が大きいほど輪郭のあいまいな文字も文字として認識します。

[エッジ強調]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が大きいほど、文字として認識した部分のエッジを強調します。

[モアレ除去]

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が大きいほど、写真として認識した部分のモアレを緩和します。

1 [画像詳細設定]をタッチする

[画像詳細設定]画面が表示されます。

2 画像詳細設定を選択する

3 [OK]をタッチする

地色除去

背景に色の付いた文字原稿や色紙など、コピーすると文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。

[1]／[2]／[3]／[4]／[5]／[6]／[7]

数値が大きいほど背景色の色を薄くします。

[自動]

自動的に背景色の濃度が設定されます。

1 [地色除去]をタッチする

[地色除去]画面が表示されます。

2 地色除去の設定を選択する

3 [OK]をタッチする

画像位置調整

画像をプリントする位置を調整します。

[オモテ面]／[ウラ面]

画像位置を調整する面を選択します。

[原点に戻す]

選択されている面(表面または裏面)の調整した数値を0mmに戻します。

[▲]／[▼]／[◀]／[▶]

上下左右方向に画像位置を移動させます。

1 [画像位置調整]をタッチする

[画像位置調整]画面が表示されます。

2 両面プリントの場合、画像位置を調整する面([オモテ面]または[ウラ面])を選択する

3 [▲][▼][◀][▶]をタッチして、画像位置を調整する

4 [OK]をタッチする



- 上下左右方向に±20mmまで、0.5mm単位で移動できます。
- 両面プリントの場合は、表面と裏面を別々に調整できます。

オーバーレイ

ボックスに保存した画像を原稿に重ねてコピーします。



- [オーバーレイ]と以下の機能は併用できません。
 - 倍率(p.63)
 - 原稿サイズ混在(p.67)
 - ページ集約(p.70)
 - 連写(p.70)
 - 小冊子(p.70)
 - プログラム印刷(p.76)
 - 表紙付け(p.78)
 - 自動画像回転(p.81)
 - 処理速度優先(画像品質)(p.123)
- オプションの排紙台またはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、排紙先を[自動]または[フェイスダウン排紙トレイ]に設定してください。

[OFF] / [ON]

[フォルダー名]

[画像選択]で指定した画像が保存されているフォルダー名を表示します。

[文書名]

[画像選択]で指定した画像のファイル名を表示します。

[画像選択]

重ねたい画像を指定します。

[対象ページ]

重ねたい画像ファイルのどのページを対象とするかを設定します。

[繰り返し]

画像ファイルの対象ページを、繰り返して使用するかどうかを設定します。

[優先レイヤー]

原稿とオーバーレイ画像のどちらを上重ねるかを設定します。

プレビューエリア

オーバーレイ画像の対象ページ、画像の繰り返し、優先レイヤーの設定状況を確認できます。

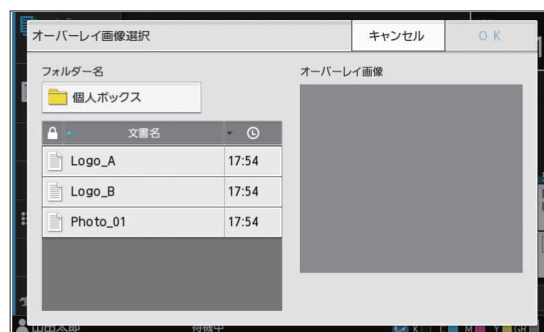
1 [オーバーレイ]をタッチする

[オーバーレイ]画面が表示されます。

2 [ON]をタッチする

3 [画像選択]をタッチする

[オーバーレイ画像選択]画面が表示されます。



フォルダーを変更するには、[フォルダー名]テキストボックスをタッチします。[フォルダー選択]画面でフォルダーを選択して、[OK]をタッチします。オーバーレイ画像として使うファイルを文書のリストで選択して、[OK]をタッチします。[オーバーレイ]画面に戻ります。



- リストで文書を選択すると、[オーバーレイ画像]にプレビューが表示されます。[◀] [▶]をタッチすると文書を切り替えられます。
- [詳細表示]をタッチすると、[ジョブ詳細表示]画面が表示され、文書の詳細が確認できます。

4 対象ページを設定する

オーバーレイ画像として使うファイルに複数のページがある場合、どのページを対象とするかを選択します。
[全ページ]：すべてのページをオーバーレイ画像として使います。1ページ目から順番に原稿に重ねます。
[1ページ目のみ]：1ページ目の画像だけをオーバーレイ画像として使います。



- 1ページ目以外の途中のページを指定することはできません。

5 繰り返しを設定する

[ON]：オーバーレイ画像を繰り返し使用して原稿に重ねます。

[OFF]：繰り返ししません。指定したファイルの指定したページの画像を順に一度だけ使用して原稿に重ねます。原稿の残りのページに対しては画像を重ねません。

6 優先レイヤーを設定する

[原稿]：原稿をオーバーレイ画像の上に重ねます。

[オーバーレイ画像]：オーバーレイ画像を原稿の上に重ねます。

7 [OK]をタッチする



- オーバーレイ画像(ボックスに保存した画像)は、原稿と同じサイズのオーバーレイ画像をお使いください。拡大／縮小して重ねることはできません。
- オーバーレイ画像は、片面印刷の設定をした状態でボックスに保存してください。
- 原稿の解像度とオーバーレイ画像の解像度が異なる場合は、プリントの仕上がりが粗くなることがあります。原稿とオーバーレイ画像の[画像品質]の設定を揃えてコピーしてください。
- オーバーレイ画像がカラーの画像でも、コピーが白黒に設定されている場合は、白黒でコピーされます。
- 原稿とオーバーレイ画像とで用紙のサイズや向きが異なる場合は、オーバーレイ機能は使えません。
- ボックスに保存した文書は、設定内容とともにデータ化されています。プリントするときは、ボックス保存時と同じ用紙種類でプリントしてください。用紙種類が異なると、プリントの仕上がりが異なります。
- 原稿とオーバーレイ画像とで色が同じ部分を重ねると、色が同化して画像の判別ができなくなることがあります。

プログラム印刷

グループ(クラスや部署)ごとに異なる部数を配布したい場合に、一度のコピーで必要部数を手早くプリントできます。

たとえば学校で1年生の保護者にお知らせを配布する場合、クラスごとに部数を分けてプリントできます。



- グループごとに部数、組数、ソート、合紙などを、事前にプログラムに登録する必要があります。

- [プログラム印刷]と[ソート]、[オーバーレイ]、[仕分け]は併用できません。(p.66「ソート」、p.75「オーバーレイ」、p.79「仕分け」)

■ 部数と組数の入力

グループ[01]～[60]

部数と組数の組み合わせを1つのグループとしてプログラムを設定します。

最大で60グループまで設定できます。

【部数】

コピーする部数を設定します。

最大で9999部まで設定できます。

【組数】

[部数]で入力した数を1セットとし、合計何セットコピーするかを設定します。

最大で99組まで設定できます。

<設定の例>

以下のように、各クラスの生徒数ごとに、部数を分けてプリントする場合の設定方法を説明します。

クラス	1-A	1-B	1-C
生徒数	30人	32人	30人
必要部数	30部	32部	30部

クラス単位でグループを分け、それぞれ[部数]と[組数]を設定します。[部数]には生徒数を入力します。設定した部数を1セットだけプリントするため、[組数]には1を入力します。

クラス	操作パネルの設定		
	グループ	部数	組数
1-A	01	30	1
1-B	02	32	1
1-C	03	30	1

また、必要部数が同じグループが複数ある場合は、組数を増やすことでグループを一つにまとめることもできます。例の場合、1-Aと1-Cの必要部数は同じですので、下記のように設定してもクラスごとに部数を分けてプリントできます。

クラス	操作パネルの設定		
	グループ	部数	組数
1-A／1-C	01	30	2
1-B	02	32	1

■ 仕分け設定について

【ソート】

【自動】：原稿をオートフィーダーにセットした場合は部ごとに、原稿台ガラスにセットした場合はページごとにソートします。

【部ごと】：部ごとにコピーします。

【ページごと】に設定すると、ページごとにコピーします。

【合紙】

【OFF】：合紙を挿入しません。

【組ごと】を設定すると、組ごとに合紙を挿入します。

【グループごと】を設定すると、グループごとに合紙を挿入します。

【用紙】

合紙をセットしている用紙トレイを設定します。

【番号印字】

【ON】：番号を印字します。

合紙の設定が【組ごと】の場合は、グループ番号と組番号、【グループごと】の場合は、グループ番号を印字します。

プログラムを登録する

最大12件のプログラムを登録し、必要なときに呼び出すことができます。

1 【プログラム印刷】をタッチする

【プログラム印刷】画面が表示されます。

2 【未登録】をタッチし、【編集】をタッチする

プログラムの編集画面が表示されます。

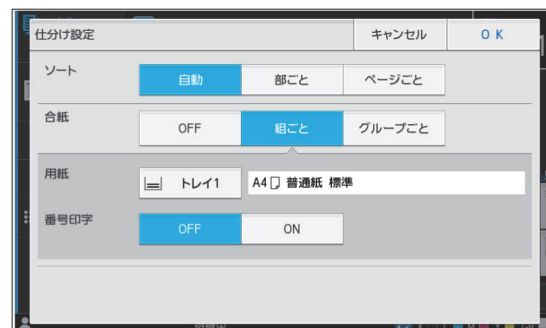
3 テンキーで部数と組数を入力する



4 【仕分け設定】をタッチする

仕分けの設定画面が表示されます。

5 ソート、合紙を設定する



必要に応じて【用紙】、【番号印字】を設定します。



• オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、【オフセット排紙】を設定できます。詳しくは、以下を参照してください。

- オフセットステーブルトレイの場合
(p.183「オフセット排紙」〔プログラム印刷〕)
- 大容量排紙ユニットの場合
(p.202「オフセット排紙」〔プログラム印刷〕)
- マルチフィニッシャーの場合
(p.216「オフセット排紙」〔プログラム印刷〕)

6 【OK】をタッチする

【確認】画面が表示されます。

7 【上書き登録】または【名前を付けて登録】を選択する

名前を付けて保存する場合は、プログラム名を入力して、【OK】をタッチします。

登録が完了します。

【確認】画面で、【閉じる】をタッチします。



• 【登録しない】を選択した場合は、設定した内容が破棄されプログラムの編集画面に戻ります。

8 【OK】をタッチする

プログラムを呼び出す

登録したプログラムを呼び出します。

1 [プログラム印刷]をタッチする

[プログラム印刷]画面が表示されます。

2 呼び出すプログラムを選択する

設定した部数と組数がリスト表示されます。



3 [OK]をタッチする

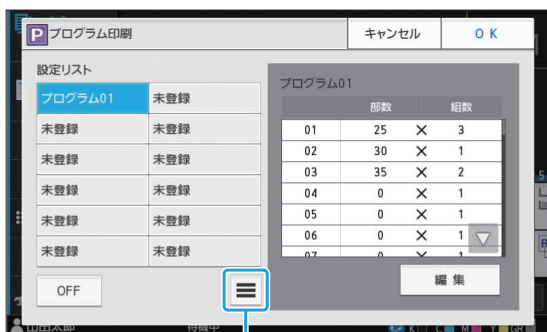
プログラムの内容を変更する

登録したプログラムを変更します。

1 [プログラム印刷]をタッチする

[プログラム印刷]画面が表示されます。

2 プログラムを選択する



サブメニュー

サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・名称変更
- ・削除

画面の表示に従って設定してください。

3 [編集]をタッチする

以降の操作手順については、「プログラムを登録する」(p.77)の手順3～8を参照してください。

表紙付け

印刷済みの用紙や色紙などをトレイにセットし、表紙として印刷物の前後に付けることができます。



- ・コピーする用紙と異なるサイズの出紙は、表紙にできません。
- ・[表紙付け]と[原稿サイズ混在]、[ページ罫線]、[オーバーレイ]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.72「ページ罫線」、p.75「オーバーレイ」)

【とじ位置】

とじ位置を指定します。

【オモテ表紙】

[ON]を設定すると、印刷物の先頭に表紙が追加されます。

【ウラ表紙】

[ON]を設定すると、印刷物の最後に表紙が追加されます。

【用紙トレイ】

表紙用の用紙をセットするトレイを指定します。

1 [表紙付け]をタッチする

[表紙付け]画面が表示されます。

2 とじ位置を選択する

3 表紙を設定する

オモテ表紙とウラ表紙の[OFF] [ON]を選択します。

4 用紙トレイをタッチする

[トレイ指定]画面が表示されます。

5 用紙トレイを選択して[OK]をタッチする

6 [OK]をタッチする

7 表紙の用紙をセットする



- 用紙のセット面が、トレイにより異なります。
[オモテ表紙]
給紙台／オプションの増設トレイ：
1ページ目を上に向けてセットする
用紙トレイ：
1ページ目を下に向けてセットする
[ウラ表紙]
給紙台／オプションの増設トレイ：
1ページ目を下に向けてセットする
用紙トレイ：
1ページ目を上に向けてセットする
詳しくは、「用紙のセット」(p.48)を参照してください。
- セットする用紙に合わせて、[用紙選択]を変更してください。(p.63「用紙選択」)

仕分け

ページごと・部ごとの区切りやジョブの境目に、合紙を挿入します。



- 合紙用紙として特殊な用紙をセットする場合、合紙用のトレイは[自動選択]を[OFF]に設定することをおすすめします。(p.64「用紙トレイの設定を変更する」)
- [仕分け]と[プログラム印刷]は併用できません。(p.76「プログラム印刷」)

【合紙】

[OFF]：合紙を挿入しません。

[ソートの区切りごと]：[ソート]で指定した単位ごとに合紙を挿入します。

[ジョブの後ろ]：印刷するジョブごとに合紙を挿入します。

【用紙】

[合紙]をセットしている用紙トレイを設定します。

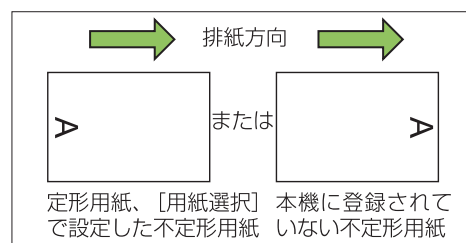
【番号印字】

[OFF]：番号を印字しません。

[1 2 3 ...]：合紙を入れる順に、1、2、3、～と印字されます。

[A B C...]：合紙を入れる順に、A、B、C、～、Z、AA、AB、～と印字されます。(ZZZ まで)

印字位置は、用紙搬送方向後端(5mm程度内側)または先端(5mm程度内側)です。



1 [仕分け]をタッチする

[仕分け]画面が表示されます。

2 合紙の挿入位置を選択する

3 用紙トレイをタッチする

[トレイ指定]画面が表示されます。

4 合紙の用紙トレイを選択して[OK]をタッチする

5 [番号印字]を選択する

6 [OK]をタッチする



- オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、[オフセット排紙]を設定できます。詳しくは、以下を参照してください。
 - オフセットステーブルトレイの場合 (p.183「オフセット排紙」([仕分け]))
 - 大容量排紙ユニットの場合 (p.202「オフセット排紙」([仕分け]))
 - マルチフィニッシャーの場合 (p.216「オフセット排紙」([仕分け]))

とじしろ

とじしろを設定します。



- [とじしろ]と[小冊子]、[ページ野線]は併用できません。(p.70「小冊子」、p.72「ページ野線」)

【とじ位置】

とじ位置を選択します。

とじしろ幅

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

【自動縮小】

【ON】を設定すると、とじしろ幅を設定してもプリントが欠けないようにするため、用紙に収まるように自動的に縮小します。

1 【とじしろ】をタッチする

【とじしろ】画面が表示されます。

2 とじしろを設定する

- ・【とじ位置】を選択します。
- ・とじしろ幅を [▲] [▼] またはテンキーで入力します。
- ・とじしろ幅を設定してもプリントが欠けないようにするには、【自動縮小】を【ON】にしてください。

3 【OK】をタッチする

ステープル/パンチ

オプションのオフセットステープルトレイまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、指定した位置にステープルを設定できます。とじしろの設定もできます。パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャーをお使いの場合は、パンチ穴の設定もできます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ・オフセットステープルトレイの場合 (p.184「ステープル」)
- ・マルチフィニッシャーの場合 (p.216「ステープル/パンチ」)

紙折り

オプションのマルチフィニッシャーをお使いの場合は、用紙の折り方を設定できます。

詳しくは、「オプション」の「紙折り」(p.217)を参照してください。

低速モード

印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。

【OFF】／【ON】

1 【低速モード】をタッチする

【低速モード】画面が表示されます。

2 【ON】をタッチする

3 【OK】をタッチする

排紙先

オプションの排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、印刷物を排出するトレイを選択できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ・排紙台の場合 (p.195「排紙先」)
- ・大容量排紙ユニットの場合 (p.203「排紙先」)
- ・マルチフィニッシャーの場合 (p.219「排紙先」)

排紙面

オプションの排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ・排紙台の場合 (p.195「排紙面」)
- ・大容量排紙ユニットの場合 (p.203「排紙面」)
- ・マルチフィニッシャーの場合 (p.219「排紙面」)

連続排紙

オプションのオートフェンス排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えられます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ・オートフェンス排紙台の場合 (p.196「連続排紙」)

- ・大容量排紙ユニットの場合(p.203「連続排紙」)
- ・マルチフィニッシャーの場合(p.219「連続排紙」)

連続給紙

指定したトレイの用紙がなくなっても、用紙サイズ、用紙種類が同じ別のトレイから自動的に給紙します。

[OFF] / [ON]

1 [連続給紙]をタッチする
[連続給紙]画面が表示されます。

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする

自動画像回転

セットした原稿に対しトレイにセットした用紙サイズが合っていない、用紙の向きが一致しない場合に、自動的に画像を90度回転します。通常は[ON]に設定します。



- ・[自動画像回転]と[オーバーレイ]は併用できません。(p.75「オーバーレイ」)

スキャンジョブ結合

異なる設定でスキャンした原稿を1つのジョブにまとめてコピーします。

原稿の種類や画質にばらつきがある場合に使用すると便利です。



- ・[スキャンジョブ結合]と[AF連続読み込み]は併用できません。(p.67「AF連続読み込み」)

[OFF] / [ON]

1 [スキャンジョブ結合]をタッチする
[スキャンジョブ結合]画面が表示されます。

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする

4 原稿をセットし、[スタート]キーを押す

原稿の読み取りが開始され、完了すると[確認]画面が表示されます。

5 [設定変更]をタッチする

[コピー]画面が表示されます。

6 必要に応じてコピーの設定を変更する



- ・2回目以降のスキャンでは、コピー機能は以下の設定のみ変更できます。

[カラーモード] / [倍率] / [原稿セット方向] / [読み取り濃度] / [ブック原稿] / [ページ罫線] / [原稿種類] / [ガンマ補正] / [画像詳細設定] / [地色除去]

7 次の原稿をセットし、[スタート]キーを押す

原稿の読み取りが開始され、完了すると[確認]画面が表示されます。

8 必要に応じて、手順5～7を繰り返す

設定を変更しない場合は、メッセージに従って操作してください。

9 [確認]画面で[読み取り終了]をタッチする

読み取った原稿が印刷されます。

割り込みコピー

プリント中の作業を一時停止し、別の原稿をコピーできます。



- ・割り込みコピーでは以下の機能は設定できません。

[プログラム印刷] / [合紙] / [表紙付け] / [AF連続読み込み] / [スキャンジョブ結合]

- ・オフセットステープルトレイでステープルやオフセット排紙の処理をしている間は、割り込みコピーはできません。オプションの排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーのいずれかが接続されている場合は、割り込みコピーが可能です。

- ・マルチフィニッシャーへ排出しているジョブに対して割り込みコピーをする場合、以下の機能は設定できません。

[ステープル/パンチ] / [紙折り] / [製本] / [排紙先] / [排紙面] / [連続排紙]

1 [割り込み]キーを押す

割り込み中画面が表示されます。

2 原稿をセットし、[スタート]キーを押す

- ・[コピーできます。(割り込み中)]とメッセージが表示されている間は、続けて割り込みコピーができます。

3 コピーが終了したら、[割り込み]キーを押して設定を解除する

一時停止していたジョブが再開されます。

- ・本機を60秒間操作しない場合も、割り込みコピーは解除されます。

コピーモードの機能ボタン



機能ボタン

お気に入り

設定内容を必要なときに呼び出すことができます。工場出荷時には、おすすめのお気に入りが登録されています。よく使う設定をあらかじめ登録しておくとう便利です。詳しくは、「お気に入りとして登録する」(p.84)を参照してください。

1 「お気に入り」をタッチする

「お気に入り」画面が表示されます。

2 お気に入りを選択する

設定値が画面にリスト表示されます。サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・ 名称変更
- ・ 削除

3 [OK]をタッチする



- ・ 工場出荷時に登録されているお気に入りは、名称変更や削除はできません。

追加コピー

直前にコピーした原稿を、再度コピーします。原稿をもう一度読み取る必要はありません。



- ・ 以下の場合には、追加コピーはできません。
 - 管理者が追加コピー機能を許可する設定をしていない場合
 - コピー後に、オートリセットされた場合
 - ユーザーがログアウトした場合

1 コピー終了後に、[追加コピー]をタッチする

「追加コピー」画面が表示されます。

2 テンキーで部数を入力する

3 [実行]をタッチする

追加コピーが開始されます。

試しコピー

1部だけコピーして停止します。大量にコピーする前に仕上がりを確認できます。



- ・ [ソート]で[部ごと]を選択すると、試しコピーにより1部だけコピーできます。(p.66「ソート」)

1 「試しコピー」をタッチする

「試しコピー」画面が表示されます。

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする

4 [スタート]キーを押す

「試しコピー中」画面が表示され、原稿のコピーが始まります。進捗状況が画面に表示されます。

- ・ [ストップ]キーで一時的に停止できます。(p.59「コピーを中止する」)

- ・ [低速モード] をタッチすると、印刷スピードが遅くなります。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。

試しコピーが1部だけプリントされると、[確認] 画面が表示されます。

以下の設定を変更できます。

- ・ [設定変更] (p.60「コピーの途中で設定を変更する」)
- ・ [メンテナンス] (p.60「コピーの途中でメンテナンスを行う」)

設定確認

現在の設定値を確認します。

1 [設定確認] をタッチする

[設定確認] 画面が表示されます。現在の設定値を確認してください。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・ お気に入り登録
- ・ 初期値に登録
- ・ 設定確認プリント

2 [戻る] をタッチする

カスタムメニュー

お気に入りや初期値を登録したり、設定ボタンの表示順を並べ替えたりします。

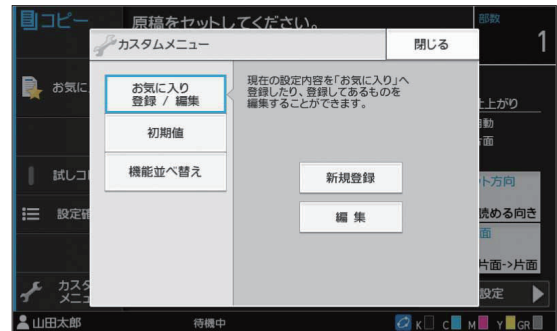
お気に入りとして登録する

設定ボタンでの設定値とコピー部数をお気に入りとして登録します。30件まで登録できます。登録したい内容が設定された状態で操作してください。

1 [カスタムメニュー] をタッチする

[カスタムメニュー] 画面が表示されます。

2 [お気に入り登録 / 編集] をタッチする



3 [新規登録] をタッチする

[お気に入り登録] 画面が表示されます。現在の設定値を確認してください。

4 [OK] をタッチする

5 登録名を入力して、[OK] をタッチする

設定値がお気に入りとして登録されます。

6 [閉じる] をタッチする



- ・ 以下の設定値は、お気に入りとして登録されません。
 - [用紙選択]

お気に入りを編集する

お気に入りが表示される順番を変更します。

1 [カスタムメニュー] をタッチする

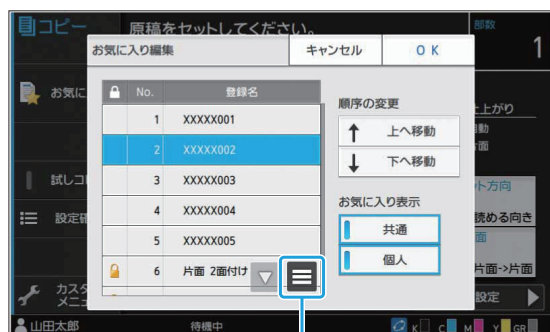
[カスタムメニュー] 画面が表示されます。

2 [お気に入り登録 / 編集] をタッチする

3 [編集] をタッチする

[お気に入り編集] 画面が表示されます。

4 お気に入りを選択する



サブメニュー

鍵マークのあるお気に入りには編集できません。
サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・ 設定確認
- ・ 名称変更
- ・ 削除

5 [上へ移動]または[下へ移動]をタッチして順番を設定する

6 [お気に入り表示]を設定する

- ・ [共通]を選択すると、管理者が登録したお気に入りと出荷時に登録されていたお気に入りが表示されます。
- ・ [個人]を選択すると、現在ログインしているユーザーが登録したお気に入りが表示されます。
- ・ [共通]と[個人]の両方を選択することもできます。



・ 管理者の設定によっては、[お気に入り表示]は表示されません。その場合、管理者が登録したお気に入りと出荷時に登録されていたお気に入りが表示されます。

7 [OK]をタッチする

8 [閉じる]をタッチする

初期値として登録する

設定ボタンで設定した値と部数を初期値として登録できます。登録したい内容が設定された状態で操作してください。

1 [カスタムメニュー]をタッチする

[カスタムメニュー]画面が表示されます。

2 [初期値]をタッチする

3 [登録]をタッチする

[初期値に登録]画面が表示されます。現在の設定値を確認してください。

4 [OK]をタッチする

設定値が初期値として登録されます。

5 [閉じる]をタッチする

初期値をクリアする

個人が登録した初期値をクリアして、共通の初期値に戻します。

1 [カスタムメニュー]をタッチする

[カスタムメニュー]画面が表示されます。

2 [初期値]をタッチする

3 [クリア]をタッチする

[初期値をクリア]画面が表示されます。

4 [OK]をタッチする

初期値がクリアされます。

5 [閉じる]をタッチする



・ 共通の初期値をクリアするには管理者の権限が必要です。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

機能を並べ替える

設定ボタンの配置を変更します。

1 [カスタムメニュー]をタッチする
[カスタムメニュー]画面が表示されます。

2 [機能並べ替え]をタッチする
[機能並べ替え]画面が表示されます。

3 機能を選択する



4 [上へ移動]または[下へ移動]をタッチして順番を設定する

5 [OK]をタッチする
機能の並べ替えが完了します。

6 [閉じる]をタッチする



• 共通の並び順を設定するには管理者の権限が必要です。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

紙の原稿を読み取って、データ化できます。

使用する目的に合わせてデータの保存先を選択してください。

読み取ったデータは、ネットワーク上のパソコンに保存したり、メールに添付して送信したり、本機の内蔵SSDに保存してRISOコンソールからダウンロードしたりできます。

スキャン操作の概要

p.88

1. 原稿をセット



2. [ホーム1]画面で[スキャン]をタッチ



3. 宛先／保存先を選択



4. 設定を変更



5. プレビュー表示を確認



6. [スタート]キーを押す

スキャンの各種設定

p.92

スキャンの各設定を詳細に説明しています。

スキャンモードの機能ボタン

p.97

スキャンモードで使える機能を説明しています。



スキャン操作の概要

スキャンの基本的な操作を説明します。

手順

1 原稿をセットする

セットできる原稿については、「紙原稿について」(p.23)を参照してください。

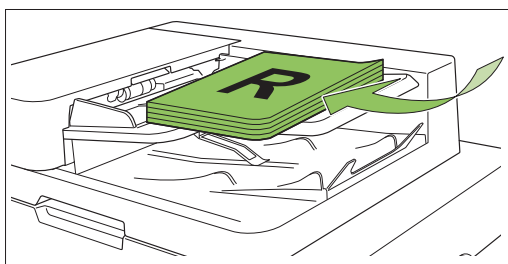


・原稿用紙の周囲1mmは読み取れません。
(周囲1mmに画像がある場合、画像は欠けてしまいます。)

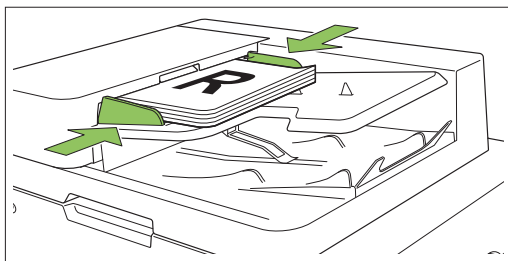
■ オートフィーダーの場合

1) 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、スキャンする面を上に向けてください。



2) 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

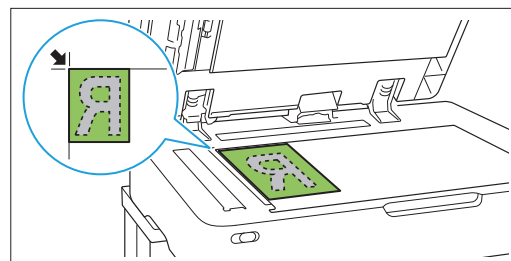


■ 原稿台ガラスの場合

1) 原稿カバーを開く

2) 原稿をセットする

スキャンする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。



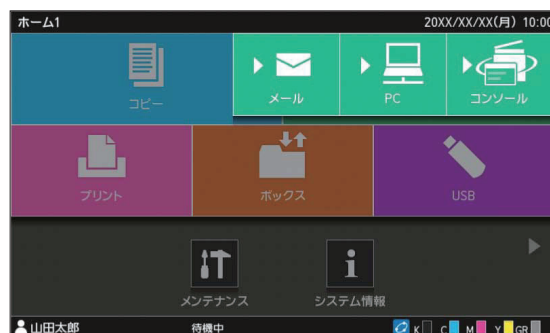
3) 原稿カバーを閉じる



・原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

2 [ホーム1]画面で[スキャン]をタッチする

[メール]、[PC]、[コンソール]の中からどれか1つを選択します。



3 宛先／保存先を選択する

[メール]や[PC]を選択した場合は、スキャンしたデータの宛先／保存先を設定します。



- ・[コンソール]を選択した場合は、保存先を設定する必要はありません。スキャンしたデータは本機の内蔵SSDに保存されます。

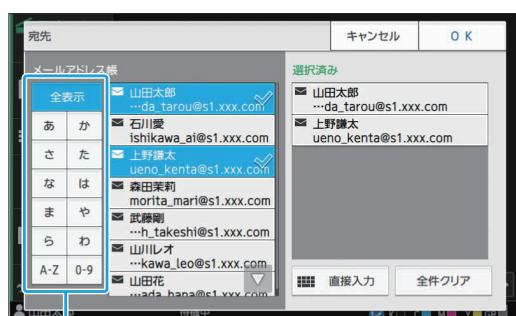
■ [メール]を選択した場合

スキャンデータをメールに添付して送ります。

1) [宛先]をタッチする

[宛先]画面が表示されます。

2) [メールアドレス帳]から宛先を選択する



見出し

選択された宛先は、[選択済み]に表示されます。



- ・見出しをタッチすると、アドレス帳に登録された宛先を絞り込むことができます。
- ・認証サーバー設定や外部システム連携が有効の場合、LDAPサーバーや外部プリントサーバーから取得したメールアドレスが[選択済み]に表示されます。

3) [OK]をタッチする



- ・[メールアドレス帳]に表示されていない宛先に送信する場合は、[直接入力]をタッチして新規登録を行います。
- ・[選択済み]から宛先を削除するには、[全件クリア]ですべての宛先を削除するか、削除する宛先を選択して[クリア]をタッチします。
- ・[送信者]をタッチすると、[送信者]画面が表示され、送信者名を入力できます。

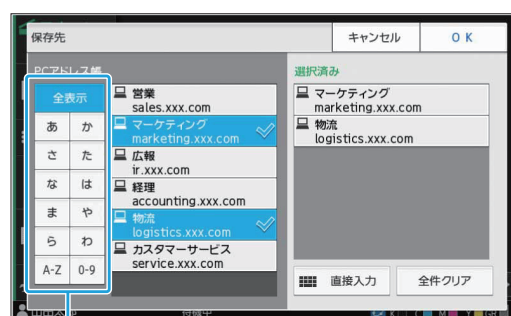
■ [PC]を選択した場合

スキャンデータをネットワーク上のパソコンに保存します。

1) [保存先]をタッチする

[保存先]画面が表示されます。

2) [PCアドレス帳]から保存先を選択する



見出し

選択された保存先は、[選択済み]に表示されます。



- ・見出しをタッチすると、アドレス帳に登録された保存先を絞り込むことができます。

3) [OK]をタッチする



- ・[PCアドレス帳]に表示されていないパソコンに保存する場合は、管理者にお問い合わせください。
- ・[選択済み]から保存先を削除するには、[全件クリア]ですべての保存先を削除するか、削除する保存先を選択して[クリア]をタッチします。
- ・[直接入力]をタッチすると、新しい保存先を登録できます。保存先サーバーの詳細については、管理者にお問い合わせください。

4 設定を変更する

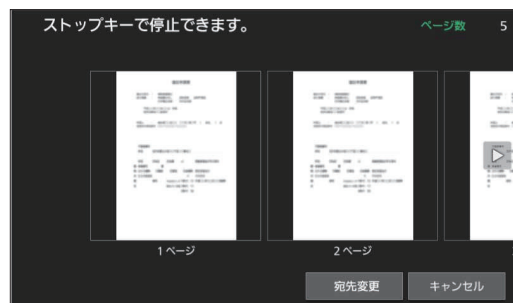
スキャンの詳細を設定します。

設定できる機能については、「設定項目一覧」(p.91)を参照してください。

5 プレビュー表示を確認する

1) [送信プレビュー]をタッチする

[送信プレビュー]確認画面で[続行]をタッチすると原稿の読み取りを開始し、プレビューが表示されます。



ページを切り替えるには、[◀] [▶] をタッチします。

宛先や保存先を変更するには、[宛先変更]または[保存先変更]をタッチします。

6 [スタート]キーを押す

[原稿読み取り中]画面が表示され、原稿のスキャンが始まります。進捗状況が画面に表示されます。

- ・[確認]画面が表示されたら[閉じる]をタッチします。
原稿のスキャンと保存処理が完了します。

■ スキャンを中止する場合

1 [ストップ]キーを押す

スキャンが中止されて、スキャン画面が表示されます。



- ・[コンソール]を選択してスキャンしたデータは、本機の内蔵SSDに保存されます。
保存したデータは、RISOコンソールを使ってユーザーのパソコンにダウンロードできます。
「RISOコンソール」の「[スキャン]メニュー画面」(p.164)を参照してください。
- ・スキャンデータの保存期間は、管理者によって設定されています。



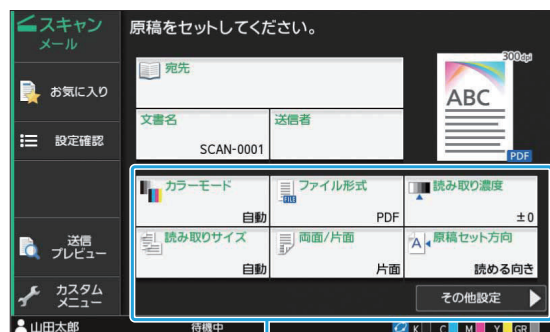
- ・本機のご使用により、本機の内蔵SSDのデータが損なわれても、当社では一切の責任を負いかねます。データ保護のために、事前にバックアップを取ることをおすすめします。

設定項目一覧

スキャンモードでの設定項目を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
文書名	スキャンしたデータを保存するときの文書名を表示／設定します。	p.92
カラーモード	スキャンするデータのカラーモードを設定します。	p.92
読み取りサイズ	スキャンする原稿の読み取りサイズを設定します。	p.93
ファイル形式	スキャンしたデータの保存形式を設定します。	p.93
両面 / 片面	原稿の読み取り面を設定します。	p.93
読み取り濃度	原稿を読み取るときに濃度を調整します。	p.94
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。	p.94
解像度	原稿を読み取るときに解像度を設定します。	p.94
原稿サイズ混在	原稿に複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.94
保存サイズ	スキャンしたデータの保存サイズを設定します。	p.94
ブック原稿	本などの中央(とじ部分)にできる影を消去します。	p.94
ページ分割	本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。	p.95
暗証番号	スキャンジョブを本機の内蔵SSDに保存するときに、暗証番号をつけます。	p.95
原稿種類	適切な画像処理をしてから保存するために、原稿の種類を選択します。	p.95
ガンマ補正	原稿を読み取るときにデータの色バランス(CMYK)を補正します。	p.95
画像詳細設定	原稿に適した画像処理を設定します。	p.95
地色除去	文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。	p.95
倍率	スキャンしたデータを拡大または縮小します。	p.96
スキャンジョブ結合	異なる設定でスキャンした原稿を1つのジョブにまとめます。	p.96
お気に入り	よく使う設定内容呼び出します。	p.97
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.97
送信プレビュー	送信や保存をする前に原稿をスキャンして表示できます。	p.97
カスタムメニュー	お気に入りや初期値の登録、アドレス帳の登録、設定ボタンの並べ替えをします。	p.98

スキャンの各種設定

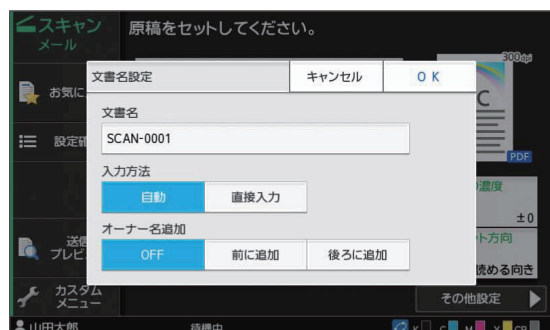


設定ボタン

文書名

スキャンしたデータを保存するときの文書名を表示します。

[文書名]をタッチすると文書名を設定できます。



[文書名]

[入力方法]と[オーナー名追加]で設定した内容のうち、[文書名]と[オーナー名]の部分を表示します。

[入力方法]

[自動]を選択すると文書名は自動で設定されます。
[直接入力]を選択すると、任意の文書名を入力できます。

[自動]を選択したときは、工場出荷時の状態では、「SCAN-」の後ろに連番(0001～9999)が付く形式で設定されます。

[オーナー名追加]

[入力方法]で設定した文書名に対して、オーナー名を付与するかどうかを設定します。

[OFF]を選択するとオーナー名は付与されません。

[前に追加]を選択すると、文書名の前にオーナー名を付与して、以下の形式で文書名を設定します。

オーナー名-文書名-ページ番号_付加番号.拡張子

例：山田太郎-SCAN-0001-0001_0001.tif

[後ろに追加]を選択すると、文書名の後ろにオーナー名を付与して、以下の形式で文書名を設定します。

文書名-オーナー名-ページ番号_付加番号.拡張子

例：SCAN-0001-山田太郎-0001_0001.tif



- ・付加番号は、ファイル名が重複する場合に付きません。

1 [文書名]をタッチする

[文書名設定]画面が表示されます。

2 入力方法を選択する

[直接入力]を選択した場合は、文書名を入力して[OK]をタッチします。

3 オーナー名を追加するかどうかを設定する

4 [OK]をタッチする



- ・文字入力については、「文字を入力する」(p.44)を参照してください。
- ・[直接入力]では、全角／半角、大文字／小文字を入力できます。

カラーモード

スキャンするデータのカラーモードを選択します。

[自動]

原稿がカラーか白黒かを自動的に判断します。カラーと判断すればRGBのデータに変換して保存し、白黒と判断すればブラックのデータに変換して保存します。

[カラー]

RGBのデータに変換して保存します。

【グレースケール】

カラー原稿やカラー写真などを、階調を持った白黒のデータに変換して保存します。

【白黒】

白黒(2値)データとして保存します。

1 【カラーモード】をタッチする

【カラーモード】画面が表示されます。

2 カラーモードを選択する

3 【OK】をタッチする

読み取りサイズ

スキャンする原稿のサイズを設定します。
詳しくは、「コピー」の「読み取りサイズ」(p.65)を参照してください。

ファイル形式

スキャンしたデータの保存形式を設定します。

【PDF】／【TIFF】／【JPEG】／【PDF/A】

ファイル形式	設定可能な項目
【PDF】	• 【画質】 • 【詳細設定】 - 【1 ページずつ保存】 - 【ZIP 圧縮】 • 【パスワード設定】 - 【ユーザーパスワード】 - 【オーナーパスワード】
【TIFF】	• 【詳細設定】 - 【ZIP 圧縮】
【JPEG】	• 【画質】 • 【詳細設定】 - 【ZIP 圧縮】
【PDF/A】	• 【画質】

【画質】

【低】／【中】／【標準】／【高】／【最高】

【パスワードによるセキュリティ】

ユーザーパスワードとオーナーパスワードを設定します。

【1ページずつ保存】

【ON】を設定すると、スキャンデータを1ページずつ保存します。

【ZIP圧縮】

スキャンデータをメールで送信するときやネットワーク上のパソコンに送信するときに表示されます。
【ON】を設定すると、スキャンデータが複数ファイルある場合にZIP圧縮します。



- スキャンデータの保存先に【コンソール】を選択した場合、【ZIP圧縮】は表示されません。スキャンデータが複数ファイルある場合、常にZIP圧縮され本機の内蔵SSDに保存されます。

1 【ファイル形式】をタッチする

【ファイル形式】画面が表示されます。

2 保存するファイル形式を選択する

3 必要に応じて保存設定を変更する

4 【OK】をタッチする



- 【ファイル形式】を【PDF】に設定した場合、【ZIP圧縮】は、【1ページずつ保存】で【ON】を選択したときに設定できます。
- ファイル形式を【PDF】に選択したときに設定できる【ユーザーパスワード】は文書を開くためのパスワードで、【オーナーパスワード】は文書の印刷可否、編集可否などの権限を設定するためのパスワードです。
なお、本機の【暗証番号】(p.95)は、上記のパスワードとは別のもので、内蔵のSSDに保存するスキャンジョブや、パソコンから送信するプリントジョブにつけてジョブを保護するためのものです。

両面 / 片面

原稿の読み取り面を設定します。



- 【両面／片面】と【ブック原稿】は併用できません。(p.94「ブック原稿」)

【片面原稿】／【両面原稿】

【ページめくり方向】

左右開きまたは上下開きに設定します。

〔原稿セット方向〕(p.94「原稿セット方向」)

1 〔両面/片面〕をタッチする

〔両面/片面〕画面が表示されます。

2 〔原稿セット方向〕をタッチする

〔読める向き〕または〔左向き〕を設定します。

3 原稿の読み取り面を設定する

〔両面原稿〕を選択した場合は、ページめくり方向を指定します。

4 〔OK〕をタッチする

読み取り濃度

原稿を読み取るときの濃度を調整します。
詳しくは、「コピー」の「読み取り濃度」(p.66)を参照してください。

原稿セット方向

原稿をセットする方向を設定します。
詳しくは、「コピー」の「原稿セット方向」(p.66)を参照してください。

解像度

原稿を読み取るときの解像度を設定します。
〔200 dpi〕／〔300 dpi〕／〔400 dpi〕／
〔600 dpi〕

1 〔解像度〕をタッチする

〔解像度〕画面が表示されます。

2 解像度を設定する

3 〔OK〕をタッチする

原稿サイズ混在

原稿に複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。混在できるサイズは「A4横とA3」、「B5横とB4」、「Letter-RとLedger」です。
詳しくは、「コピー」の「原稿サイズ混在」(p.67)の手順2以降を参照してください。

保存サイズ

スキャンしたデータの保存サイズを設定します。

〔自動〕

〔読み取りサイズ〕と〔倍率〕の設定をもとに自動で保存サイズを設定します。

〔定形〕

選択した定形サイズで保存します。

〔登録用紙〕

あらかじめ管理者が登録した不定形用紙サイズで保存します。

〔数値入力〕

未登録の不定形用紙サイズを設定して保存します。

1 〔保存サイズ〕をタッチする

〔保存サイズ〕画面が表示されます。

2 保存サイズを選択する

3 〔OK〕をタッチする

ブック原稿

本などの中央(とじ部分)にできる影を消去します。
詳しくは、「コピー」の「ブック原稿」(p.68)を参照してください。



・〔ブック原稿〕と〔両面 / 片面〕は併用できません。(p.93「両面 / 片面」)

ページ分割

本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。

詳しくは、「コピー」の「ページ分割」(p.68)を参照してください。

暗証番号

スキャンジョブを本機の内蔵SSDに保存するときに、暗証番号をつけます。ここで設定した暗証番号は、RISOコンソールを使用してパソコンにダウンロードするときに必要です。

[OFF] / [ON]

数値入力(8桁以内)

1 [暗証番号]をタッチする
[暗証番号]画面が表示されます。

2 [ON]をタッチする

3 テンキーで暗証番号を入力する

4 [OK]をタッチする

原稿種類

適切な画像処理をして保存するために、原稿の種類を選択します。

[文字写真]

文字と写真が混在している場合に選択します。

[文字]

書類やイラストなどの場合に選択します。

[写真]

写真などの場合に選択します。

1 [原稿種類]をタッチする
[原稿種類]画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

3 [OK]をタッチする

ガンマ補正

原稿を読み取るときの色バランスを補正します。

詳しくは、「コピー」の「ガンマ補正」(p.73)を参照してください。



・[カラーモード]で[グレースケール]または[白黒]が選択されている場合、ガンマ値を補正できるのはKのみです。C～R、M～G、Y～Bの補正はできません。(p.92「カラーモード」)

画像詳細設定

原稿に適した画像処理を設定します。

詳しくは、「コピー」の「画像詳細設定」(p.74)を参照してください。

地色除去

背景に色の付いた文字原稿や色紙など、スキャンすると文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。

詳しくは、「コピー」の「地色除去」(p.74)を参照してください。

倍率

スキャンしたデータを拡大または縮小します。

【等倍(100%)】

拡大や縮小はしません。

【自動】

【読み取りサイズ】と【保存サイズ】の設定をもとに自動で倍率を設定します。

【縮小】／【拡大】

選択した倍率で拡大または縮小します。

数値入力

任意の倍率で拡大または縮小します。

- 1 **【倍率】をタッチする**
【倍率】画面が表示されます。

- 2 **倍率を設定する**

任意の倍率を設定したい場合は、  をタッチして設定します。テンキーでも入力できます。

- 3 **【OK】をタッチする**

スキャンジョブ結合

異なる設定でスキャンした原稿を1つのジョブにまとめます。

スキャンした原稿は、1つの文書ファイルとして保存されます。

【OFF】／【ON】

- 1 **【スキャンジョブ結合】をタッチする**
【スキャンジョブ結合】画面が表示されます。

- 2 **【ON】をタッチする**

- 3 **【OK】をタッチする**

- 4 **原稿をセットし、【スタート】キーを押す**
原稿の読み取りが開始され、完了すると【確認】画面が表示されます。

- 5 **【設定変更】をタッチする**
スキャンの設定画面が表示されます。

6 必要に応じてスキャンの設定を変更する



- 2回目以降のスキャンでは、スキャン機能は以下の設定のみ変更できます。
【カラーモード】／【両面/片面】／【読み取り濃度】／【原稿セット方向】／【ブック原稿】／【原稿種類】／【ガンマ補正】／【画像詳細設定】／【地色除去】

7 次の原稿をセットし、【スタート】キーを押す

原稿の読み取りが開始され、完了すると【確認】画面が表示されます。

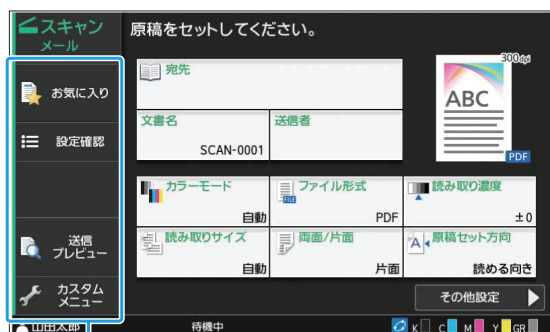
8 必要に応じて、手順5～7を繰り返す

設定を変更しない場合は、メッセージに従って操作してください。

9 【確認】画面で【読み取り終了】をタッチする

読み取った原稿が1つの文書ファイルとして保存されます。

スキャンモードの機能ボタン



機能ボタン

お気に入り

設定内容を必要なときに呼び出すことができます。工場出荷時には、おすすめのお気に入りが登録されています。よく使う設定をあらかじめ登録しておくとう便利です。詳しくは、「コピー」の「お気に入り」(p.83)を参照してください。

設定確認

現在の設定値を確認します。

1 [設定確認]をタッチする

[設定確認]画面が表示されます。現在の設定値を確認してください。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- お気に入り登録
- 初期値に登録
- 設定確認プリント

2 [戻る]をタッチする

送信プレビュー

送信や保存をする前に原稿をスキャンして表示できます。

1 [送信プレビュー]をタッチする

[確認]画面が表示されます。

2 [続行]をタッチしてスキャンを開始する

プレビュー画面が表示されます。スキャン結果を確認します。

3 [スタート]キーを押す

送信または保存されます。



- [宛先変更]で送信先のメールアドレスを変更したり、[保存先変更]でスキャンしたデータの保存先を変更することができます。
- スキャンしたデータのページが複数の場合は、画面をフリックしてページを切り替えることができます。[◀][▶]をタッチして切り替えることもできます。

カスタムメニュー

お気に入りや初期値を登録したり、設定ボタンの表示順を並べ替えたりします。アドレス帳の登録や編集もできます。

お気に入りとして登録する／ お気に入りを編集する

設定ボタンで設定した値をお気に入りとして登録します。30件まで登録できます。
詳しくは、「コピー」の「お気に入りとして登録する」(p.84)と「お気に入りを編集する」(p.84)を参照してください。



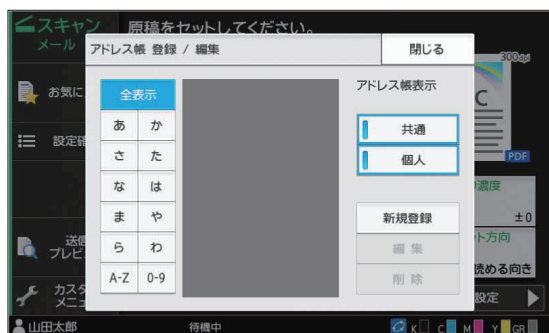
- 以下の設定値は、お気に入りとして登録されません。
- [文書名]／[ファイル形式]の[パスワード]によるセキュリティ／[暗証番号]

アドレス帳を登録する

宛先／保存先をアドレス帳に登録します。

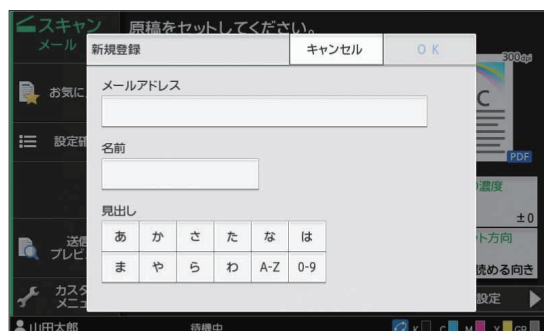
■ [メール]を選択した場合

- 1 [カスタムメニュー]をタッチする
[カスタムメニュー]画面が表示されます。
- 2 [アドレス帳 登録 / 編集]をタッチする
[アドレス帳 登録 / 編集]画面が表示されます。



3 [新規登録]をタッチする

[新規登録]画面が表示されます。



4 メールアドレスを入力する

5 宛先の名前を入力する

6 見出しを設定する

7 [OK]をタッチする

宛先が登録されます。

8 [アドレス帳表示]を設定する

アドレス帳に共通の宛先を表示するか、個人の宛先を表示するかを設定します。

9 [閉じる]をタッチする

■ [PC]を選択した場合

スキャンデータの保存先としてパソコンを登録します。

詳しくは、「管理者ガイド」の「スキャナー保存先登録」を参照してください。

アドレス帳を編集する

アドレス帳に登録した個人の宛先／保存先を編集します。

■ [メール]を選択した場合

- 1 [カスタムメニュー]をタッチする
[カスタムメニュー]画面が表示されます。

2 [アドレス帳 登録 / 編集]をタッチする
[アドレス帳 登録 / 編集]画面が表示されます。

3 宛先を選択し、[編集]をタッチする
[編集]画面が表示されます。

4 設定を変更する

5 [OK]をタッチする
宛先の設定が変更されます。

6 [閉じる]をタッチする

■ [PC]を選択した場合

スキャンデータの保存先として登録した設定を変更します。
詳しくは、「管理者ガイド」の「スキャナー保存先登録」を参照してください。

宛先／保存先を削除する

アドレス帳に登録した個人の宛先／保存先を削除します。

■ [メール]を選択した場合

1 [カスタムメニュー]をタッチする
[カスタムメニュー]画面が表示されます。

2 [アドレス帳 登録 / 編集]をタッチする
[アドレス帳 登録 / 編集]画面が表示されます。

3 宛先を選択し、[削除]をタッチする
[確認]画面が表示されます。

4 [OK]をタッチする
宛先が削除されます。

5 [閉じる]をタッチする

■ [PC]を選択した場合

スキャンデータの保存先として登録した個人の保存先を削除します。
詳しくは、「管理者ガイド」の「スキャナー保存先登録」を参照してください。

初期値を登録する／クリアする

設定ボタンで設定した値を初期値として登録できます。
詳しくは、「コピー」の「初期値として登録する」(p.85)と「初期値をクリアする」(p.85)を参照してください。



- ・以下の設定値は、初期値として登録されません。
- [文書名]／[ファイル形式]の[パスワードによるセキュリティ]／[暗証番号]

機能を並べ替える

設定ボタンの配置を変更します。
詳しくは、「コピー」の「機能を並べ替える」(p.86)を参照してください。

プリント

本機とパソコンをネットワーク接続して、プリンターとして使用します。
プリンタードライバを使用してパソコンからデータを本機に送信し、本機を操作してプリントします。

プリント操作の概要 (プリンタードライバ) p.102

1. プリンタードライバ画面を開く



2. 設定を変更



3. [OK]をクリック



4. [印刷]／[OK]をクリック

プリント操作の概要 (プリントモード) p.102

1. [ホーム1]画面で[プリント]をタッチ



2. ジョブを選択



3. [スタート]キーを押す

プリンタードライバの設定

p.109

プリンタードライバの各設定を詳細に説明しています。

プリントモードの機能ボタン

p.132

プリントモードで使える機能を説明しています。



プリント操作の概要

プリンターとして使用する場合の基本的な操作を説明します。

プリンタードライバーでの手順

1 プリンタードライバー画面を開く

1) パソコンのアプリケーション画面で、印刷メニューを選択する

印刷ダイアログボックスが表示されます。

2) プリンター名を確認し、[プロパティ] または [詳細設定] をクリックする

クリックするボタン名は、アプリケーションによって異なります。

2 設定を変更する

設定できる項目については、「設定項目一覧」(p.106)を参照してください。

- プリンタードライバー画面でのすべての設定を初期値に戻すには、[標準に戻す]をクリックしてください。
- プリンタードライバー画面でのすべての設定を、事前にユーザーが設定した既定値に戻すには、[ユーザー設定に戻す]をクリックしてください。



• プリンタードライバーの[原稿種類]と[用紙種類]の設定は、プリントの品質に大きく影響します。使用条件に応じて、設定を変更してください。

3 [OK] をクリックする

印刷ダイアログボックスに戻ります。



- 印刷ダイアログボックスに[部単位で印刷]チェックボックスがある場合は、チェックマークをはずしてください。部単位で印刷する場合は、[基本]タブの[ソート]を[部ごと]に設定してください。

4 [印刷] または [OK] をクリックする

データが本機に送信されます。



- 外部システム連携機能をお使いの場合は、[ホーム1]画面の[外部システム連携]をタッチして、外部システムに保存されたジョブをプリントできます。

詳しくは、「外部システム連携」(p.133)を参照してください。

プリントモードでの手順

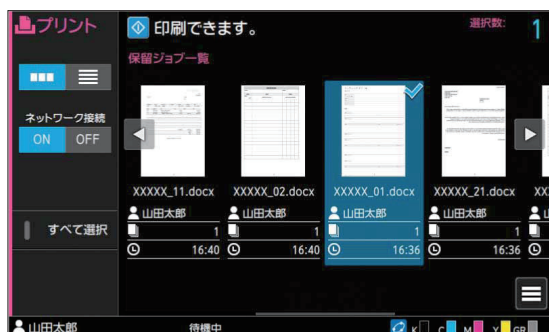


- 管理者の設定によっては、ログインただけでプリントされます。

1 [ホーム1]画面で[プリント]をタッチする



2 ジョブを選択する



サムネイルに表示されるアイコン

- : 暗証番号付きのジョブ
- : 破損ジョブ(ジョブデータが壊れている、または、異常があったジョブ)
- なし : 上記以外のジョブ(パソコンから送信したすべてのジョブ)

サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・ 詳細確認
- ・ 設定変更
- ・ 削除



- ・ ジョブ名が表示文字数の上限を超える場合は、一部を省略して「…」と表示されます。
- ・ 以下の場合は、ジョブ名が「*****」で表示されます。
 - プリンタードライバの[ジョブ名を隠す]にチェックマークがついているジョブ(p.126「暗証番号」)

3 [スタート]キーを押す

選択したジョブがプリントされます。

■ 暗証番号の付いたジョブをプリントする場合

暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号をテンキーで入力し、[続行]をタッチします。

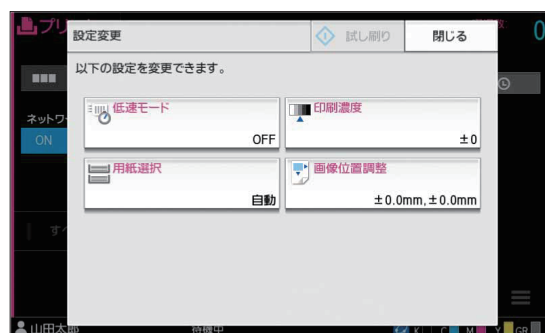
プリントの途中で設定を変更する

1 [ストップ]キーを押す

[一時停止中]画面が表示されます。

2 [設定変更]をタッチする

[設定変更]画面が表示されます。



3 設定を変更する

以下の設定を変更できます。

- ・ 低速モード(p.80「低速モード」)
- ・ 印刷濃度(p.67「印刷濃度」)
- ・ 用紙選択(p.63「用紙選択」)
- ・ 画像位置調整(p.74「画像位置調整」)



- ・ [試し刷り]をタッチすると、[ストップ]キーを押したときのページだけを1枚プリントします。

4 [閉じる]をタッチする

5 [続行]をタッチする

設定を変更したジョブのプリントが開始されます。

プリントの途中でメンテナンスを行う

1 [ストップ]キーを押す

[一時停止中]画面が表示されます。

2 [メンテナンス]をタッチする

[メンテナンス]画面が表示されます。

3 設定を変更する

以下の設定を変更できます。

- ヘッドクリーニング
- 前カバーロック解除
- 排紙フェンス調整
- ネットワーク接続



- [ネットワーク接続]をタッチすると[ネットワーク接続]画面が表示されます。[OFF]に設定すると、パソコンなどのネットワーク機器からのジョブを受信なくなります。他のジョブに割り込まれずに本機を使用したい場合に便利です。
- [ヘッドクリーニング]と[前カバーロック解除]については、「付録」の「メンテナンス」(p.242)を参照してください。
- [試し刷り]をタッチすると、[ストップ]キーを押したときのページだけを1枚プリントします。
- オプションのオートフェンス排紙台または大容量排紙ユニットをお使いの場合は、[排紙フェンス調整]で排紙フェンスの位置を調整できます。詳しくは、「付録」の「メンテナンス」(p.242)を参照してください。

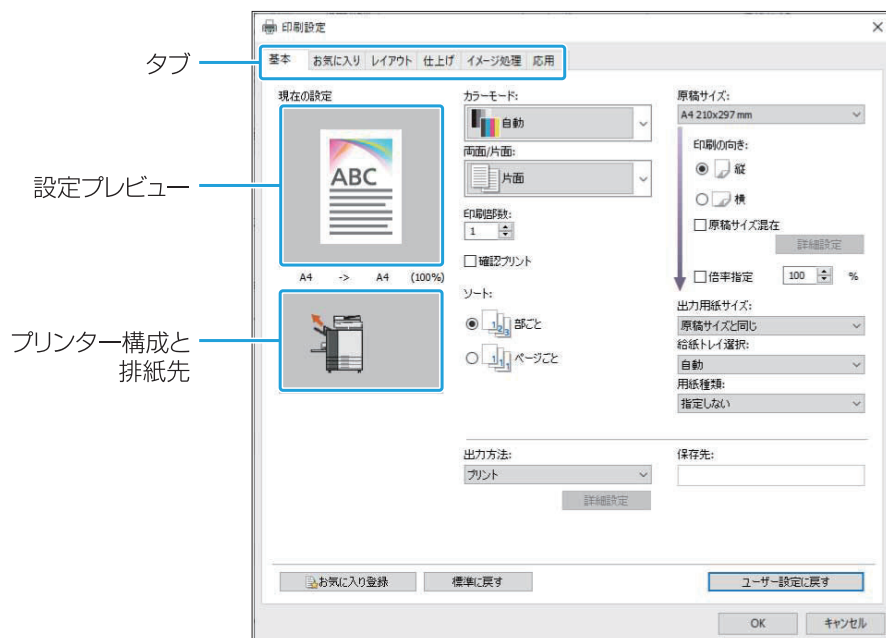
4 [閉じる]をタッチする

5 [続行]をタッチする

設定を変更したジョブのプリントが開始されます。

プリンタードライバー画面

各種の設定は、プリンタードライバー画面から行います。



3

- タブ：クリックして画面を切り替えます。
- 設定プレビュー：仕上がりのイメージがイラストで表示されます。イメージの下に、原稿サイズと出力用紙サイズ、拡大／縮小率が表示されます。
- プリンター構成と排紙先：接続されているオプションがイラストで表示されます。また、排紙先が矢印で表示されます。



- [お気に入り登録]をクリックすると、現在の設定がお気に入りタブに登録されます。
- [標準に戻す]をクリックすると、プリンタードライバー画面での設定がすべて初期値に戻ります。
- [ユーザー設定に戻す]をクリックすると、プリンタードライバー画面でのすべての設定をユーザーが設定した既定値に戻します。ユーザーが設定した既定値が登録されていない場合は、すべての設定が初期値に戻ります。(p.109「ユーザー設定に戻す」)
- [環境]タブの[プリンター構成]で、接続しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能はグレイアウトされて選択できません。(p.128「[環境]タブ」)

設定項目一覧

プリンタードライバーの設定項目一覧

プリンタードライバーでの設定項目を以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
お気に入り登録	現在の設定をお気に入りタブに登録します。	p.109
標準に戻す	プリンタードライバー画面でのすべての設定を初期値に戻します。	p.109
ユーザー設定に戻す	プリンタードライバー画面でのすべての設定をユーザー設定値に戻します。	p.109
[基本]タブ		
カラーモード	カラーモードを設定します。	p.110
両面 / 片面	プリントする面を設定します。	p.110
印刷部数	プリントする部数を設定します。	p.111
確認プリント	仕上がりを確認するために、1部だけプリントして停止します。	p.111
ソート	複数部数をプリントするときの排紙方法を設定します。	p.111
原稿サイズ	原稿の用紙サイズと方向を設定します。	p.111
原稿サイズ混在	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.111
倍率指定	拡大／縮小してプリントするときに設定します。	p.112
出力用紙サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	p.112
給紙トレイ選択	プリントする用紙がセットされているトレイを設定します。	p.112
用紙種類	用紙の種類を設定します。	p.113
出力方法と保存先	パソコンから送った原稿データの出力方法を選択します。 [出力方法]で[プリント]以外を選択した場合、[詳細設定]で保存先を設定できます。	p.113
[お気に入り]タブ		
お気に入りリスト	登録したお気に入りの設定を確認します。	p.114
お気に入り編集	登録したお気に入りを編集します。	p.114
ファイルを開く	保存したお気に入りファイルを開きます。	p.115
ファイルに保存する	お気に入りを、.udsを拡張子とする当社専用のファイル形式で保存します。	p.115
[レイアウト]タブ		
ページ集約	1枚の用紙に、連続したページを割り付けてプリントします。	p.115
連写	1枚の用紙に同じページを複数割り付ける設定をします。	p.116
小冊子	中とじ冊子の面付けを設定します。	p.116
ポスター	1ページのデータを拡大して複数枚の用紙にプリントする設定をします。	p.117
ウォーターマーク	プリントに入れる透かし(ウォーターマーク)を設定します。	p.117
スタンプ	ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します。	p.118
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p.119

設定項目	説明	参照 ページ
画像回転	プリントの向きを設定します。	p.119
【仕上げ】タブ		
とじ位置	とじしろを空けてプリントするかどうかを設定します。 とじ位置ととじしろ幅の値が設定できます。	p.120
ステーブル	ステーブルの位置を設定します。	
	オプションのオフセットステーブルトレイ接続時	p.180
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.208
パンチ	パンチの位置を設定します。 (パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャー接続時)	p.210
紙折り	用紙の折り方を設定します。 (オプションのマルチフィニッシャーM、またはマルチフィニッシャーSに紙折りユニット接続時)	p.210
小冊子製本	製本方法を設定します。 (オプションのマルチフィニッシャーM接続時)	p.212
オフセット排紙	排紙位置のずらしかたを設定します。	
	オプションのオフセットステーブルトレイ接続時	p.183
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.201
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.214
合紙	合紙を入れる位置を設定します。	p.121
表紙付け	表紙、裏表紙を付けるときに設定します。	p.121
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.202
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.214
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	
	オプションのオートフェンス排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.202
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.214
メール作成	メールフォーム紙と印刷物で封書を作成します。 (オプションのメーリングフィニッシャー接続時)	p.122
くるみ製本	くるみ製本で冊子を作成するための設定をします。 (オプションのくるみ製本フィニッシャー接続時)	p.122
【イメージ処理】タブ		
原稿種類	原稿に合わせて何の品質を優先してプリントするかを選択します。	p.122
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.123
画像品質	目的に応じた最適な画像処理を設定します。	p.123
文字スムージング	文字やイラストの輪郭をなめらかに加工するときに選択します。	p.123
スクリーニング	ハーフトーンの処理方法を設定します。	p.123
ガンマ補正	明度、彩度、コントラストおよびレッド、グリーン、ブルー各色のガンマ値を補正します。	p.124

3章 プリント

設定項目	説明	参照 ページ
バーコード領域指定	バーコードをプリントするときに設定します。	p.124
封筒画像処理	封筒印刷の画像処理を設定します。	p.126
【応用】タブ		
オーナー名	任意のオーナー名を設定します。	p.126
ジョブ名	任意のジョブ名を設定します。	p.126
暗証番号	データに暗証番号をつけます。	p.126
ジョブコメント	ジョブに任意のコメントを設定します。	p.126
プログラム印刷	異なる部数を多数のグループに配布する場合に設定します。	p.126
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.128
白紙節約	原稿データ中の白紙ページをプリントしない場合に設定します。	p.128
複写プリント	複写式の帳票用紙など、複数種類の用紙をプリントする場合に設定します。	p.128
バージョン表示	プリンタードライバーのバージョンなどを表示します。	p.128
【環境】タブ		
共有プリンターを経由する	プリントサーバーのプリンタードライバーを共有して本機を使用する場合に設定します。	p.128
SNMP コミュニティ名	SNMP通信でのコミュニティ名を設定します。	p.129
Wake On LAN	プリントジョブを送信する際にWake On LAN信号を送信するかどうかを設定します。	p.129
プリンター構成	オプション構成の情報を、手でプリンタードライバーに設定します。	p.129
用紙サイズ登録	任意のサイズの用紙をプリンタードライバーに登録します。	p.130
保存先フォルダー登録	プリントデータの保存先をプリンタードライバーに登録します。	p.131
プリンターから情報を取得	オプション構成の情報を取得して、自動でプリンタードライバーに設定します。	p.131

プリントモードの機能ボタン一覧

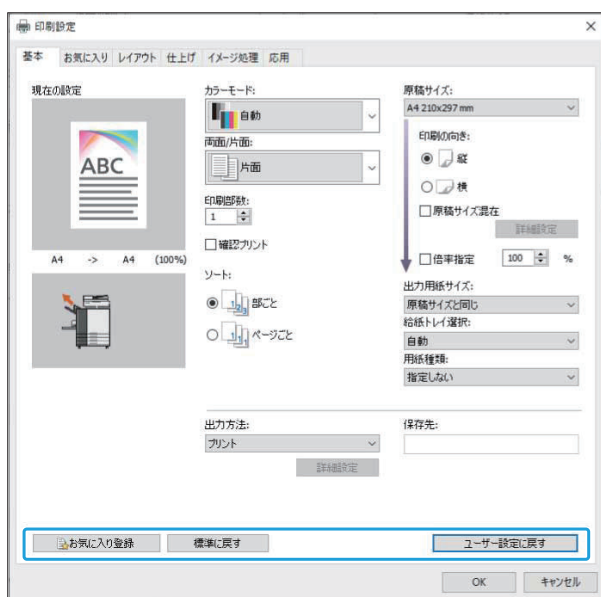
プリントモードで使える機能ボタンを以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
表示切り替え	サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。	p.132
ネットワーク接続	本機のネットワーク接続を切り替えます。	p.132
すべて選択	表示されている保留文書をすべて選択します。	p.132
詳細確認	現在の設定値を確認します。	p.132
設定変更	ジョブの設定を変更します。	p.132
外部システム連携	管理者により[外部システム連携]が設定されている場合に表示されます。ジョブのプリントや削除、金額確認ができます。	p.133

プリンタードライバーの設定

ここでは、カラーモード、両面／片面、用紙種類など、プリンタードライバーの基本的な設定について説明しています。

共通ボタン



共通ボタンは、[印刷設定]画面の各タブに表示されます。

お気に入り登録

プリンタードライバー画面での、現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。登録できるのは30件までです。



・[お気に入り登録]機能を使用するには、お使いのパソコンの管理者権限が必要です。

1 プリンタードライバー画面で必要な設定をする

2 [お気に入り登録]をクリックする

[お気に入り登録]ダイアログボックスが表示されます。

3 名称を入力する

全角／半角1～20文字で入力してください。

4 [登録]をクリックする

設定が保存されて[お気に入り]タブに表示されます。

標準に戻す

プリンタードライバー画面でのすべての設定を初期値に戻します。

ユーザー設定に戻す

プリンタードライバー画面でのすべての設定をユーザー設定値に戻します。
ユーザー設定値は、以下の手順で設定します。

1 [スタート]-[設定]-[デバイス]または[Bluetoothとデバイス]-[プリンターとスキャナー]からGLシリーズ プリンターを選択する

2 [管理]-[プリンターのプロパティ]をクリックする

3 プリンターのプロパティ画面で[基本設定]を選択する

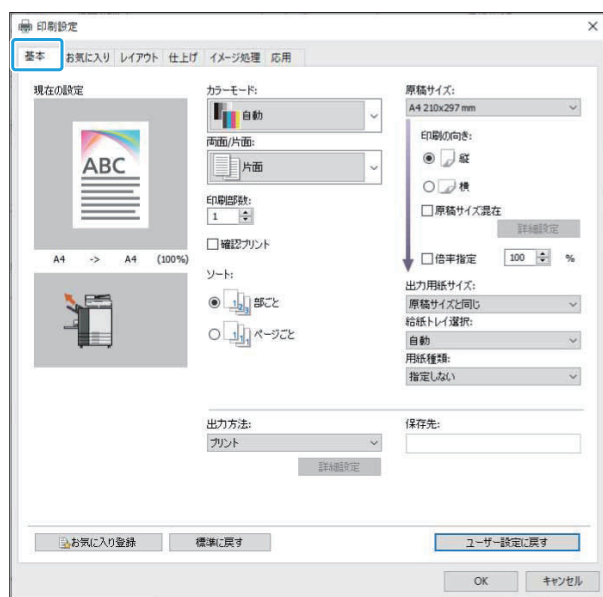
[印刷設定]画面が表示されます。

4 必要に応じて設定を変更する



- ここで設定した内容は、プリンタードライバーに保存されます。次回からは、[ユーザー設定に戻す]をクリックするだけで、ユーザーが設定した既定値を呼び出すことができます。
- パソコンのアプリケーション画面で印刷メニューを選択し、[プロパティ]または[詳細設定]から設定した内容は、一時的な設定です。設定は保存されません。
- インストール直後の、ユーザー設定値がない状態で[ユーザー設定に戻す]をクリックした場合は、[標準に戻す]をクリックしたときと同様に、プリンタードライバー画面でのすべての設定が初期値に戻ります。

[基本] タブ



カラーモード

カラーモードを設定します。

[自動]

原稿の色を自動的に判断し、カラー(シアン/マゼンタ/イエロー/グレイ/ブラック)または白黒でプリントします。

[カラー]

5色(シアン/マゼンタ/イエロー/グレイ/ブラック)でプリントします。

[白黒]

原稿色に関係なく、ブラック1色でプリントします。

[単色シアン]

原稿色に関係なく、シアン1色でプリントします。

[単色マゼンタ]

原稿色に関係なく、マゼンタ1色でプリントします。

両面 / 片面

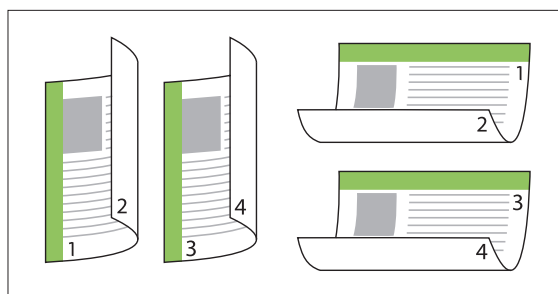
プリントする面を設定します。

[片面]

片面にプリントします。

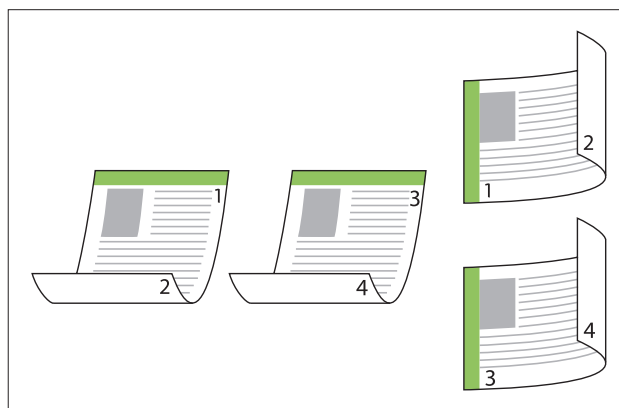
[両面(長辺とじ)]

長辺をとじ位置として、両面にプリントします。



[両面(短辺とじ)]

短辺をとじ位置として、両面にプリントします。



- 原稿サイズ混在で両面印刷する場合は、[原稿サイズ混在]ダイアログボックスで、とじ方向を設定します。

印刷部数

プリントする部数(1~9999)を入力します。



- ・プログラム印刷を設定している場合、印刷部数の入力できません。

確認プリント

ページ数や枚数の多い原稿をプリントする場合に、指定枚数をプリントする前に1ページまたは1部だけプリントして止まるので、仕上がりを確認してから、スタートさせることができます。確認後、プリンター側の[スタート]キーを押してプリントを続けます。チェックマークをつけると有効になります。



- ・[ソート]で選択しているプリントの単位(ページごとまたは部ごと)に従って、確認プリントが行われます。
- ・確認後、プリンターの操作パネルで、設定内容を変更できます。(p.103「プリントの途中で設定を変更する」)

ソート

複数部数をプリントするときの排紙方法を設定します。

[部ごと] / [ページごと]



- ・[部ごと]を選択する場合は、アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスにある[部単位で印刷]のチェックマークをはずしてください。チェックマークがついていると正しくプリントできない場合があります。

原稿サイズ

原稿データの用紙サイズと向きを設定します。

[印刷の向き]

[縦] / [横]



- ・封筒にプリントする場合は、オプションの排紙台や封筒給紙アタッチメントを接続することをおすすめします。

- ・リストには、[環境]タブの[用紙サイズ登録]で登録されているサイズが表示されます。(p.130「用紙サイズ登録」)

■ 不定形サイズ of 原稿の設定

原稿が不定形サイズの場合には、[Custom]を選択します。

1 [原稿サイズ]で[Custom]を選択する

[Custom]ダイアログボックスが表示されます。

2 原稿サイズを入力する

3 [OK]をクリックする



- ・ここで入力したサイズは、設定時のみ有効です。よく使う原稿サイズは、あらかじめ登録しておくとう便利です。(p.130「用紙サイズ登録」)

原稿サイズ混在

原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。

[原稿サイズ混在]を有効にすると、原稿サイズに合った用紙トレイが自動的に選択されます。



- ・[原稿サイズ混在]と[出力用紙サイズ]、[ページ集約]、[連写]、[小冊子]、[とじ位置]、[表紙付け]、[ポスター]、[白紙節約]、[フォーム合成]、[複写プリント]は併用できません。(p.112「出力用紙サイズ」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.116「小冊子」、p.120「とじ位置」、p.121「表紙付け」、p.117「ポスター」、p.128「白紙節約」、p.230「フォーム合成」、p.128「複写プリント」)
- ・両面印刷と併用した場合、1枚の用紙の表裏になる原稿サイズが同じときのみ、両面印刷になります。(サイズが異なるときは、裏面が空白ページになります。)
- ・複数の原稿サイズが混在する原稿データを、[原稿サイズ混在]を無効にしてプリントすると、1ページ目のサイズで全ページプリントされます。

■ 両面印刷と併用する

両面印刷と併用する場合には、用紙サイズごとにとじ位置を設定できます。

[原稿サイズ混在]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[原稿サイズ混在]ダイアログボックスが表示されます。混在ページごとに、とじ位置を選択してください。



- USB利用の[原稿サイズ混在]を設定する場合は、操作パネルの[USB]-[利用]画面で文書を選択して、サブメニューの[印刷設定]-[その他設定]-[原稿サイズ混在]-[ON]をタッチしてください。(p.149「USB利用の手順」)

[大きいページ]

[長辺とじ]／[短辺とじ]

[小さいページ]

[長辺とじ]／[短辺とじ]

[大きいページの180度回転]

大きいページの向きが180度回転します。



- [大きいページ]とは、A3／B4／Tabloidの用紙サイズ、[小さいページ]とは、上記以外の用紙サイズを意味します。
- 作成した原稿のアプリケーションによっては、大きいページが思いどおりの方向に回転しない場合があります。その場合にチェックマークをつけると、プリントの向きを180度回転させることができます。

倍率指定

原稿データの拡大／縮小率を設定します。

[倍率指定]にチェックマークをつけて、拡大／縮小率を50％～200％の範囲で入力します。

[倍率指定]を選択しない場合は、[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]や面付けの設定から、自動的に拡大／縮小率が設定されます。

出力用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。



- [出力用紙サイズ]と[原稿サイズ混在]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」)

- 封筒にプリントする場合は、オプションの排紙台や封筒給紙アタッチメントを接続することをおすすめします。

- リストには、[環境]タブの[用紙サイズ登録]で登録されているサイズが表示されます。(p.130「用紙サイズ登録」)

■ 不定形サイズ用の紙の設定

用紙が不定形サイズの場合には、[Custom]を選択します。

1 [出力用紙サイズ]で[Custom]を選択する

[Custom]ダイアログボックスが表示されます。

2 用紙サイズを入力する

3 [OK]をクリックする



- ここで入力したサイズは、設定時のみ有効です。よく使う用紙サイズはあらかじめ登録しておく、便利です。(p.130「用紙サイズ登録」)

給紙トレイ選択

プリントに使用する給紙トレイを設定します。



- [複写プリント]を設定すると、[給紙トレイ選択]は[自動]に設定されます。(p.128「複写プリント」)

[自動]

[用紙種類]と[出力用紙サイズ]での設定内容により、用紙トレイが自動で選択されます。

[給紙台]

給紙台にセットした用紙にプリントされます。

[トレイ1]／[トレイ2]／[トレイ3]／[増設トレイ]

トレイにセットした用紙にプリントされます。



- [自動]が選択されていて、[出力用紙サイズ]と[用紙種類]の設定と合った用紙がセットされていない場合(またはセットされているが[自動選択]の対象外の場合)は、エラーになり、プリントされません。[用紙種類]の[指定しない]を選択してください。(p.113「用紙種類」)

- プリンターの用紙トレイにセットされている用紙サイズ・種類は、RISOコンソールをパソコンから操作して確認できます。「RISOコンソール」の「[消耗品情報]画面」(p.161)を参照してください。
- オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、[給紙台]の代わりに[大容量給紙ユニット]が表示されます。
- [増設トレイ]は、オプションの増設トレイをお使いの場合に表示されます。

用紙種類

用紙の種類を選択します。
色合いやインク量など、選択した用紙種類に適した調整や画像処理をしてプリントします。

【指定しない】

プリンターの設定内容に応じて、自動的に用紙種類を設定します。

【普通紙】

【IJ用紙】／【IJマット用紙】

理想用紙IJ、理想用紙IJマット(または同等用紙)を使用している場合に選択してください。

【高品位紙】

【IJハガキ】

[給紙トレイ選択]で[給紙台]または[大容量給紙ユニット]を選択した場合に設定できます。

【軽量紙】

【圧着紙】



- 本機は、用紙種類により最適なカラープロファイルを選択しています。実際にセットされている用紙とプリンターの用紙設定が適合していないと、適正な色バランスでプリントできません。
- [指定しない]に設定しているときは、プリンターと通信ができない場合や、プリントの指示をしたあとにプリンターの用紙設定が変わると、用紙と画像処理が一致しない場合もあります。
- [圧着紙]を選択した場合は、グレイとブラックのインクを使わないでプリントします。そのため、以下のよう設定されます。
 - [画像品質]が[CMYプリント]に設定されます。
 - [カラーモード]が[カラー]に設定されます。
 - [原稿種類]が[文字・写真]に設定されます。

■ カラープロファイルとは

モニターなどのディスプレイでは、色は「光の三原色(RGB／赤・緑・青)」で表現されますが、インクでプリントする場合は「色の三原色(CMY／シアン・マゼンタ・イエロー)」で表現されます。

一般に、パソコンのモニター画面で色を表現するRGBよりも、紙に色を表現するCMYのほうが色数が少なくなるため、モニターで見たままの色をプリントすることはできません。そこで、なるべく同じ色や自然な色味を再現できるように、RGBからCMYに変換するときに工夫が必要になります。

この変換の仕組みを「カラーマネージメント」といい、その変換表を「カラープロファイル」といいます。

プリンターのカラーマネージメントでは、原稿モードと使用する用紙の組み合わせに応じて、最適なカラーが表現できるよう、何種類かのカラープロファイルを自動で選択しています。



- 本機は、Monotype Imaging社からライセンスされているColorSet™ 技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

出力方法と保存先

パソコンから送ったデータをプリントするか、プリンターのフォルダーへ保存するかを設定します。

また、USBメモリーにPRNファイルとして保存したり、バーコード領域指定アプリケーションで使用するファイルを作成します。

【プリント】

プリントします。

【ボックス】

原稿データをPRNファイル形式で本機のフォルダーに保存します。

【プリント&ボックス】

原稿データを本機のフォルダーに保存したあと、プリントします。

【USBメモリ保存】

原稿データをPRNファイル形式でUSBメモリーに保存します。ネットワーク環境がない場合でも、USBメモリーを本機に接続することでプリントできます。

【ファイルとして保存】

バーコード領域指定アプリケーションで使用するPRNファイルを作成します。



- USBメモリーは、保存が終了するまで抜かないでください。データ保存中は、パソコンのタスクバーにプリンターアイコンが表示されます。保存が終了すると、プリンターアイコンの表示が消えます。アイコン表示が消えたことを確認してから、USBメモリーを抜いてください。



- 本機のフォルダーに保存したデータは、本機の[ボックス]-[利用]画面(p.137)や、「RISOコンソール」の「[ボックス]メニュー」(p.166)からプリントできます。
- USBメモリーに保存したデータは、USBメモリーを本機に接続して[USB]-[利用]画面からプリントできます。データを本機のフォルダーにコピーして本機に保存することもできます。(p.155「フォルダーへコピーする」)
- PRNファイルとは、プリンタードライバーで出力した当社専用のファイル形式です。他社製のプリンターやアプリケーションでは、ファイルを開くことはできません。
- 本機のフォルダーに保存されるデータには、パソコンのユーザー名がオーナー名として付加されます。

■ 保存先フォルダーの設定

[保存先]には、[環境]タブの[保存先フォルダー登録]で登録したフォルダーが表示されます。(p.128「[環境]タブ」)

1 [出力方法]で[ボックス]、[プリント&ボックス]または[USBメモリ保存]を選択する

2 [詳細設定]をクリックする
[出力方法]ダイアログボックスが表示されます。

3 [保存先]のプルダウンメニューから原稿データの保存先を選択する
[保存先]には、使用可能なフォルダーが表示されます。

4 [OK]をクリックする
設定したフォルダー名が[保存先]に表示されます。

【お気に入り】タブ



お気に入りリスト

お気に入りとして登録されたプリンタードライバーの設定値がリストに表示されます。工場出荷時には、おすすめのお気に入りが登録されています。お気に入りをクリックすると、選択されたお気に入りの設定値が一覧で表示され、印刷設定もその設定値に変更されます。

お気に入り編集

登録したお気に入りを編集します。

【現在の設定】

選択したお気に入りの設定値が表示されます。

【お気に入りリスト】

登録済みのお気に入りが表示されます。

【上へ】／【下へ】

【お気に入りリスト】にあるお気に入りの表示順を変更します。

【名称変更】

お気に入りの登録名を変更します。全角／半角1～20文字以内で入力します。

【削除】

お気に入り入りを削除します。

ファイルを開く

パソコンに保存されているプリンタードライバーの設定値を呼び出して、利用できます。

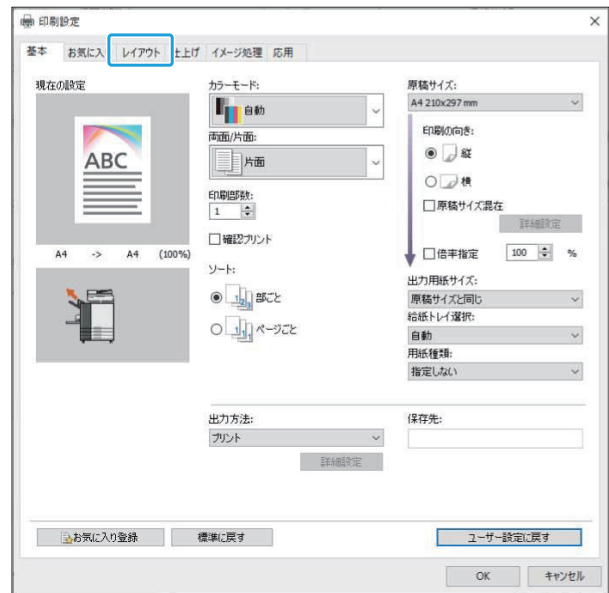
- 1 **【ファイルを開く】をクリックする**
[開く]ダイアログボックスが表示されます。
- 2 **パソコン内のファイルを選択する**
- 3 **【開く】をクリックする**
[お気に入りリスト]に、読み込んだ設定が表示されます。

ファイルに保存する

お気に入りとして登録した設定値を、パソコンに保存できます。
設定を複数のユーザーで共有するときや、プリンタードライバーを再度インストールするときなどは、いったんパソコンに保存しておく便利です。

- 1 **【お気に入りリスト】から保存する設定を選択する**
- 2 **【ファイルに保存する】をクリックする**
[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 **保存先のフォルダーとファイル名を指定する**
- 4 **【保存】をクリックする**
選択した設定が、保存されます。

【レイアウト】タブ



ページ集約

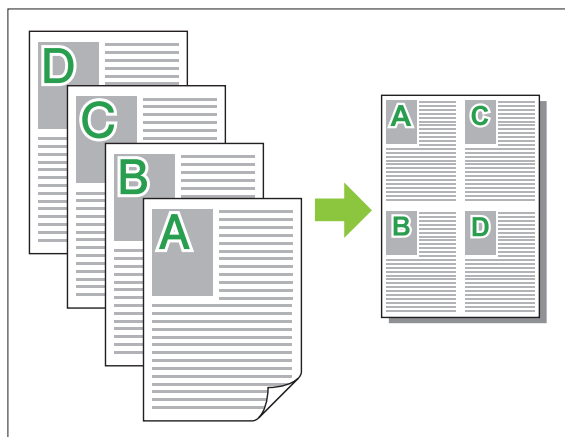
1 枚の用紙に、連続したページを割り付けてプリントします。



・[ページ集約]と[原稿サイズ混在]、[連写]、[小冊子]、[ポスター]、[白紙節約]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.116「連写」、p.116「小冊子」、p.117「ポスター」、p.128「白紙節約」)

[OFF] /
[2面：左から右へ] / [2面：右から左へ] /
[2面：上から下へ] / [2面：下から上へ] /
[4面：左上から横へ] / [4面：左上から下へ] /
[4面：右上から横へ] / [4面：右上から下へ] /
[8面：左上から横へ] / [8面：左上から下へ] /
[8面：右上から横へ] / [8面：右上から下へ]
1 枚の用紙に割り付ける面数と順序を選択します。

例：[4面：左上から下へ]を選択した場合



連写

1枚の用紙に、同じページを複数並べてプリントします。

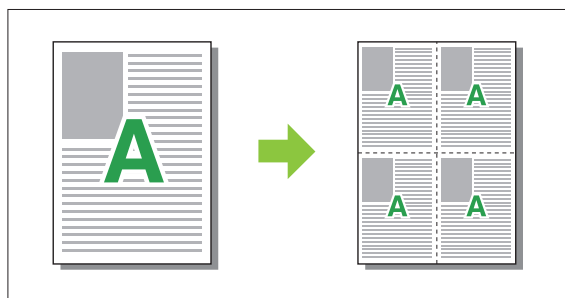


- [連写]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[小冊子]、[ポスター]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「小冊子」、p.117「ポスター」)

[OFF] / [2面] / [4面] / [8面]

1枚の用紙に割り付ける面数を選択します。

例：[4面]を選択した場合



小冊子

連続する複数のページを、両面印刷後に中とじ冊子になるように面付けしてプリントします。

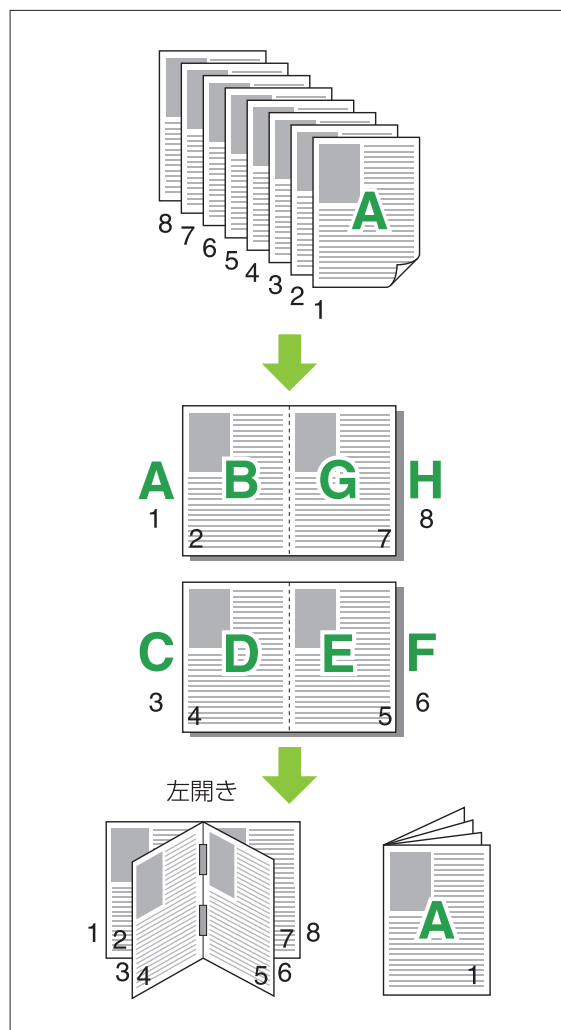


- [小冊子]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[とじ位置]、[白紙節約]、[ポスター]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.120「とじ位置」、p.128「白紙節約」、p.117「ポスター」)
- オプションのマルチフィニッシャーMをお使いの場合は、[仕上げ]タブで[小冊子製本] (折り／中とじステープル)を設定できます。
詳しくは、「オプション」の「小冊子製本」(p.212)を参照してください。

[OFF] / [左開き] / [右開き] / [上下開き]

面付けの順序を設定します。[左開き] / [右開き]は[原稿サイズ]で[縦]を選択した場合に表示されます。

[上下開き]は[原稿サイズ]の[印刷の向き]で[横]を選択した場合に表示されます。



ポスター

1 ページの画像データを拡大して、複数枚の用紙に分割してプリントします。



- ポスターでプリントした用紙の四辺にはプリントされない領域ができます。プリントした用紙を貼り合わせるときは、この領域を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。
- [ポスター]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[小冊子]、[ウォーターマーク]、[スタンプ]、[画像位置調整]は併用できません。
(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.116「小冊子」、p.117「ウォーターマーク」、p.118「スタンプ」)

**[2分割(1x2)]／[4分割(2x2)]／
[9分割(3x3)]／[16分割(4x4)]**

原稿を分ける数を選択します。

[詳細設定]をクリックすると、[ポスター]ダイアログボックスが表示されます。

プレビューには選択内容が、そのつど反映されます。

[印刷範囲]

[すべて]／[ページ指定]

プリントする範囲を選択します。[ページ指定]でプリントするページを指定することもできます。プリントするページは、プレビューに青色で表示されます。

[中央合わせ]

チェックマークをつけると、プリントした用紙を貼り合わせたときに、画像が中央に配置されます。

チェックマークをはずすと、プリントした用紙を貼り合わせたときに、画像が左上に配置されます。

[切り取り線を印刷]

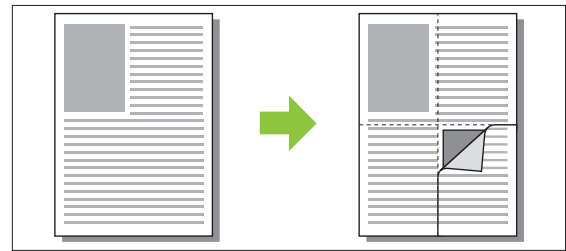
チェックマークをつけると、各ページの4隅に切り取り線が印字されます。

[のりしろ]

のりしろ(余白)を0～20 mmに設定できます。



- 縁なし印刷はできません。必ず用紙の周囲にのりしろ(余白)が付きます。
- のりしろの設定値によっては、空白ページが生じたり、画像の一部が欠けることがあります。
- 画像データを拡大するため、画質が荒くなる場合があります。[画像品質]を[高精細]、[文字スムージング]を[強く]に設定してください。詳しくは、「画像品質」(p.123)および「文字スムージング」(p.123)を参照してください。



ウォーターマーク

印刷物にウォーターマーク(透かし文字)を任意の大きさや位置に追加印刷します。

[ウォーターマーク]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[ウォーターマーク]ダイアログボックスが表示されます。文字列リストから文字列を選択し各種設定をしてください。

プレビューには選択内容が、そのつど反映されます。



- ウォーターマーク文字列を追加、削除するには、お使いのパソコンのAdministrator権限が必要です。

■ 文字列

[文字列選択]

**[秘]／[重要]／[回覧]／[参考]／[至急]／
[複写禁止]**

[追加]

63文字以内で任意の文字列を追加できます。

文字列リストの下の[追加]をクリックし、[追加]ダイアログボックスに文字列を入力してください。

[削除]

削除する文字列を文字列リストから選択し、[削除]をクリックしてください。

初期設定で用意されている文字列(秘／重要／回覧など)は削除できません。

[文字列任意入力]

[適用]

63文字以内で任意の文字列を印字できます。ただし、文字列リストに登録はできません。そのつど文字列を入力してください。[適用]をクリックすると、入力した文字列がプレビューに反映されます。

■ プレビュー

設定したイメージが表示されます。マウスを使用して、プレビュー画面中で位置の調整もできます。

■ 適用ページ

[全ページ] / [1ページ目のみ]

■ 文字装飾

[書体]

書体とスタイルを選択します。

[サイズ]

文字列のサイズを設定します。

[色]

文字列の色を設定します。[その他]をクリックするとOSのカラーパレットの色が選択できます。

[透明度]

文字列の透かし度合いを設定します。透明度を高くすると、ウォーターマーク文字列の背面に、プリントデータが透けて見えます。

[囲み枠]

[なし] / [丸] / [四角] / [二重四角]

ウォーターマークを囲む枠を、選択します。

■ 印字位置

[文字角度]

[水平(0度)] / [垂直(90度)] / [垂直(270度)] / [斜め(45度)] / [斜め(315度)] / [Custom](0~360度)

文字の傾きを選択します。任意の角度を入力して、指定することもできます。

[印字位置]

[中央] / [左上] / [上中央] / [右上] / [右中央] / [右下] / [下中央] / [左下] / [左中央] / [Custom]

ウォーターマークをプリントする位置を選択します。タテ、ヨコ方向の位置を数値で入力して、指定することもできます。

スタンプ

ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します。

[スタンプ]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[スタンプ]ダイアログボックスが表示されます。タブ画面を切り替えて、それぞれ設定してください。

[ページ] / [日付] / [テキスト]



- 同じ位置に異なる種類のスタンプを印字することはできません。
- [ページ集約]または[連写]と併用した場合、原稿のページではなくプリント用紙のページごとに印字します。ただし、[小冊子]だけは、製本後の各ページに印字します。

■ ページ

ページスタンプを印字するには、[ページ]タブ画面で[ON]を選択します。

[上・左端] / [上・中央] / [上・右端] / [下・左端] / [下・中央] / [下・右端]

ページスタンプの位置を選択します。

[印字領域の透過]

チェックマークをつけると、印字領域と画像が重複した場合に、画像の上に印字します。

チェックマークをはずすと、印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。

[開始番号]

ページスタンプの開始番号を入力します。

[印字開始ページ]

ページスタンプの印字をどのページから開始するかを入力します。表紙にページスタンプを印字しないときは、[印字開始ページ]を「2」(両面印刷時など、場合によっては「3」)にします。

[書体]

書体とスタイルを選択します。

[サイズ]

ページスタンプの文字サイズを設定します。

■ 日付

日付スタンプを印字するには、[日付]タブ画面で[ON]を選択します。

[上・左端] / [上・中央] / [上・右端] / [下・左端] / [下・中央] / [下・右端]

日付スタンプの印字位置を選択します。

[印字領域の透過]

チェックマークをつけると、印字領域と画像が重複した場合に、画像の上に印字します。

チェックマークをはずすと、印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。

[適用ページ]

日付スタンプを印字するページを設定します。

[全ページ]：全ページに日付を印字します。

[1ページ目のみ]：最初の1ページだけに印字します。

[印字する日付]

日付スタンプとして使用する日付を設定します。

[今日の日付]：パソコンに設定されている日付を印字します。

[日付指定]：テキストボックスに入力した任意の日付を印字します。

[書体]

書体とスタイルを選択します。

[サイズ]

日付スタンプの文字サイズを設定します。

■ テキスト

テキストスタンプを印字するには、[テキスト]タブ画面で[ON]を選択します。

[上・左端] / [上・中央] / [上・右端] / [下・左端] / [下・中央] / [下・右端]

テキストスタンプの位置を選択します。

[印字領域の透過]

チェックマークをつけると、印字領域と画像が重複した場合に、画像の上に印字します。

チェックマークをはずすと、印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。

[適用ページ]

テキストスタンプを印字するページを設定します。

[全ページ]：全ページに印字します。

[1ページ目のみ]：最初の1ページだけに印字します。

[印字テキスト]

テキストボックスに入力したテキストを印字します。

[書体]

書体とスタイルを選択します。

[サイズ]

テキストスタンプの文字サイズを設定します。

画像位置調整

画像をプリントする位置を調整します。



- 上下左右方向に±20 mmまで移動できます。
- 両面プリントの場合は、表面と裏面を別々に調整できます。

[画像位置調整]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[画像位置調整]ダイアログボックスが表示されます。

調整したい方向の入力ボックスに数値を入力してください。

[オモテ面] / [ウラ面]

[左右方向] / [天地方向]の数値を入力します。

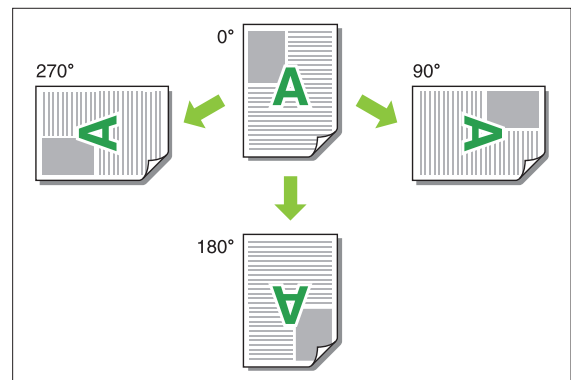
[原点に戻す]

すべての数値が0に戻ります。

画像回転

プリントの向きを設定します。

[自動] / [0度] / [90度] / [180度] / [270度]



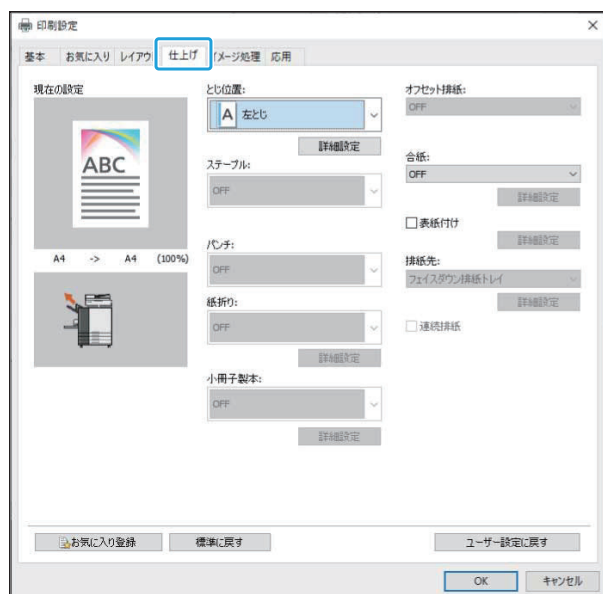
[自動]を選択したときは、原稿データの向きと給紙トレイにセットされている用紙の向きから、自動的にプリントする向きが設定されます。通常は[自動]を選択します。



- 封筒など、用紙の通紙方向が決まっているものに、プリントの向きを合わせる場合に回転角度を設定します。

- ・原稿サイズやトレイにセットされている用紙のサイズ、向きなどの設定によっては、[自動]以外が選択できない場合があります。

【仕上げ】タブ



とじ位置

とじしろを設定します。



- ・[とじ位置]と[原稿サイズ混在]、[小冊子]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.116「小冊子」)

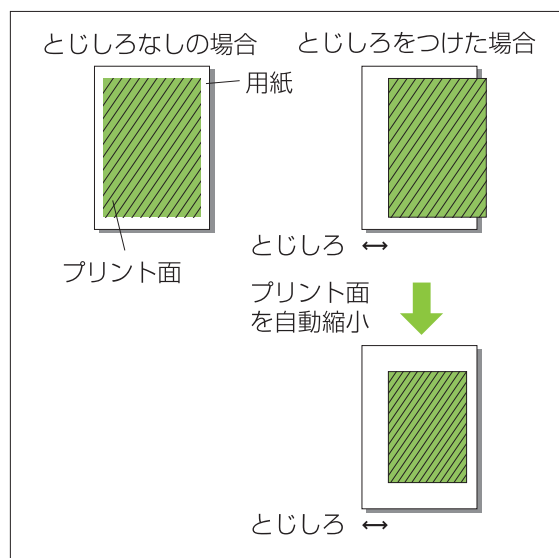
[左とじ] / [右とじ] / [上とじ]

■ とじしろの設定

とじ位置を選択し、[詳細設定]をクリックすると、[とじ位置]ダイアログボックスが表示されます。

とじしろ幅を設定します。

[自動縮小]にチェックマークをつけると、とじしろ幅を設けたためにプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙に収まるように自動的に縮小します。



ステープル

オプションのオフセットステープルトレイまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、指定した位置にステープルを設定できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- ・オフセットステープルトレイの場合 (p.180「ステープル」)
- ・マルチフィニッシャーの場合 (p.208「ステープル」)

パンチ

パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャーをお使いの場合は、パンチ穴を設定できます。

詳しくは、「オプション」の「パンチ」(p.210)を参照してください。

紙折り

オプションのマルチフィニッシャーをお使いの場合は、用紙の折り方を設定できます。

詳しくは、「オプション」の「紙折り」(p.210)を参照してください。

小冊子製本

オプションのマルチフィニッシャーMをお使いの場合は、製本方法を設定できます。
詳しくは、「オプション」の「小冊子製本」(p.212)を参照してください。

オフセット排紙

オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、排紙位置のずらしかたを設定できます。
詳しくは、以下を参照してください。

- ・オフセットステーブルトレイの場合 (p.183「オフセット排紙」)
- ・大容量排紙ユニットの場合 (p.201「オフセット排紙」)
- ・マルチフィニッシャーの場合 (p.214「オフセット排紙」)

合紙

複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに合紙を入れます。合紙には、数字やアルファベットを印字したりできます。

【OFF】

合紙の設定をしません。

【ソートの区切りごと】

【ソート】で指定した単位ごとに合紙を入れます。

【プリント終了時】

プリント終了時に合紙を入れます。

合紙を入れる単位を選択して【詳細設定】をクリックすると、【合紙】ダイアログボックスが表示されます。合紙用トレイ選択と、印字設定をしてください。

合紙用トレイの選択

【給紙台】／【トレイ1】／【トレイ2】／【トレイ3】／
【増設トレイ】

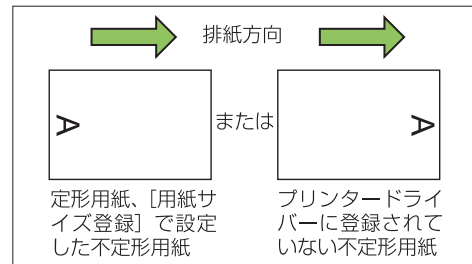


- ・オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、【給紙台】の代わりに【大容量給紙ユニット】が表示されます。

- ・【増設トレイ】は、オプションの増設トレイをお使いの場合に表示されます。

合紙への番号印字

印字位置は、用紙搬送方向後端(5mm程度内側)または先端(5mm程度内側)です。



【OFF】

印字をしません。

【1 2 3 ...】

合紙を入れる順に、1、2、3、～と印字されます。(9999まで)

【A B C...】

合紙を入れる順に、A、B、C、～、Z、AA、AB、AC、～と印字されます。(ZZZまで)

表紙付け

表紙、裏表紙をつける設定をします。

プリントするデータの前後に、指定したトレイから用紙を追加します。色紙など、本文とは異なる用紙を表紙に使う場合に設定します。



- ・【表紙付け】と【原稿サイズ混在】は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」)

【表紙付け】にチェックマークをつけ、【詳細設定】をクリックすると、【表紙付け】ダイアログボックスが表示されます。【オモテ表紙をつける】または【ウラ表紙をつける】にチェックマークをつけ、表紙用トレイを選択してください。

【オモテ表紙をつける】

1ページ目の前に表紙用紙を挿入します。

【ウラ表紙をつける】

最終ページのあとに表紙用紙を挿入します。

[オモテ表紙トレイ選択] / [ウラ表紙トレイ選択] [給紙台] / [トレイ1] / [トレイ2] / [トレイ3] / [増設トレイ]



- 表紙として使用する紙が実際にセットされているトレイを指定してください。
- 用紙のセット面が、トレイにより異なります。
[オモテ表紙トレイ選択]
給紙台 / オプションの増設トレイ：
1ページ目を上に向けてセットする
用紙トレイ：
1ページ目を下に向けてセットする
[ウラ表紙トレイ選択]
給紙台 / オプションの増設トレイ：
1ページ目を下に向けてセットする
用紙トレイ：
1ページ目を上に向けてセットする
- 印刷済みの用紙をセットする場合、本文と向きが合うように、1部プリントして確認することをおすすめします。
- オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、[オモテ表紙トレイ選択]と[ウラ表紙トレイ選択]では、[給紙台]の代わりに[大容量給紙ユニット]が表示されます。
- [増設トレイ]は、オプションの増設トレイをお使いの場合に表示されます。

排紙先

オプションの排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、印刷物を排出するトレイを選択できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- 排紙台の場合 (p.195「排紙先」)
- 大容量排紙ユニットの場合 (p.202「排紙先」)
- マルチフィニッシャーの場合 (p.214「排紙先」)

連続排紙

オプションのオートフェンス排紙台、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合は、使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えられます。

詳しくは、以下を参照してください。

- オートフェンス排紙台の場合 (p.195「連続排紙」)
- 大容量排紙ユニットの場合 (p.202「連続排紙」)
- マルチフィニッシャーの場合 (p.214「連続排紙」)

メール作成

オプションのメーリングフィニッシャーをお使いの場合は、メールフォーム紙と印刷物で封書を作成できます。

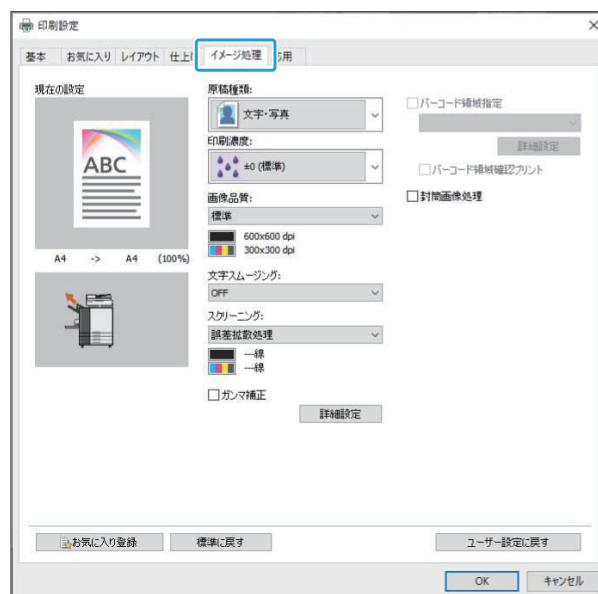
詳しくは、メーリングフィニッシャーのユーザズガイドを参照してください。

くるみ製本

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合は、くるみ製本で冊子を作成するための設定ができます。

詳しくは、くるみ製本フィニッシャーのユーザズガイドを参照してください。

[イメージ処理] タブ



原稿種類

原稿に合わせて何の品質を優先してプリントするかを選択します。

[文字・写真]

文字をくっきりと、写真画像などをより自然な色合いに処理します。

【文字・イラスト】

文字をくっきりと、イラストなどを鮮やかに表現するように処理します。

【細字・罫線】

線の細い文字や罫線をくっきりと表現するように処理します。



- ・[カラーモード]が[白黒][単色シアン][単色マゼンタ]の場合は[文字・イラスト]は選択できません。

印刷濃度

印刷の濃度を設定します。

[-3] (薄い) / [-2] / [-1] / [±0 (標準)] / [+1] / [+2] / [+3] (濃い)

画像品質

目的に応じた最適な画像処理を設定します。

【標準】

書類などの文字原稿に適した設定です。

【高発色】

発色性を高めて出力したいときに設定します。

【高精細】

写真や文字をきれいに出力したいときに設定します。

【CMYプリント】

グレイインクとブラックインクを使用しないでプリントします。定着性が向上し、転写汚れが軽減できます。

【処理速度優先】

グレイインクを使用せずに、300x300dpiの解像度でプリントします。画像処理の負荷を低減できます。

【ドラフト】

インク量を節約してプリントします。インクが少ない分、印刷濃度が薄くなり、中間色に若干のざらつきが出ます。



- ・[高精細]に設定すると、プリント速度は遅くなります。
- ・[ドラフト]に設定したときは、[封筒画像処理]は設定できません。(p.126「封筒画像処理」)

文字スムージング

文字や画像の輪郭部分に描画色と背景色の中間色を補完して、輪郭をなめらかにします。

画像処理の違いにより2段階から選択します。

【OFF】

文字スムージング処理の設定をしません。

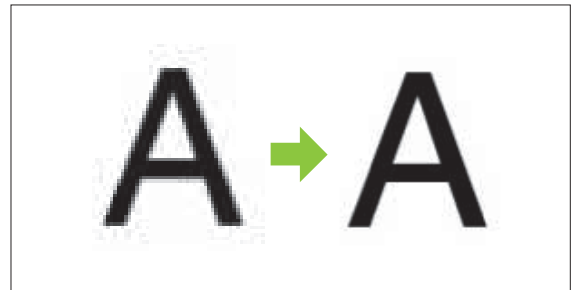
【弱く】

輪郭をなめらかにします。

細かい処理が不要な原稿に適した設定です。

【強く】

輪郭をなめらかに処理したり、細字や細線などをきれいに仕上げたりする場合に適した設定です。



(イメージ図)



- ・文字スムージングの画像処理と処理速度(プリント速度)は、反比例の関係にあります。画像の品質を向上させれば、プリント速度はその分遅くなります。

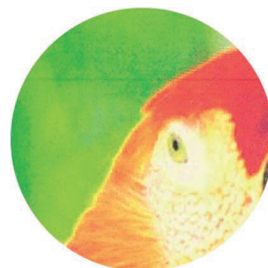
スクリーニング

ハーフトーンの処理方法を設定します。

ハーフトーンとは、用紙に吐出されるインクの点の密度や大きさを変えることによって、限られたインク数で色の連続的な階調を表現する処理方法です。

【誤差拡散処理】

ドットの密度で階調を表現します。密度が高ければ濃くなり、低ければ薄くなります。



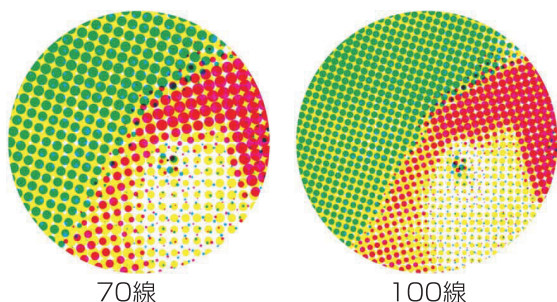
【網点処理(140線)】／【網点処理(200線)】

([カラーモード]で[白黒]が選択されている場合)

【網点処理(70線)】／【網点処理(100線)】

([カラーモード]で[白黒]以外が選択されている場合)

ドットの大きさを変えることで階調を表現します。ドットが大きければ濃くなり、小さければ薄くなります。70線よりも100線の方が、精細な画像になります。



(拡大イメージ図)

ガンマ補正

明度、彩度、コントラストおよびレッド、グリーン、ブルー各色のガンマ値を補正します。



・[ガンマ補正]と[白紙節約]は併用できません。(p.128「白紙節約」)

[ガンマ補正]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[ガンマ補正]ダイアログボックスが表示されます。それぞれ、-25～+25の範囲で入力してください。

【明度】

値を小さくすると暗い色合いに(黒っぽく)、大きくすると明るい色合いに(白っぽく)なります。

【彩度】

値を小さくすると濁った色合いに、大きくすると鮮やかな色合いになります。

【コントラスト】

明るさと暗さの対比をします。

値を小さくするとコントラストが弱く、大きくするとコントラストが強くなります。

【レッド】／【グリーン】／【ブルー】

各色のガンマ値を補正します。

値を小さくすると色合いが弱く、大きくすると色合いが強くなります。



・印刷物が黄色っぽく見える場合は、レッドまたはグリーンの値を小さくします。その他の色味の調整については、管理者のアドバイスに従って設定してください。

バーコード領域指定

指定されたバーコード印字領域の印刷濃度を、バーコードの読み取りに適した仕上がりにするための処理方法です。

【バーコード領域指定】

チェックマークをつけ、プルダウンメニューからプリントする領域指定ファイルを選択します。

【詳細設定】

クリックすると、[バーコード領域指定]ダイアログボックスが表示されます。

【濃度補正】

設定したバーコード領域の濃度を調整できます。

[-3] (薄い) / [-2] / [-1] / [標準] / [+1] / [+2] / [+3] (濃い)



・[-3]、[+1]、[+2]、[+3]は、[画像品質]を[処理速度優先]に設定したときに選択できます。(p.123「画像品質」)

【バーコード領域確認プリント】

バーコードの位置指定にすれがいないか、および野線の周囲1mmに文字・イラストなどが重なっていないかを出力物(バーコード印字部分に網掛けされたプリント物)で確認できます。



・[バーコード領域指定]を設定すると、[画像品質]で[ドラフト]と[CMYプリント]は設定できません。(p.123「画像品質」)

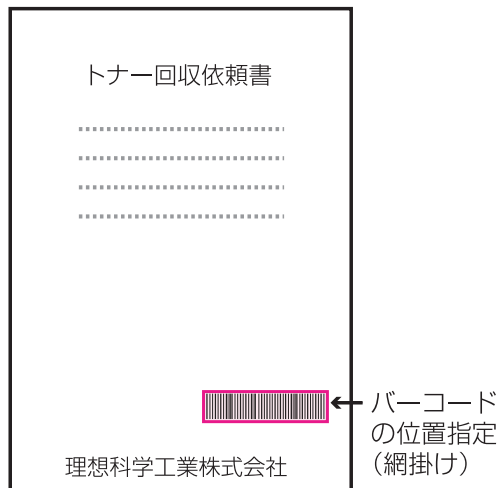
■ バーコード領域指定ファイルの作成

[バーコード領域指定]機能を使うには、事前にバーコード領域指定アプリケーションを使用して、バーコードの印字領域を指定したファイル(CSV形式)を作成し、プリンターに登録する必要があります。バーコード領域指定アプリケーションのインストール方法、バーコード領域の指定方法、ファイルをプリンターに登録する方法については、「バーコードアプリの概要」(p.170)を参照してください。

■ バーコード領域の確認

[バーコード領域確認プリント]にチェックマークをつけ、[OK]をクリックすると、確認用のプリントが出力されます。領域指定にずれがないか確認してください。

ずれがある場合は、バーコード領域指定アプリケーションを使って領域を再度設定してください。



正しい指定のしかた

- バーコードの周囲に1mm以上の余白がある



- バーコードに対して指定範囲が小さい



- バーコードの位置と指定範囲がずれている



- バーコード以外のものも囲んでいる
囲んだ枠内の黒以外の画像は白くなる（消える）



- ・[バーコード領域確認プリント]では、設定した領域内のバーコードは、[カラーモード]が[カラー]の場合はマゼンタで、その他の場合は設定した色でプリントされます。
- ・対象とするバーコードの種類は、一次元バーコードです。二次元バーコード(例：QRコード)に対しては、この設定を行う必要はありません。

- ・原稿を作成したアプリケーションの解像度とプリンターの解像度が異なる設定で出力した場合、この機能を使用しても正しくバーコードの読み込みができないことがあります。

■ バーコード原稿のプリント

バーコード領域が正しく指定されたら、原稿をプリントします。



- ・バーコード領域として指定した領域では、原稿の色に関係なく地色が白、バーコードが黒でプリントされます。

1 原稿のアプリケーション画面で、印刷メニューからプリンタードライバーを開く

2 [イメージ処理]タブ画面で、[バーコード領域指定]にチェックマークをつける

3 プルダウンメニューからバーコード領域指定ファイルを選択する

4 [OK]をクリックする

バーコード領域の印字濃度が適切に設定され、プリントされます。



- ・使用頻度の高い原稿は、以下の手順で初期値に登録してください。必要な設定を省略できるので、簡単にバーコード印刷を行うことができます。

■ 初期値への登録方法

1 [スタート]-[設定]-[デバイス]または[Bluetoothとデバイス]-[プリンターとスキャナー]からお使いのプリンターを選択する

2 [管理]-[印刷設定]をクリックしてプリンタードライバー画面を開き、[イメージ処理]タブ画面を表示させる

3 バーコード印刷に必要な各項目を設定し、[適用] ボタンをクリックする

参照させた「バーコード領域指定ファイル」が初期値として登録されます。次回からは、プリンタードライバーを選択するだけでバーコード印刷を行うことができます。

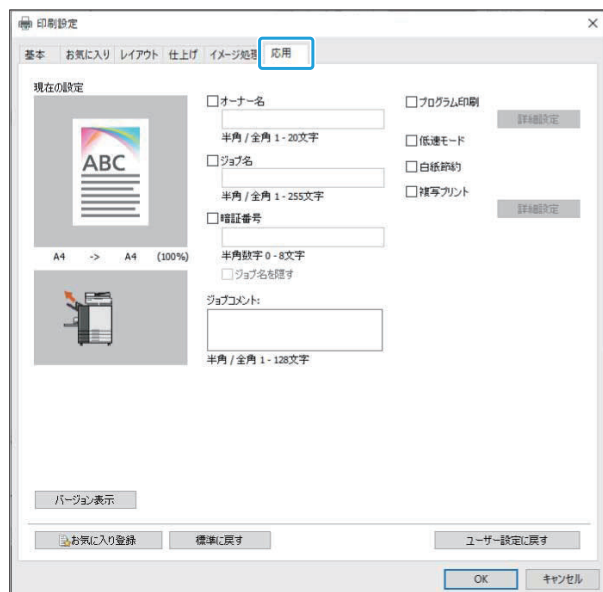
封筒画像処理

封筒印刷時の画像のぼやけや細かい汚れを防止します。処理を有効にするには、[封筒画像処理]にチェックマークをつけてください。



- [画像品質]で[ドラフト]に設定したときは、[封筒画像処理]は設定できません。(p.123「画像品質」)

[応用] タブ



オーナー名

任意のオーナー名を入力できます。[オーナー名]にチェックマークをつけると、オーナー名を設定できます。

ジョブ名

任意のジョブ名を入力できます。[ジョブ名]にチェックマークをつけると、ジョブ名を設定できます。

暗証番号

他人に見られたくない文書などをプリントする場合に、ジョブに暗証番号を設定できます。

暗証番号をつけたジョブは、プリンターの操作パネルで暗証番号を入力しないとプリントされません。

[暗証番号]にチェックマークをつけ、暗証番号を入力します。[ジョブ名を隠す]にチェックマークをつけると、プリンターの操作パネルやRISOコンソールではジョブ名が「*****」で表示されます。



- 暗証番号は忘れないように管理してください。管理者権限のないユーザーは、暗証番号の不明なジョブをリストから削除することはできません。削除する場合は管理者に依頼してください。

ジョブコメント

プリンターユーザーへのコメントを入力できます。ジョブコメントは、操作パネルやRISOコンソールからの操作でも表示できます。

プログラム印刷

グループ(部署やクラス)ごとに異なる部数を配布したい場合に、1回の操作で必要部数を手早くプリントできます。

たとえばオフィスで各部署に書類を配布する場合、部署ごとに部数を分けてプリントできます。

[プログラム印刷]にチェックマークをつけ、[詳細設定] ボタンをクリックすると、[プログラム印刷] ダイアログボックスが表示されます。各グループの部数や組数を設定します。



- [プログラム印刷]と[複写プリント]は併用できません。(p.128「複写プリント」)

■ 部数と組数の入力

グループ[01G]～[60G]

部数と組数の組み合わせを1つのグループとしてプログラムを設定します。

最大で60グループまで設定できます。

【部数】

プリントする部数を設定します。

最大で9999部まで設定できます。

【組数】

【部数】で入力した数を1セットとし、合計何セットプリントするかを設定します。

最大で99組まで設定できます。

＜設定の例＞

以下のように、各部署の所属人数ごとに、部数を分けてプリントする場合の設定方法を説明します。

部署	総務部	経理部	業務部
所属人数	10人	6人	10人
必要部数	10部	6部	10部

部署単位でグループを分け、それぞれ【部数】と【組数】を設定します。【部数】には所属人数を入力します。設定した部数を1セットだけプリントするため、【組数】には1を入力します。

部署	プリンタードライバーの設定		
	グループ	部数	組数
総務部	01G	10	1
経理部	02G	6	1
業務部	03G	10	1

また、必要部数が同じグループが複数ある場合は、組数を増やすことでグループを一つにまとめることもできます。例の場合、総務部と業務部の必要部数は同じですので、以下のように設定しても部署ごとに部数を分けてプリントできます。

部署	プリンタードライバーの設定		
	グループ	部数	組数
総務部／業務部	01G	10	2
経理部	02G	6	1

■ ソート

ページごとにプリントするか、部ごとにプリントするかを設定します。

【ページごと】／【部ごと】

■ プログラム合紙

プリントの区切りがわかるように、合紙を入れます。

【OFF】

合紙を入れません。

【組ごと】

組単位の区切りごとに、合紙を入れます。

【グループごと】

グループ単位の区切りごとに、合紙を入れます。

■ 合紙用トレイ選択

【給紙台】／【トレイ1】／【トレイ2】／【トレイ3】／【増設トレイ】



- ・オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、【給紙台】の代わりに【大容量給紙ユニット】が表示されます。
- ・【増設トレイ】は、オプションの増設トレイをお使いの場合に表示されます。

■ 合紙への番号印字

チェックマークをつけると、合紙に番号を印字します。

【組ごと】に設定している場合、グループ番号と組番号が印字されます。

【グループごと】に設定している場合、グループ番号が印字されます。

■ プログラムオフセット排紙

オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合に設定できます。詳しくは、以下を参照してください。

- ・オフセットステーブルトレイの場合
(p.183「プログラムオフセット排紙」)
- ・大容量排紙ユニットの場合
(p.202「プログラムオフセット排紙」)
- ・マルチフィニッシャーの場合
(p.214「プログラムオフセット排紙」)

低速モード

印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。

白紙節約

プリントデータ中の白紙ページを除いてプリントします。



- ここでの「白紙ページ」とは、通常プリントした場合に、何もプリントされずに排出されるページを指します。本文としてのデータがなくても、ヘッダーやフッターの適用ページであれば、白紙節約の対象にはなりません。
- [白紙節約]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[小冊子]、[ガンマ補正]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「小冊子」、p.124「ガンマ補正」)

複写プリント

複写式の帳票用紙など、複数種類の用紙にプリントする場合に設定します。

[複写プリント]にチェックマークをつけ、[詳細設定]ボタンをクリックすると、[複写プリント]ダイアログボックスが表示されます。

[給紙トレイリスト]で、使用するトレイを選択し、[給紙トレイ優先順位]のリストに追加します。複写プリントでは、[給紙トレイ優先順位]の上から順に給紙してプリントしますので、[上へ][下へ]ボタンを使って給紙トレイの優先順位を並べ替えます。



- [複写プリント]と[原稿サイズ混在]、[プログラム印刷]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.126「プログラム印刷」)
- [複写プリント]を設定すると、[給紙トレイ選択]は[自動]に固定されます。(p.112「給紙トレイ選択」)
- オプションのオフセットステーブルトレイまたはマルチフィニッシャーをお使いの場合に[ステーブル]／[パンチ]を設定しているときは、[給紙トレイ優先順位]で指定したすべてのトレイで、用紙のサイズと向きが同じでないと複写プリントはできません。

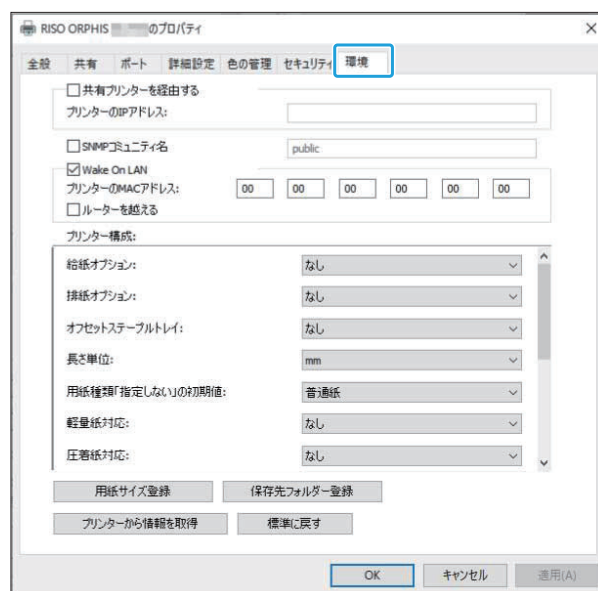
バージョン表示

プリンタードライバーのバージョンとカラープロファイル、プリンターのモデル名を確認できます。

[環境] タブ

初めてプリンタードライバーを使うときや、本機にオプションを増設したときは、プリンターのプロパティの[環境]タブで、プリンター構成を設定する必要があります。

[環境]タブは、[スタート]-[設定]-[デバイス]または[Bluetoothとデバイス]-[プリンターとスキャナー]からお使いのプリンターを選択して、[管理]-[プリンターのプロパティ]をクリックすると表示されます。



- [標準に戻す]をクリックすると、このタブの内容が初期値に戻ります。

共有プリンターを経由する

本機を、サーバーパソコンのプリンタードライバーを共有して使用する場合に設定します。

[共有プリンターを経由する]にチェックマークをつけて、[プリンターのIPアドレス]にプリントサーバーで共有設定されている本機のIPアドレスを39文字以内で入力します。IPアドレスは、操作パネルの[システム情報]-[機種情報]画面で確認できます。

SNMPコミュニティ名

SNMP通信でパソコンから本機の情報を取得するときに必要なコミュニティ名を設定します。

[SNMPコミュニティ名]にチェックマークをつけて、テキストボックスにSNMP通信のコミュニティ名を半角1～32文字で入力します。



- [SNMPコミュニティ名]にチェックマークがない場合、SNMP通信でのコミュニティ名は「public」となります。
- SNMPコミュニティ名のテキストボックスには、半角英数字(大文字／小文字)と、以下の半角の記号が入力できます。
., / : ; @ [¥] ^ _
- 本機とプリンタードライバーとでSNMPコミュニティ名が異なると、本機から情報が取得できません。本機でSNMPコミュニティ名を変更した場合は、プリンタードライバーでも同様に変更してください。

Wake On LAN

LAN経由で本機をウェイクアップするWake On LANの設定をします。

Wake On LANの通信ができないネットワーク環境からプリント指示をした場合、プリンターが自動でウェイクアップしません。

[プリンターから情報を取得]を選択して[適用]をクリックすると、MACアドレスが取得され[プリンターのMACアドレス]に表示されます。

手動で設定する場合は、[Wake On LAN]にチェックマークをつけて、[プリンターのMACアドレス]と[ルーターを越える]を設定してください。

[ルーターを越える]

通常は、チェックマークをはずした状態にしてください。プリンターとパソコンのネットワークセグメントが異なる場合に設定します。



- [Wake On LAN]の設定をしても、ネットワークの設定によってはプリンターを起動できない場合があります。詳しくは、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

プリンター構成

通常はプリンタードライバーのインストール時に、プリンターから自動でオプション構成の情報を取得します。本機から取得した情報が[プリンター構成]に表示されます。取得した情報の変更は、手動で設定することもできます。



- 接続しているオプションにより、画面に表示される内容は異なります。
[用紙種類「指定しない」の初期値]と[外部システム連携]、[ユーザー定義文字(外字)]は、自動では設定されません。

■ プリンターの構成を手動で設定する

プリンターから取得したオプションの構成を変更できます。

以下の項目を手動で設定します。

[給紙オプション]

接続されている給紙オプションの種類を選択します。

[排紙オプション]

接続されている排紙オプションの種類を選択します。

[オフセットステーブルトレイ]

オフセットステーブルトレイの有無を選択します。

[長さ単位]

表示される長さの単位を、[mm]または[inch]から選択します。

[用紙種類「指定しない」の初期値]

プリンタードライバー画面の[基本]タブの[用紙種類]で、[指定しない]を選択した場合に適用する用紙種類を選択します。

[軽量紙対応]

プリンタードライバー画面の[基本]タブの[用紙種類]に軽量紙を表示します。

[圧着紙対応]

プリンタードライバー画面の[基本]タブの[用紙種類]に圧着紙を表示します。

[外部システム連携]

外部システム連携の[有効]／[無効]を設定します。

[ユーザー定義文字(外字)の印字]

ユーザー定義文字(外字)の印刷処理の[有効]／[無効]を設定します。



・本機は、用紙種類によって、カラープロファイルを変更しています。(p.113「用紙種類」)用紙が指定されていない場合でも適切なカラープロファイルでプリントするために、[用紙種類「指定しない」の初期値]で用紙の種類を設定しておく必要があります。管理者のアドバイスに従って設定してください。

用紙サイズ登録

不定形用の紙サイズを99件まで登録できます。
ここに登録されているサイズが、[原稿サイズ]や[出力用紙サイズ]に表示されます。

■ 用紙サイズを自動で設定する

すでにプリンターに、用紙サイズが登録されている場合に有効です。

1 [用紙サイズ登録]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンターから情報を取得]をクリックする

プリンターに登録されている用紙サイズの情報が表示されます。

3 [閉じる]をクリックする

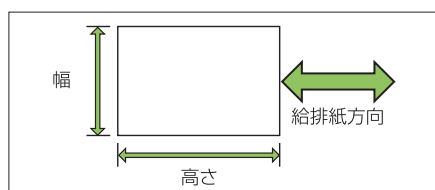
用紙サイズの情報が保存されます。

■ 用紙サイズを手動で設定する

1 [用紙サイズ登録]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 用紙の幅と高さを入力する



マルチフィニッシャーを接続している場合は、「付録」の「ORマルチフィニッシャー(M/S)(オプション)」(p.254)を参照してください。

3 用紙サイズの名称を入力する

1～30文字(全角、半角とも)で入力してください。

4 [追加]をクリックして登録する

5 [閉じる]をクリックする

用紙サイズの情報が保存されます。

■ 用紙サイズをパソコンに保存する

登録した用紙サイズを、パソコンに保存できます。
登録した用紙サイズを複数のユーザーで共有するときや、プリンタードライバを再度インストールするときなどは、いったんパソコンに保存しておく便利です。

1 [用紙サイズ登録]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 リストボックスから、保存する用紙サイズを選択する

3 [ファイルに保存する]をクリックする

4 保存先のフォルダーとファイル名を指定する

5 [保存]をクリックする

選択した用紙サイズが保存されます。

■ 用紙サイズをパソコンから読み込む

パソコンに保存されている用紙サイズを読み込んで利用できます。

1 [用紙サイズ登録]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 [ファイルを開く]をクリックする

3 パソコン内の用紙サイズのファイルを選択する

パソコンで拡張子が表示される設定になっている場合、用紙サイズのファイルは、拡張子が.udpとして表示されます。

4 [開く]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスのリストに、読み込んだ用紙サイズが表示されます。

■ 用紙サイズを削除する

1 [用紙サイズ登録]をクリックする

[用紙サイズ登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 リストボックスから、削除する用紙サイズを選択する

3 [削除]をクリックする

選択した用紙サイズが、削除されます。

保存先フォルダー登録

プリンタードライバーに、プリントデータの保存先を登録します。ここで登録した共有フォルダー、個人フォルダーは、プリントデータの保存先として、プリンタードライバー画面の[基本]タブにある[出力方法]の保存先に表示されます。(p.113「出力方法と保存先」)



・プリンターからフォルダーの情報を取得できない場合は、共有フォルダー1～30が表示されます。

■ 保存先フォルダーを設定する

1 [保存先フォルダー登録]をクリックする

[保存先フォルダー登録]ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンターから情報を取得]をクリックする

プリンターに登録されている共有フォルダーの情報が、[プリンターにある共有フォルダー]に表示されます。

3 [保存先リスト]に追加するフォルダーを選択して、[追加 ->]をクリックする

4 個人フォルダーの設定をする

個人フォルダーを持っている場合は、[個人フォルダーを使う]にチェックマークをつけると、[基本]タブの[保存先]に個人フォルダーが表示されます。

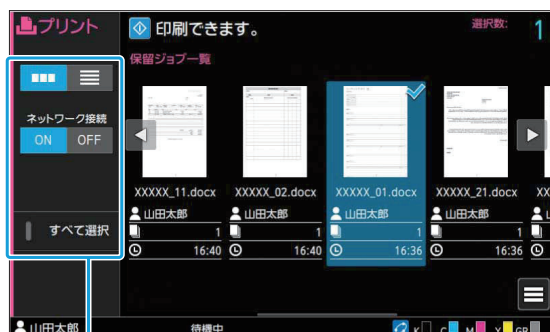
5 [OK]をクリックする

6 [OK]をクリックする

プリンターから情報を取得

プリンターのオプション構成の情報を取得して、自動でプリンタードライバーに設定します。詳しくは、「プリンター構成」(p.129)を参照してください。

プリントモードの機能ボタン



機能ボタン

表示切り替え

保留ジョブ一覧を、サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。

[サムネイル]：サムネイルで表示します。

[リスト]：リストで表示します。

ネットワーク接続

ネットワーク接続を切り替えます。[OFF]に設定すると、パソコンからのプリント指示を受け付けません。他のジョブに割り込まれずに本機を使用したい場合に設定します。

[OFF]／[ON]



- ・ネットワーク接続が[OFF]のときは、[×]が表示されます。(p.33「ホーム1」画面)
- ・ユーザーが必要なジョブのプリントなどを行ったあと、[ネットワーク接続]を[ON]に戻さないときは、以下のタイミングで[ON]に戻ります。
 - オートリセットされたとき(オートリセットされるまでの時間は、管理者により設定されています。)
 - ログアウトしたとき

すべて選択

タッチするとすべての保留ジョブを選択します。再度タッチすると選択を解除します。

詳細確認

保留ジョブ一覧でジョブを選択し、サブメニューの[詳細確認]をタッチします。選択したジョブの設定値を確認できます。

設定変更

ジョブの設定を変更するには、ジョブを選択して、サブメニューの[設定変更]をタッチします。

用紙選択

用紙トレイを選択します。トレイの設定変更(用紙サイズ・用紙種類・重送検知・自動選択)も、ここから行います。詳しくは、「コピー」の「用紙選択」(p.63)を参照してください。

低速モード

印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。詳しくは、「コピー」の「低速モード」(p.80)を参照してください。

印刷濃度

印刷の濃度を調整できます。詳しくは、「コピー」の「印刷濃度」(p.67)を参照してください。

画像位置調整

画像をプリントする位置を調整します。
詳しくは、「コピー」の「画像位置調整」(p.74)を参照してください。

設定確認

1 [設定確認]をタッチする

[設定確認]画面が表示されます。現在の設定値を確認してください。
サブメニューから、以下の設定ができます。

- 設定確認プリント

2 [戻る]をタッチする

外部システム連携

外部システム連携機能をお使いの場合に、外部システムに保存されたジョブをプリントします。



- 管理者の設定によっては、[外部システム連携]以外の名称で[ホーム1]画面に表示されている場合があります。
- 操作の手順は、お使いの外部システムによって異なります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

1 [ホーム1]画面で[外部システム連携]をタッチする

外部システムに接続されると、外部システムに保存されている文書のリストが表示されます。

2 文書を選び、[スタート]キーを押す

ボックス

スキャナーで読み取ったデータをフォルダーに保存しておけば、いつでも必要なデータをプリントできます。

ボックス操作の概要 (保存)

p.136

1. 原稿をセット



2. [ホーム1]画面で[ボックス]-
[保存]を選択



3. 保存先フォルダーを選択



4. [原稿保存]をタッチして設定
を変更



5. [スタート]キーを押す

ボックス操作の概要 (利用)

p.137

1. [ホーム1]画面で[ボックス]-
[利用]を選択



2. フォルダーを選択



3. 文書を選択



4. 部数をテンキーで入力



5. [スタート]キーを押す

ボックスモードの機能ボタン

p.142

ボックスモードで使える機能を説明しています。

ボックス操作の概要

ボックスモードの基本的な操作を説明します。

ボックス保存の手順

データをフォルダーに保存します。

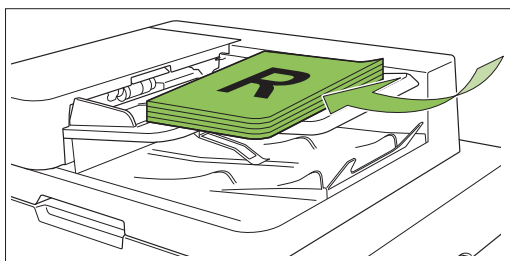
1 原稿をセットする

セットできる原稿については、「紙原稿について」(p.23)を参照してください。

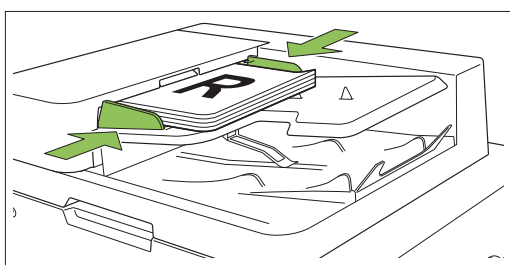
■ オートフィーダーの場合

1) 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、スキャンする面を上に向けてください。



2) 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

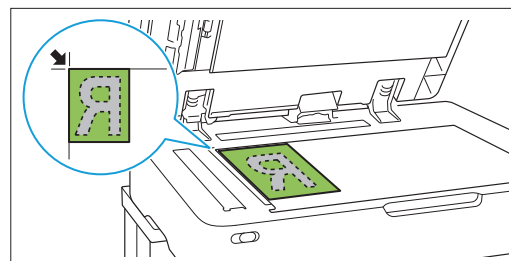


■ 原稿台ガラスの場合

1) 原稿カバーを開く

2) 原稿をセットする

コピーする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。



3) 原稿カバーを閉じる

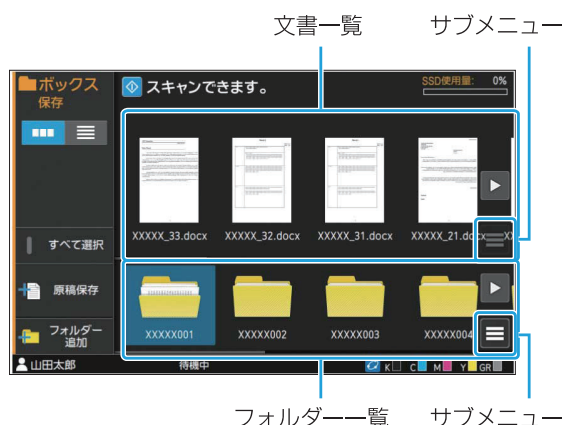


・原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

2 [ホーム1]画面で[ボックス]-[保存]を選択する



3 保存先フォルダーを選択する



フォルダー一覧には、個人フォルダーと、管理者によって使用を許可されている共有フォルダーが表示されます。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- 色変更
- 名称変更

文書一覧には、選択したフォルダーに保存されている文書が表示されます。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- 詳細確認
- 名称変更
- 削除

4 [原稿保存]をタッチする

文書を保存するための詳細を設定します。
設定できる機能については、「ボックス保存の設定項目一覧」(p.139)を参照してください。

5 [スタート]キーを押す

ボックス利用の手順

フォルダーに保存してある文書をプリントします。

1 [ホーム1]画面で[ボックス]-[利用]を選択する



2 利用したいフォルダーを選択し、プリントしたい文書を選択する



フォルダー一覧には、個人フォルダーと、管理者によって使用を許可されている共有フォルダーが表示されます。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- 色変更
- 名称変更

文書一覧には、選択したフォルダーに保存されている文書が表示されます。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- 詳細確認
- 設定変更
- 名称変更
- 削除
- USBメモリーへコピー
- フォルダーへコピー

3 プリントする部数をテンキーで入力する

4 [スタート]キーを押す



・フォルダーに保存した文書は、設定内容とともにデータ化されています。プリントするときは、フォルダーに保存したときの設定と同じ用紙種類の用紙にプリントしてください。

ボックス保存の設定項目一覧

ボックス保存モードでの設定項目を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
表示切り替え	サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。	p.142
すべて選択	表示されている文書をすべて選択します。	p.142
原稿保存	原稿データをボックスに保存するときの設定画面を表示します。	p.142
フォルダー追加	フォルダーを新規に追加します。	p.143

[ボックス]-[保存]画面でフォルダーを選択して[原稿保存]をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。その画面で設定できる項目の一覧を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
文書名	フォルダーに保存するときの文書名を表示／設定します。	p.92
カラーモード	コピーする色を選択します。	p.63
倍率	拡大コピー、縮小コピーをします。	p.63
用紙選択	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p.63
読み取りサイズ	原稿の読み取りサイズを設定します。	p.65
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。	p.66
両面 / 片面	読み取る面とコピーする面を設定します。	p.66
ソート	複数部数をコピーするときのプリント方法を設定します。	p.66
読み取り濃度	原稿を読み取る濃度を調整します。	p.66
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.67
AF連続読み込み	原稿の枚数が多く、数回に分けてセットした場合でも、一つのジョブとしてコピーします。	p.67
原稿サイズ混在	原稿に複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.67
ブック原稿	本などの中央(とじ部分)にできる影を消去します。	p.68
ページ分割	本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。	p.68
ページ集約	連続したページを1枚の用紙に割り付けます。	p.70
連写	1枚の用紙に同じ原稿を複数割り付ける設定をします。	p.70
小冊子	小冊子にするための面付けを設定します。オプションのマルチフィニッシャーM接続時は、二つ折りにして中とじすることもできます。	p.70
暗証番号	ジョブに暗証番号をつけるかどうかを設定します。 暗証番号をつけると、文書をプリントするときや削除するときなどに暗証番号が必要になります。	p.95
スタンプ	ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します。	p.71
ページ罫線	用紙の周囲に枠線を追加して印字します。	p.72
画像品質	原稿を読み取る際の解像度を設定します。	p.73
原稿種類	適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。	p.73
ガンマ補正	原稿を読み取る際の色バランス(CMYK)を補正します。	p.73
画像詳細設定	原稿に応じて最適な画像処理を設定します。	p.74

4章 ボックス

設定項目	説明	参照 ページ
地色除去	文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。	p.74
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p.74
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。	p.76
表紙付け	印刷物の前後に、表紙、裏表紙をつけるときに設定します。	p.78
仕分け	合紙の設定をします。オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャー接続時は、オフセット排紙も設定できます。	p.79
とじしろ	とじしろを空けてプリントするかどうかを設定します。 とじ位置ととじしろ幅の値が設定できます。	p.79
ステーブル/パンチ	ステーブルの位置を設定します。	
	オプションのオフセットステーブルトレイ接続時	p.184
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.216
	パンチの位置を設定します。 (パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャー接続時)	p.216
紙折り	用紙の折り方を設定します。 (オプションのマルチフィニッシャーM、またはマルチフィニッシャーSに紙折りユニット接続時)	p.217
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.80
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
排紙面	排紙先のトレイに対して、フェイスアップで排紙するか、フェイスダウンで排紙するかを設定します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	
	オプションのオートフェンス排紙台接続時	p.196
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
連続給紙	指定したトレイの用紙がなくなっても、用紙サイズ、用紙種類が同じ別のトレイから自動的に給紙します。	p.81
自動画像回転	原稿と用紙の向きが一致しない場合、自動的に画像を90度回転します。	p.81
お気に入り	よく使う設定内容呼び出します。	p.142
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.142
保存プレビュー	保存する前に原稿をスキャンして表示できます。	p.142
カスタムメニュー	お気に入りや初期値の登録と、設定ボタンの並べ替えをします。	p.143

ボックス利用の設定項目一覧

ボックス利用モードでの設定項目を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
表示切り替え	サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。	p.143
検索	フォルダー内の文書を検索します。	p.144
すべて選択	表示されている文書をすべて選択します。	p.144

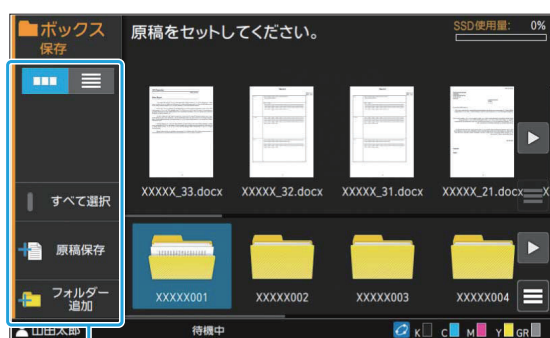
[ボックス]-[利用]画面で文書を選択してサブメニューの[設定変更]をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。

その画面で設定できる項目の一覧を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
用紙選択	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p.63
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.67
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p.74
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.80
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.144

ボックスモードの機能ボタン

ボックス保存の機能ボタン



機能ボタン

表示切り替え

フォルダー／文書一覧を、サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。

[サムネイルアイコン]：サムネイルで表示します。

[リストアイコン]：リストで表示します。

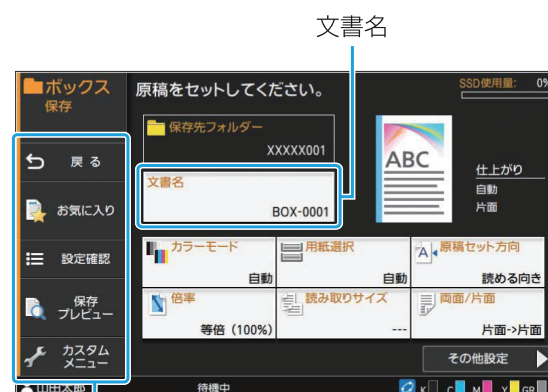
すべて選択

タッチすると、選択したフォルダーに保存されているすべての文書を選択します。再度タッチすると選択を解除します。

原稿保存

文書をフォルダーに保存するときの設定を変更できます。

設定ボタンについて詳しくは、「ボックス保存の設定項目一覧」(p.139)を参照してください。



機能ボタン

戻る

フォルダー／文書一覧画面を表示します。

お気に入り

あらかじめ登録された設定を呼び出します。
詳しくは、「コピー」の「お気に入り」(p.83)を参照してください。

設定確認

保存する文書の設定を確認します。
詳しくは、「コピー」の「設定確認」(p.84)を参照してください。

保存プレビュー

保存する前に原稿をスキャンして表示できます。

1 [保存プレビュー]をタッチする

[保存プレビュー]画面が表示されます。

2 [実行]をタッチしてスキャンを開始する
プレビュー画面が表示されます。スキャン結果を確認します。

3 [スタート]キーを押す
保存されます。



・スキャンしたデータのページが複数の場合は、画面をフリックしてページを切り替えることができます。[◀][▶]をタッチして切り替えることもできます。

■ カスタムメニュー

お気に入りや初期値を登録したり、設定ボタンの表示順を並べ替えたりします。
詳しくは、「コピー」の「カスタムメニュー」(p.84)を参照してください。

■ 文書名

文書名ボタンをタッチすると、文書をフォルダーに保存するときの文書名を設定できます。

【文書名】

【入力方法】で設定した内容で文書名を表示します。拡張子は表示しません。

【入力方法】

【自動】：文書名は自動で設定されます。工場出荷時の状態では、「BOX-」の後ろに連番(0001～9999)が付く形式で設定されます。

【直接入力】：任意の文書名を入力できます。

1 【文書名】をタッチする
【文書名設定】画面が表示されます。

2 入力方法を選択する
【直接入力】を選択した場合は、文書名を入力して【OK】をタッチします。

3 【OK】をタッチする



・文字入力については、「文字を入力する」(p.44)を参照してください。
・【直接入力】では、全角／半角、大文字／小文字を入力できます。

フォルダー追加

フォルダーを新規に追加できます。

1 【フォルダー追加】をタッチする
【フォルダー名】入力画面が表示されます。

2 フォルダー名を入力して【OK】をタッチする



・文字入力については、「タッチパネル」の「文字を入力する」(p.44)を参照してください。
・全角／半角、大文字／小文字を入力できます。
・フォルダー名が重複している場合は、確認画面が表示され、登録できません。

ボックス利用の機能ボタン



機能ボタン

表示切り替え

文書一覧を、サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。

[サムネイル]：サムネイルで表示します。

[リスト]：リストで表示します。

検索

フォルダー内の文書を検索します。

1 [検索]をタッチする

[検索]画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力して[OK]をタッチする



- 文字入力については、「文字を入力する」(p.44)を参照してください。
- フォルダー／文書一覧でフォルダーが選択されているときは、選択されたフォルダー内を検索します。
- フォルダー／文書一覧でフォルダーが選択されていないときは、ログインしているユーザーが利用できるすべてのフォルダーを対象に検索します。
- 以下の文書は検索の対象外になります。
 - プリンタードライバーの[ジョブ名を隠す]にチェックマークを付けて保存された文書 (p.126「暗証番号」)

すべて選択

タッチすると、選択したフォルダーに保存されているすべての文書を選択します。再度タッチすると選択を解除します。

設定を変更する

文書を選択してサブメニューの[設定変更]をタッチすると、文書をプリントするときの設定を変更できます。

設定ボタンについては、「ボックス利用の設定項目一覧」(p.141)を参照してください。

■ 戻る

フォルダー／文書一覧画面を表示します。

■ 設定確認

設定変更画面の現在の設定値を確認できます。サブメニューから、以下の設定ができます。

- 設定確認プリント

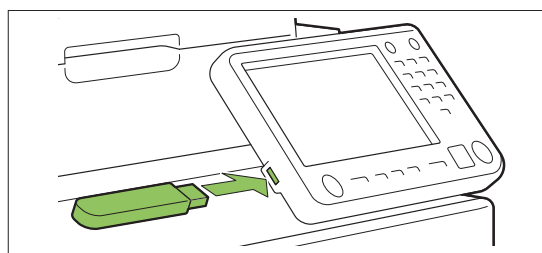
USB メモリーや別のフォルダーにコピーする

フォルダーに保存されている文書は、USB メモリーや別のフォルダーにコピーできます。文書を選択して、サブメニューで操作します。

■ USBメモリーへコピー

フォルダーに保存されている文書をUSBメモリーへコピーできます。

1 USBスロットにUSBメモリーを挿入する



2 サブメニューを表示して[USBメモリーへコピー]をタッチする

3 保存先のフォルダーを選択して、[OK]をタッチする





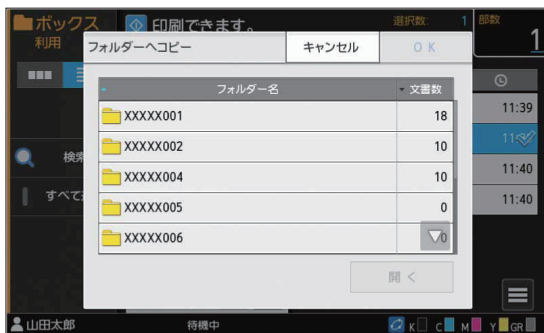
- USBメモリーにフォルダーがない状態で[OK]をタッチすると、フォルダーが自動生成されて文書がコピーされます。
- フォルダーを選択して[開く]をタッチすると、フォルダー内の文書一覧を確認できます。

■ フォルダーへコピー

フォルダーに保存されている文書を別のフォルダーへコピーできます。

1 サブメニューを表示して[フォルダーへコピー]をタッチする

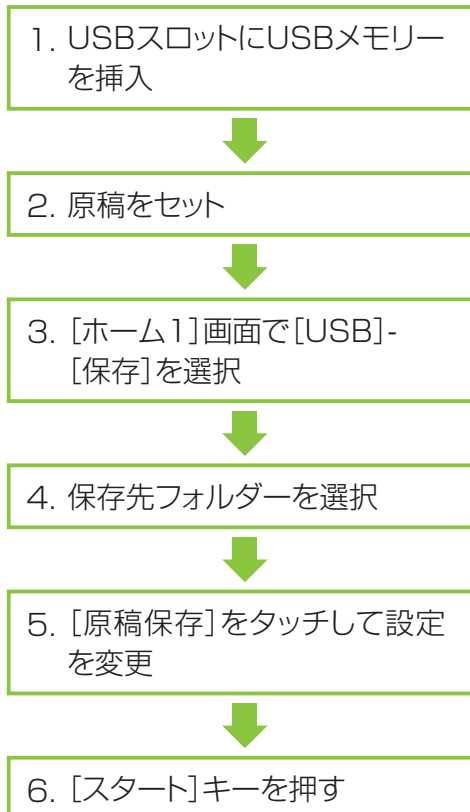
2 保存先のフォルダーを選択して、[OK]をタッチする



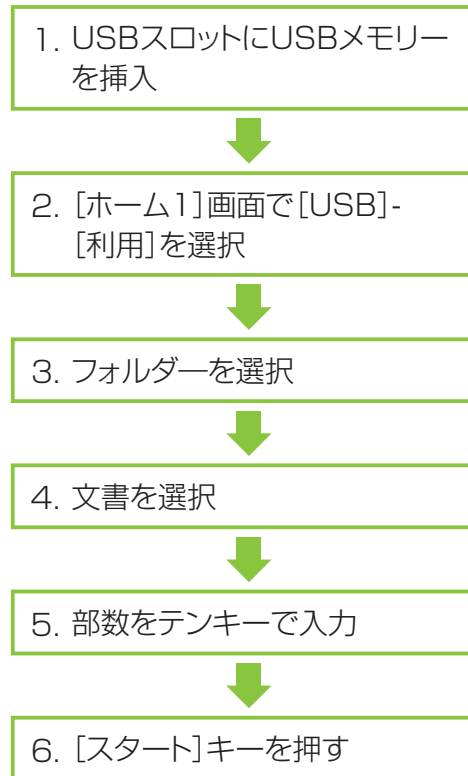
- [フォルダーへコピー]画面に表示されるのは、ログインしているユーザーが利用できるフォルダーのみです。
- フォルダーを選択して[開く]をタッチすると、フォルダー内の文書一覧を確認できます。

スキャナーで読み取ったデータを、本機に接続したUSBメモリーに保存できます。
また、プリンタードライバーからUSBメモリーに保存した文書をプリントできます。

USB操作の概要(保存) p.148



USB操作の概要(利用) p.149



USBモードの機能ボタン

p.153

USBモードで使える機能を説明しています。



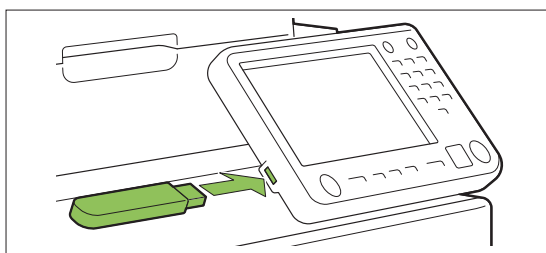
USB操作の概要

USBモードの基本的な操作を説明します。

USB保存の手順

本機でスキャンしたデータをUSBメモリーに保存します。

1 USBスロットにUSBメモリーを挿入する



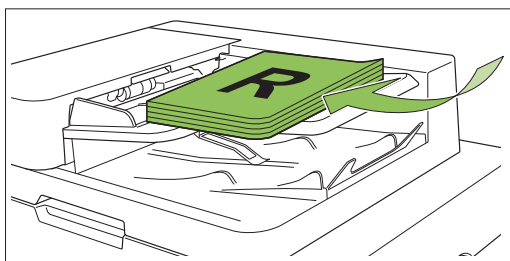
2 原稿をセットする

セットできる原稿については、「紙原稿について」(p.23)を参照してください。

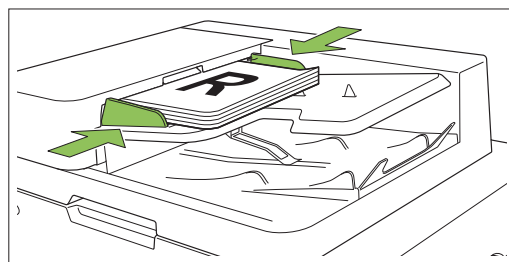
■ オートフィーダーの場合

1) 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、スキャンする面を上に向けてください。



2) 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

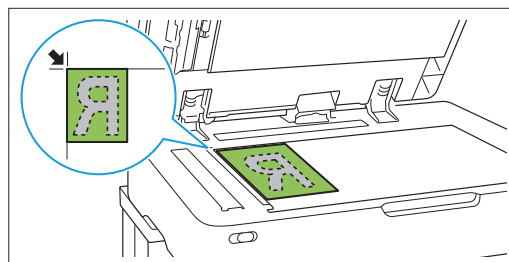


■ 原稿台ガラスの場合

1) 原稿カバーを開く

2) 原稿をセットする

コピーする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。



3) 原稿カバーを閉じる

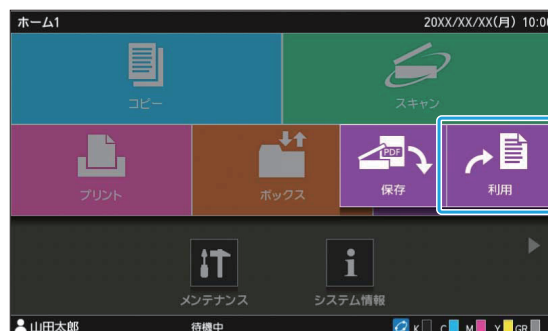


・原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

3 [ホーム1]画面で、[USB]-[保存]を選択する



2 [ホーム1]画面で、[USB]-[利用]を選択する



4 保存先フォルダーを選択する

5 [原稿保存]をタッチする

文書を保存するための詳細を設定します。
設定できる機能については、「USB保存の設定項目一覧」(p.151)を参照してください。

6 [スタート]キーを押す

USB利用の手順

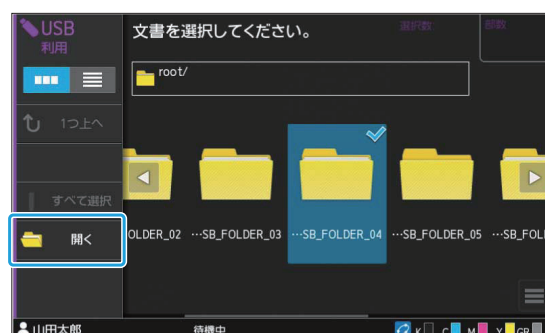
USBメモリーに保存した文書をプリントします。
USBメモリーに文書を保存するには、「プリント」の「出力方法と保存先」(p.113)を参照してください。



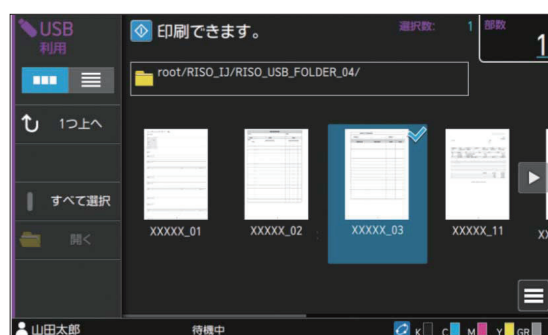
- プリントできるファイルは、PRN形式のみです。
- PRNファイルとは、プリンタードライバーで出力した当社専用のファイル形式です。他社製のプリンターやアプリケーションでは、ファイルを開くことはできません。
- オプションのPostScriptキットをお使いの場合は、PDF形式のファイルもご利用いただけます。詳しくは、「オプション」の「USB利用について」(p.234)を参照してください。

1 USBスロットにUSBメモリーを挿入する

3 利用したいフォルダーを選択して[開く]をタッチする



4 プリントしたい文書を選択する



- 印刷設定を変更する場合は、文書がPRNファイルの場合はサブメニューの[設定変更]を、PDFファイルの場合は[印刷設定]をタッチして設定を変更してください。設定できる機能については、以下を参照してください。
 - 文書がPRNファイルの場合 (p.152「USB利用の設定項目一覧」)
 - 文書がPDFファイルの場合 (p.235「USB利用の設定項目一覧」)

5 プリントする部数をテンキーで入力する

6 [スタート]キーを押す

USB保存の設定項目一覧

[USB]-[保存]画面でフォルダーを選択して[原稿保存]をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。その画面で設定できる項目の一覧を、以下に示します。

設定項目	説明	参照 ページ
文書名	USBメモリーに保存するときの文書名を表示／設定します。	p.92
カラーモード	スキャンするデータのカラーモードを設定します。	p.92
読み取りサイズ	スキャンする原稿の読み取りサイズを設定します。	p.93
ファイル形式	スキャンしたデータの保存形式を設定します。	p.93
両面 / 片面	原稿の読み取り面を設定します。	p.93
読み取り濃度	原稿を読み取るときに濃度を調整します。	p.66
原稿セット方向	原稿をセットする方向を設定します。	p.66
解像度	原稿を読み取るときに解像度を設定します。	p.94
原稿サイズ混在	原稿に複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.67
保存サイズ	スキャンしたデータの保存サイズを設定します。	p.94
ブック原稿	本などの中央(とじ部分)にできる影を消去します。	p.68
ページ分割	本などの見開きページを左右に分割して読み取ります。	p.68
原稿種類	適切な画像処理をしてから保存するために、原稿の種類を選択します。	p.95
ガンマ補正	原稿を読み取るときにデータの色バランス(CMYK)を補正します。	p.95
画像詳細設定	原稿に適した画像処理を設定します。	p.74
地色除去	文字が読みにくい場合に、背景色(地色)だけを薄くします。	p.74
倍率	スキャンしたデータを拡大または縮小します。	p.96
お気に入り	よく使う設定内容を呼び出します。	p.153
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.153
保存プレビュー	保存する前に原稿をスキャンして表示できます。	p.153
カスタムメニュー	お気に入りや初期値の登録と、設定ボタンの並べ替えをします。	p.153

USB利用の設定項目一覧

[USB]-[利用]画面でフォルダーを選択して[開く]をタッチするとフォルダー内の文書が一覧で表示されます。文書を選択してサブメニューの[設定変更]をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。

その画面で設定できる項目の一覧を、以下に示します。

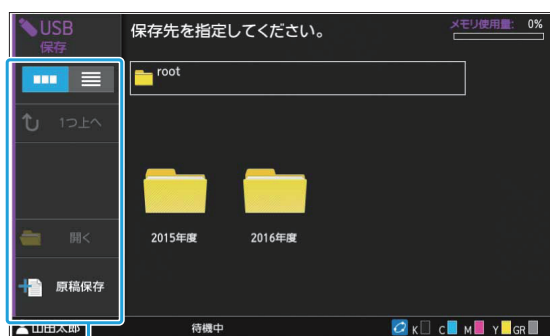
設定項目	説明	参照 ページ
用紙選択	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p.63
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.67
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p.74
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.80
設定確認	現在の設定値を確認します。	p.154



- オプションのPostScriptキットをインストールするとUSBメモリーに保存したPDFファイルも利用できます。このとき、PDF ファイルをプリントする設定を変更できます。詳しくは、「オプション」の「USB利用について」(p.234)を参照してください。

USBモードの機能ボタン

USB保存の機能ボタン



機能ボタン

表示切り替え

文書一覧を、サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。

[サムネイル] : サムネイルで表示します。

[リスト] : リストで表示します。

1つ上へ

ひとつ上の階層を表示します。

開く

選択したフォルダーを開きます。

原稿保存

文書をUSBメモリーに保存するときの設定を変更できます。

設定項目については、「USB保存の設定項目一覧」(p.151)を参照してください。



戻る

文書一覧画面を表示します。

お気に入り

あらかじめ登録された設定を呼び出します。
詳しくは、「コピー」の「お気に入り」(p.83)を参照してください。

設定確認

現在の設定値を確認できます。
サブメニューから、以下の設定ができます。

- お気に入り登録
- 初期値に登録
- 設定確認プリント

保存プレビュー

保存する前に原稿をスキャンして表示できます。
詳しくは、「ボックス」の「保存プレビュー」(p.142)を参照してください。

カスタムメニュー

お気に入りや初期値を登録したり、設定ボタンの表示順を並べ替えます。
詳しくは、「コピー」の「カスタムメニュー」(p.84)を参照してください。

文書名

USBメモリーに保存するときの文書名を表示します。**[文書名]**をタッチすると、文書名を設定できます。詳しくは、「スキャン」の「文書名」(p.92)を参照してください。



- ・[入力方法]で[自動]を選択したときは、工場出荷時の状態では、「USB-」の後ろに連番(0001～9999)が付く形式で設定されます。

USB利用の機能ボタン



機能ボタン

表示切り替え

文書一覧を、サムネイルで表示するかリストで表示するかを切り替えます。

- [サムネイル]**：サムネイルで表示します。
- [リスト]**：リストで表示します。



- ・リスト表示では、[名前]や[文書数]をタッチすると、昇順／降順で並べ替えて表示できます。

1つ上へ

ひとつ上の階層を表示します。

すべて選択

タッチすると、選択したフォルダーに保存されているすべての文書を選択します。再度タッチすると選択を解除します。

開く

選択したフォルダーを開きます。

文書の設定値を確認する

文書を選択してサブメニューの**[詳細確認]**をタッチすると、選択した文書の設定値を確認できます。

設定を変更する

文書を選択してサブメニューの**[設定変更]**をタッチすると、文書をプリントするときの設定を変更できます。

設定項目については、「USB利用の設定項目一覧」(p.152)を参照してください。

戻る

文書一覧画面を表示します。

設定確認

現在の設定値を確認できます。

サブメニューから、以下の設定ができます。

- ・設定確認プリント

フォルダーへコピーする

USBメモリーに保存されている文書の本機のフォルダーへコピーできます。

1 文書を選択し、サブメニューを表示して
[フォルダーへコピー]をタッチする

2 保存先のフォルダーを選択して、[OK]
をタッチする



- USBメモリーのフォルダーから、USBメモリーの別フォルダーに文書をコピーすることはできません。
- [フォルダーへコピー]画面に表示されるのは、ログインしているユーザーが利用できるフォルダーのみです。
- フォルダーを選択して[開く]をタッチすると、フォルダー内の文書一覧を確認できます。

RISOコンソール

RISOコンソールは、ウェブブラウザを利用して、本機を遠隔操作するソフトウェアです。
プリンターとネットワークで接続されたパソコンから、プリンターの状態確認やジョブの設定変更などができます。

RISOコンソールの概要

p.158

RISOコンソールの起動



共通のボタン操作

【システム情報】メニュー

p.161

[消耗品情報]、[機種情報]、[ユーザー情報]、[ライセンス情報]の各画面でできることを説明しています。

【スキャン】メニュー

p.164

[スキャン]メニューでできることを説明しています。

【プリント】メニュー

p.165

[プリント]メニューでできることを説明しています。

【ボックス】メニュー

p.166

[ボックス]メニューでできることを説明しています。

【ジョブ確認】メニュー

p.167

[ジョブ確認]メニューでできることを説明しています。

【メンテナンス】メニュー

p.168

[メンテナンス]メニューでできることを説明しています。



RISOコンソールの概要

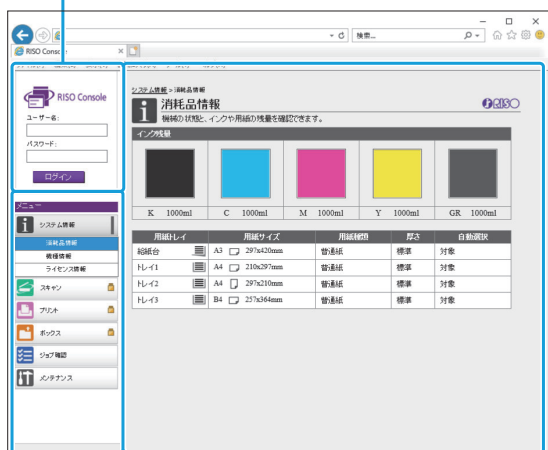
RISOコンソールの機能について説明します。

トップ画面



- ・本機がネットワークに接続されていることを確認してください。

ステータスエリア



サイドメニュー

コンテンツエリア



- ・サイドメニューに  が表示されている場合は、ログインが必要です。ログイン後に  が表示される場合は、該当モードの使用が禁止されています。
- ・画面左側に  が表示されている場合は、本機の情報を取得中です。
- ・対応するウェブブラウザは以下のとおりです。
 - Windows® Internet Explorer Ver11.0
 - Microsoft® Edge
 - Safari® (macOS用)
- ・省電力の設定により、RISOコンソール画面が表示されないことがあります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- ・表示されるサイドメニューは、管理者が設定する内容によって異なります。

サイドメニュー

RISOコンソールのサイドメニューから、以下の操作ができます。

システム情報		
消耗品情報	インクや用紙の残量など、消耗品情報の確認	p.161
機種情報	・プリンター本体の状況の確認 ・プリンターの機種名、シリアル番号、MACアドレスなどシステム情報の確認 ・詳細カウント、チャージカウントの確認	p.161
ユーザー情報	ログイン中のユーザーについてのユーザー情報の確認	p.163
ライセンス情報	本製品で使用されているシステムのライセンス情報の確認	p.163
スキャン		
	本機の内蔵SSDに保存されているスキャンジョブの検索、確認、削除、ダウンロード	p.164
プリント		
	ジョブの確認と削除	p.165
ボックス		
利用	・フォルダー内文書の検索 ・追加、色変更など、フォルダーの編集	p.166

フォームデータ	プリンタードライバーから[フォーム]で出力されたジョブの検索、確認、プリント、削除（オプションのPostScriptキットインストール時）	p.233
ジョブ確認		
処理中 / 待機中	処理中、待機中ジョブの検索、確認、削除	p.167
終了(履歴)	終了したジョブの検索、確認、削除、再プリント	p.167
メンテナンス		
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングの実行	p.168
糊ユニット温度確認	糊ユニットの予熱（オプションのくるみ製本フィニッシャー接続時）	p.168

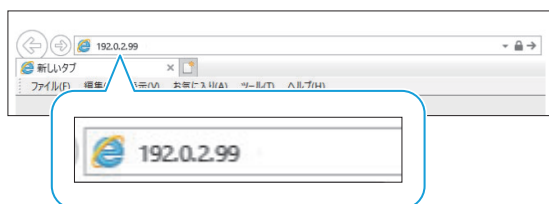
RISOコンソールの起動

RISOコンソールを起動するには、パソコンとネットワークの接続が必要です。インターネットに接続されている必要はありません。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力ボックスにプリンターのIPアドレスを入力する

プリンターのIPアドレスは、本機の操作パネルで[システム情報]の[機種情報]を選択すると確認できます。
 <IPアドレス入力例：「192.0.2.99」の場合>



3 [Enter]キーを押す

RISOコンソールの[システム情報]画面が表示されます。



- デスクトップにショートカットを作成しておくと、RISOコンソールを簡単に表示できます。

- RISOコンソールは5分以上操作しなかった場合、プリンターとの接続が切れます。再接続するには、ウェブブラウザの表示を更新してください。

ログインする

サイドメニューに  が表示されている場合は、ログインが必要です。

1 ステータスエリアでユーザー名とパスワードを入力する

パスワードは、16文字以内（数字または英小文字）で入力します。入力した文字は「*」で表示されます。

2 [ログイン]をクリックする

[システム情報]-[消耗品情報]画面が表示されます。

■ ログアウトする

ステータスエリアで[ログアウト]をクリックします。



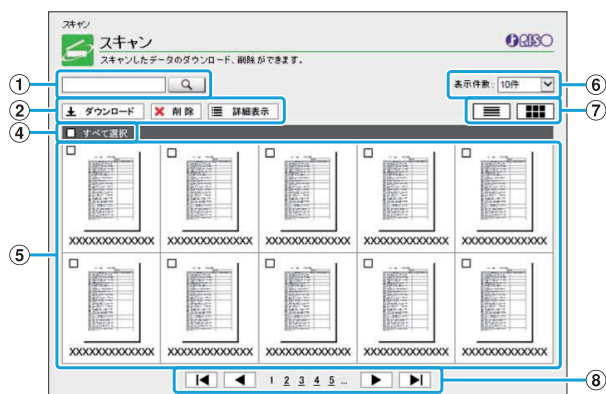
- パスワードを忘れてしまった場合は、管理者にお問い合わせください。
- ユーザーのパスワードは、[システム情報]-[ユーザー情報]画面で変更できます。（p.163「[ユーザー情報]画面」）

共通のボタン操作

[スキャン]メニュー画面、[プリント]メニュー画面、[ボックス]メニュー画面、[ジョブ確認]画面には、操作が共通のボタンがあります。

ここでは[スキャン]メニュー画面で説明します。

サムネイル表示



リスト表示



① 検索

ジョブの検索ができます。

全角／半角で256文字まで入力できます。

② メニュー

ジョブを選択してメニューをクリックします。

表示されるメニューは、画面によって異なります。

③ リストの見出し行(リスト表示のみ)

[文書名]、[オーナー名]、[ページ数]、[保存日時]などの見出し行をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

④ すべて選択

チェックマークをつけると、すべてのジョブが選択されます。

⑤ ジョブ

ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけます。

⑥ 表示件数

ジョブの表示件数を選択できます。

⑦ 表示切り替え([スキャン]画面、[プリント]画面のみ)

≡／≡≡≡をクリックして、リスト表示／サムネイル表示を切り替えます。

⑧ ページ切り替え

◀／▶：先頭ページ／最終ページへ移動

◀／▶：1つ前のページ／1つ後ろのページへ移動

1 2...：クリックした数字のページへ移動



- 暗証番号付きジョブを選択した場合、[ダウンロード]／[削除]／[詳細表示]をクリックすると暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力して、[OK]をクリックします。

- ジョブは複数選択できます。

- ジョブ名やオーナー名、フォルダー名などが表示文字数の上限を超える場合は、前半を省略して「…」と表示されます。

[システム情報]メニュー

[消耗品情報]画面

インクや用紙に関する情報が表示されます。

システム情報 > 消耗品情報

消耗品情報
機種の状態と、インクや用紙の残量を確認できます。

インク残量

K 1000ml	C 1000ml	M 1000ml	Y 1000ml	GR1000ml

用紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類	厚さ	自動選択
給紙台	A3 □ 297x420mm	普通紙	標準	対象
トレイ1	A4 □ 210x297mm	普通紙	標準	対象
トレイ2	A4 □ 210x297mm	普通紙	標準	対象
トレイ3	B4 □ 257x364mm	普通紙	標準	対象

インク残量

インクの残量が、それぞれ10段階で表示されます。表示が点滅し始めたら、インクカートリッジの交換時期です。

新しいインクカートリッジを準備してください。



- インク残量は、ボトル容量により表示が異なります。
- 理想科学製ではないインクをお使いの場合、インク残量は表示されません。

用紙の状態

トレイごとに用紙残量の目安、用紙サイズ、用紙種類、厚さ、自動選択対象が表示されています。

用紙残量は以下のように表示されます。

- 給紙台： 51～100%、 31～50%、 11～30%、 1～10%、 0%
- 用紙トレイ1～3： 51～100%、 1～50%、 0%
- オプションの増設トレイ： 51～100%、 31～50%、 10～30%、 1～9%、 0%

または が表示されたときは用紙を追加してください。

用紙設定については、「コピー」の「用紙トレイの設定を変更する」(p.64)を参照してください。

[機種情報]画面

本機の状態やオプションの接続状態、シリアル番号や内蔵SSD使用量などの機種情報が表示されます。

システム情報 > 機種情報

機種情報
機種情報を確認できます。

状態: 待機中

本体
給紙台: 使用可能
トレイ1: 使用可能
トレイ2: 使用可能
トレイ3: 使用可能

増設トレイ: なし
スキナー: あり
マルチフィニッシャー: なし
オフセットステープルトレイ: なし
排紙台: なし
オート排紙台: なし
大容量給紙ユニット: なし
大容量排紙ユニット: なし
くるみ製本フィニッシャー: なし
ジョーリングフィニッシャー: なし
ICカード認識キット: なし
PostScriptオプション: なし
種層信号灯: なし

機種名	ORPHIS
シリアル番号	
LAN0 MACアドレス	
LAN1 MACアドレス	
LAN0 IPアドレス (IPv4)	
LAN1 IPアドレス (IPv4)	
LAN0 IPアドレス (IPv6)	
LAN1 IPアドレス (IPv6)	
SSDデータ暗号化	無効
SSD使用量	1%
空き容量: 内蔵SSD	399.1 GB
内蔵時計	
コメント	
ファームバージョン	
ファームウェア ダウンロード	取得済みのバージョンはありません

システム情報プリント サンプル画像プリント

本機の状態

本機の状態、トレイの使用可否、オプションの接続状態が表示されます。

エラーが発生した場合にはエラー発生メッセージが表示されます。

機種情報

機種名: 本機の機種名です。

シリアル番号: 本機のシリアル番号です。

MACアドレス (LAN0 / LAN1): 本機のMACアドレスです。

IPアドレス (IPv4 / IPv6) (LAN0 / LAN1): 本機のIPアドレスです。

SSDデータ暗号化: 内蔵SSDのデータ暗号化の設定状況 (有効または無効) が表示されます。

SSD使用量: 使用中の内蔵SSDの割合です。

空き容量：[内蔵SSD]には、内蔵SSDの空き容量が表示されます。[外付けHDD]には、本機に接続されている外付けハードディスクの空き容量が表示されます。

コメント：管理者が入力したコメントです。管理者権限を持つユーザーのみ入力できます。

ファームバージョン：ファームウェアのバージョンです。

ファームウェアダウンロード：ファームウェアの取得状況が表示されます。



- 本機にはLAN0とLAN1の2つのLANポートがあります。通常はLAN0ポートを使用します。オプションのプリントコントローラーに接続する場合はLAN1ポートを使用します。
- [外付けHDD]は、外付けハードディスクが本機に接続されている場合に表示されます。
- [機種情報]画面の表示中にファームウェアの取得状況が更新された場合、[ファームウェアダウンロード]のメッセージは自動では更新されません。最新の状況を確認するには、ウェブブラウザの表示を更新してください。

[システム情報プリント]

クリックすると、システム情報がプリントできます。

[サンプル画像プリント]

クリックすると、サンプルページがプリントされ、プリント画像の状態が確認できます。

詳細カウントを確認する

本機のトータルカウントと、用紙サイズごとのカウントが表示されます。

システム情報 > 機種情報 > 詳細カウント			
消費品情報 詳細カウントを確認できます。			
このリストを印刷 CSVファイルとしてダウンロード			
トータルカウント 2184			
用紙サイズ	白黒	単色カラー	フルカラー
A3	0	0	0
A4	1	0	2183
B4	0	0	0
B5	0	0	0
ハガキ	0	0	0
不定形L	0	0	0
不定形S	0	0	0

[このリストを印刷]

クリックすると、最新の情報がプリントされます。

[CSVファイルとしてダウンロード]

クリックすると、最新の情報をCSV形式のファイルでパソコンに保存できます。

[トータルカウント]

プリント・コピー時の用紙の搬送回数を合計で表示します。

両面印刷した場合は、用紙1枚につき2回カウントされます。

詳細カウント

用紙サイズごとのカウントを表示します。



- [このリストを印刷]や[CSVファイルとしてダウンロード]は、クリックした時点での最新情報が取得されるため、画面に表示されている情報と異なる場合があります。

チャージカウントを確認する

用紙サイズの区分けごとにチャージカウント数が、単色とカラーに分けて表示されます。

[このリストを印刷]

クリックすると、最新の情報がプリントされます。

[CSVファイルとしてダウンロード]

クリックすると、最新の情報をCSV形式のファイルでパソコンに保存できます。

[チャージ設定]

チャージのタイプを表示します。



- [チャージカウント]画面は、ORPHIS GL9730C、GL7430Cをお使いの場合にのみ表示されます。
- [このリストを印刷]や[CSVファイルとしてダウンロード]は、クリックした時点での最終情報が取得されるため、画面に表示されている情報と異なる場合があります。
- チャージカウントについて詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

【ユーザー情報】画面

現在ログインしているユーザーの情報が表示されます。

- ログインが不要な場合、[ユーザー情報]画面は表示されません。

システム情報 > ユーザー情報

ユーザー情報
各ユーザーの情報と、用紙の使用枚数制限を確認できます。

[パスワード変更](#)

ユーザー名	山田太郎			
所属グループ	営業課			
	営業部			
	管理			

	プリント		コピー	
	単色	カラー	単色	カラー
制限枚数	---	10000	---	10000
使用枚数	---	0	---	0
残枚数	---	10000	---	10000

【パスワード変更】

パスワードの変更ができます。

ユーザー情報

ログインしているユーザーのユーザー名、所属グループを表示します。

制限枚数

管理者によって設定されている制限枚数と、ログインしているユーザーの現在の使用枚数を表示します。



- 管理者によって登録された内容が表示されます。不都合がある場合は、管理者にお問い合わせください。

ログインパスワードを変更する

ユーザーは、自分のログインパスワードを変更できます。

1 [パスワード変更]をクリックする

2 [新パスワード]に、新しいパスワードを入力する

パスワードは、16文字以内(数字または英小文字)で入力します。入力した文字は「*」で表示されます。

3 確認のため、再度新パスワードを入力する

4 [OK]をクリックする

送信完了画面が表示されます。

5 [OK]をクリックする

【ライセンス情報】画面

[ライセンス情報]画面では、本製品で使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス情報が表示されます。

システム情報 > ライセンス情報

ライセンス情報
ライセンス情報を確認できます。

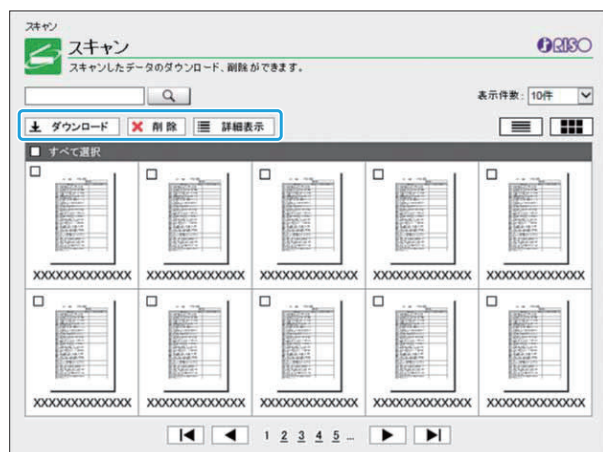
libtiff
(i)the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and(ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

libjpeg62.libjpeg62-dev
(2)If only executable code is distributed,then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

[スキャン]メニュー

[スキャン]メニュー画面

スキャンして本機の内蔵SSDに保存したデータを、パソコンにダウンロードできます。



[ダウンロード]

選択したジョブをダウンロードします。

[削除]

選択したジョブを削除します。

[詳細表示]

選択したジョブの設定内容や、ファイル容量などを確認できます。



- スキャンジョブは、管理者が設定する[スキャン文書保存設定]により、保存期間が設定されています。その期間を過ぎると自動的に削除されます。

スキャンジョブをパソコンにダウンロードする

1 ダウンロードするスキャンジョブにチェックマークをつける

ジョブは複数選択できます。

2 [ダウンロード]をクリックする

ZIPファイル作成中画面が表示されます。

- 暗証番号付きジョブの場合は、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力して、[OK]をクリックします。

3 ZIPファイルのリンクをクリックする

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

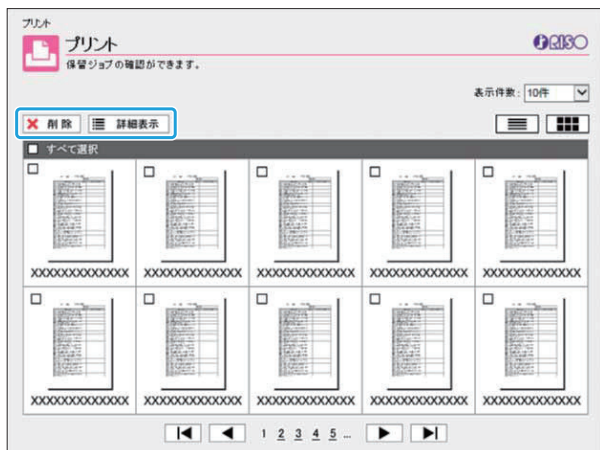
4 ダウンロード先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]をクリックする

スキャンジョブのデータが、パソコン内に保存されます。

[プリント]メニュー

[プリント]メニュー画面

プリンタードライバーから送信して本機の内蔵SSDに保存したジョブの状況が確認できます。



[削除]

選択したジョブを削除します。

[詳細表示]

選択したジョブの設定内容やファイル容量などを確認できます。



- 以下の場合は、すべてのリストのジョブ名が表示されます。
 - ユーザーのログインが不要な場合
- 以下の場合は、ジョブ名が「*****」で表示されます。
 - プリンタードライバーの[ジョブ名を隠す]にチェックマークがついているジョブ(p.126「暗証番号」)

[ボックス]メニュー

[利用] 画面

共有フォルダーと個人フォルダーが表示されます。



【開く】

フォルダー内の文書を一覧表示します。

【追加】

フォルダーを追加します。

フォルダー名は全角／半角で1～128文字で入力できます。

【色変更】

選択したフォルダーの色を変更します。

【名称変更】

フォルダー名を変更します。

フォルダー名は全角／半角で1～128文字で入力できます。



- 管理者の設定により利用できない場合があります。

フォルダー内の文書进行操作する

【閉じる】

文書一覧画面を閉じ、[利用] 画面を表示します。

【プリント】

選択した文書をプリントできます。

【削除】

選択した文書を削除します。

【別フォルダーへコピー】

コピー先のフォルダーを選択して文書をコピーします。

【詳細表示】

選択した文書の設定内容を確認できます。設定の変更もできます。

【ダウンロード】

オプションのPostScriptキットがインストールされている場合に、選択したPostScriptジョブをパソコンに保存できます。

1 フォルダーを選択して【開く】をクリックする

フォルダー内の文書一覧画面が表示されます。

2 文書进行操作する

選択した文書に対して、以下の操作ができます。

- プリント
- 削除
- 別フォルダーへコピー
- 詳細表示
- ダウンロード

[ジョブ確認]メニュー

[処理中 / 待機中]画面

現在プリント中のジョブと、これからプリントされるジョブが表示されます。



[状況]欄に、印刷中や一時停止中などの状況が表示されます。

[削除]

選択したジョブを削除します。

[詳細表示]

選択したジョブの設定内容を確認できます。表示される内容は、ジョブの種類によって異なります。



- [ログイン設定]が[OFF]の場合に、[処理中 / 待機中]画面にジョブが表示されます。
- ジョブ名の左側にはジョブの種類を表すアイコンが表示されます。詳しくは、「ジョブについて」の「[処理中/待機中]画面」(p.54)を参照してください。

[終了(履歴)]画面

プリントを終了したジョブ、プリントを中断したジョブ、エラーになったジョブが表示されます。



[結果]欄に、完了やエラーなどの結果が表示されます。

[再プリント]

選択したジョブを再プリントします。

[削除]

選択したジョブを削除します。

[詳細表示]

選択したジョブの設定内容を確認できます。表示される内容は、ジョブの種類によって異なります。

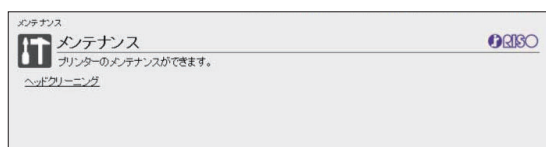


- 終了ジョブが表示されるのは、管理者メニューの[終了ジョブ設定]が[保存する]に設定されているときです。
- 以下の場合、再プリントはできません。
 - 正常に終了しなかったジョブを選択した場合
 - プリントを伴わないジョブを選択した場合
 - 終了ジョブの再プリントが許可されていない場合
 - カラーのプリントが許可されていない状態で、カラーのジョブが選択されている場合
- ジョブの保存期間は、管理者によって設定されています。
- ジョブ名の左側にはジョブの種類を表すアイコンが表示されます。詳しくは、「ジョブについて」の「[終了(履歴)]画面」(p.55)を参照してください。

[メンテナンス]メニュー

[メンテナンス]メニュー画面

ユーザーが設定可能な、プリンター本体(システム)に関する機能を設定します。



[ヘッドクリーニング]

インクヘッドをクリーニングして、つまりを防ぎます。プリントの一部がかすれる、白い線が出る、色が薄いなど画質に問題があるときには、ヘッドクリーニングを行ってください。

プリント中やコピー中など、プリンターが動作しているときは、動作終了後にヘッドクリーニングを行います。

[糊ユニット温度確認]

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合に、糊ユニットを予熱します。

ヘッドクリーニング

- 1 [ヘッドクリーニング]をクリックする
- 2 [OK]をクリックする
送信完了画面が表示されます。
- 3 [OK]をクリックする

糊ユニット温度確認

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合に、糊ユニットを予熱します。

詳しくは、くるみ製本フィニッシャーのユーザーズガイドを参照してください。

バーコード領域指定アプリケーション

バーコード領域指定アプリケーション(バーコードアプリ)は、ORPHIS GLシリーズ専用のアプリケーションソフトウェアです。

原稿をバーコードの読み取りに適した仕上がりにするために、バーコード印字位置の位置情報を指定します。

バーコードアプリのインストールや操作方法、バーコード位置を指定したファイルをプリンターに登録する方法を説明します。

バーコード領域指定アプリケーションの概要

p.170

バーコードアプリのインストール

バーコード領域指定ファイルの作成と登録

p.173

1. PRNファイルの作成



2. PRNファイルの読み込み



3. バーコード領域の指定



4. バーコード領域指定ファイルの保存



5. バーコード領域指定ファイルの登録



バーコードアプリの概要

バーコードアプリのインストール

初めてバーコードアプリを使用するときは、インストールを行います。

動作環境

RISOバーコード領域指定アプリケーションを動作させるためには、パソコンに以下の動作環境が必要です。

メモリ	1GB以上
CPU	Intel®および完全互換製品
ハードディスク	2GB以上の空き領域 (OSが動作する容量が十分にあること)
ディスプレイ	解像度1024 × 768以上

インストール



- Administrator権限のあるユーザーでログインしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

- 1 パソコンのDVD-ROMドライブに、付属のRISO Printer Driver DVD-ROMをセットする
- 2 DVD-ROM内の[Utility]-[BarcodeAreaDefinitionSoftware]フォルダーを開き、「setup.exe」ファイルをダブルクリックする

- 3 プルダウンメニューから[日本語 (Japanese)]を選択し、[OK]をクリックする

- 4 [次へ]をクリックする

- 5 [使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする

- 6 画面の指示に従って操作する



- インストールが完了するとReadmeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されています。必ずお読みください。

- 7 パソコンからDVD-ROMを取り出す



- 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

■ アンインストール

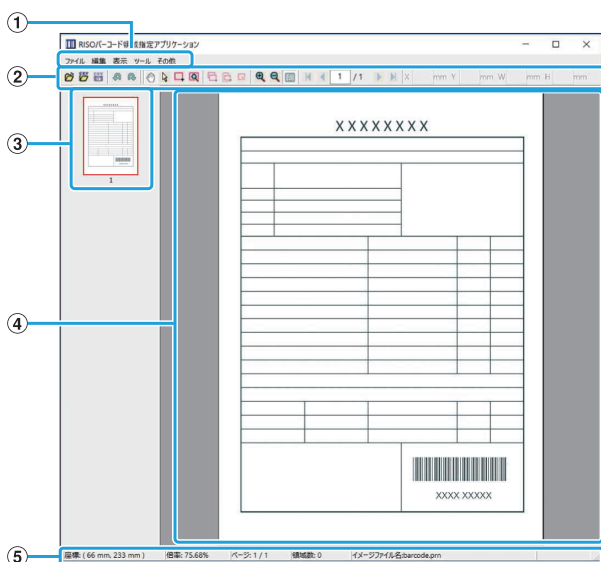
- 1 [スタート]-[設定]-[アプリ]-[Barcode Area Definition Software]-[アンインストール]をクリックする
- 2 画面の指示に従ってアンインストールする
- 3 アンインストールが終了したら、パソコンを再起動する

バーコードアプリの起動

1 [スタート]-([すべてのアプリ]-)[RISO]-[RISOバーコード領域指定アプリケーション]をクリックする

Windows 8.1 の場合は、「アプリ」画面を開き、[RISO]-[RISOバーコード領域指定アプリケーション]の順に選択します。

メイン画面



- ① メニューバー
[ファイル][編集][表示][ツール][その他]から構成されます。各メニューに、編集機能や設定に関する項目があります。
- ② ツールバー
各種ツールを表示します。
- ③ サムネイル
印刷イメージをサムネイル表示します。
- ④ イメージ／バーコード領域
印刷イメージを表示します。
- ⑤ ステータスバー
位置(座標)、表示倍率、ページ数などの詳細情報を表示します。

バーコードアプリの操作

バーコード領域を編集するには、印刷イメージエリアを選択状態にしてからツールバーやメニューバーの機能を使います。ツールバーとメニューバーで同じアイコンが表示されている場合、どちらからでも同じ操作ができます。

メニューバー	機能
ファイル	
印刷イメージを開く	選択した印刷ファイルを開き、イメージを表示します。
CSVファイルを開く	選択したCSVファイルを開きます。
CSVファイルをクリア	表示しているバーコード領域を消去します。
CSV上書き保存	現在使用しているCSVファイルを上書き保存します。
名前を付けて保存	開かれているファイルを別名で保存します。
ページ設定	バーコード作成エリアのページサイズを設定します。
編集	
元に戻す	編集を取り消し、元の状態に戻します。
やり直し	直前に取り消した編集をやり直します。やり直しは直近の10回まで可能です。
コピー	選択したバーコード領域をコピーします。
貼り付け	コピーしたバーコード領域を他のエリアに貼り付けます。
削除	選択したバーコード領域を削除します。
繰り返す	同じバーコードの領域指定を、繰り返して指定できます。周期の指定は、1～999ページで設定できます。
表示	
移動	最初／1 つ前／1 つ後ろ／最後のページに移動します。
移動先を指定	指定したページに移動します。移動したいページをテキストボックスに入力し、[Enter] キーを押します。(ツールバーにのみ表示されます。)

メニューバー	機能
領域微調整ツール(X/Y/W/H)	選択したバーコード領域の座標情報(X/Y)および幅(W)と高さ(H)を、表示単位形式(mm/inch)で表示します。ボックスに任意の数値を入力すると、指定の位置やサイズにバーコード領域を変更します。 (ツールバーにのみ表示されます。)
表示を回転	画面上の印刷イメージを、左へ90°回転／右へ90°回転します。
表示単位	バーコード領域指定ページで表示する単位を、mm/inchから指定します。
ズーム 	印刷イメージを、数値指定／全体を表示／ページ幅合わせ／拡大／縮小します。
サムネイル	サムネイルの表示／非表示を切り替えます。
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ツール	
 ハンドツール	印刷イメージ上をドラッグすると、表示位置を変更できます。
 領域選択ツール	バーコード領域を選択状態にします。Ctrlキーを押しながらバーコード領域を選択すると、複数選択できます。選択した領域は、  と表示されます。
 領域作成ツール	囲んだエリアにバーコード印字処理を行います(バーコード領域を指定します)。囲んだエリアは、  と表示されます。
 領域自動検出	全ページまたは指定したページのバーコード領域を自動で検出します。
その他	
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

バーコード領域指定ファイルの作成と登録

原稿をプリンタードライバーからPRNファイル形式で出力します。作成したPRNファイルをバーコードアプリで開き、バーコード領域を指定してCSV形式のファイルを作成します。

バーコード領域指定ファイルは、管理者がRISOコンソールを使ってプリンターに登録します。

手順

1 PRNファイルを作成する

バーコードが印字されている原稿をPRN形式で出力します。

1) アプリケーションの印刷画面で[プロパティ] (または[詳細設定]) をクリックする

2) [基本] タブをクリックする

3) [出力方法] のプルダウンメニューから[ファイルとして保存] を選択する



- オプションのPostScriptキットがインストールされている場合は、[ボックス] を選択します。
- PRNファイルとは、プリンタードライバーで出力した当社専用のファイル形式です。他社製のプリンターやアプリケーションでは、ファイルを開くことはできません。

4) [詳細設定] をクリックし、保存先を指定する

5) [OK] をクリックする

6) [印刷] をクリックする

指定した保存先にPRN形式のファイルが作成されました。

7) オプションのPostScript キットがインストールされている場合は、フォルダーに保存した文書をRISOコンソールからダウンロードする

RISOコンソールを起動し、[ボックス] メニューの[利用] 画面で、保存した文書を選択して[ダウンロード] をクリックします。



- プリンタードライバーの設定は、[出力方法] を除き、実際に印刷するときと同じ設定にします。PRNファイル形式と実際の印刷時の設定(原稿サイズ/印刷の向き/出力用紙サイズ/面付けなど)が異なると、バーコード領域指定が正しく反映されないことがあります。また、レイアウトにかかわる設定を変更した場合、領域の座標も変わります。

2 PRNファイルを読み込む

PRNファイル(印刷イメージ)をバーコードアプリで開きます。

1) [スタート]-([すべてのアプリ])- [RISO]-[RISOバーコード領域指定アプリケーション] をクリックする

Windows 8.1 の場合は、「アプリ」画面を開き、[RISO]-[RISOバーコード領域指定アプリケーション] の順に選択します。

2) [ファイル]-[印刷イメージを開く] をクリックし、PRNファイルを選択する

3) 読み込むページ数を指定する

[バーコード領域を自動的に検出する。] にチェックマークをつけると、全ページのバーコード領域を自動で検出します。

4) [OK] をクリックする

原稿の印刷イメージが、イメージ/バーコード領域に表示されます。



- 原稿サイズが混在したデータを使用すると、原稿データと印刷イメージの向きが異なる場合があります。メニューバーの[表示] で印刷イメージの向きを原稿データと同じ向きに回転させてから、バーコードの領域を指定します。

- ・[バーコード領域を自動的に検出する。]
で読み取れるバーコードサイズは、最大
で幅100mm × 高さ30mm、最小で
幅20mm × 高さ5mmになります。

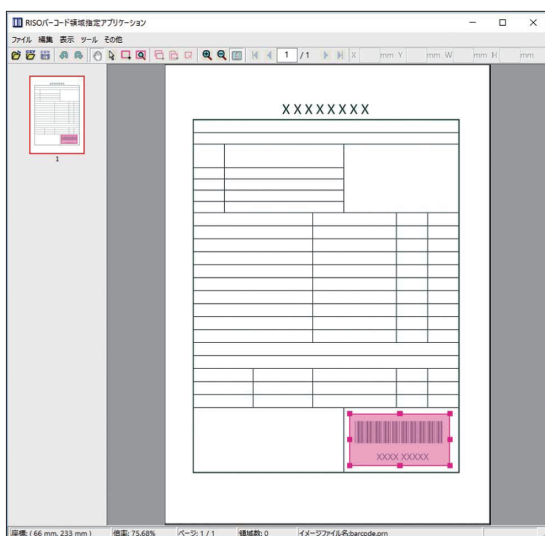


・以下のような場合は、バーコード領域を自動で検出できないことがあります。

- バーコードとバーコードとの間隔が5mm以下の場合
- バーコードが鮮明でない場合
- バーコードが斜めに配置されている場合や、黒いバーが直線でない場合
- バーが厳密な黒(RGB 0.0.0)でない場合
- バーとバーとの間の白い部分が厳密な白(RGB 255.255.255)でない場合

3 バーコード領域を指定する

□で画面上のバーコードを囲みます。



囲んだ範囲が色づけされ、バーコード領域に指定されます。

バーコード領域を編集するには、編集ツールとメニューバーを使います。(p.171「バーコードアプリの操作」)

バーコード領域を自動検出した場合は、バーコードを正しく検出しているか確認してください。検出した領域がバーコードとずれているときは、(領域選択ツール)で位置を調整します。

■ サムネイル表示

サムネイルは、イメージの左上を基準に原稿イメージとバーコード領域指定イメージを重ねて表示します。原稿イメージとバーコード領域指定イメージのサイズが異なる場合は、以下のようにサムネイルを表示します。グレースアウトされた部分にバーコード領域を指定する場合は、原稿イメージとバーコード領域指定イメージの向きを合わせてください。



原稿イメージ(実線)＜バーコード領域指定イメージ(点線)バーコード領域指定イメージからはみ出した部分はグレースアウトします。



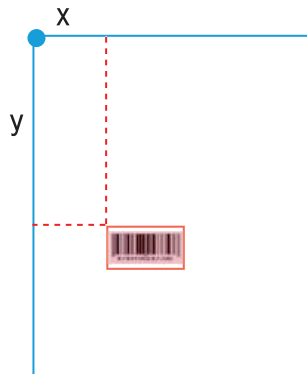
- ・バーコードが複数ある場合は、1 ページで50個、30ページ分の領域を指定できます。また、[繰り返し]を設定することで、繰り返し領域を適用できます。
- ・バーコード領域は、(領域選択ツール)で同じページ内で移動できます。別のページに移動する場合は、コピーしてから移動先のページに貼り付けてください。ただし、コピーしたバーコード領域が原稿サイズより大きい場合は、貼り付けることはできません。

■ バーコード領域指定の注意点

画像回転を行うなどして、指定したバーコード領域の位置情報が変わると、バーコード領域が正しく処理されません。

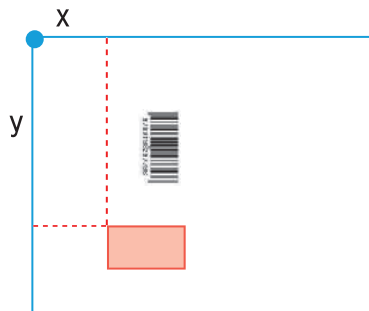
画像回転や印刷の向きを変更した場合は、領域作成ツールでバーコードの領域指定をやり直してください（基点からのバーコード領域を修正してください）。

基点



バーコード処理が正しくはたらいした場合

基点



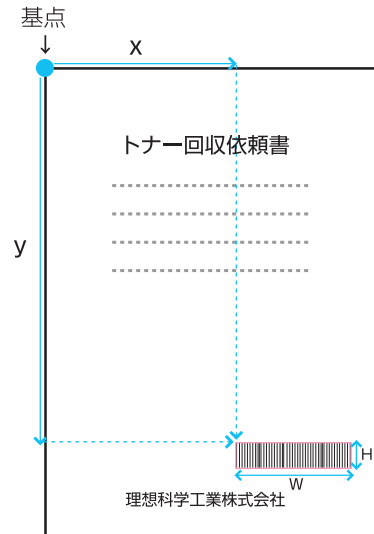
原稿を回転したことで、基点からのバーコード位置情報が変わり、バーコード処理が正しくはたらかなかった場合

4 バーコード領域指定ファイルを保存する

メニューバーの  をクリックします。バーコード領域指定ファイルがCSV形式で出力（保存）されます。ファイル名を変更するときは、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。



- 印刷物のバーコード位置とサイズは、パソコンで作成した原稿データの向きの左上を基点とし、「座標(X,Y)」「サイズ(W,H)」がCSV形式で指定されます(0.1mm単位)。



5 バーコード領域指定ファイルを登録する

RISOコンソールの管理者メニューで、プリンターにバーコード領域指定ファイルを登録します。詳しくは、別冊の「管理者ガイド」を参照してください。

繰り返し機能

バーコード領域を指定するときに[繰り返し]機能を使うと[繰り返し]ダイアログボックスの[周期]に設定した値が各ページに繰り返して領域指定されます。すべてのページに領域を指定する手間を省くことができます。

- 周期「0」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページのみ
- 周期「1」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの1ページ分を、最後のページまで繰り返す
- 周期「2」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの2ページ分を、最後のページまで繰り返す
- 周期「3」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの3ページ分を、最後のページまで繰り返す

バーコード領域を3ページに指定した場合で説明します。

原稿データ	p.1 p.2 p.3 p.4 p.5 p.6 p.7 p.8 p.9 p.10 p.11 p.12 p.13
バーコード領域指定ファイル	p.1 p.2 p.3
周期：0	p.1 p.2 p.3 p.4 p.5 p.6 p.7 p.8 p.9 p.10 p.11 p.12 p.13 バーコード領域指定ファイルで設定されたページのみ P.4からP.13はバーコード処理が設定されない
周期：3	p.1 p.2 p.3 p.4 p.5 p.6 p.7 p.8 p.9 p.10 p.11 p.12 p.13 バーコード領域指定ファイルで設定されたページ 繰り返されたページ 繰り返されたページ 繰り返されたページ



- [周期]の指定は、1～999ページで指定できます。
- 繰り返し処理によって設定した以降のページは、サムネイルに表示されません。

バーコード原稿をプリントする

登録したバーコード領域指定ファイルは、プリンタードライバー画面の[イメージ処理]タブにある[バーコード領域指定]プルダウンメニューから選択できるようになります。

バーコード原稿をプリントするときに選択してください。(p.125「バーコード原稿のプリント」)

オプション

この章では、本機で使えるオプションについて説明しています。

オフセットステーブルトレイ

p.178

オフセットステーブルトレイを接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

増設トレイ

p.185

増設トレイを接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

大容量給紙ユニット

p.187

大容量給紙ユニットを接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

排紙台(オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台)

p.191

オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台を接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

大容量排紙ユニット

p.197

大容量排紙ユニットを接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

マルチフィニッシャー

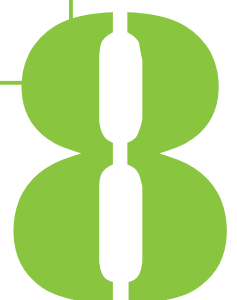
p.204

マルチフィニッシャーを接続すると使用できる設定や機能を説明しています。

PostScriptキット

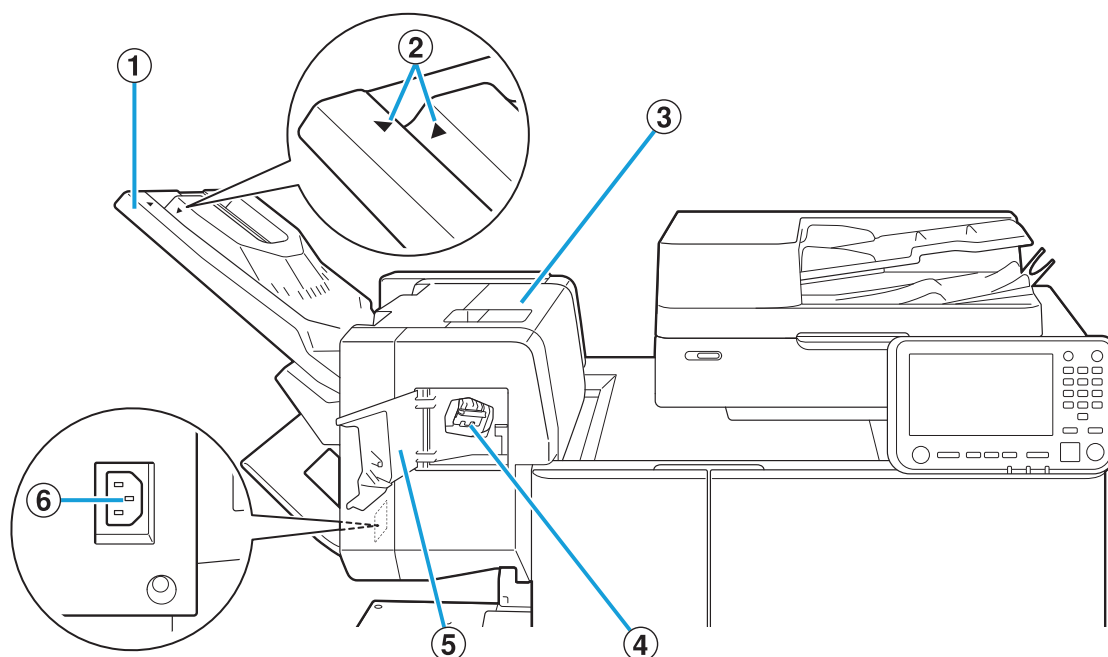
p.220

PostScriptキットのインストール、使用できる設定や機能を説明しています。



オフセットステープルトレイ

オプションのオフセットステープルトレイを接続すると、プリントされた用紙へのステープルや、プリントの単位ごとのオフセット排紙ができます。



① 排紙トレイ

印刷物がフェイスダウンで排出されます。

② 排紙トレイセット位置

用紙の種類と排紙条件に合わせてスライドさせます。

③ ジャム解除カバー

④ ステープルカートリッジ

ステープルカートリッジの交換や、針がつまった場合に引き出します。

⑤ ステープルカバー

針がつまったときや、ステープルカートリッジの交換時に、このカバーを開けます。

⑥ オフセットステープルトレイ用ソケット

オフセットステープルトレイの電源コードを接続します。



・排紙トレイはスライド式になっています。通常は②の[▶]と[◀]の位置を合わせて使用します。

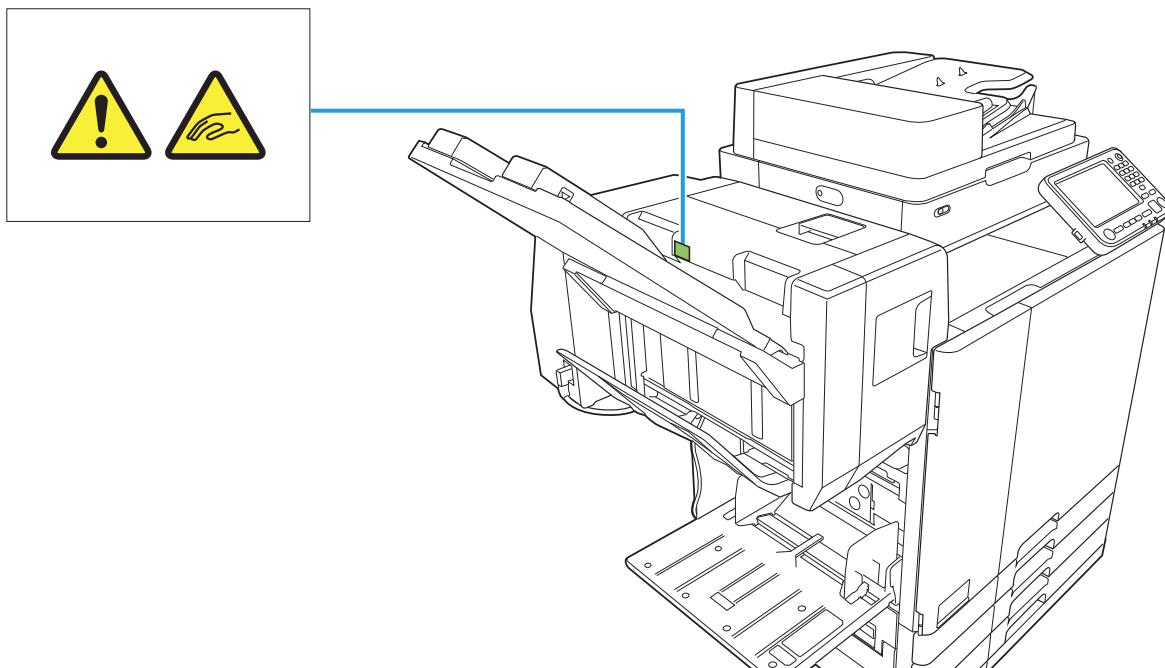
通常(右記以外)	B5以下でステープルなしの場合
[▶]と[◀]を合わせる	[▶]と[◀]をずらす

警告ラベルについて

オフセットステーブルトレイには、安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルが貼り付けてあります。オフセットステーブルトレイを操作または保守点検するときは、必ず警告ラベルの指示内容をよく読み、安全にお使いください。また、ラベルをはがしたり、汚したりしないでください。もしラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

■ ラベルの貼り付け位置

警告ラベル(注意)の貼り付け箇所を以下に示します。



■ ラベルの内容

動作中や印刷物を取り除くときに指を挟まれるおそれがあることを示しています。

設定項目一覧

オフセットステープルトレイを接続すると、以下の項目が設定できます。

プリンタードライバー

設定項目	説明	参照ページ
[仕上げ]タブ		
ステープル	ステープルの位置を設定します。	p.180
オフセット排紙	複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。	p.183
[応用]タブ		
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.126
プログラムオフセット排紙	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.183



- [仕上げ]タブの[ステープル]がグレースアウトしているときは、[環境]タブで[プリンター構成]が正しく設定されているか確認してください。(p.129「プリンター構成」)

コピーモード

設定項目	説明	参照ページ
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.76
オフセット排紙([プログラム印刷])	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.183
仕分け	合紙を入れる位置を設定します。	p.79
オフセット排紙([仕分け])	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.183

設定項目	説明	参照ページ
ステープル	ステープルの位置を設定します。	p.184

プリンタードライバーの設定

ステープル

ステープルする位置を設定します。



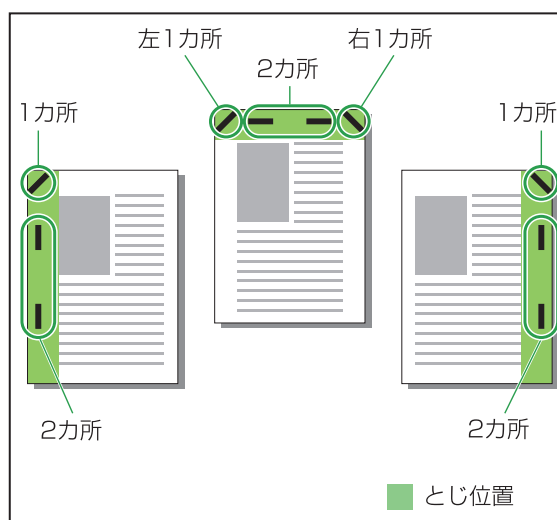
- [ステープル]を設定した場合は、必ず[とじ位置]の設定をしてください。
- [ステープル]を設定すると、[ソート]は[部ごと]に設定されます。(p.111「ソート」)
- [小冊子]を設定すると、[ステープル]は[OFF]になります。(p.116「小冊子」)
- 用紙のセット方向は、ステープルのとじ位置により異なります。「ステープル機能と用紙のセット方向について」(p.182)を参照してください。

[とじ位置]を[左とじ]または[右とじ]に設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF] / [1ヵ所] / [2ヵ所]

[とじ位置]を[上とじ]に設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF] / [左1ヵ所] / [右1ヵ所] / [2ヵ所]



<ステابلできる用紙>

- 用紙サイズ：A3／B4／A4／A4横／B5／B5横／Ledger／Legal／Letter／Letter-R／Foolscap
- 用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

<ステابلできる枚数>

- 定形用紙
A4、A4横、B5、B5横、Letter、Letter-R：
2～50枚*
- 上 記 以 外（A3、B4、Ledger、Legal、Foolscap）：2～25枚*

* 理想用紙J(85g/m²)の場合

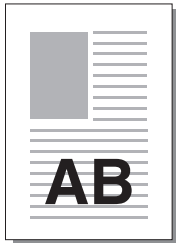


- 不定形用紙を使用する場合は、ステابلできません。
- 最大ステابل枚数を超えるジョブをプリントすると、確認画面が表示され、プリントを中止するか、ステابلせずにプリントを続行するかを指定できます。

ステープル機能と用紙のセット方向について

用紙トレイ（給紙台）への用紙セット方向と、ステープルのとじ位置は以下のとおりです。

印刷の向き：縦



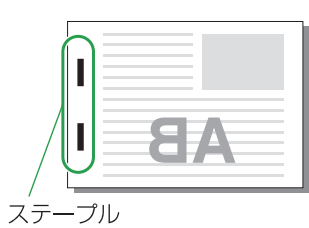
印刷の向き：横



排紙面：フェイスアップ



排紙面：フェイスダウン



とじ位置	ステープルの位置			
左	1カ所		2カ所	
右	1カ所		2カ所	
上	左1カ所		右1カ所	
用紙搬送				



- 該当する用紙サイズが、トレイにセットされていない場合、メッセージが表示されます。
画面の指示に従って、用紙をセットしてください。
- [1カ所]とじの場合、用紙サイズやセット方向により、針の角度は上の図や、プリンタードライバー画面の印刷イメージと異なる場合があります。
- 原稿に複数の原稿サイズが混在する場合は、[とじ位置]の設定に合わせて自動で画像を回転します。

オフセット排紙

複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。



- [プログラム印刷]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.126「プログラム印刷」)
- オフセットステープルトレイに排紙できない用紙サイズでは、設定できません。
- オフセットステープルトレイに排紙する場合、ステープルは併用できません。

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[ソートの区切りごと]

[ソート]で指定した単位ごとに、排紙位置をずらしします。

[プリント終了時]

プリント終了時に、排紙位置をずらしします。

プログラムオフセット排紙

プリントの「プログラム印刷」(p.126)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[組ごと]

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

[グループごと]

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

コピーモードの設定

オフセット排紙 ([プログラム印刷])

コピーの「プログラム印刷」(p.76)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[組ごと]

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

[グループごと]

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

オフセット排紙 ([仕分け])

コピーの「仕分け」(p.79)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。



- [オフセット排紙]と[原稿サイズ混在]は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」)

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[ソートの区切りごと]

ソートの区切りごとに、排紙位置をずらしします。

[ジョブの後ろ]

印刷するジョブごとに排紙位置をずらしします。

<オフセット排紙ができる用紙>

131mm × 148mm～305mm × 550mm

1 [仕分け]をタッチする

2 オフセット排紙の設定を選択する

3 [OK]をタッチする

ステープル

指定した位置にステープルします。

<ステープルできる用紙>

- ・用紙サイズ：A3／B4／A4／A4横／B5／B5横／Ledger／Legal／Letter／Letter-R／Foolscap
- ・用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

<ステープルできる枚数>

- ・定形用紙
A4、A4横、B5、B5横、Letter、Letter-R：
2～50枚*
 - ・上記以外（A3、B4、Ledger、Legal、Foolscap）：2～25枚*
- * 理想用紙J(85g/m²)の場合



- ・不定形用紙を使用する場合は、ステープルできません。
- ・最大ステープル枚数を超えるジョブをプリントすると、確認画面が表示され、プリントを中止するか、ステープルせずにプリントを続行するかを指定できます。
- ・[ステープル]と[小冊子]、[ページ野線]、[連続排紙]は併用できません。（p.70「小冊子」、p.72「ページ野線」、p.80「連続排紙」）

■ 原稿セット方向

[読める向き]

ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合には選択します。

[左向き]

ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合には選択します。

■ とじ位置

用紙をとじる位置を選択します。

左とじ／右とじ／上とじ

■ ステープル

ステープルの位置を選択します。

[とじ位置]を左とじまたは右とじに設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF]／1カ所／2カ所

[とじ位置]を上とじに設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF]／左1カ所／右1カ所／2カ所



- ・左1カ所と右1カ所は、[とじ位置]を上とじに設定した場合のみ表示されます。

1 [ステープル]をタッチする

2 [とじ位置]を設定する

3 [ステープル]を設定する

4 [OK]をタッチする

■ とじしろ

ステープルがプリント面にかからないように、とじしろ（余白）を設定できます。

1 [ステープル]画面で[とじしろ]をタッチする

[とじしろ]画面が表示されます。

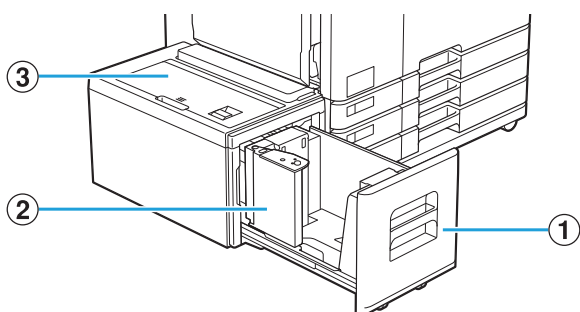
2 とじしろを設定する

- ・[とじ位置]を選択します。
- ・とじしろ幅を[▼][▲]またはテンキーで入力します。
- ・とじしろを設定したためにプリントの一部が欠ける場合は、[自動縮小]を[ON]にしてください。

3 [OK]をタッチする

増設トレイ

オプションの増設トレイを接続すると、約2000枚の印刷用紙(理想用紙IJの場合)をセットすることができます。



① 用紙トレイ

プリントする用紙をセットします。



・厚紙などの特殊な用紙は給紙台にセットしてください。

② 用紙ガイド

増設トレイにセットした用紙がずれるのを防ぎます。

③ 上カバー

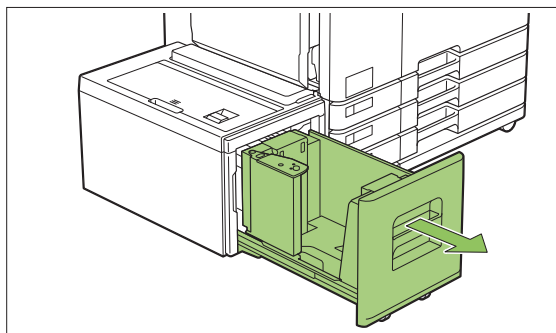
紙詰まりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

用紙をセットする



・用紙サイズ(用紙ガイド位置)を変更したい場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。

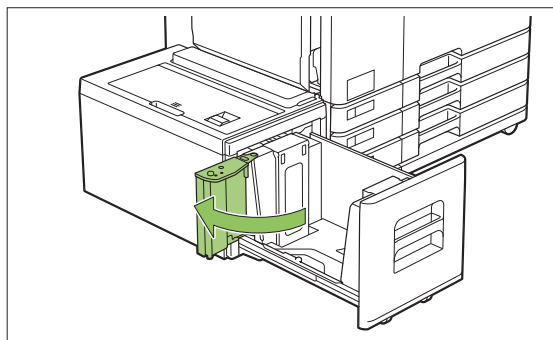
1 トレイを手前に引き出す



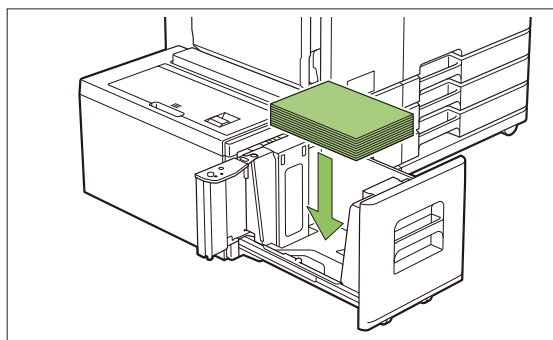
・紙づまりを防ぐため、トレイを引き出す前に必ず以下のことを確認してください。

- トレイ内に用紙が残っていないこと
用紙残量については、「消耗品情報画面」(p.42)を参照してください。
- 増設トレイから給紙するジョブが終了していること
プリント中のジョブについては、「[給紙元情報]画面」(p.55)を参照してください。

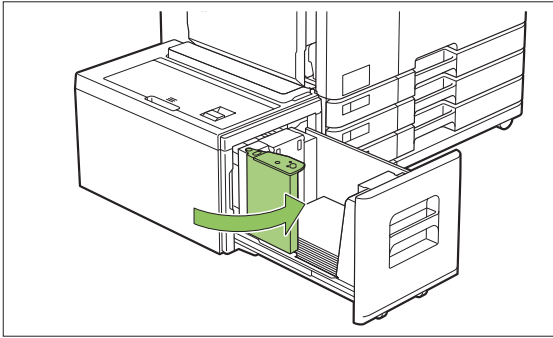
2 用紙ガイドを開く



3 用紙をセットする



4 用紙ガイドを戻す



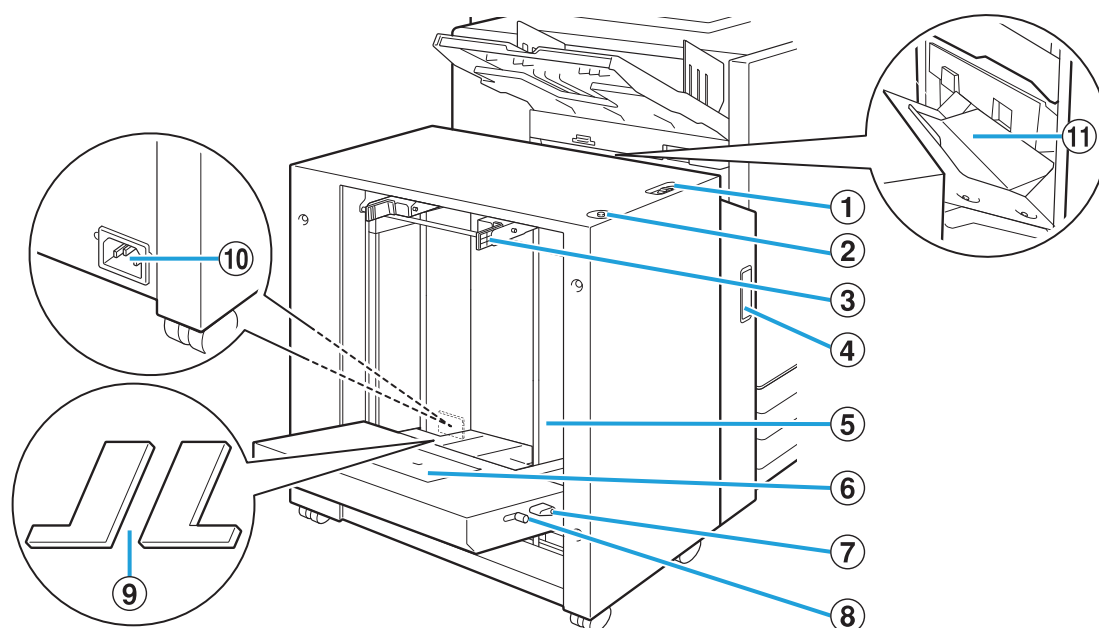
5 トレイを戻す

大容量給紙ユニット

オプションの大容量給紙ユニットを接続すると、約4000枚の印刷用紙(理想用紙IJの場合)をセットすることができます。



・ ORPHIS GL9730PREMIUMの場合、大容量給紙ユニットは標準装備されています。



① 給紙圧調節レバー

大容量給紙ユニットにセットした用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を「標準」と「厚紙」の2段階で調節します。

② 給紙台上下ボタン

大容量給紙ユニットの用紙を交換／追加するときに、給紙台を上下させます。

③ 給紙フェンスレバー

給紙フェンスは、このレバーをつまみながらスライドします。レバーを離すとフェンスはその位置に固定されます。給紙フェンスの両側(2箇所)にあります。

④ 前カバー

用紙がつまったときに開けます。

⑤ 給紙フェンス

大容量給紙ユニットにセットした用紙がずれるのを防ぎます。

⑥ 封筒ガイド

封筒をプリントするときに使用します。使用する封筒の種類に応じて、傾斜角度の調節が必要です。

⑦ 封筒ガイド角度調節レバー

封筒ガイドの傾斜角度を調節します。封筒ガイドの角度は、4段階で調節します。

⑧ 封筒ガイド給紙圧調節レバー

使用する封筒の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。

⑨ 給紙台穴埋めカバー

A4縦未満／A3を超える用紙、長3／長4サイズの封筒をセットする場合は、カバーを取り外します。

⑩ 大容量給紙ユニット用ソケット

大容量給紙ユニットの電源コードを接続します。給紙台背面の右側にあります。



・ 大容量給紙ユニットを接続した場合、給紙台は使用できません。

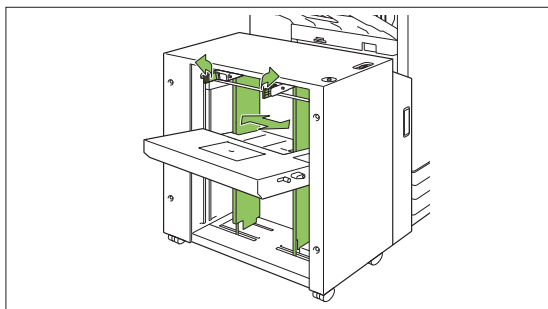
⑪ 搬送カバー

紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

用紙をセットする

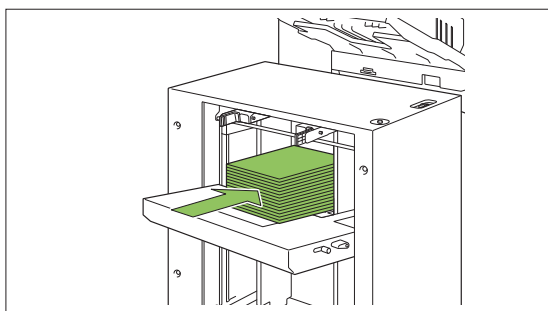
1 給紙フェンスを広げる

給紙フェンスレバー（両側2箇所）をつまみながら、フェンスをスライドさせます。



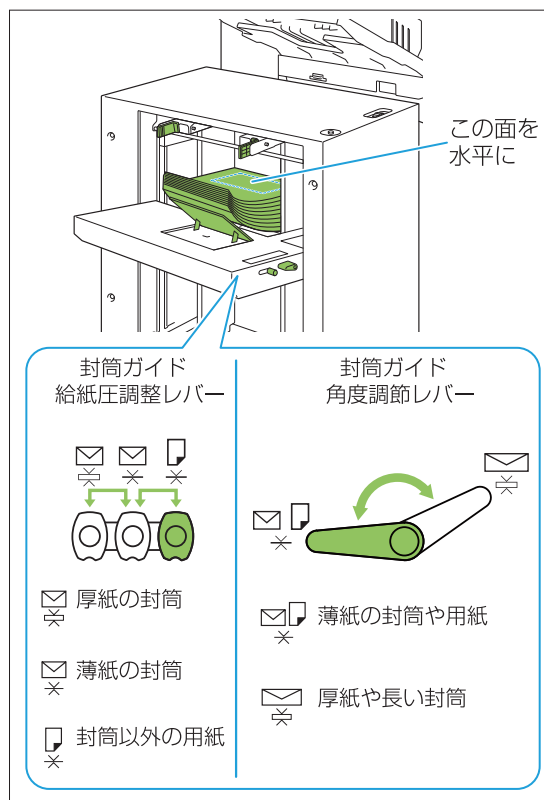
2 用紙をセットする

プリントする面を上にしてセットします。



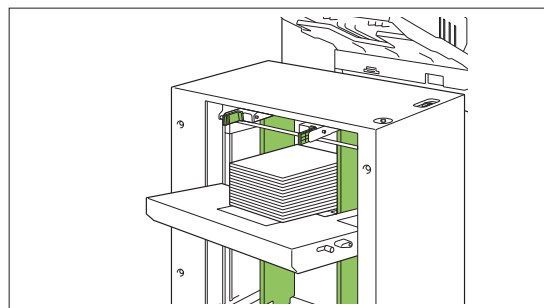
- 一度に大量の用紙をセットすると、給紙フェンスの調整がうまくいかず、正しくセットできません。（曲がったり、でこぼこした状態になり、用紙が揃いません）何回かに分けて用紙をセットしてください。一度に大量の用紙をセットする場合は、「一度に大量の用紙をセットする場合」（p.190）を参照してください。
- 封筒をセットする場合は、必ず封筒のフタを開いた状態で、底側から給紙されるようにセットします。封筒ガイドの傾斜角度の調節は、封筒ガイド角度調節レバーで設定します。

また、使用する封筒の紙質によって、給紙圧の調節も必要です。封筒ガイド給紙圧調節レバーで設定してください。レバーは、上に持ち上げながらスライドさせます。レバー付近のシールを参考に、使用する封筒に適した設定にしてください。



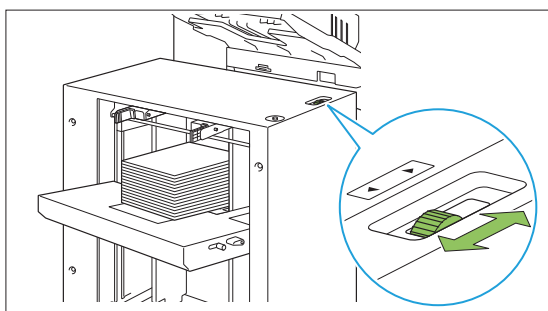
3 給紙フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

給紙フェンスレバーをつまみながらフェンスをスライドさせて、用紙の幅にぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーを離してフェンスを固定します。



4 給紙圧調節レバーをセットする

通常は「標準」で使用し、厚紙や特殊な用紙の場合は「厚紙」にセットします。



5 操作パネルでトレイの設定を確認する

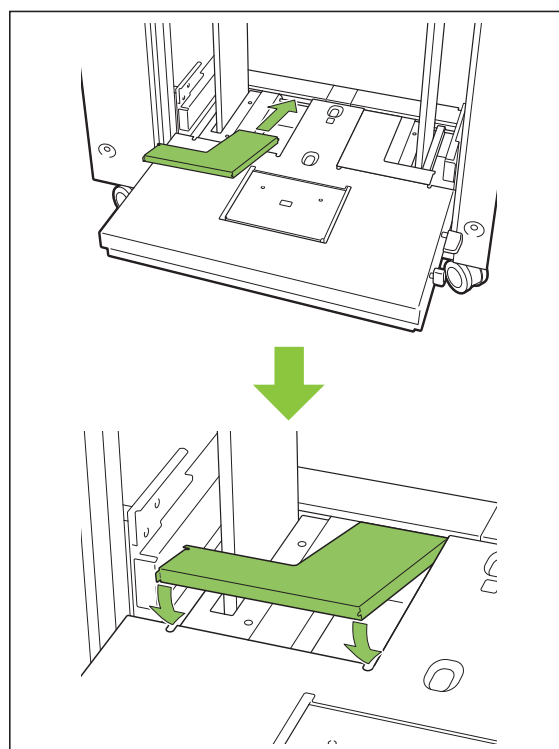
用紙のサイズや種類などを[用紙トレイ]で設定します。セットする用紙を変更したときは、必ず[用紙トレイ]設定も変更してください。

給紙台穴埋めカバーについて

使用する用紙のサイズによって、給紙台穴埋めカバーが必要な場合と不要な場合があります。

■ 給紙台穴埋めカバーが必要な場合

用紙サイズがB5 横、A4 横、B4、A3 または用紙幅257mm以上の不定形の場合は、給紙台穴埋めカバーを正しく取り付けてお使いください。



■ 給紙台穴埋めカバーが不要な場合

用紙サイズがA4縦末満またはA3を超える場合や、長3または長4の封筒を使う場合は、給紙台穴埋めカバーは取り外してください。カバーが付いた状態では、給紙フェンスをスライドさせることができません。

一度に大量の用紙をセットする場合

1 給紙フェンスを広げ、500枚程度を目安に給紙台にセットする

2 給紙フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーを離してフェンスを固定します。

3 残りの用紙をセットする

用紙をすべてセットした後は、通常のセット方法と同じです。「用紙をセットする」(p.188)の手順4、5を行ってください。

用紙を追加する

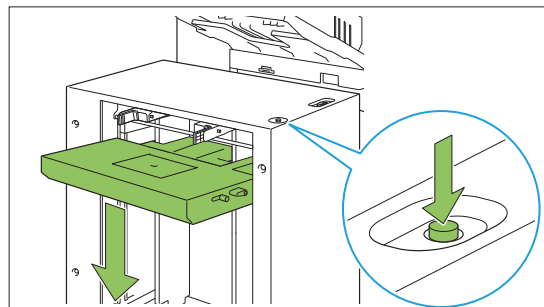
用紙を追加するときは、給紙台上下ボタンを使用します。給紙台上下ボタンは、押し方により給紙台の下降位置が異なります。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

1 給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げる

給紙台上下ボタンを長押しする

ボタンを押している間、給紙台は下降します。下げたい位置までボタンを押してください。

給紙台上下ボタンを短押しする
給紙台が一定の位置まで下がります。

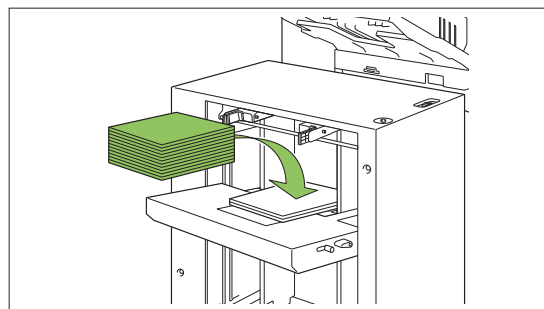


- 用紙が無くなった時や、給紙台上下ボタンを押した時の給紙台下降位置は、管理者によって設定されています。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- 給紙台が最下位まで下がると、一度により大量の用紙をセットできますが、しゃがみ込んだ体勢で用紙をセットするようになります。立位で用紙をセットしたい、または用紙を大量にセットする機会が少ない場合は、給紙台を最下部まで下げないようにします。

- 給紙台の下降位置は、使用シーンに合わせて設定すると便利です。給紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。

2 用紙を追加する



大量の用紙を追加する場合

給紙台上下ボタンを長押しして、給紙台を最下位まで下げてから行くと、より多くの用紙をセットすることができます。



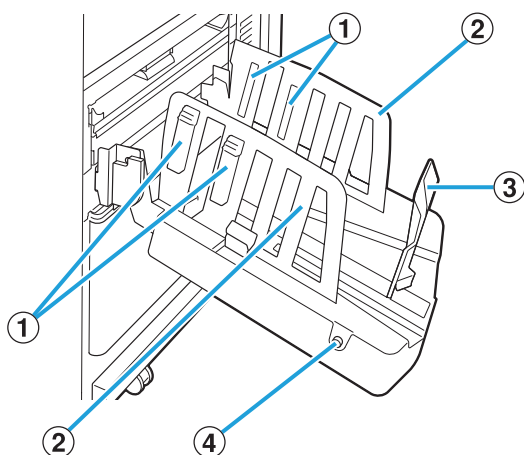
- 用紙が無くなった時や、給紙台上下ボタンを短押しした時の給紙台下降位置は、管理者によって設定されています。給紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。

排紙台(オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台)

オプションの排紙台には、オートフェンス排紙台、排紙台(W)、フェイスアップ排紙台があります。

- ・オートフェンス排紙台は、排紙フェンスが、用紙サイズに合わせて自動で移動します。
- ・排紙台(W)またはフェイスアップ排紙台は、排紙フェンス(サイド・エンド)を、用紙サイズに合わせて移動させてください。

<イラストは、オートフェンス排紙台です。>



① 紙揃えプレートノブ

(オートフェンス排紙台・排紙台(W)のみ)

排紙された用紙がきれいに揃うように、紙質に合わせてセットします。

② 排紙フェンス(サイド)

③ 排紙フェンス(エンド)

排紙された用紙がずれるのを防ぎます。

④ 排紙フェンスオープンボタン

(オートフェンス排紙台のみ)

ボタンを押すと、排紙フェンスが広がります。用紙のあり・なしで動作が異なります。

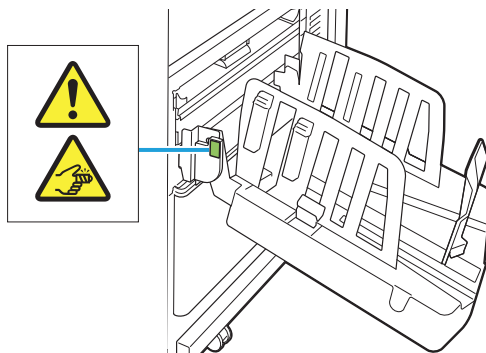
- ・本機が待機中で、排紙台に用紙がない場合は、収納位置まで開きます。
- ・本機が待機中で、排紙台に用紙がある場合は、排紙フェンスが広がり、用紙が取り出しやすくなります。ボタンを押したときにどのフェンスが広がるかは、管理者によって設定されています。

警告ラベルについて

オートフェンス排紙台には、安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルが貼り付けてあります。オートフェンス排紙台を操作または保守点検するときには、必ず警告ラベルの指示内容をよく読み、安全にお使いください。また、ラベルをはがしたり、汚したりしないでください。もしラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

■ ラベルの貼り付け位置

警告ラベル(注意)の貼り付け箇所を以下に示します。



■ ラベルの内容

排紙台の開閉時に指を挟まれるおそれがあることを示しています。

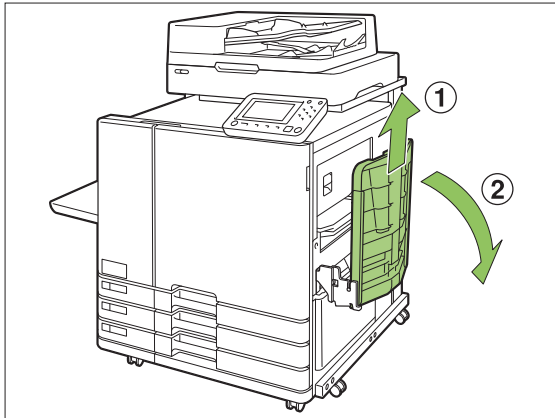
排紙台をセットする

排紙台をセットします。

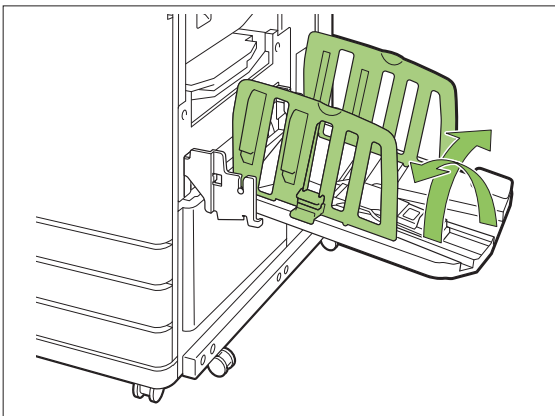


・イラストは、フェイスアップ排紙台です。

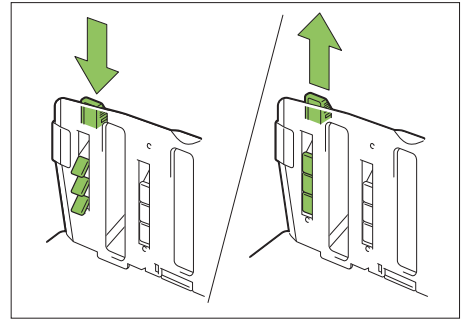
1 排紙台を上を持ち上げ開く



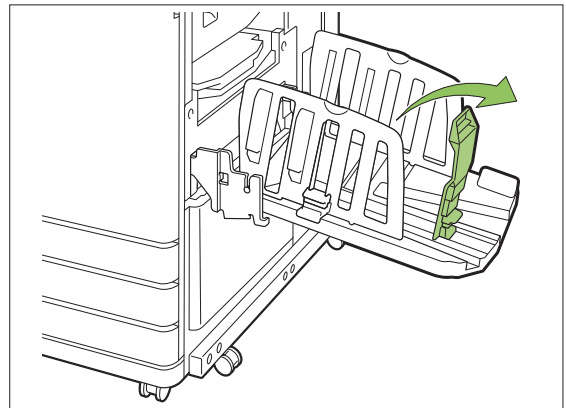
2 排紙フェンス(サイド)を立てる



・オートフェンス排紙台または排紙台(W)の場合は、用紙サイズや紙質によって紙揃えプレートの調節も行います。
通常は、B4サイズ以下の用紙へのプリント時に、紙揃えプレートを出して使用します。
コシの強さなどによって、用紙は揃う状態が異なりますので、必要に応じて調節してください。

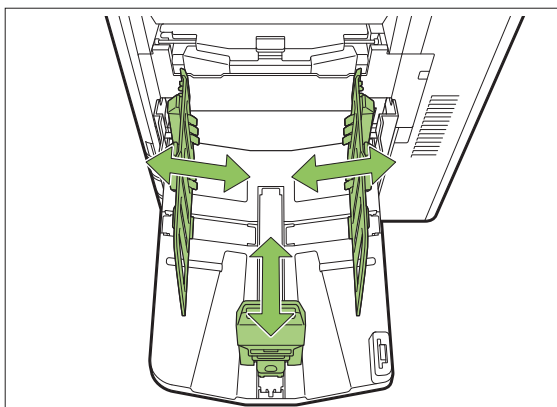


3 排紙フェンス(エンド)を立てる



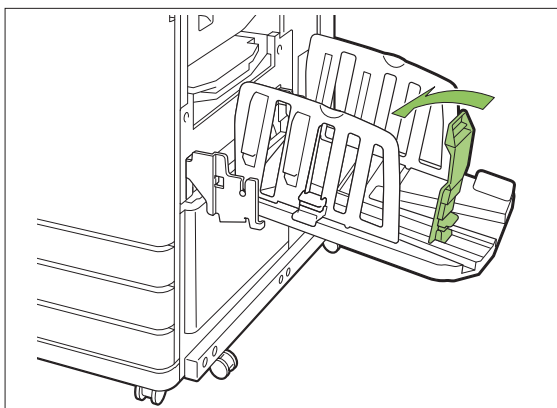
・320mm × 432mmよりも大きなサイズ
の用紙にプリントするときは、排紙フェンス
をすべてたたんだ状態で使用します。

4 用紙のサイズに合わせて排紙フェンス(サイド・エンド)の位置を調整する

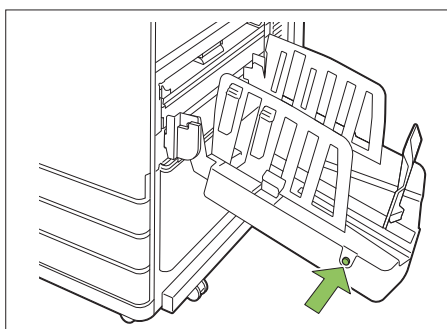


排紙台を閉じる

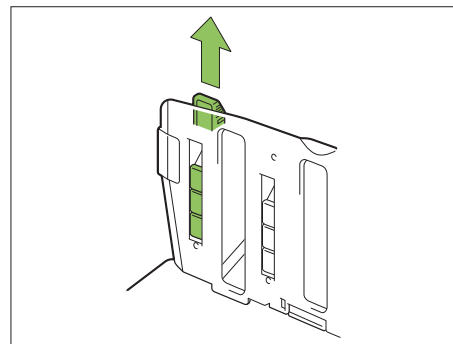
1 排紙フェンス(エンド)を排紙台内側に倒し、たたむ



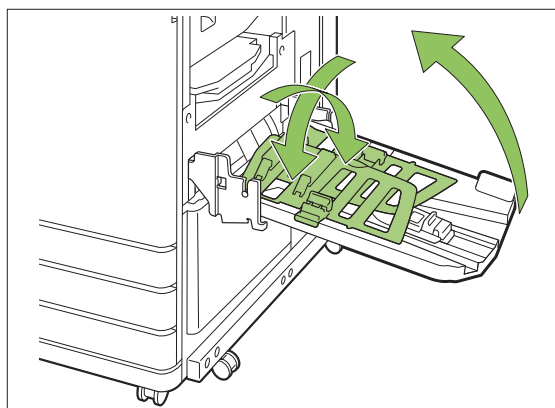
・オートフェンス排紙台の場合は、印刷物がないことを確認し、排紙フェンスオープンボタンを押します。
排紙フェンス(サイド)と排紙フェンス(エンド)が収納位置まで移動します。



・紙揃えプレートが出ている場合はたたみます。



2 排紙フェンス(サイド)を内側に倒し、排紙台を閉じる



設定項目一覧

排紙台を接続すると、以下の項目が設定できます。

プリンタードライバー

設定項目	説明	参照ページ
【仕上げ】タブ		
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.195
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.195

コピーモード

設定項目	説明	参照ページ
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.195
排紙面	排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。	p.195
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.196

メンテナンスモード

設定項目	説明	参照ページ
排紙 フェンス調整	オートフェンス排紙台の排紙フェンスの位置を調整します。	p.196

プリンタードライバーの設定

排紙先

印刷物を排出するトレイを設定します。
[自動]に設定すると、設定した機能に応じて、自動的に適切なトレイに排紙されます。排紙台に排出したい場合は、[オート排紙台]／[排紙台]を選択してください。

[詳細設定]をクリックすると、[排紙先]ダイアログボックスが表示されます。排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

[フェイスアップ]／[フェイスダウン]

連続排紙

排紙先の紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。



- ・排紙台(W)またはフェイスアップ排紙台に排紙する場合は、設定できません。
- ・[連続排紙]を設定すると、[基本]タブの[ソート]は[ページごと]に設定されます。(p.111「ソート」)
- ・[連続排紙]と[表紙付け]は併用できません。(p.121「表紙付け」)

コピーモードの設定

排紙先

印刷物を排出するトレイを選択します。



- ・接続しているオプションにより、[排紙先]画面に表示されるトレイの内容が変わります。

【自動】

自動的に適切なトレイが選択されます。

【①フェイスダウン排紙トレイ】／【②排紙台】

排紙トレイを選択します。

1 [排紙先]をタッチする

2 排紙先を選択する

3 [OK]をタッチする

排紙面

排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

[フェイスアップ]／[フェイスダウン]

連続排紙

使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。

1 [連続排紙]をタッチする

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする



- 排紙台(W)またはフェイスアップ排紙台に排紙する場合は、設定できません。
- [連続排紙]を設定すると、[ソート]は[ページごと]に設定されます。(p.66「ソート」)
- [連続排紙]と[小冊子]、[表紙付け]は併用できません。(p.70「小冊子」、p.78「表紙付け」)

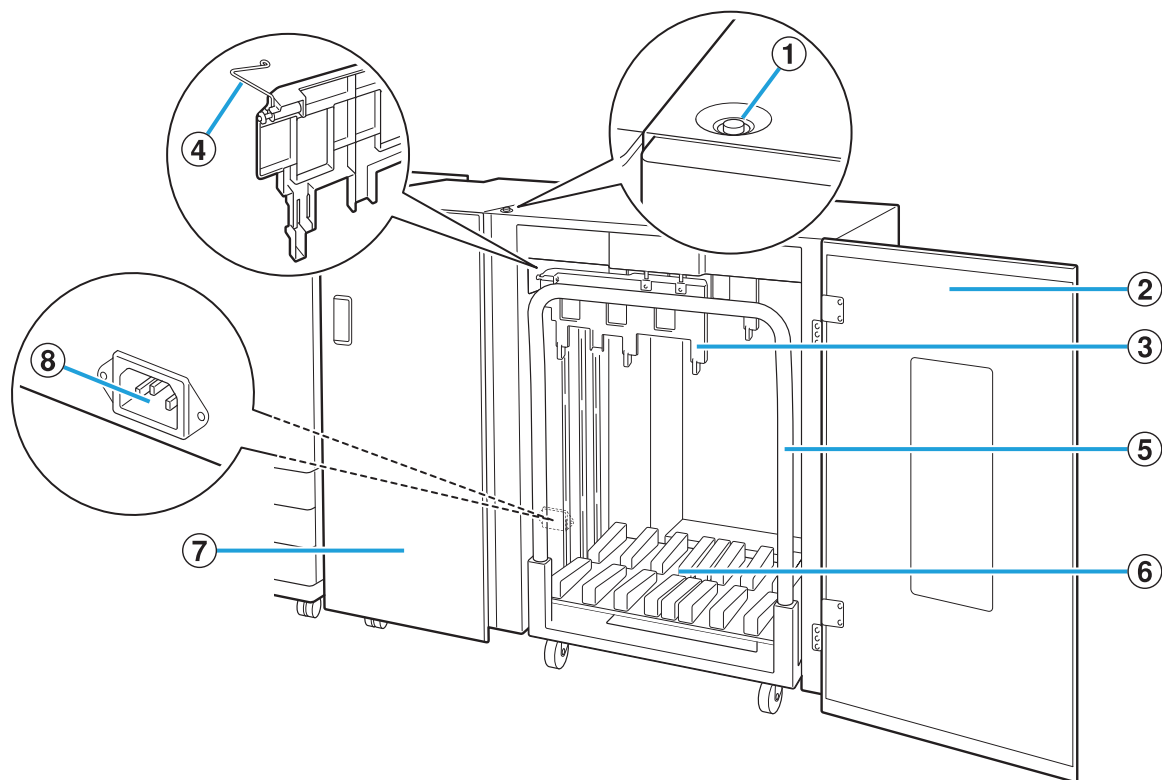
メンテナンスモードの設定

排紙フェンス調整

オートフェンス排紙台の排紙フェンス位置を調整します。詳しくは、「付録」の「排紙フェンス調整」(p.243)を参照してください。

大容量排紙ユニット

大容量排紙ユニットを接続すると、約4000枚の印刷物(理想用紙IJの場合)を排紙することができます。排紙された印刷物は、専用の台車ごとに取り出すことができます。



8

① 排紙台下降ボタン

排紙台の印刷物を取り除くときに押します。排紙台下降ボタンを押すと、排紙台が最下位(台車の位置)まで下がります。下降中に排紙台下降ボタンを押すと、押した位置で排紙台が止まります。再度押すと、排紙台が下がります。印刷中は、排紙台下降ボタンを押しても動作しません。左右のカバーが閉まっている状態で押してください。

② 右カバー

印刷物を取り出すときや、台車をセットするとき、または紙づまりを解除するときに、このカバーを開けます。

③ 排紙フェンス

排紙された印刷物がずれるのを防ぎます。

④ コルゲーター

軽量紙などの用紙の種類に応じて通紙状態や、印刷物の紙揃えをよくしたい場合にセットします。

⑤ 専用台車

大容量排紙ユニット内にセットして使用します。排紙台を接続し、大量の印刷物を台車ごと運ぶことができます。

⑥ 排紙台

印刷物はここに排紙されます。

⑦ 左カバー

用紙搬送時に紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

⑧ 大容量排紙ユニット用ソケット

大容量排紙ユニットの電源コードを接続します。左カバー背面の下側にあります。



- ・印刷中は、カバーを開けないでください。カバーを開けた状態では、印刷できません。
- ・台車は必ず、大容量排紙ユニット専用台車を使用してください。

コルゲーターをセットする

使用する用紙サイズや用紙種類によって、通紙や紙揃えの状態が異なるので、印刷物の排紙や用紙が揃うように、コルゲーターを調節します。

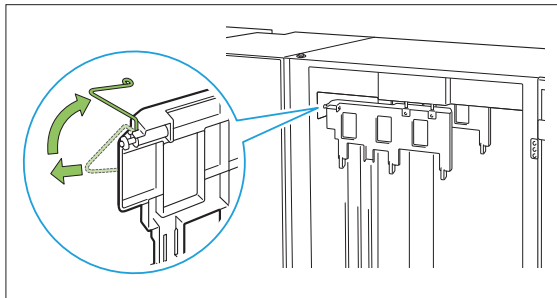


- 通常、プリントする場合は、コルゲーターの調節は必要ありません。通紙状態や、印刷物の紙揃えをよくしたい場合に、コルゲーターを調節してください。
- 用紙サイズ・紙質・環境・保管状態等により紙揃えが改善できない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

コルゲーターを上げる

通常はコルゲーターを上げた状態で使います。

1 手前のコルゲーターを本体側(左)へ押しながら上げる

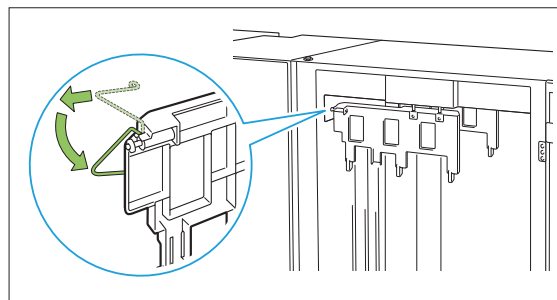


2 奥側のコルゲーターも同様に本体側(左)へ押しながら上げる

コルゲーターを下げる

軽量紙やA3/B4/B5横の用紙サイズ、または薄紙にプリントする場合は、コルゲーターを下げた状態で使います。

1 手前のコルゲーターを本体側(左)へ押しながら下げる



2 奥側のコルゲーターも同様に、本体側(左)へ押しながら下げる

印刷物を取り出す

大容量排紙ユニットから印刷物を取り出します。2通りの取り出し方法があります。



- 印刷物は、排紙台が完全に停止した状態で取り出します。排紙台の状態を示すメッセージが操作パネルに表示されます。メッセージに従って作業してください。

• 台車ごと印刷物を取り出す場合

大容量排紙ユニット専用の台車を使用して、印刷物を取り出します。

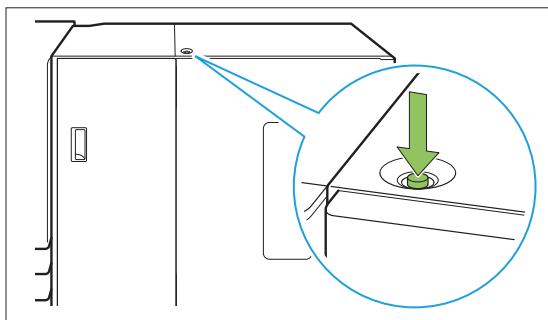
• 印刷物だけを取り出す場合

専用の台車を引き出すことなく印刷物を取り出すことができます。排紙台が最下位まで下降するのを待たずに、印刷物を取り出せます。

台車ごと印刷物を取り出す場合

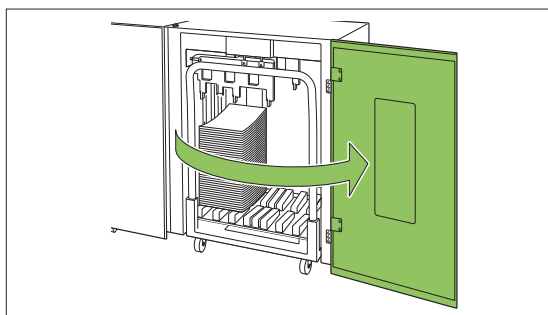
1 排紙台下降ボタンを押す

約3200枚 ~ 4000枚(満杯)排紙すると、排紙台は自動で最下位まで下がります。



- ・排紙台下降ボタンは、大容量排紙ユニットの左右両方のカバーが閉まっている状態で押してください。カバーが開いていると、作動しません。
- ・印刷が終了すると、管理者が設定した位置まで、排紙台が自動で下降します。排紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。
- ・印刷の途中で排紙台下降ボタンを押してしまった場合は、印刷物を取り出してください。印刷物が積載された状態では、排紙できる位置まで排紙台を上昇させることができません。

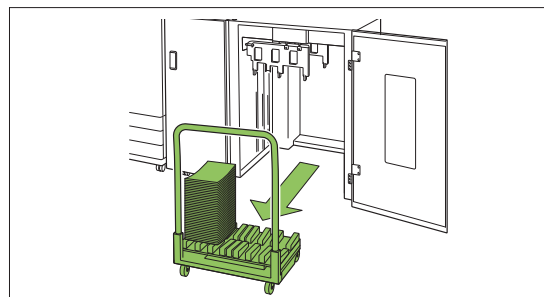
2 大容量排紙ユニットの右カバーを開ける



3 台車の上にセットされた排紙台ごと引き出す



- ・台車は持ち手からゆっくりと引き出してください。急に動かすと印刷物が崩れる場合があります。

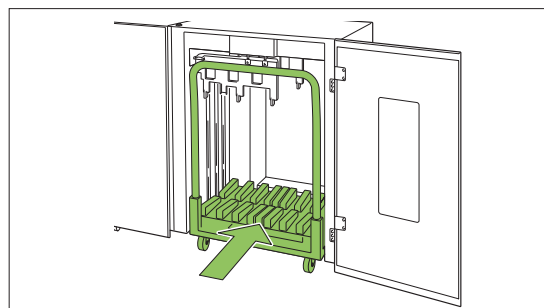


4 台車から印刷物を取り除く

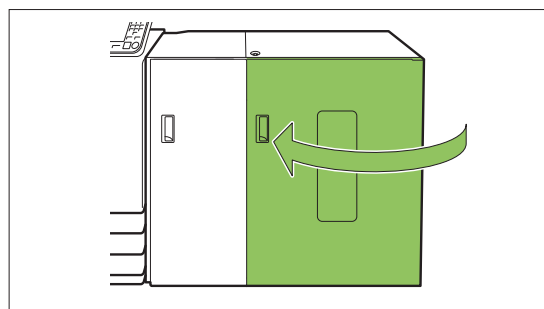
5 台車を大容量排紙ユニットに戻す



- ・台車は必ず排紙台がセットされている状態で戻してください。

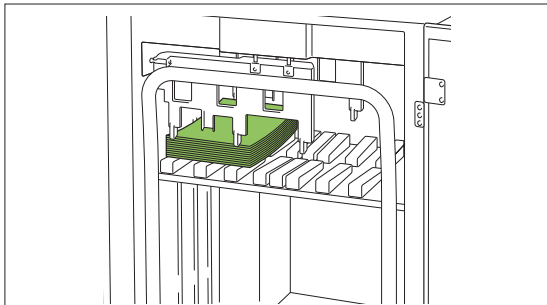


6 大容量排紙ユニットの右カバーを閉じる



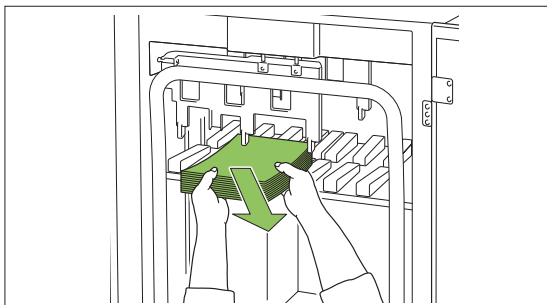
印刷物だけを取り出す場合

1 大容量排紙ユニットの右カバーを開ける



- ・排紙台の停止位置は、管理者によって設定されています。下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。
- ・排紙台の停止位置によっては、印刷物が排紙フェンスにあたり、取り出しにくい場合があります。その場合は、右カバーを閉じ、排紙台下降ボタンを押して排紙台を下げてから、印刷物を取り出してください。

2 印刷物を取り出す



- ・排出した用紙サイズによっては、台車の持ち手にあたり、取り出しにくい場合があります。その場合は、右カバーを閉じ、排紙台下降ボタンを押して排紙台を台車まで下げてください。
- 台車ごと引き出し、用紙を取り除くことができます。

3 大容量排紙ユニットの右カバーを閉じる



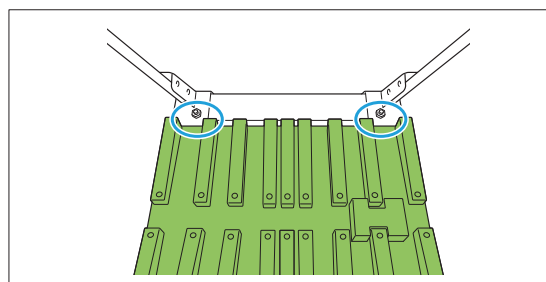
- ・手順2で台車を引き出した場合は、台車を大容量排紙ユニットにセットしてから右カバーを閉じてください。

- ・印刷が終了しても排紙台が下がらない設定になっている場合、排紙台に用紙があると、排紙フェンスの移動ができず、次のジョブの用紙サイズに対応できないことがあります。用紙サイズ、用紙のセット向き、給紙設定が異なるジョブを印刷する場合は、排紙台の用紙を取り除いてから次の印刷をしてください。
- ・用紙種類で[軽量紙]を選択した場合、給紙設定は自動で変更されます。排紙台の用紙を取り除いてから次の印刷をしてください。

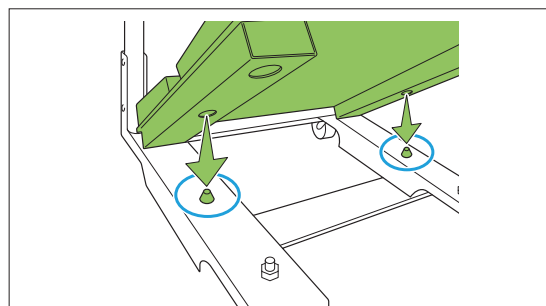
排紙台を台車にセットする

排紙台は台車から取り外すことができます。印刷物を排紙台ごと取り出した場合は、排紙台を台車にセットしてから、台車ごと大容量排紙ユニットに戻してください。

1 台車の持ち手付け根のネジ(2箇所)に排紙台の先端を合わせる



2 台車の突起部を排紙台の穴に差し込みながらセットする



設定項目一覧

大容量排紙ユニットを接続すると、以下の項目が設定できます。

プリンタードライバー

設定項目	説明	参照ページ
[仕上げ]タブ		
オフセット排紙	複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。	p.201
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.202
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.202
[応用]タブ		
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.126
プログラムオフセット排紙	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.202



・[仕上げ]タブの[オフセット排紙]や[排紙先]などがグレーアウトしているときは、[環境]タブで[プリンター構成]が正しく設定されているか確認してください。(p.129「プリンター構成」)

コピーモード

設定項目	説明	参照ページ
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.76
オフセット排紙([プログラム印刷])	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.202

設定項目	説明	参照ページ
仕分け	合紙を入れる位置を設定します。	p.79
オフセット排紙([仕分け])	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.202
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.203
排紙面	排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。	p.203
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.203

メンテナンスモード

設定項目	説明	参照ページ
排紙フェンス調整	排紙フェンスの位置を調整します。	p.243

プリンタードライバーの設定

オフセット排紙

複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。



- ・[プログラム印刷]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.126「プログラム印刷」)
- ・大容量排紙ユニットに排紙できない用紙サイズでは、設定できません。
- ・[原稿サイズ混在]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.111「原稿サイズ混在」)

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

【ソートの区切りごと】

【ソート】で指定した単位ごとに、排紙位置をずらしします。

【プリント終了時】

プリント終了時に、排紙位置をずらしします。

排紙先

印刷物を排出するトレイを設定します。

【自動】に設定すると、設定した機能に応じて、自動的に適切なトレイに排紙されます。大容量排紙ユニットに排出する場合は、【大容量排紙ユニット】を選択してください。

【詳細設定】をクリックすると、【排紙先】ダイアログボックスが表示されます。排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

【フェイスアップ】／【フェイスダウン】



- ・【オフセット排紙】、【ステープル】を設定している場合に【排紙先】で選択できる排紙トレイは、設定内容により異なります。(p.214「オフセット排紙」、p.208「ステープル」)

連続排紙

排紙先の紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。印刷物を排出するトレイを設定します。

【基本】タブの【ソート】を【ページごと】に設定しておく必要があります。

プログラムオフセット排紙

プリントの「プログラム印刷」(p.126)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

【OFF】

オフセット排紙を設定しません。

【組ごと】

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

【グループごと】

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

コピーモードの設定

オフセット排紙 （【プログラム印刷】）

コピーの「プログラム印刷」(p.76)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

【OFF】

オフセット排紙を設定しません。

【組ごと】

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

【グループごと】

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

オフセット排紙（【仕分け】）

コピーの「仕分け」(p.79)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。



- ・【オフセット排紙】と【原稿サイズ混在】は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」)

【OFF】

オフセット排紙を設定しません。

【ソートの区切りごと】

ソートの区切りごとに、排紙位置をずらしします。

【ジョブの後ろ】

印刷するジョブごとに、排紙位置をずらしします。

＜オフセット排紙ができる用紙サイズ＞

- ・ A3／B4／A4／A4横／B5／B5横／Ledger／Legal／Letter／Letter-R／Foolscap／指定サイズ(用紙の長さが182mm～432mm)

1 【仕分け】をタッチする

2 オフセット排紙の設定を選択する

3 【OK】をタッチする

排紙先

印刷物を排出するトレイを選択します。



・接続しているオプションにより、[排紙先]画面に表示されるトレイの内容が変わります。

【自動】

自動的に適切なトレイが選択されます。

【①フェイスダウン排紙トレイ】／【②大容量排紙ユニット】

排紙トレイを選択します。

1 [排紙先]をタッチする

2 排紙先を選択する

3 [OK]をタッチする

排紙面

排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

【フェイスアップ】／【フェイスダウン】

連続排紙

使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。

1 [連続排紙]をタッチする

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする



・[連続排紙]と[小冊子]、[表紙付け]は併用できません。(p.70「小冊子」、p.78「表紙付け」)

メンテナンスモードの設定

排紙フェンス調整

排紙フェンスの位置を調整します。詳しくは、「付録」の「排紙フェンス調整」(p.243)を参照してください。

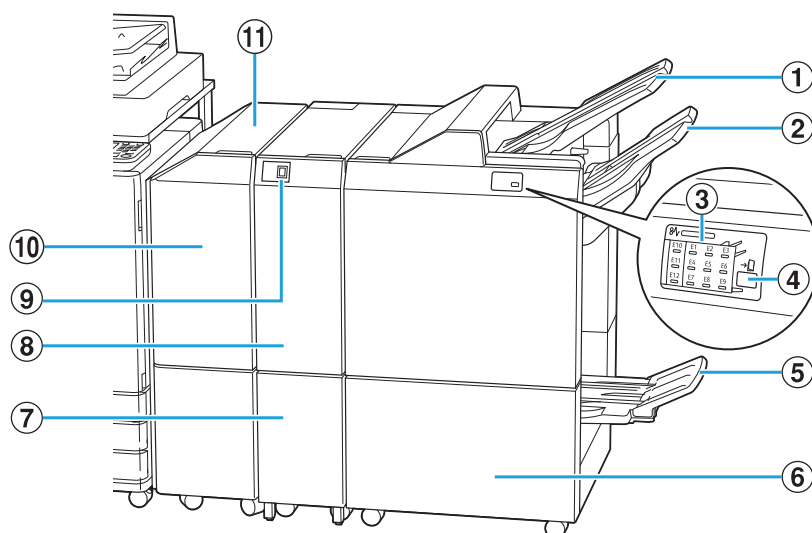
マルチフィニッシャー

オプションのマルチフィニッシャーを接続すると、以下のことができます。

種類	できること	オプションを付けたとできること	
		+紙折りユニット	+パンチユニット
マルチフィニッシャーS	ステープル	内三つ折り 外三つ折り Z折り	パンチ
マルチフィニッシャーM	ステープル 二つ折り 小冊子製本		

このページでは、紙折りユニットおよびパンチユニットが付いたマルチフィニッシャーMを例に説明します。

・正面から見た図



① トップトレイ

パンチ機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

② スタックトレイ

ステープルやオフセット排紙、パンチ機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

③ 紙づまり表示LED

紙づまりの位置が点灯します。

④ 排出ボタン*

小冊子トレイに排出された印刷物を取り出すときに排出ボタンを押すと、印刷物を取り出しやすい位置まで移動します。

⑤ 小冊子トレイ*

小冊子や二つ折りにされた印刷物は、ここに排出されます。

⑥ 右カバー

ステープルカートリッジの交換時や、紙づまりが発生した場合などに、このカバーを開けて処理します。

⑦ 三つ折りトレイ*

三つ折りされた印刷物は、ここに排出されます。

⑧ 紙折りユニット*

外三つ折り、内三つ折り、Z折りができます。

⑨ 三つ折りトレイ引き出しボタン*

三つ折りの印刷物を取り出すときに押します。三つ折りトレイが手前に開きます。

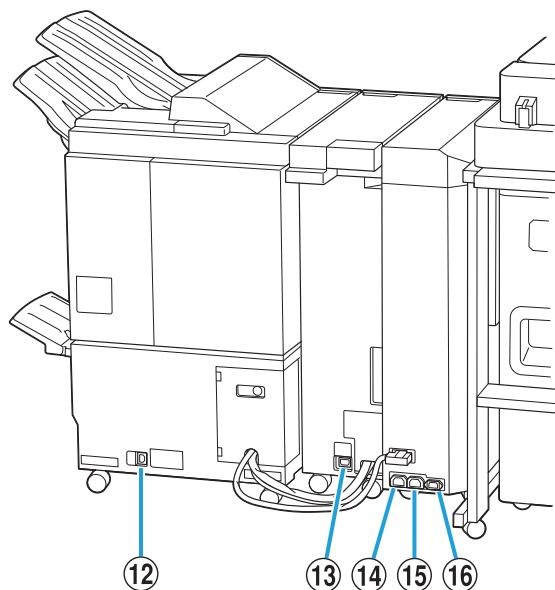
⑩ 搬送カバー

紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

⑪ 搬送ユニット

プリンターからマルチフィニッシャーへ用紙を搬送します。

・ 背面からみた図



⑫ マルチフィニッシャー用ソケット

マルチフィニッシャー用の電源コードを接続します。

⑬ 紙折りユニット用ソケット*

紙折りユニット用の電源コードを接続します。

⑭ マルチフィニッシャー用電源分配ソケット

マルチフィニッシャー用の電源コードを接続します。

⑮ 紙折りユニット用電源分配ソケット

紙折りユニット用の電源コードを接続します。

⑯ 搬送ユニット用ソケット

搬送ユニット用の電源コードを接続します。

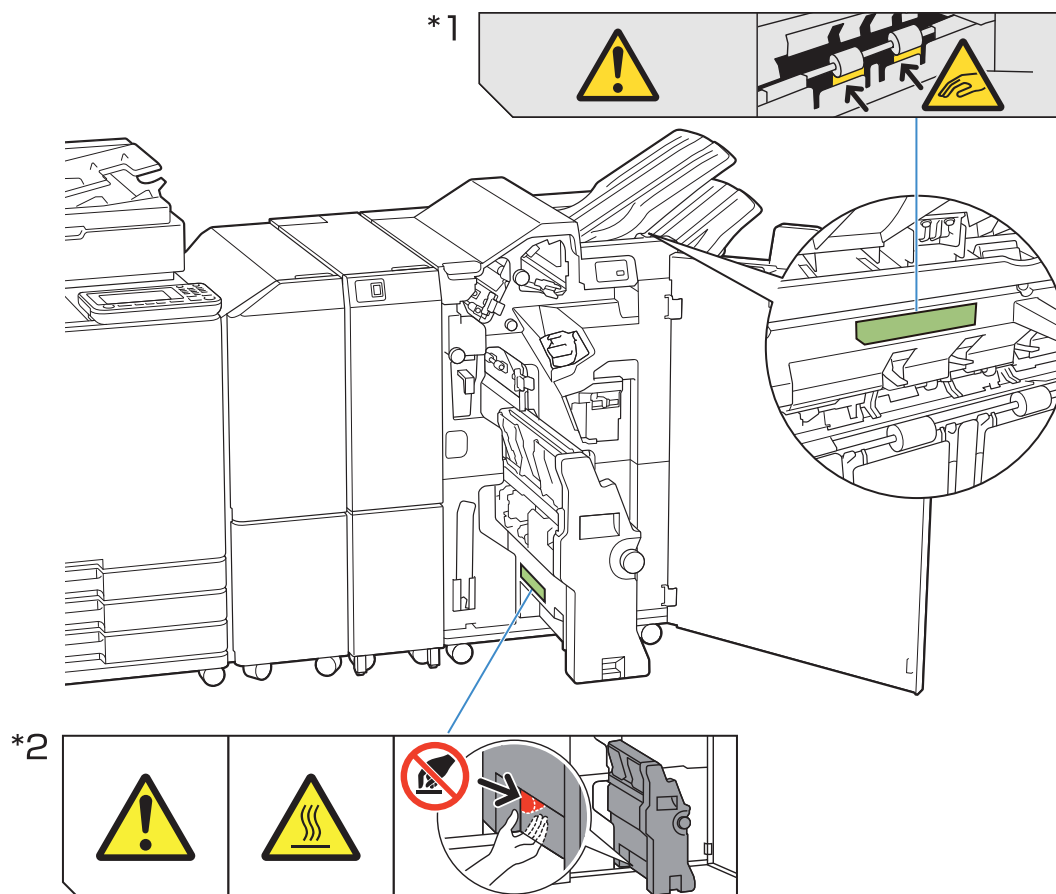
* マルチフィニッシャーの種類により、装備されていない場合があります。

警告ラベルについて

マルチフィニッシャーには、安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルが貼り付けてあります。マルチフィニッシャーを操作または保守点検するときは、必ず警告ラベルの指示内容をよく読み、安全にお使いください。また、ラベルをはがしたり、汚したりしないでください。もしラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

■ ラベルの貼り付け位置

警告ラベル(注意)の貼り付け箇所を以下に示します。



・高温注意ラベルは、マルチフィニッシャーおよび紙折りユニットの内部にも貼られています。

■ ラベルの内容

*1 動作中や印刷物を取り除くときに指を挟まれるおそれがあることを示しています。

*2 このラベルが貼られている箇所は、高温になっている場合があります。触れると、火傷のおそれがあることを示しています。

設定項目一覧

マルチフィニッシャーを接続すると、以下の項目が設定できます。

プリンタードライバー

設定項目	説明	参照ページ
[仕上げ]タブ		
ステープル	ステープルの位置を設定します。	p.208
パンチ	パンチの位置を設定します。	p.210
紙折り	用紙の折り方を設定します。	p.210
小冊子製本	製本方法を設定します。	p.212
オフセット排紙	複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。	p.214
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.214
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.214
[応用]タブ		
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.126
プログラムオフセット排紙	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.214



- [仕上げ]タブの[ステープル]や[パンチ]などがグレーアウトしているときは、[環境]タブで[プリンター構成]が正しく設定されているか確認してください。(p.129「プリンター構成」)

コピーモード

設定項目	説明	参照ページ
小冊子	小冊子にするための面付けや紙折りなどを設定します。	p.70
製本(〔小冊子〕)	用紙を二つ折りにして、ステープルで中とじします。	p.215
分冊処理(〔小冊子〕)	分冊された束を中とじするのか、平とじするのかを設定します。	p.215
中とじしろ(〔小冊子〕)	折り部分の中央に余白を設定します。	p.215
プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ(部署やクラス)がある場合に設定します。	p.76
オフセット排紙(〔プログラム印刷〕)	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.216
仕分け	合紙を入れる位置を設定します。	p.79
オフセット排紙(〔仕分け〕)	印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらしします。	p.216
ステープル/パンチ	ステープルやパンチの位置を設定します。	p.216
紙折り	紙の折り方、折り方向などを設定します。	p.217
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	p.219
排紙面	排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。	p.219
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	p.219



- パンチの設定項目は、オプションのパンチユニットをお使いの場合に表示されます。

プリンタードライバーの設定

ステープル

ステープルする位置を設定します。



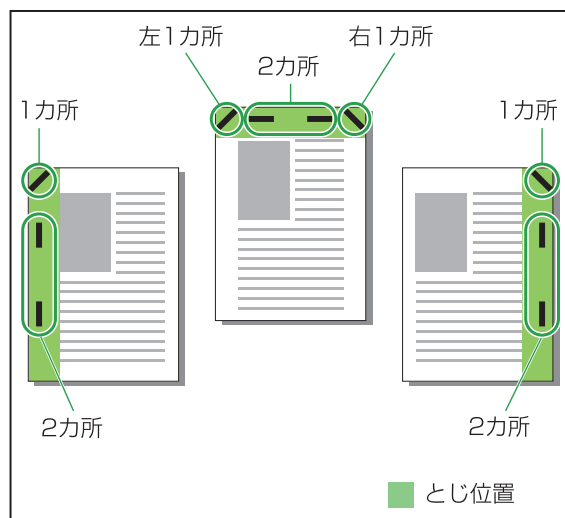
- [ステープル]を設定した場合は、必ず[とじ位置]の設定をしてください。
- [ステープル]を設定すると、[ソート]は[部ごと]に設定されます。(p.111「ソート」)
- [小冊子]を設定すると、[ステープル]は[OFF]になります。(p.116「小冊子」)
- [小冊子製本]を設定すると、[ステープル]は[OFF]になります。(p.212「小冊子製本」)
- [ステープル]と[ポスター]、[連続排紙]は併用できません。(p.117「ポスター」、p.214「連続排紙」)
- 用紙のセット方向は、ステープルのとじ位置により異なります。「ステープル機能と用紙のセット方向について」(p.209)を参照してください。

[とじ位置]を[左とじ]または[右とじ]に設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF] / [1ヵ所] / [2ヵ所]

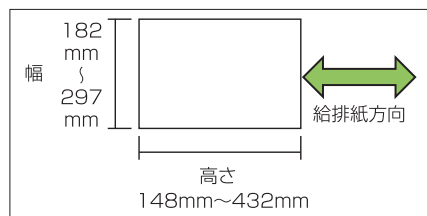
[とじ位置]を[上とじ]に設定している場合は、以下から選択してください。

[OFF] / [左1ヵ所] / [右1ヵ所] / [2ヵ所]



<ステープルできる用紙>

- 用紙サイズ：A3 / B4 / A4 / A4横 / B5 / B5横 / A5横 / Ledger / Legal / Letter / Letter-R / Foolscap / 不定形



- 用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

<ステープルできる枚数>

- 定形用紙の場合
A4、A4横、B5、B5横、A5横、Letter、Letter-R：2～100枚*
上記以外の定形用紙（A3、B4、Ledger、Legal、Foolscap）：2～65枚*
- 不定形用紙の場合
用紙の高さが297mmを超える場合：2～65枚
用紙の幅と高さが共に216mmを超える場合：2～65枚
上記以外の不定形用紙：2～100枚

* 理想用紙IJ (85g/m²) の場合

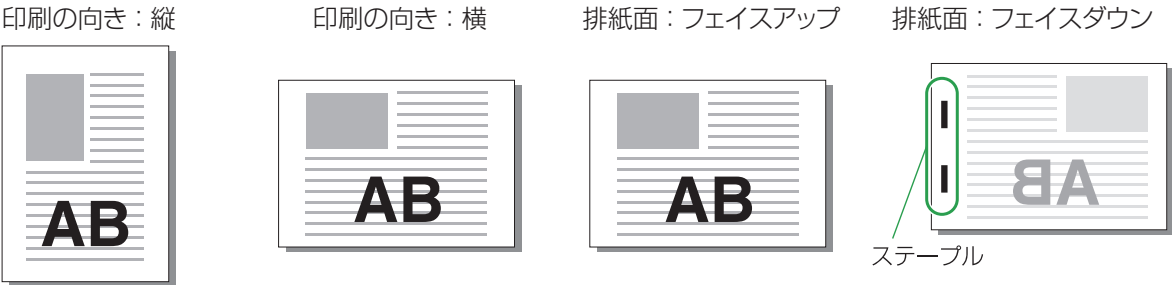
Z折りが混在した場合、A3用紙Z折りはA4横用紙10枚分、B4用紙Z折りはB5横用紙20枚分に相当



- 最大ステープル枚数を超えるジョブをプリントすると、ステープルされずに排紙されます。

ステープル機能と用紙のセット方向について

用紙トレイ（給紙台）への用紙セット方向と、ステープルのとじ位置は以下のとおりです。



とじ位置	ステープルの位置			
左	1カ所		2カ所	
右	1カ所		2カ所	
上	左1カ所		右1カ所	
用紙搬送	左1カ所		右1カ所	



- 該当する用紙サイズが、トレイにセットされていない場合、メッセージが表示されます。
画面の指示に従って、用紙をセットしてください。
- [1カ所]とじの場合、用紙サイズやセット方向により、針の角度は上の図や、プリンタードライバー画面の印刷イメージと異なる場合があります。
- 原稿に複数の原稿サイズが混在する場合は、[とじ位置]の設定に合わせて自動で画像を回転します。

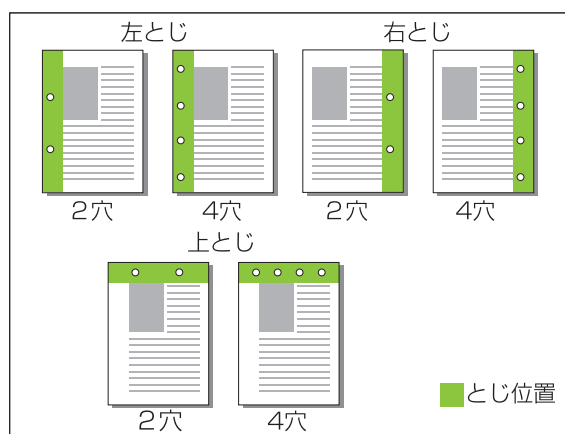
パンチ

パンチ穴の数を設定します。



- ・[小冊子]を設定すると、[パンチ]は[OFF]になります。(p.116「小冊子」)
- ・[小冊子製本]を設定すると、[パンチ]は[OFF]になります。(p.212「小冊子製本」)

[OFF] / [2穴] / [4穴]



<パンチできる用紙>

- ・用紙サイズ
2穴：A3/B4/A4/A4横/B5横/Ledger / Legal/Letter/Letter-R/Foolscap
4穴：A3/A4横/Ledger/Letter-R
- ・用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

紙折り

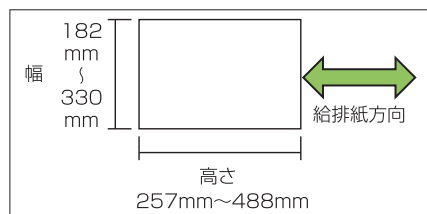
二つ折りやZ折りなど、紙折りの設定をします。



- ・[紙折り]と[小冊子]、[ポスター]、[複写プリント]、[小冊子製本]は併用できません。(p.116「小冊子」、p.117「ポスター」、p.128「複写プリント」、p.212「小冊子製本」)
- ・[二つ折り]、[内三つ折り]、[外三つ折り]と[原稿サイズ混在]、[とじ位置]、[合紙]、[表紙付け]、[プログラム印刷]、[白紙節約]、[ステープル]、[パンチ]、[オフセット排紙]、[連続排紙]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.120「とじ位置」、p.121「合紙」、p.121「表紙付け」、p.126「プログラム印刷」、p.128「白紙節約」、p.180「ステープル」、p.210「パンチ」、p.214「オフセット排紙」、p.214「連続排紙」)

<紙折りできる用紙>

- ・紙折りできる用紙と折り方向
二つ折り：A3/B4/A4/B5/Ledger / Legal/Letter/Foolscap/不定形
内三つ折り、外三つ折り：A4/Letter
Z折り：A3/B4/Ledger



- ・幅が高さより長い用紙は、二つ折りにできません。

- ・用紙の重さ：60g/m²～90g/m²

[OFF]

紙折りをしません。

[二つ折り]

用紙を1枚ずつ二つ折りにします。

[内三つ折り]

用紙を1枚ずつ内側に三つ折りにします。

[外三つ折り]

用紙を1枚ずつ外側に三つ折りにします。

[Z折り]

用紙を1枚ずつZ折りにします。

[原稿サイズ混在]と併用させた場合、Z折りした用紙とZ折りしていない用紙を混在させて排紙します。

紙折りの種類を選択し、[詳細設定]をクリックすると、[紙折り]ダイアログボックスが表示されます。折り方向やとじ位置の設定をしてください。

■ 折り方向

[二つ折り] [内三つ折り] [外三つ折り]を選択した場合、印刷面を内側にするか外側にするかを設定します。



- ・両面プリント時は1ページ目が印刷面になります。

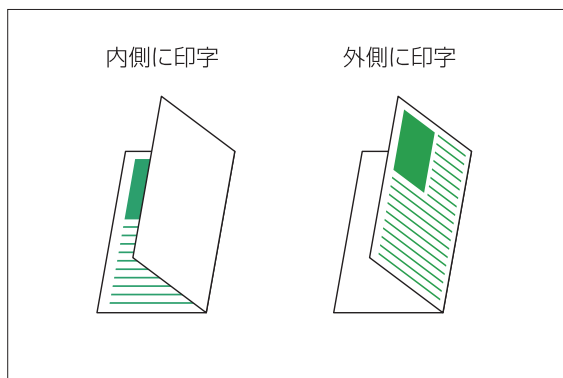
[内側に印字]

印刷面を内側にして用紙を折ります。

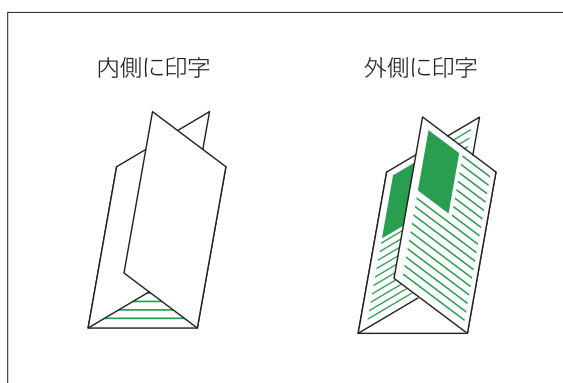
[外側に印字]

印刷面を外側にして用紙を折ります。

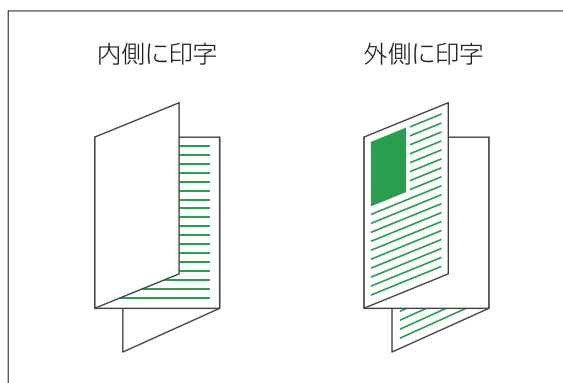
二つ折り



内三つ折り



外三つ折り



■ とじ位置

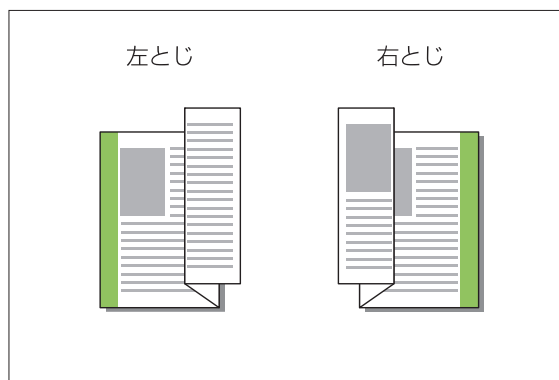
【Z折り】を選択した場合、用紙のとじ位置を設定します。

【左とじ/上とじ】

用紙の右半面をZ折りします。

【右とじ/下とじ】

用紙の左半面をZ折りします。



- 【原稿サイズ混在】を設定すると、【紙折り】は【Z折り】のみ設定できます。その場合、混在可能な原稿サイズの組み合わせは、「A4横とA3」「B5横とB4」「Letter-RとLedger」です。(p.111「原稿サイズ混在」)
- 【原稿サイズ混在】と併用した場合、【印刷の向き】は、大きいほうの原稿の向きを選んでください。(A4原稿が縦でA3原稿が横の場合は、【横】を選択)(p.111「原稿サイズ」、p.111「原稿サイズ混在」)
- 【出力用紙サイズ】には、Z折りする用紙のサイズを指定してください。(p.112「出力用紙サイズ」)
- 両面印刷と併用した場合、1枚の用紙の表裏になる原稿サイズが同じ場合のみ両面印刷になります。(サイズが異なる場合は、裏面が空白ページになります)(p.110「両面 / 片面」)
- 【原稿サイズ混在】と併用した場合は、【ステープル】、【パンチ】、【オフセット排紙】を設定できます。(p.111「原稿サイズ混在」、p.208「ステープル」、p.210「パンチ」、p.214「オフセット排紙」)
- 【表紙付け】と併用した場合は、Z折り後のサイズの表紙がつけられます。(p.121「表紙付け」)

小冊子製本

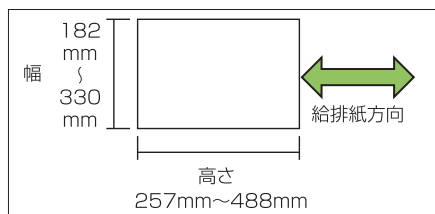
連続する複数のページを両面印刷し、用紙を二つ折りにした小冊子を作成します。ステープルでの中とじもできます。



- [小冊子製本]を設定すると、[ソート]は[部ごと]に設定されます。(p.111「ソート」)
- [小冊子製本]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[とじ位置]、[合紙]、[プログラム印刷]、[白紙節約]、[複写プリント]、[ステープル]、[パンチ]、[紙折り]、[オフセット排紙]、[連続排紙]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.120「とじ位置」、p.121「合紙」、p.126「プログラム印刷」、p.128「白紙節約」、p.128「複写プリント」、p.180「ステープル」、p.210「パンチ」、p.210「紙折り」、p.214「オフセット排紙」、p.214「連続排紙」)

＜小冊子が作成できる用紙＞

- A3 / B4 / A4 / B5 / Ledger / Legal / Letter / Foolscap / 不定形



- 幅が高さより長い用紙は使用できません。

【OFF】

小冊子製本の設定をしません。

【折り】

印刷用紙を二つ折りにします。

【折り+ステープル】

印刷用紙を二つ折りにして、ステープルで中とじします。

小冊子製本の方法を選択し、[詳細設定]をクリックすると、[小冊子製本]ダイアログボックスが表示されます。

分冊処理、中とじしろ、表紙別プリントの設定をしてください。

■ 分冊処理

[折り]または[折り+ステープル]を選択した場合、1回に折れる枚数に制限があります。

[折り]の場合は5枚(20ページ)、[折り+ステープル]の場合は20枚(80ページ)です。

この枚数を超えるページ数がある場合は、上記枚数ごとに1回折って排出します(分冊されます)。

その場合、分冊された束を中とじするのか、平とじするのかによって、面付け方法が異なるため、[OFF]、[ON]どちらかを選択してください。



- [分冊処理]と[表紙付け]は併用できません。(p.121「表紙付け」)

【OFF】

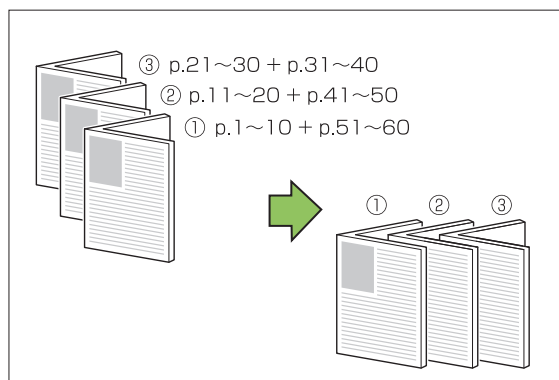
分冊を開いた状態で重ねてとじる(中とじする)と1冊になるように面付けされます。

OFFを選択すると、[折り+ステープル]を選択した場合でも、ステープルしません。

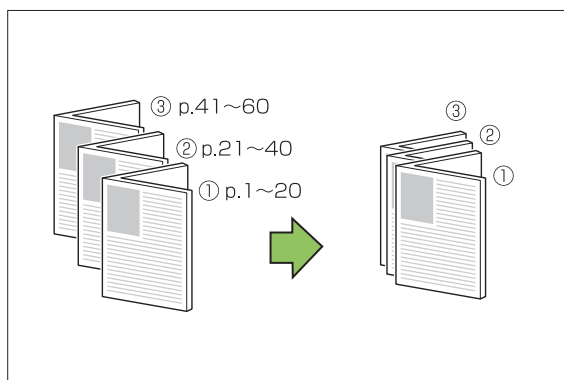
【ON】

分冊を折ったまま重ねてとじる(平とじする)と1冊になるように面付けされます。

例：60ページ 設定が[折り] 分冊処理[OFF]の場合



例：60ページ 設定が[折り] 分冊処理[ON]の場合



■ 中とししろ

[とししろ幅]の数値を入力します。
[自動縮小]にチェックマークをつけると、とししろ幅を設けたためにプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙に収まるように自動的に縮小します。

■ 表紙別プリント

表紙のページ(原稿の先頭の2ページと最後の2ページ)だけを別にプリントします。表紙と本文を、別の用紙でプリントする場合などに便利です。



・[表紙別プリント]と[表紙付け]は併用できません。(p.121「表紙付け」)

[OFF]

表紙別プリントの設定をしません。

[表紙のみプリント]

表紙ページだけがプリントされます。

[表紙以外をプリント]

表紙以外のページが小冊子としてプリントされます。

[表紙以外を保留にする]

表紙を印刷後、続けて本文を印刷する場合、[表紙以外を保留にする]にチェックを付けておくと、本機の実操作パネルから印刷指示ができます。この場合、印刷済みの表紙をセットするトレイを指定してください。

[表紙用トレイ]

[給紙台] / [トレイ1] / [トレイ2] / [トレイ3]



・オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、[給紙台]の代わりに[大容量給紙ユニット]が表示されます。

表紙ページだけを別にプリントして、本文と合わせて小冊子製本する場合を例に説明しています。

1 [表紙別プリント]で[表紙のみをプリント]をクリックする

2 [表紙以外を保留にする]にチェックマークをつける

3 [表紙用トレイ]を選択する

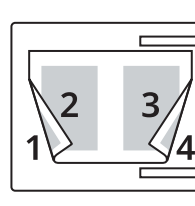
4 [OK]をクリックする

表紙だけがプリントされ、表紙以外のデータは保留ジョブになります。

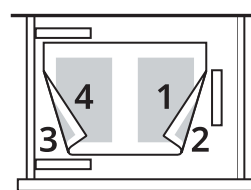
5 印刷された表紙を、[表紙用トレイ]で設定した本機のトレイにセットする

セットする方向は以下のとおりです。

給紙台の場合



用紙トレイの場合



6 [ホーム1]画面で[プリント]をタッチする

7 ジョブを選択する

8 [スタート]キーを押す

本文がプリントされ、表紙と合わせて小冊子製本されます。

オフセット排紙

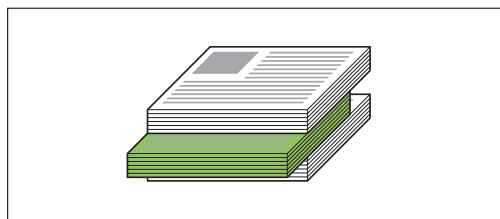
複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらしします。



- [プログラム印刷]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.126「プログラム印刷」)
- スタックトレイに排紙できない用紙サイズでは、設定できません。
- [原稿サイズ混在]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.111「原稿サイズ混在」)
- [紙折り]の[二つ折り]、[内三つ折り]、[外三つ折り]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.210「紙折り」)
- [小冊子製本]を設定すると、[オフセット排紙]は[OFF]になります。(p.212「小冊子製本」)
- 通常は2 段オフセット、ステープルが併用されている場合は3段オフセットになります。

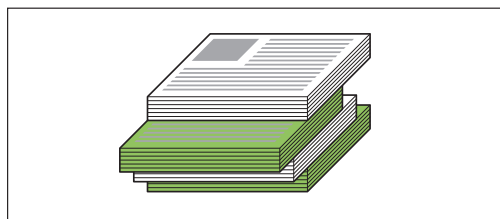
2 段オフセット

ステープルなし(マルチフィニッシャー、オフセットステープルトレイ)



3 段オフセット

ステープルあり(マルチフィニッシャー)



[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[ソートの区切りごと]

[ソート]で指定した単位ごとに、排紙位置をずらしします。

[プリント終了時]

プリント終了時に、排紙位置をずらしします。

排紙先

印刷物を排出するトレイを設定します。

[自動]に設定すると、設定した機能に応じて、自動的に適切なトレイに排紙されます。マルチフィニッシャーに印刷物を排出する場合は、[トップトレイ]／[スタックトレイ]を選択してください。

[詳細設定]をクリックすると、[排紙先]ダイアログボックスが表示されます。排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

[フェイスアップ]／[フェイスダウン]



- [ステープル]、[パンチ]、[紙折り]、[小冊子製本]、[オフセット排紙]を設定している場合に[排紙先]で選択できる排紙トレイは、設定内容により異なります。(p.208「ステープル」、p.210「パンチ」、p.210「紙折り」、p.212「小冊子製本」、p.214「オフセット排紙」)

連続排紙

排紙先の紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。



- [連続排紙]を設定すると、[ソート]は[ページごと]に設定されます。(p.111「ソート」)
- [連続排紙]と[表紙付け]、[ステープル]、[紙折り]の[二つ折り]、[内三つ折り]、[外三つ折り]、[小冊子製本]は併用できません。(p.121「表紙付け」、p.180「ステープル」、p.210「紙折り」、p.212「小冊子製本」)

プログラムオフセット排紙

プリントの「プログラム印刷」(p.126)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

[OFF]

オフセット排紙を設定しません。

[組ごと]

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

[グループごと]

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

コピーモードの設定

製本（[小冊子]）

コピーの「小冊子」(p.70)の機能に加えて、小冊子に仕上げるときの、折りやステープルが設定できます。



- [製本]を設定すると、[ソート]は[部ごと]に設定されます。(p.66「ソート」)
- [製本]と[プログラム印刷]、[仕分け]、[排紙先]、[排紙面]、[連続排紙]は併用できません。(p.76「プログラム印刷」、p.79「仕分け」、p.219「排紙先」、p.219「排紙面」、p.219「連続排紙」)

[OFF]

製本の設定をしません。

[折り+ステープル]

用紙を二つ折りして、ステープル(中とじ)します。

[折りのみ]

用紙を二つ折りにします。

分冊処理（[小冊子]）

[製本]で[折りのみ]または[折り+ステープル]を選択した場合、1回に折れる枚数に制限があります。
[折りのみ]の場合は5枚(20ページ)、[折り+ステープル]の場合は20枚(80ページ)です。
この枚数を超えるページ数がある場合は、上記枚数ごとに1回折って排出します(分冊されます)。
その場合、分冊された束を中とじするのか、平とじするのかによって、面付け方法が異なるため、[OFF]、[ON]どちらかを選択してください。

[OFF]

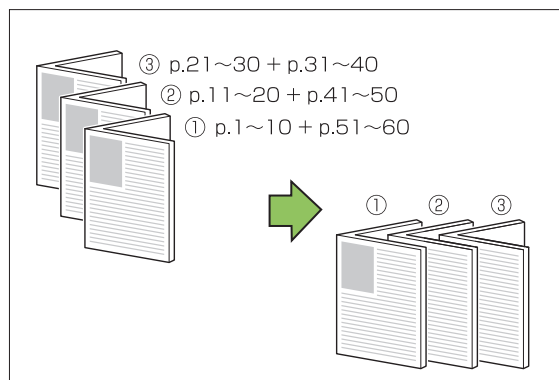
分冊を開いた状態で重ねてとじる(中とじする)と1冊になるように面付けされます。

OFF を選択すると、[折り+ステープル]を選択した場合でも、ステープルしません。

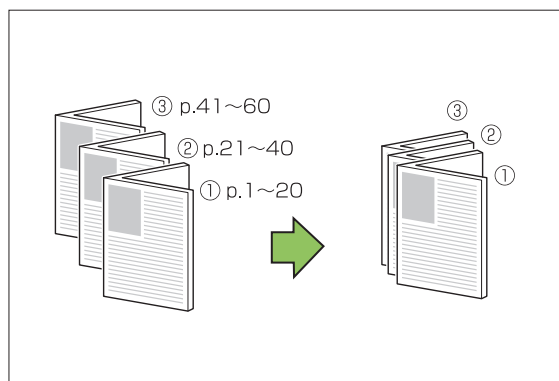
[ON]

分冊を折ったまま重ねてとじる(平とじする)と1冊になるように面付けされます。

例：60ページ 設定が[折りのみ] 分冊処理 [OFF]の場合



例：60ページ 設定が[折りのみ] 分冊処理 [ON]の場合



中とじしろ（[小冊子]）

二つ折りにしたときに折り部分が隠れて見えなくなるのを防ぐために、折り部分の中央に中とじしろ(余白)を設定します。

[中とじしろ]を設定すると、[自動縮小]が設定できません。中とじしろを設定したときにプリント面が用紙に入りきらない場合は、自動縮小を[ON]にします。



- 中とじしろは、コピーの「小冊子」で[ページ配置]を[OFF]以外に設定していて、[製本]で[折り+ステープル]または[折りのみ]を選択しているときに設定できます。

オフセット排紙(「プログラム印刷」)

コピーの「プログラム印刷」(p.76)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。

【OFF】

オフセット排紙を設定しません。

【組ごと】

組単位ごとに排紙位置をずらしします。

【グループごと】

グループ単位ごとに排紙位置をずらしします。

オフセット排紙(「仕分け」)

コピーの「仕分け」(p.79)の機能に加えて、印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらす設定ができます。



- ・「オフセット排紙」と「原稿サイズ混在」、「小冊子」の「製本」、「紙折り」の「二つ折り」、「内三つ折り」、「外三つ折り」は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.215「製本(「小冊子」)」、p.217「紙折り」)

【OFF】

オフセット排紙を設定しません。

【ソートの区切りごと】

ソートの区切りごとに、排紙位置をずらしします。

【ジョブの後ろ】

印刷するジョブごとに排紙位置をずらしします。

＜オフセット排紙ができる用紙＞

- ・ A3 / B4 / A4 / A4横 / A5横 / B5横 / Ledger / Legal / Letter / Letter-R / Foolscap / 指定サイズ
(203mm × 148mm ~ 297mm × 488mm)

1 「仕分け」をタッチする

2 オフセット排紙の設定を選択する

3 「OK」をタッチする

ステープル/パンチ

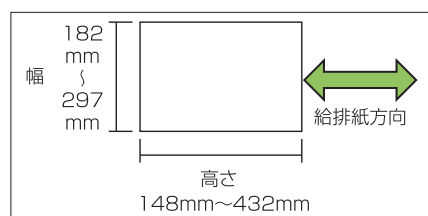
指定した位置にステープルしたり、パンチ穴を開けます。



- ・ 「ステープル / パンチ」と「小冊子」、「ページ罫線」、「紙折り」の「二つ折り」、「内三つ折り」、「外三つ折り」は併用できません。(p.70「小冊子」、p.72「ページ罫線」、p.217「紙折り」)
- ・ 「ステープル」と「連続排紙」は併用できません。(p.219「連続排紙」)

＜ステープルできる用紙＞

- ・ 用紙サイズ：A3 / B4 / A4 / A4横 / B5 / B5横 / A5横 / Ledger / Legal / Letter / Letter-R / Foolscap / 不定形



- ・ 用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

＜ステープルできる枚数＞

- ・ 定形用紙の場合
A4、A4横、B5、B5横、A5横、Letter、Letter-R：
2～100枚*
上記以外の定形用紙(A3、B4、Ledger、Legal、Foolscap)：2～65枚*
- ・ 不定形用紙の場合
用紙の高さが297mmを超える場合：2～65枚
用紙の幅と高さが共に216mmを超える場合：
2～65枚
上記以外の不定形用紙：2～100枚

* 理想用紙IJ(85g/m²)の場合
Z折りが混在した場合、A3用紙Z折りはA4横用紙10枚分、B4用紙Z折りはB5横用紙20枚分に相当



- ・ 最大ステープル枚数を超えるジョブをプリントすると、ステープルされずに排紙されます。

＜パンチできる用紙＞

- ・ 用紙サイズ
2穴：A3 / B4 / A4 / A4横 / B5横 / Ledger / Legal / Letter / Letter-R / Foolscap
4穴：A3 / A4横 / Ledger / Letter-R
- ・ 用紙の重さ：52g/m²～210g/m²

■ 原稿セット方向

【読める向き】

ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。

【左向き】

ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

■ とじ位置

用紙をとじる位置を選択します。

左とじ／右とじ／上とじ

■ ステープル

ステープルの位置を選択します。

- ・【とじ位置】を左とじまたは右とじに設定している場合は、以下から選択してください。

【OFF】／1カ所／2カ所

- ・【とじ位置】を上とじに設定している場合は、以下から選択してください。

【OFF】／左1カ所／右1カ所／2カ所



- ・左1カ所と右1カ所は、【とじ位置】を上とじに設定した場合のみ表示されます。

1 【ステープル/パンチ】をタッチする

2 【とじ位置】を設定する

3 【ステープル】を設定する

4 【OK】をタッチする

■ パンチ

パンチ穴の数を設定します。

【OFF】／2穴／4穴

1 【ステープル/パンチ】をタッチする

2 【とじ位置】を設定する

3 【パンチ】を設定する

4 【OK】をタッチする

■ とじしろ

ステープルやパンチがプリント面にかからないように、とじしろ(余白)を設定できます。

1 【ステープル/パンチ】画面で【とじしろ】をタッチする

【とじしろ】画面が表示されます。

2 とじしろを設定する

- ・【とじ位置】を選択します。
- ・とじしろ幅を[▼][▲]またはテンキーで入力します。
- ・とじしろを設定したためにプリントの一部が欠ける場合は、【自動縮小】を【ON】にしてください。

3 【OK】をタッチする

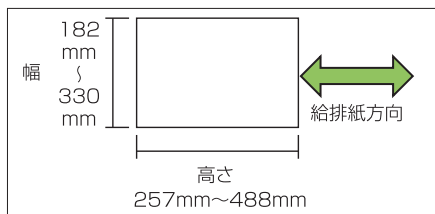
紙折り

二つ折りやZ折りなど、紙折りの設定をします。



- ・【紙折り】の【Z折り混在】を【ON】に設定すると、【ステープル/パンチ】と併用できます。(p.216「ステープル/パンチ」)
- ・【紙折り】と【原稿サイズ混在】、【小冊子】、【ページ罫線】、【排紙面】は併用できません。(p.67「原稿サイズ混在」、p.70「小冊子」、p.72「ページ罫線」、p.219「排紙面」)
- ・【二つ折り】、【内三つ折り】、【外三つ折り】と【プログラム印刷】、【表紙付け】、【仕分け】、【とじしろ】、【ステープル / パンチ】、【連続排紙】は併用できません。(p.76「プログラム印刷」、p.78「表紙付け」、p.79「仕分け」、p.79「とじしろ」、p.216「ステープル/パンチ」、p.219「連続排紙」)
- ・【Z折り】と【仕分け】の【合紙】、【パンチ】は併用できません。(p.79「仕分け」、p.216「ステープル/パンチ」)
- ・【Z折り混在】と【倍率】、【ブック原稿】、【ページ分割】、【ページ集約】、【連写】、【オーバーレイ】は併用できません。(p.63「倍率」、p.68「ブック原稿」、p.68「ページ分割」、p.70「ページ集約」、p.70「連写」、p.75「オーバーレイ」)

- 紙折りできる用紙と折り方向
二つ折り：A3／B4／A4／B5／Ledger／
Legal／Letter／Foolscap／不定形
内三つ折り、外三つ折り：A4／Letter
Z折り：A3／B4／Ledger



- 幅が高さより長い用紙は、二つ折りにできません。

- 用紙の重さ：60g/m²～90g/m²

[OFF]

紙折りをしません。

[二つ折り]

用紙を1枚ずつ二つ折りにします。

[内三つ折り]

用紙を1枚ずつ内側に三つ折りにします。

[外三つ折り]

用紙を1枚ずつ外側に三つ折りにします。

[Z折り]

用紙を1枚ずつZ折りにします。

[折り方向]

プリント面を内側にして紙を折るか、外側にして折るかを設定します。

紙折り	折り方向
[二つ折り]	
[内三つ折り]	
[外三つ折り]	

【とじ位置】

用紙のとじ位置を設定します。

紙折り	とじ位置
[Z折り]	

【Z折り混在】

[ON]に設定すると、2種類のサイズ of 原稿のうち、大きい用紙はZ折りをし、小さい用紙はZ折りをせずにプリントします。

Z折り混在可能な原稿サイズの組み合わせは、「A4横とA3」、「B5横とB4」、「Letter-RとLedger」です。

【自動画像回転】

セットした原稿に対しレイにセットした用紙サイズが合っていない場合、用紙の向きが一致しない場合に、自動的に画像を90度回転します。通常は[ON]に設定します。

■ **【二つ折り】、【内三つ折り】、【外三つ折り】**

- 1 **【紙折り】**をタッチする
- 2 紙折りの種類を選択する
- 3 **【折り方向】**を設定する
- 4 **【OK】**をタッチする

■ **【Z折り】**

- 1 **【紙折り】**をタッチする
- 2 **【Z折り】**をタッチする
- 3 **【とじ位置】**を設定する
- 4 原稿サイズが混在している場合は、**【Z折り混在】**を設定する

5 [OK]をタッチする

確認画面が表示されたら、[OK]をタッチして、[自動画像回転]を[OFF]に設定します。

排紙先

印刷物を排出するトレイを選択します。



- 接続しているオプションにより、[排紙先]画面に表示されるトレイの内容が変わります。

【自動】

自動的に適切なトレイが選択されます。

①フェイスダウン排紙トレイ／②トップトレイ／

③スタックトレイ

排紙トレイを選択します。

1 [排紙先]をタッチする

2 排紙先を選択する

3 [OK]をタッチする

排紙面

排紙先トレイに対して、フェイスアップで排紙するかフェイスダウンで排紙するかを設定します。

【フェイスアップ】／【フェイスダウン】



- [排紙面]と[小冊子]の[製本]、[紙折り]は併用できません。(p.215「製本([小冊子])」、p.217「紙折り」)

連続排紙

使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。

1 [連続排紙]をタッチする

2 [ON]をタッチする

3 [OK]をタッチする



- [連続排紙]と[小冊子]、[オーバーレイ]、[表紙付け]、[ステープル]、[紙折り]の[二つ折り]、[内三つ折り]、[外三つ折り]は併用できません。(p.70「小冊子」、p.75「オーバーレイ」、p.78「表紙付け」、p.216「ステープル/パンチ」、p.217「紙折り」)
- [連続排紙]を設定すると、[ソート]は[ページごと]に設定されます。(p.66「ソート」)

PostScriptキット

PostScriptキットをインストールすると、帳票のフォームとデータベースなどの可変データを組み合わせたプリントや、PostScriptフォントを使ったDTPデータのプリントなどが可能となります。

ここでは、PostScript 3対応の専用プリンタードライバーのインストールをはじめ、PostScriptキットをインストールすると利用できる機能について説明します。



- Administrator権限のあるユーザー (Windows) またはルートユーザー (macOS およびLinux) でログインしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

動作環境

PostScript 3対応の専用プリンタードライバーを動作させるためには、パソコンに以下の動作環境が必要です。

メモリ	1GB以上
CPU	WindowsおよびLinux : Intel®および完全互換製品 macOS : Intelプロセッサ搭載製品
ハードディスク	2GB以上の空き領域 (OSが動作する容量が十分にあること)
ディスプレイ	解像度1024 × 768以上

Windowsへのインストール



- プリンタードライバーをアップデートする場合は、いったん旧ドライバーをアンインストールしてから行ってください。(p.221「アンインストールする」)

1 パソコンのDVD-ROMドライブに、付属のDVD-ROMをセットする

自動的にインストールウィザードが起動します。インストールウィザードが起動しない場合は、DVD-ROM内の「Install.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

2 プルダウンメニューから[日本語 (Japanese)]を選択し、[OK]をクリックする

3 [次へ]をクリックする

4 画面の指示に従って操作する

5 テストページ印刷画面で、[はい]をクリックする

6 テストページが正しくプリントされたことを確認し、[OK]をクリックする



- [ReadMeを表示]を押すと、ご使用にあたっての注意事項が表示されます。必ずお読みください。
- 機器情報の更新を促すメッセージが表示された場合は[OK]をクリックして、インストール終了後に[環境]タブでプリンター構成を設定してください。また、本機にオプションを増設した場合もプリンター構成の設定が必要です。接続しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能はグレーアウトされて選択できません。(p.128「[環境]タブ」)

7 [終了]をクリックする

プリンタードライバーを上書きインストールした場合は、パソコンが再起動します。



- すぐに再起動したくないときは、[終了]をクリックする前に、[今すぐ再起動する]のチェックマークをはずしておいてください。

8 パソコンからDVD-ROMを取り出す



• 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

アンインストールする

■ Windows 11/Windows Server 2022の場合

[スタート]-[すべてのアプリ]-[RISO ORPHIS-GL PS]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016の場合

[スタート]-[RISO ORPHIS-GL PS]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2の場合

[アプリ]画面から、[RISO ORPHIS-GL PS]-[アンインストーラ]をクリックします。画面の指示に従って、アンインストールしてください。アンインストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

macOSへのインストール

1 パソコンのDVD-ROMドライブに、付属のDVD-ROMをセットする

DVD-ROM 内のインストールパッケージファイルをダブルクリックしてください。

2 [続ける]をクリックする

3 [インストール]をクリックする

4 画面の指示に従って操作する

認証画面では、[名前]と[パスワード]を入力し[ソフトウェアをインストール]ボタンをクリックします。



• [名前]と[パスワード]は管理者に確認してください。

5 [閉じる]をクリックする

6 パソコンからDVD-ROMを取り出す



• 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

7 プリンターを追加する

1) macOSの起動ボリュームを開き、[アプリケーション]-[システム設定]または[システム環境設定]の順にフォルダーを開く

2) [プリンタとスキャナ]をクリックする

3) [プリンタ、スキャナ、またはファックスを追加]または[+]ボタンをクリックする

8 インストールするキューを設定して、[追加]をクリックする



[追加]画面で[IP]をクリックし、IP アドレスとキューを入力します。

[キュー]：半角小文字でキュー「lp」を入力します。

[ドライバ]：[ソフトウェアを選択]をクリックし、[プリンタソフトウェア]画面を開きます。インストールしたプリンタードライバーを選択します。



・[追加]をクリックしたあと、オプションの接続状況を確認する画面が表示された場合は、接続しているオプションを選択して[OK]をクリックしてください。

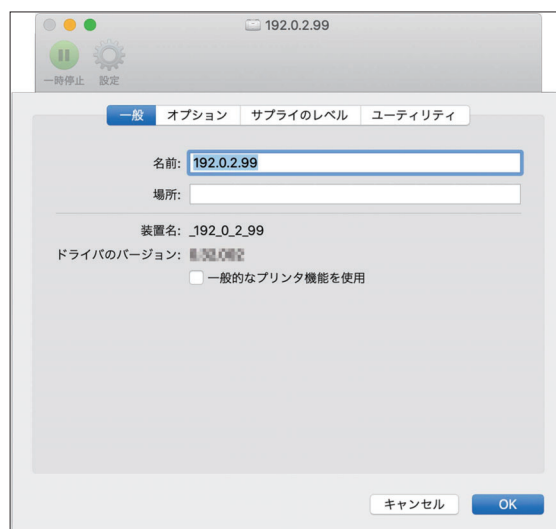
プリンターの構成を設定する

初めてプリンタードライバーを使うときや、本機にオプションを増設したときは、プリンターの構成を設定する必要があります。

1 [プリンタとスキャナ]画面でORPHIS GL (プリンタ名)を選択し、[プリントキューを開く]をクリックする

2 [設定]をクリックする

プリンターのプリントキュー画面が表示されます。各タブをクリックするとプリンターの情報が確認できます。



[一般]タブ：装置名やプリンタードライバーのバージョンを確認できます。

[オプション]タブ：プリンターから取得したオプションの構成を確認および変更できます。

[サブライのレベル]タブ：用紙やインクなどの消耗品の状態を確認できます。

[ユーティリティ]タブ：SNMPコミュニティ名、Wake On LAN、共有フォルダー、フォーム、バーコード領域ファイル、カラープロファイルの設定ができます。

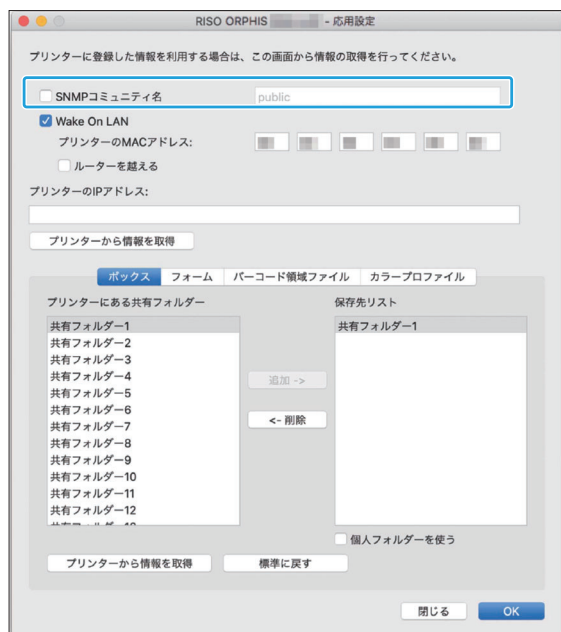
3 [ユーティリティ]タブにある[プリンタユーティリティを開く]をクリックする



[応用設定]画面が表示されます。

4 SNMPコミュニティ名を設定する

SNMP通信でパソコンから本機の情報を取得するときに必要なコミュニティ名を設定します。
[SNMPコミュニティ名]にチェックマークをつけて、SNMP通信のコミュニティ名を半角1～32文字で入力します。



- [SNMPコミュニティ名]にチェックマークがない場合、SNMP通信でのコミュニティ名は「public」となります。
- SNMPコミュニティ名のテキストボックスには、半角英数字(大文字/小文字)と、以下の半角の記号が入力できます。
., / : ; @ [¥] ^ _
- 本機とプリンタードライバースでSNMPコミュニティ名が異なると、本機から情報が取得できません。本機でSNMPコミュニティ名を変更した場合は、プリンタードライバースでも同様に変更してください。

5 Wake On LANを設定する

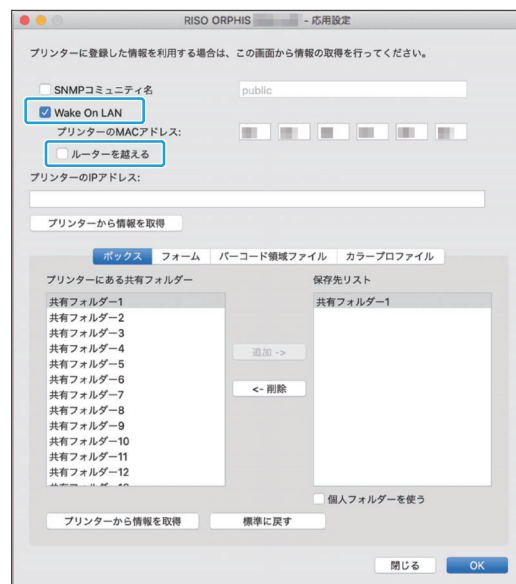
LAN経由で本機をウェイクアップするWake On LAN機能を有効にするために、プリンタードライバースに本機のMACアドレスを設定します。



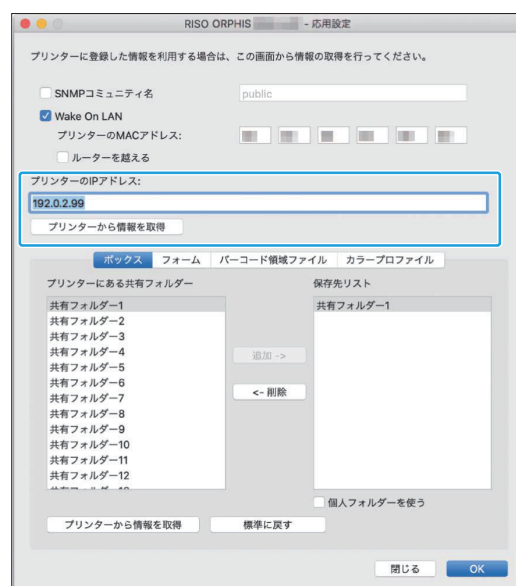
- Wake On LANの通信ができないネットワーク環境からプリント指示をした場合、プリンターが自動でウェイクアップしません。

1) [Wake On LAN]にチェックマークをつける

プリンターとパソコンのネットワークセグメントが異なる場合は、[ルーターを越える]にもチェックマークをつけてください。通常はチェックマークをはずした状態にしてください。



2) [プリンターのIPアドレス]に本機のIPアドレスを入力し、[プリンターから情報を取得]をクリックする



[プリンターのMACアドレス]に本機のMACアドレスが表示されます。

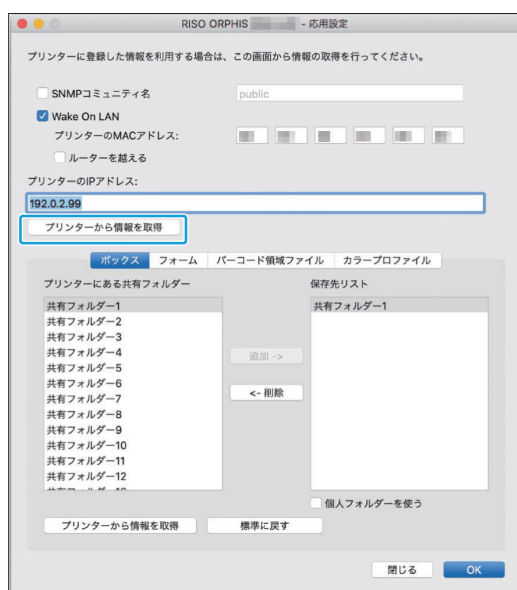


- [プリンターのMACアドレス]のテキストボックスに、手動でMACアドレスを入力することもできます。

6 保存先フォルダーを登録する

プリンタードライバーに、プリントデータの保存先(共有フォルダー、個人フォルダー)を登録します。ここで登録したフォルダーは、プリンタードライバー画面の[基本]タブにある[出力方法]の保存先に表示されます。

1) [プリンターから情報を取得]をクリックする



プリンターに登録されている共有フォルダーの情報が、[プリンターにある共有フォルダー]に表示されます。

2) [保存先リスト]に追加するフォルダーを選択して[追加 ->]をクリックする

3) 個人フォルダーの設定をする

個人フォルダーを持っている場合は、[個人フォルダーを使う]にチェックマークをつけてください。

4) [OK]をクリックする

7 必要に応じて[フォーム]、[バーコード領域ファイル]、[カラープロファイル]の情報を取得する



各タブを選択し、[プリンターから情報を取得]をクリックすると、プリンターから情報を取得し表示します。

アンインストールする

1 macOSの起動ボリュームを開き、[アプリケーション]-[システム設定]または[システム環境設定]の順にフォルダーを開く

2 [プリンタとスキャナ]を開く

3 削除したいプリンターを選択し、[プリンタを削除]または[-]をクリックする



- 必要に応じてmacOSの起動ボリュームから、以下のフォルダーおよびファイルを削除してください。
 - [ライブラリ]-[Printers]内の[RISO]フォルダー
 - [ライブラリ]-[Printers]-[PPDs]-[Contents]-[Resources]内の「RSGL ****.ppd」ファイル

Linuxへのインストール

DVD-ROMに収録されているPPDファイルをLinuxのCUPSに登録すると、Linuxからプリントできるようになります。



- あらかじめ、必要なLinux 環境の設定を済ませておいてください。
- Linuxへのインストール手順はLinux環境によって異なる場合があります。ここでは標準的な手順を紹介しています。

- 1 プリンターを登録するための画面を開く
- 2 プリンターの設定をする
画面の指示に従ってプロトコル(LPD/LPRなど)を選択し、プリンターのIPアドレスを入力します。
- 3 インストールするキューを設定する
半角小文字でキュー「lp」を入力します。
- 4 ドライバーを選択する
パソコンのDVD-ROMドライブに付属のDVD-ROMをセットし、PPDファイルを選択します。
- 5 画面の指示に従って操作する
プリンターの名称など、必要な項目を入力します。
- 6 パソコンからDVD-ROMを取り出す
 • 取り出したDVD-ROMは、大切に保管してください。

PPD ファイルをアンインストールする

- 1 プリンターを登録するための画面を開く
- 2 削除したいプリンターのアイコンを選択し、削除を実行する

プリントのしかた

Windowsを搭載したパソコンでプリントする

詳しくは、「プリント」の「プリント操作の概要」(p.102)を参照してください。

Macでプリントする

Mac での基本的なプリント操作方法を説明します。

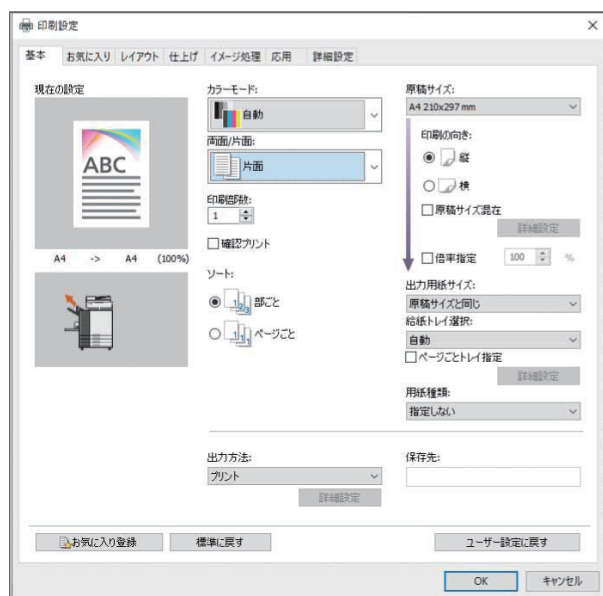


- 表示される画面は、お使いのOSやアプリケーションおよび接続されているオプションにより異なります。
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- 1 アプリケーションの印刷画面を開く
[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。
- 2 プリンターを選択する
- 3 [▼]をクリックする
- 4 [詳細を表示]をクリックする
設定を変更します。
- 5 [プリント]をクリックして印刷する

プリンタードライバーの設定

ここでは、Windowsの[印刷設定]画面を例に、PostScriptキットをインストールすることで設定できる項目について説明しています。



- [環境]タブの[プリンター構成]で、接続しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。
- macOSをお使いの場合、[印刷部数]や[原稿サイズ]、[印刷の向き]は、OS標準の設定を使います。

「基本」タブ

各設定項目については、「プリント」の「[基本]タブ」(p.110)を参照してください。

出力方法

パソコンから送ったデータをプリントするか、本機のフォルダーへ保存するかを設定します。また、フォームデータを本機に登録することもできます。

【プリント】

プリントします。

【プリント&ボックス】

原稿データを本機のフォルダーに保存したあと、プリントします。

【ボックス】

原稿データを本機のフォルダーに保存します。また、バーコード領域指定アプリケーションで使用するPRNファイルを作成します。

【フォーム】

フォームを登録します。

詳しくは、[応用]タブの「フォーム合成」(p.230)を参照してください。

ページごととトレイ指定

ページごと使用するトレイを指定できます。
チェックマークをつけると、ページごとに、どのトレイからプリントするかを指定できます。

【給紙台】

給紙台からプリントするページを指定します。

【トレイ1】

トレイ1 からプリントするページを指定します。

【トレイ2】

トレイ2 からプリントするページを指定します。

【トレイ3】

トレイ3 からプリントするページを指定します。

【増設トレイ】

増設トレイからプリントするページを指定します。

【繰り返し】

チェックマークをつけてページ数(周期)を入力すると、各トレイのページ設定を周期ごとに繰り返してプリントします。原稿のページ数が多い場合に、細かくページを指定する手間が省けます。



- ページ番号をカンマで区切るか(1,2,3,...など)、ページ範囲(1-10 など)で指定してください。
- トレイを指定しないページは、[給紙トレイ選択]で指定したトレイでプリントされます。
- 指定されたページは、そのトレイの用紙設定(用紙種類)に従って画像処理されます。
- オプションの大容量給紙ユニットをお使いの場合は、[給紙台]の代わりに[大容量給紙ユニット]が表示されます。
- [増設トレイ]は、オプションの増設トレイをお使いの場合に表示されます。
- [繰り返し]には、各トレイで指定したページ番号の中で最も大きい番号が初期値として表示されます。初期値よりも低い値を指定することはできません。
- [繰り返し]の入力欄に無効な値を入力して[OK]をクリックすると、入力欄が赤くなり、入力可能な値の範囲が赤字で表示されます。有効な値を入力してください。

■ 設定例

26ページの原稿を、ページごとトレイ指定してプリントする場合

各トレイの設定

- [給紙台] : 1,5
- [トレイ1] : 2
- [トレイ2] : 3
- [トレイ3] : 空欄

プリント時に使用されるトレイ

- [繰り返し]の設定が無効の場合

使用されるトレイ	ページ番号
給紙台	1,5
トレイ1	2
トレイ2	3
[給紙トレイ選択] (p.112)で指定した トレイ	4,6~26

- [繰り返し]の設定が「10」の場合

使用されるトレイ	ページ番号
給紙台	1,5,11,15,21,25
トレイ1	2,12,22
トレイ2	3,13,23
[給紙トレイ選択] (p.112)で指定した トレイ	4,6~10,14, 16~20,24,26



- [ページごととトレイ指定]と、[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[小冊子]、[画像回転]、[表紙付け]、[複写プリント]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.116「小冊子」、p.119「画像回転」、p.121「表紙付け」、p.128「複写プリント」)
- オプションのマルチフィニッシャーをお使いの場合は、[ページごととトレイ指定]と[紙折り]、[小冊子製本]は併用できません。(p.210「紙折り」、p.212「小冊子製本」)

【お気に入り】タブ

各設定項目 については、「プリント」の「お気に入り」タブ(p.114)を参照してください。

【レイアウト】タブ

各設定項目 については、「プリント」の「【レイアウト】タブ」(p.115)を参照してください。



- PostScript 専用プリンタードライバーでは「ウォーターマーク」は使用できません。

印刷位置調整

画像をプリントする位置を調整します。



- 上下左右方向に±254 mmまで、0.1 mm単位で移動できます。
- 両面プリントの場合は、表面と裏面を別々に調整できます。

【印刷位置調整】にチェックマークをつけ、【詳細設定】をクリックすると、【印刷位置調整】ダイアログボックスが表示されます。調整したい方向の入力ボックスに、数値を入力してください。

【オモテ面】／【ウラ面】

【左右方向】／【天地方向】の数値を入力します。

【原点に戻す】

オモテ面、ウラ面のそれぞれで、入力した数値が0に戻ります。

プレビュー

オモテ面、ウラ面のそれぞれで、設定した移動方向がイメージで確認できます。

【仕上げ】タブ

各設定項目 については、「プリント」の「【仕上げ】タブ」(p.120)を参照してください。



- オフセットステープルトレイをお使いの場合、以下の機能については、「オフセットステープルトレイ」(p.178)を参照してください。
【ステープル】／【オフセット排紙】
- 排紙台をお使いの場合、以下の機能については、「排紙台(オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台)」(p.191)を参照してください。
【排紙先】／【連続排紙】

- 大容量排紙ユニットをお使いの場合、以下の機能については、「大容量排紙ユニット」(p.197)を参照してください。
【オフセット排紙】／【排紙先】／【連続排紙】
- マルチフィニッシャーをお使いの場合、以下の機能については、「マルチフィニッシャー」(p.204)を参照してください。
【ステープル】／【パンチ】／【紙折り】／【オフセット排紙】／【排紙先】／【連続排紙】
- メーリングフィニッシャーをお使いの場合、PostScript 専用プリンタードライバーでは【メール作成】は使用できません。
- くるみ製本フィニッシャーをお使いの場合、PostScript 専用プリンタードライバーでは【くるみ製本】は使用できません。

小冊子製本

連続する複数のページを両面印刷し、用紙を二つ折りにした小冊子を作成します。ステープルでの中とじもできます。小冊子製本については、「オプション」の「小冊子製本」(p.212)を参照してください。小冊子製本の方法を選択し、【詳細設定】をクリックすると、【小冊子製本】ダイアログボックスが表示されます。

■ 分冊処理

小冊子製本では、一定の用紙枚数ごとに冊子を分けて排紙します。設定によって面付けの方法が異なります。

【OFF】

中とじにしたときにページ順に並ぶように面付けされます。データのページ数が多い場合は、複数の分冊が排紙 されます。分冊を開いた状態で重ねてとじる(中とじする)と1冊になるように面付けされます。

【自動】

排紙されたすべての分冊を、折ったまま積み上げるとページ順に並ぶように面付けされます。【小冊子製本】が【折り】の場合は5枚ごと、【折り+ステープル】の場合は、20枚ごとに冊子を分けて排紙します。

[1枚] / [2枚] / [3枚] / [4枚] / [5枚] / [6枚] / [7枚] / [8枚] / [9枚] / [10枚] / [11枚] / [12枚] / [13枚] / [14枚] / [15枚] / [16枚] / [17枚] / [18枚] / [19枚] / [20枚]

[小冊子製本]が[OFF]の場合は、何枚で冊子を分けるかを設定できます。設定した枚数ごとに冊子を分けて排紙します。

[小冊子製本]が[折り]の場合は1～5枚、[折り+ステープル]の場合は1～20枚の範囲で設定できます。



- 工場出荷時の状態では、[小冊子製本]を[折り]に設定した場合は5枚、[折り+ステープル]に設定した場合は20枚を超えると、複数の分冊が排紙されます。
- 複数の分冊が排紙される場合は、ステープルはされません。
- [分冊処理]を[OFF]以外に設定すると、[表紙別プリント]、[表紙付け]は使用できません。

【イメージ処理】タブ

各設定項目については、「プリント」の「【イメージ処理】タブ」(p.122)を参照してください。

ガンマ補正

濃度、コントラストおよびシアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、グレイ各色のガンマ値を補正します。

[ガンマ補正]にチェックマークをつけ、[詳細設定]をクリックすると、[ガンマ補正]ダイアログボックスが表示されます。

【濃度】

値を小さくすると明るい色合いに(白っぽく)、大きくすると暗い色合いに(黒っぽく)なります。
-2～+2の範囲で入力してください。

【コントラスト】

明るさと暗さの対比をします。値を小さくするとコントラストが弱く、大きくするとコントラストが強くなります。
-2～+2の範囲で入力してください。

[シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] / [グレイ]

各色のガンマ値を補正します。

値を小さくすると色合いが淡くなり、大きくすると色合いが濃くなります。1.00に設定すると補正がかわらず、色は変化しません。

0.01～3.00の範囲で入力してください。



- 色味の調整については、管理者のアドバイスに従って設定してください。

カラープロファイル

カラープロファイルを使用して、カラーマネージメントを行います。チェックマークをつけると[詳細設定]が表示されます。



- [カラープロファイル]と[原稿種類]、[印刷濃度]、[画像品質]の[処理速度優先]は併用できません。(p.122「原稿種類」、p.123「印刷濃度」、p.123「画像品質」)

■ 出力プロファイル

[自動]または任意に追加した出力プロファイルが選択できます。



- [自動]を選択すると、用紙種類と解像度の設定に応じた出力プロファイルが自動で設定されます。

■ レンダリングインテント

異なる色を、数値の組み合わせによって表現する場合、色の変換方式を使用して、色の置き換えを行います。

4種類の色の変換方式から、色の置き換え方法を選択します。

【知覚的(自然な画質)】

人の目に自然な色合いで映るように、色間の視覚的な関係を保護します。

- 画像データに印刷できない色域外が多く存在する場合に有効で、写真画像に最適です。

【彩度(鮮明な画質)】

画像の鮮明な色を再現します。

- 明るい色使いが求められるグラフや、図表などのグラフィックスに最適です。

【相対的な色域を維持】

変換元のカラー空間の最大ハイライトと、変換先のカラー空間の最大ハイライトを比較して、その差異に従ってすべての色を変換します。色域外の色は変換先の色再現範囲内で再現可能な近似色に変換します。

- 「知覚的」を使用した場合よりも、多くの画像のオリジナルの色を保護できます。

【絶対的な色域を維持】

色域内の色は保護されますが、色域外の色は切り捨てられます。

- 用紙の色が印刷される色にどのような影響を及ぼすかをプレビューする場合に、特に効果的です。

■ 最大ドロップ数

インクの最大ドロップ数を手動で設定できます。



- 最大ドロップ数が[自動]の場合、用紙種類に応じたドロップ数が自動で設定されます。通常は[自動]のまま使用してください。

【応用】タブ

各設定項目については、「プリント」の「【応用】タブ」(p.126)を参照してください。

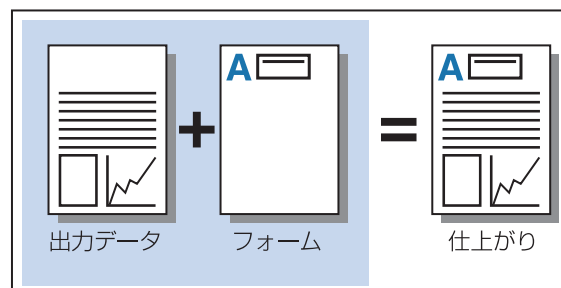


- PostScript専用プリンタードライバーでは[プログラム印刷]と[白紙節約]は使用できません。
- PostScript専用プリンタードライバーでは、[バージョン表示]画面には[カラープロファイル]は表示されません。

フォーム合成

本機に登録されているフォームを選択し、出力データに合成してプリントできます。

[フォーム合成]にチェックマークをつけ[詳細設定]をクリックすると、[フォーム合成]ダイアログボックスが表示されます。フォームを合成するための設定をします。



The screenshot shows the 'フォーム合成' (Form Synthesis) dialog box. It has two tabs: 'オモテ面' (Front Side) and 'ウラ面' (Back Side). Under 'オモテ面', there is a preview of a document with a form header, labeled '1'. Under 'ウラ面', there is a preview of a document with a form header, labeled '2'. Below the tabs, there are several settings: '合成方法' (Synthesis Method) is set to '一面合成モード' (One-Side Synthesis Mode); 'フォームデータの印刷面' (Form Data Print Side) has radio buttons for 'オモテ面' and 'ウラ面', with 'ウラ面' selected; there is a checkbox '表/裏に別フォームを指定' (Specify different forms for front/back) which is checked; 'フォーム1' (Form 1) is set to 'カスタムフォーム1' (Custom Form 1); 'フォーム2' (Form 2) is set to 'OFF'; and '優先レイヤー' (Priority Layer) is set to '合成' (Synthesis). At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

【合成方法】

フォームを出力データと同じ面にプリントするかどうかを設定します。

【フォームデータの印刷面】

[両面合成モード(長辺とじ)]/[両面合成モード(短辺とじ)]または[一面+両面合成モード(長辺とじ)]/[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択した場合には、フォームを表面と裏面のどちらにプリントするかを選択します。

【表/裏に別フォームを指定】

両面印刷をする場合に、表面と裏面にそれぞれ別のフォームを指定してプリントできます。



- ・[合成方法]で、[一面合成モード]または[一面+両面合成モード(長辺とじ)]/[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択している場合に設定できます。

【フォーム1】

出力データの表面または両面にプリントするフォームを選択します。

【フォーム2】

出力データの裏面にプリントするフォームを選択します。

【優先レイヤー】

[一面合成モード]、[一面+両面合成モード(長辺とじ)]または[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択した場合に、フォームと出力データのどちらを優先させるかを選択します。



- ・フォームのデータはあらかじめパソコンで作成し、[基本]タブの[出力方法]で登録しておく必要があります。(p.226「出力方法」)
- ・5色(シアン/マゼンタ/イエロー/グレイ/ブラック)で構成されているフォームを合成してカラーでプリントする場合、[画像品質]を[処理速度優先]以外の項目に設定してください。[処理速度優先]に設定した場合、フォームのグレイはプリントされません。(p.123「画像品質」)
- ・フォームは出力データの印刷の向き、出力用紙サイズ、画像品質の設定に合わせてプリントされます。
- ・フォームと合成した出力データは、保存(登録)できません。
- ・[フォーム合成]と[原稿サイズ混在]、[ページ集約]、[連写]、[小冊子]、[小冊子製本]は併用できません。(p.111「原稿サイズ混在」、p.115「ページ集約」、p.116「連写」、p.116「小冊子」、p.212「小冊子製本」)

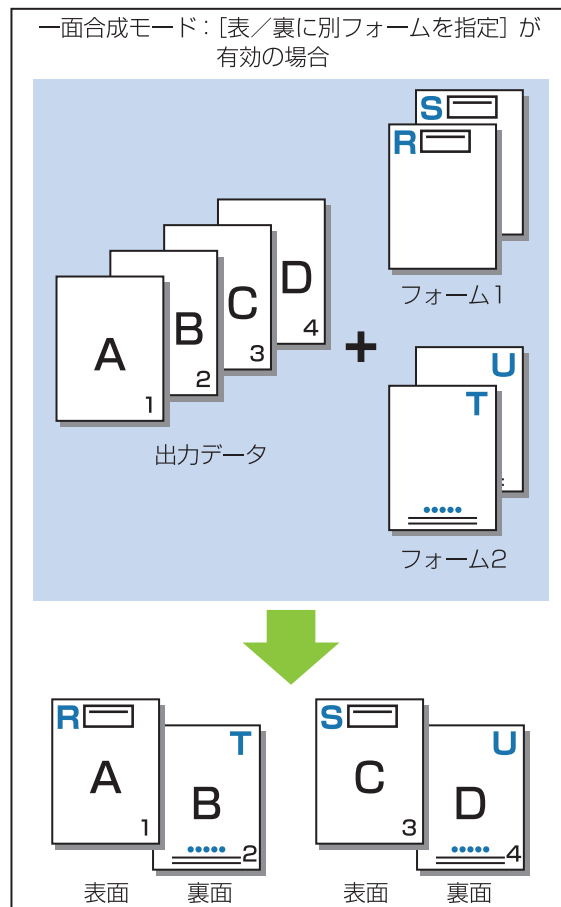
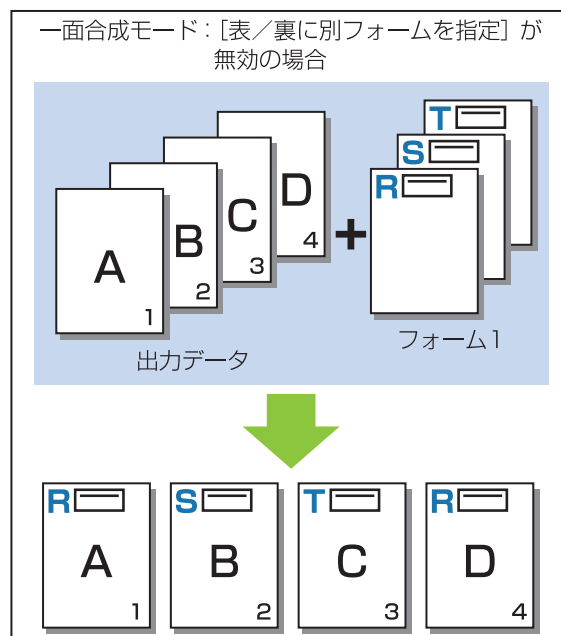
■ 合成方法

本機に保存されているフォームを選択し、用紙のどの面にプリントするか選択します。

【一面合成モード】

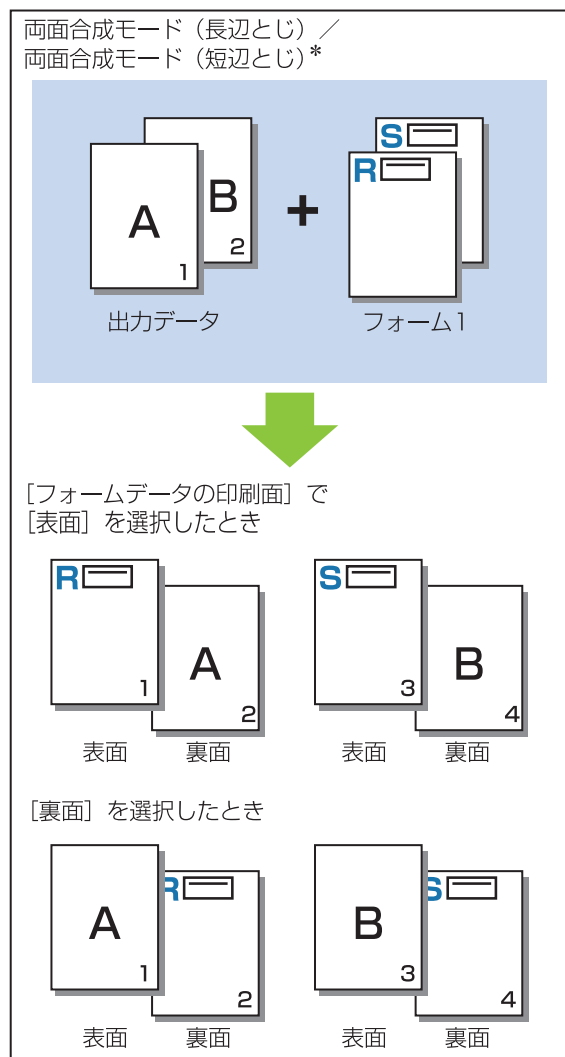
出力データと同じ面にフォームをプリントします。

両面印刷を設定しているときは、[表/裏に別フォームを指定]が選択できます。[表/裏に別フォームを指定]にチェックマークをつけると、フォームリストから[フォーム1]と[フォーム2]のフォームがそれぞれ選択できます。



【両面合成モード(長辺とじ)】／【両面合成モード(短辺とじ)】

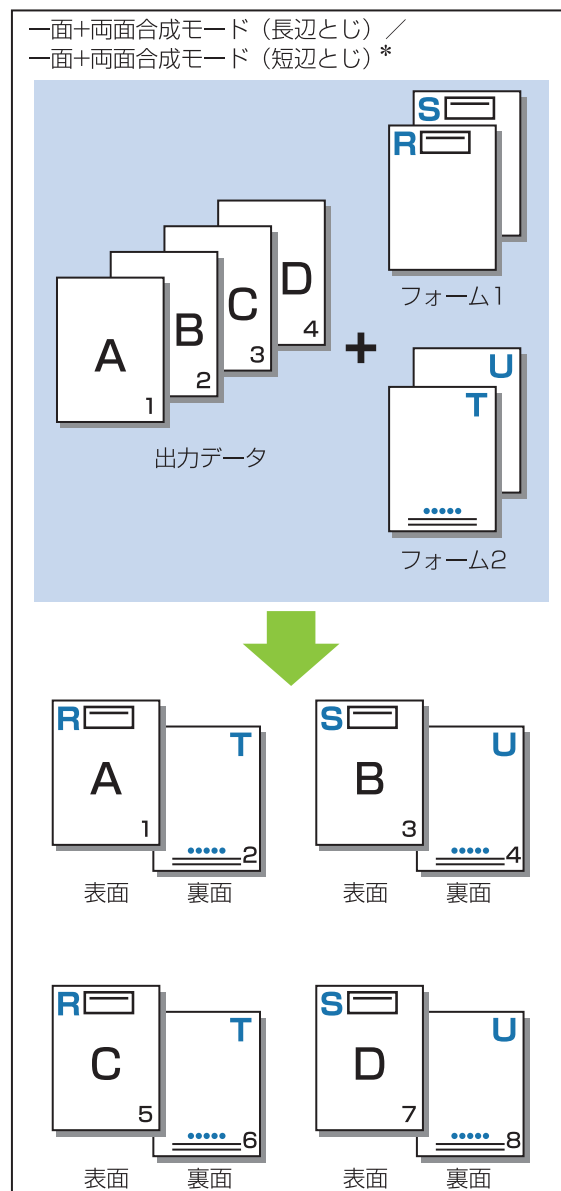
出力データとフォームを、異なる面にプリントします。
 【フォームデータの印刷面】で指定した面にフォームデータをプリントします。もう片面に、出力データを可変データとしてプリントします。



* イラストは、長辺とじの場合

【一面+両面合成モード(長辺とじ)】／【一面+両面合成モード(短辺とじ)】

片面に出力データとフォームを合成してプリントし、もう片面に別のフォームをプリントします。
 【フォーム1】【フォーム2】からそれぞれのフォームが指定できます。



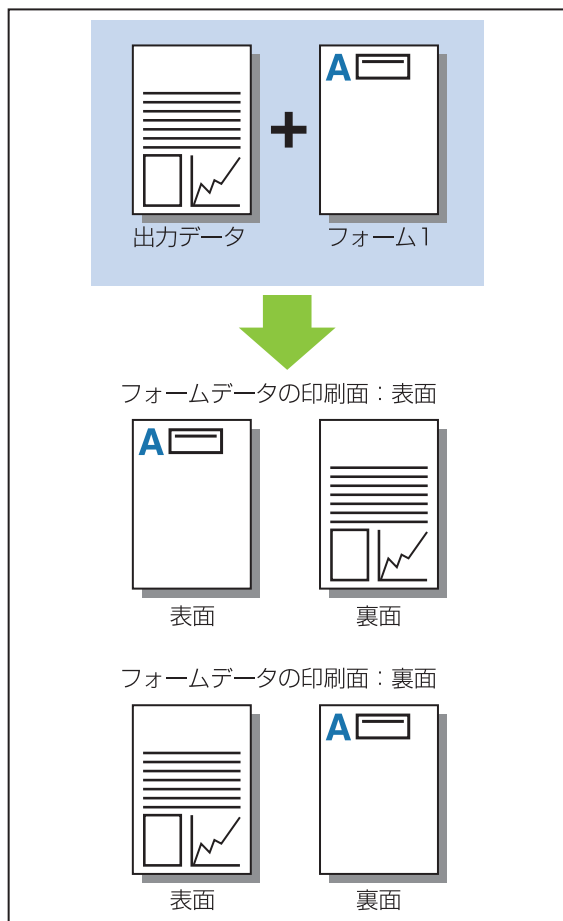
* イラストは、長辺とじの場合



- ・【原稿サイズ混在】が設定されている場合は、この機能は使用できません。
- ・【ページ集約】が設定されている場合は、この機能は使用できません。

■ フォームデータの印刷面

[合成方法]で[両面合成モード(長辺とじ)]/[両面合成モード(短辺とじ)]または[一面+両面合成モード(長辺とじ)]/[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択している場合に、フォームデータを用紙の表面と裏面のどちらにプリントするかを設定します。



- [一面+両面合成モード(長辺とじ)]/[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択している場合は、どちらの面にフォームだけプリントするかを設定します。

■ 優先レイヤー

[合成方法]で[一面合成モード]、[一面+両面合成モード(長辺とじ)]または[一面+両面合成モード(短辺とじ)]を選択している場合に、フォームデータと出力データのどちらを優先させて合成するかを設定します。

【合成】

出力データとフォームデータを重ね合わせます。

【原稿】

出力データ(原稿)のレイヤーを優先して、フォームデータの上に重ね合わせます。

【フォーム】

フォームデータのレイヤーを優先して、出力データ(原稿)の上に重ね合わせます。



- 優先レイヤーの画像が非優先レイヤーの画像より大きい場合は、非優先レイヤーの画像は印字されることがあります。
- 出力データとフォームデータとで色が同じ部分が重なると、色が同化して画像の判別ができなくなることがあります。

逆順印刷

チェックマークをつけると、印刷物が逆の順番でプリントされます。

[逆順印刷]と[小冊子]、[小冊子製本]は併用できません。(p.116「小冊子」、p.212「小冊子製本」)

【環境】タブ

各設定項目については、「プリント」の「【環境】タブ」(p.128)を参照してください。

PostScript専用プリンタードライバーでは[用紙種類「指定しない」の初期値]と[外部システム連携]は使用できません。

RISOコンソールの設定

[ボックス]メニューで[フォームデータ]画面が利用できます。

【フォームデータ】画面

RISO ORPHIS GL PSプリンタードライバーの[出力方法]で[フォーム]を選択して送信されたフォームデータを表示します。

RISO ORPHIS GL PSプリンタードライバーは、PostScriptキットをインストールすると利用できます。

【削除】

選択したフォームデータを削除します。

【詳細表示】

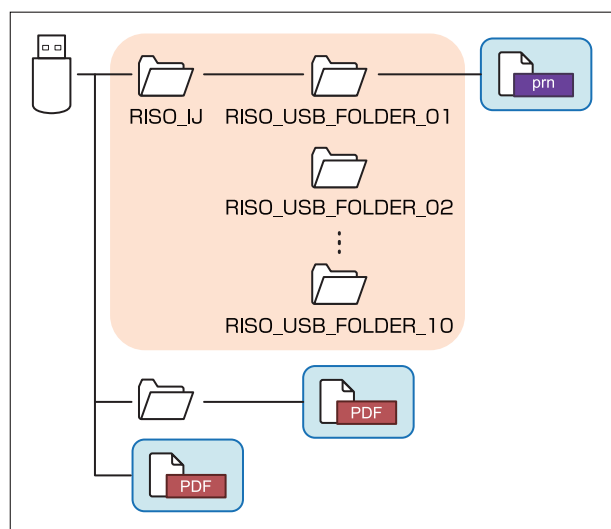
選択したフォームデータの設定内容を確認できます。
設定の変更もできます。

USB利用について

PostScriptキットをインストールすると、プリンタードライバーを使用してUSBメモリーの保存したPRNファイルのほかに、PDFファイルをそのままUSBメモリーに保存して本機で直接プリントできるようになります。

本機の文書一覧画面には、本機で利用できるファイルが表示されます。

■ USBメモリーのフォルダー構成例



上図の青い囲みの付いたファイルが文書一覧画面に表示されます。



- PDFファイルは、USBメモリーにフォルダーを作成せずに直に保存するか、任意のフォルダーを作成してその中に保存してください。プリンタードライバーが作成した[RISO_IJ]フォルダー内に保存すると、本機では利用できません。
- USBメモリーに保存されている以下のファイルについては、利用できません。
 - パスワード(保護)のかかっているPDFファイル
 - ジョブデータが壊れているPDFファイル
 - [RISO_IJ]フォルダーに保存されたPDFファイル

- [RISO_IJ]フォルダー外に保存されたPRNファイル
- 解像度の高い画像を含んだ原稿や、本機側の限度容量を超えたサイズのファイル

USB利用の設定項目一覧

PDFファイルは、プリントの設定を変更できます。

[USB]-[利用]画面でフォルダーを選択して[開く]をタッチするとフォルダー内の文書が一覧で表示されます。文書を選択してサブメニューの[印刷設定]をタッチすると、設定項目の画面が表示されます。その画面で設定できる項目の一覧を、以下に示します。

設定項目	説明	参照ページ
カラーモード	プリントする色を選択します。	p.63
倍率	拡大／縮小してプリントするときに設定します。 [用紙に合わせる]は使用できません。	p.63
用紙選択	プリントする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p.63
両面 / 片面	プリントする面を設定します。	p.110
ソート	複数部数をプリントするときのプリント方法を設定します。	p.66
印刷濃度	プリントの濃度を設定します。	p.67
原稿サイズ混在	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p.111
ページ集約	連続したページを1枚の用紙に割り付けます。	p.70
連写	1枚の用紙に同じ原稿を割り付けます。	p.70
小冊子	小冊子にするための面付けを設定します。オプションのマルチフィニッシャーM接続時は、二つ折りにして中とじすることもできます。	p.70
スタンプ	ページ数や日付、テキストのスタンプを、ヘッダーやフッターに印字します	p.71
表紙付け	印刷物の前後に、表紙、裏表紙をつけるときに設定します。	p.78
仕分け	合紙の設定をします。オプションのオフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットまたはマルチフィニッシャー接続時は、オフセット排紙も設定できます。	p.79
とじしろ	とじしろを設定します。	p.79
ステーブル/パンチ	ステーブルの位置を設定します。	
	オプションのオフセットステーブルトレイ接続時	p.184
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.216
	パンチの位置を設定します。 (パンチユニットの付いたオプションのマルチフィニッシャー接続時)	p.216
紙折り*	用紙の折り方を設定します。 (オプションのマルチフィニッシャーM、またはマルチフィニッシャーSに紙折りユニット接続時)	p.217
低速モード	印刷スピードを遅くします。また、印刷中ジョブの動作音を軽減できます。	p.80
排紙先	印刷物を排出するトレイを選択します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219

8章 オプション

設定項目	説明	参照 ページ
排紙面	排紙先のトレイに対して、フェイスアップで排紙するか、フェイスダウンで排紙するかを設定します。	
	オプションのオートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台接続時	p.195
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
連続排紙	使用中の排紙先の用紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。	
	オプションのオートフェンス排紙台接続時	p.196
	オプションの大容量排紙ユニット接続時	p.203
	オプションのマルチフィニッシャー接続時	p.219
自動画像回転	原稿と用紙の向きが一致しない場合、自動的に画像を90度回転します。	p.81

* [紙折り]の[Z折り混在]は設定できません。

フォント一覧

使用できるフォントは以下のとおりです。

PSフォント

■ 欧文フォント

AlbertusMT
 AlbertusMT-Italic
 AlbertusMT-Light
 AntiqueOlive-Bold
 AntiqueOlive-Compact
 AntiqueOlive-Italic
 AntiqueOlive-Roman
 Apple-Chancery
 Arial-BoldItalicMT
 Arial-BoldMT
 Arial-ItalicMT
 ArialMT
 AvantGarde-Book
 AvantGarde-BookOblique
 AvantGarde-Demi
 AvantGarde-DemiOblique
 Bodoni
 Bodoni-Bold
 Bodoni-BoldItalic
 Bodoni-Italic
 Bodoni-Poster
 Bodoni-PosterCompressed
 Bookman-Demi
 Bookman-DemItalic
 Bookman-Light
 Bookman-LightItalic
 Carta
 Chicago
 Clarendon
 Clarendon-Bold
 Clarendon-Light
 CooperBlack
 CooperBlack-Italic
 Copperplate-ThirtyThreeBC
 Copperplate-ThirtyTwoBC
 Coronet-Regular
 Courier
 Courier-Bold

Courier-BoldOblique
 Courier-Oblique
 Eurostile
 Eurostile-Bold
 Eurostile-BoldExtendedTwo
 Eurostile-ExtendedTwo
 Geneva
 GillSans
 GillSans-Bold
 GillSans-BoldCondensed
 GillSans-BoldItalic
 GillSans-Condensed
 GillSans-ExtraBold
 GillSans-Italic
 GillSans-Light
 GillSans-LightItalic
 Goudy
 Goudy-Bold
 Goudy-BoldItalic
 Goudy-ExtraBold
 Goudy-Italic
 Helvetica
 Helvetica-Bold
 Helvetica-BoldOblique
 Helvetica-Condensed
 Helvetica-Condensed-Bold
 Helvetica-Condensed-BoldOblique
 Helvetica-Condensed-Oblique
 Helvetica-Narrow
 Helvetica-Narrow-Bold
 Helvetica-Narrow-BoldOblique
 Helvetica-Narrow-Oblique
 Helvetica-Oblique
 HoeflerText-Black
 HoeflerText-BlackItalic
 HoeflerText-Italic
 HoeflerText-Ornaments
 HoeflerText-Regular
 JoannaMT
 JoannaMT-Bold
 JoannaMT-BoldItalic
 JoannaMT-Italic
 LetterGothic
 LetterGothic-Bold
 LetterGothic-BoldSlanted
 LetterGothic-Slanted
 LubalinGraph-Book
 LubalinGraph-BookOblique
 LubalinGraph-Demi
 LubalinGraph-DemiOblique

Marigold
Monaco
MonaLisa-Recut
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Roman
NewYork
Optima
Optima-Bold
Optima-BoldItalic
Optima-Italic
Oxford
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic
Palatino-Italic
Palatino-Roman
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Roman
Symbol
Tekton
Times-Bold
Times-BoldItalic
Times-Italic
Times-Roman
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPSMT
Univers
Univers-Bold
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-CondensedOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers-Oblique
Wingdings
ZapfChancery-MediumItalic
ZapfDingbats

■ 和文フォント

IPA Mincho
IPA Gothic

■ PCLフォント

Albertus Extra Bold
Albertus Medium
Antique Olive
Antique Olive Bold
Antique Olive Italic
Arial
Arial Bold
Arial Bold Italic
Arial Italic
AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique
Bookman-Demi
Bookman-Demitalic
Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Calibri
Calibri Bold
Calibri Bold Italic
Calibri Italic
Cambria
Cambria Bold
Cambria Bold Italic
Cambria Italic
CG Omega
CG Omega Bold
CG Omega Bold Italic
CG Omega Italic
CG Times
CG Times Bold
CG Times Bold Italic
CG Times Italic
Clarendon Condensed Bold
Coronet
Courier
CourierPS
Courier Bold
Courier Bold Italic
Courier Italic
CourierPS-Bold
CourierPS-BoldOblique

CourierPS-Oblique
 Garamond Antiqua
 Garamond Halbfett
 Garamond Kursiv
 Garamond Kursiv Halbfett
 Helvetica
 Helvetica-Bold
 Helvetica-BoldOblique
 Helvetica-Narrow
 Helvetica-Narrow-Bold
 Helvetica-Narrow-BoldOblique
 Helvetica-Narrow-Oblique
 Helvetica-Oblique
 Letter Gothic
 Letter Gothic Bold
 Letter Gothic Italic
 Marigold
 NewCenturySchlbk-Bold
 NewCenturySchlbk-BoldItalic
 NewCenturySchlbk-Italic
 NewCenturySchlbk-Roman
 Palatino-Bold
 Palatino-BoldItalic
 Palatino-Italic
 Palatino-Roman
 Symbol
 Symbol IPS
 Times New Roman
 Times New Roman Bold
 Times New Roman Bold Italic
 Times New Roman Italic
 Times-Bold
 Times-BoldItalic
 Times-Italic
 Times-Roman
 Univers Bold
 Univers Bold Italic
 Univers Condensed Bold
 Univers Condensed Bold Italic
 Univers Condensed Medium
 Univers Condensed Medium Italic
 Univers Medium
 Univers Medium Italic
 Wingdings
 ZapfChancery-MediumItalic
 ZapfDingbats

スマートフォン／タブレットからのプリント

RISO PRINT-Sアプリケーションを利用することで、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末内に保存されているPDF文書や写真・画像データを直接印刷することができます。

また、両面印刷や面付け、パンチ、ステープルなど、各種設定を行うことも可能です。



- オプションのPostScriptキットをインストールすると利用できます。
- 無線LAN (Wi-Fi) の接続環境を事前に準備してください。無線LAN (Wi-Fi) の接続や設定については、お使いの無線LAN の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのプリンターやオプションによっては、利用できる機能が異なります。
- RISO PRINT-Sの設定方法について詳しくは、RISO PRINT-Sのヘルプをご覧ください。

対応OS	iOS* ¹ 、Android
対応言語	日本語、英語、フランス語
印刷可能データ	PDF* ² バージョン 1.3、1.4、1.5、1.6、1.7* ³ テキストデータ (TXT) 画像データ (PNG、JPEG/JPG、GIF、BMP)

*1 iBooksからのプリントには対応していません。

*2 暗号化PDFには対応していません。

*3 拡張機能は利用できません。

アプリケーションのインストール

RISO PRINT-Sは、App StoreまたはGoogle Playストアからインストールしてください。

メンテナンス、インクカートリッジの交換、仕様、消耗品、索引、アフターサービスなどについて説明しています。

メンテナンス

p.242

[ホーム1]画面の[メンテナンス]メニューでできることを説明しています。

インクカートリッジについて

p.244

インクカートリッジの交換方法を説明しています。

仕様

p.245

ORPHIS GLシリーズおよびオプション品の主な仕様を説明しています。

消耗品

p.258

インクカートリッジや推奨紙の種類、仕様を説明しています。

索引

p.260

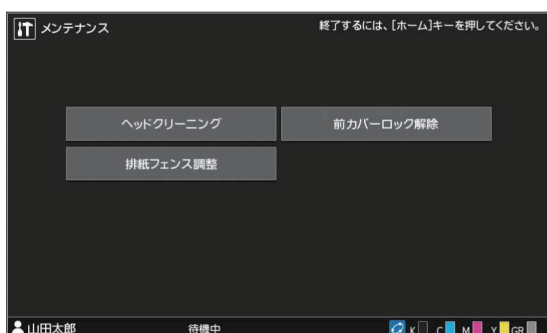
アフターサービスについて

p.265



メンテナンス

【ホーム1】画面の【メンテナンス】メニューでは、以下の調整ができます。



【ヘッドクリーニング】

インクヘッドをクリーニングします。

【前カバロック解除】

本機の前カバのロックを解除します。

【排紙フェンス調整】

オプションのオートフェンス排紙台または大容量排紙ユニットをお使いの場合に、排紙フェンスの位置を調整します。

【糊ユニット温度確認】

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合に、糊ユニットの温度を確認します。糊ユニットの予熱もできます。

詳しくは、くるみ製本フィニッシャーのユーザーズガイドを参照してください。

【封入枚数上限設定】

オプションのメーリングフィニッシャーをお使いの場合に、メールフォーム紙に封入できる印刷物の上限枚数を設定します。

詳しくは、メーリングフィニッシャーのユーザーズガイドを参照してください。

ヘッドクリーニング

コピーの一部がかすれる、白い線が出る、色が薄いなど、画質に問題があるときには、インクヘッドをクリーニングしてください。



- 出荷時には、一定の枚数をプリントすることに自動的にクリーニングするように設定されています。

【ノーマルクリーニング】

ヘッド部分のつまりを防ぐためのクリーニングです。

【ストロングクリーニング】

ヘッド部分がつまったときなどに行う強力なクリーニングです。

1 【ホーム1】画面で【メンテナンス】をタッチする

2 【ヘッドクリーニング】をタッチする

【ヘッドクリーニング】画面が表示されます。

3 ヘッドクリーニングの種類を選択する

4 【OK】をタッチする

前カバロック解除

通常は本機の前カバにはロックがかかっています。用紙がつまったりインクが無くなったりしたときなど、前カバを開ける必要がある場合には、ロックが解除されます。

通常時に前カバを開けたい場合は、【メンテナンス】画面で【前カバロック解除】をタッチします。ロックが解除され、前カバを開けることができるようになります。

前カバーを閉めると、動作開始時に自動的にロックがかかります。

排紙フェンス調整

オプションのオートフェンス排紙台または大容量排紙ユニットをお使いの場合に、排紙フェンスの位置を調整します。

手動でサイドフェンス、エンドフェンスのそれぞれの位置を微調整することもできます。

【自動】

用紙サイズに合わせて、排紙フェンスの位置が自動的に調整されます。

【狭める】

排紙フェンスの位置を1mmずつ排紙台の内側に移動します。

【広げる】

排紙フェンスの位置を1mmずつ排紙台の外側に移動します。



- 通常は、【自動】に設定してください。
- オートフェンス排紙台では、用紙を取り除くときなどに排紙フェンスオープンボタンを押すとフェンスが広がります。詳しくは、「排紙台(オートフェンス排紙台／排紙台(W)／フェイスアップ排紙台)」(p.191)を参照してください。

排紙フェンスの手動調整

【自動】で設定された位置よりも、フェンスの位置を広げたり狭めたりできます。サイドフェンス、エンドフェンスのそれぞれを調整できます。

1 【ホーム1】画面で【メンテナンス】をタッチする

2 【排紙フェンス調整】をタッチする

【排紙フェンス調整】画面が表示されます。

3 排紙フェンスの位置を調整する

- 調整した値を0mmに戻すには、【自動】をタッチしてください。
- 操作パネルの【電源】キーを押して再起動したとき、【リセット】キーを押したとき、用紙サイズを変更したときも、調整した値が0mmに戻ります。

4 【閉じる】をタッチする

糊ユニット温度確認

オプションのくるみ製本フィニッシャーをお使いの場合に、糊ユニットの温度を確認します。糊ユニットの予熱もできます。

封入枚数上限設定

オプションのメーリングフィニッシャーをお使いの場合に、メールフォーム紙に封入できる印刷物の上限枚数を設定します。

インクカートリッジについて

インクカートリッジの交換

インクがなくなるとインク交換メッセージが表示され、プリントが停止します。1色でも交換メッセージが表示されていると、プリントはできません。表示されている色のカートリッジを交換してください。

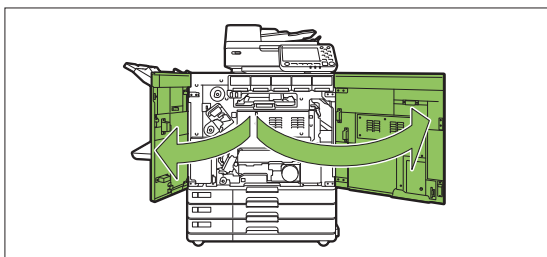


・インク交換メッセージが表示されるまで、インクカートリッジは取り外さないでください。

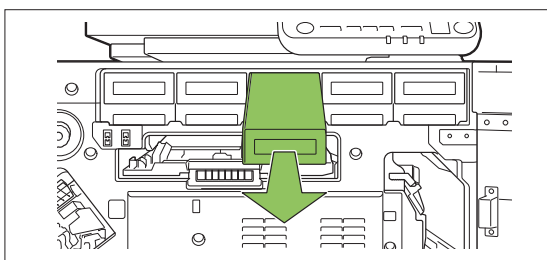


・インクの残量が少なくなると、タッチパネル画面のインク残量表示が点滅します。点滅している色のインクカートリッジを準備してください。

1 前カバーを開ける

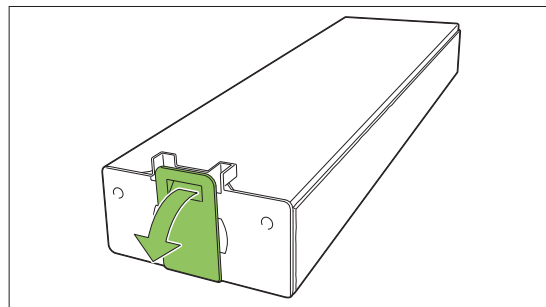


2 交換するインクカートリッジを取り出す インクカートリッジの色を確認します。



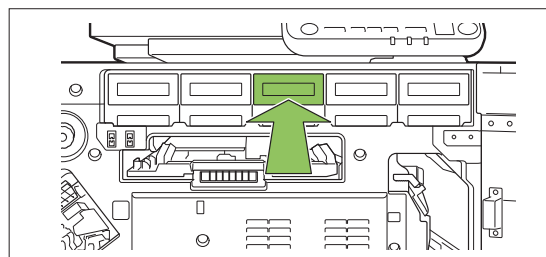
3 新しいインクカートリッジのキャップを外す

外したキャップは、古いインクカートリッジに取り付けます。

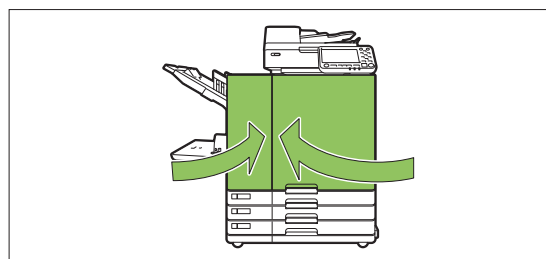


4 インクカートリッジを差し込む

▲印のある面を上にして、止まるまで差し込みます。



5 前カバーを閉じる



・使用済みのインクカートリッジは、指定の回収先に返送してください。返送先は販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。回収対象は、理想科学製のインクカートリッジに限ります。

仕様

■ ORPHIS GL9730 / GL9730C / GL7430 / GL7430Cの仕様

基本機能・プリント機能

モデル名称			ORPHIS GL9730/GL9730C : 68A01 ORPHIS GL7430/GL7430C : 68A03
形式			コンソール式
カラープリント			5色(C/M/Y/K/GR)
プリント方式			ライン型インクジェット方式
インク形式			油性顔料インク(C/M/Y/K/GR)
解像度			標準／高発色設定時 K : 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi(主走査方向) × 300dpi(副走査方向) 高精細設定時 K : 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向)
階調数			K : 最大4階調 C/M/Y/GR : 最大12階調
データ処理解像度			標準設定時 K : 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi(主走査方向) × 300dpi(副走査方向) 高精細設定時 K : 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) 文字スムージング処理強時 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向)
ウォームアップ時間			2分30秒以下(室温23℃)
ファーストプリント*1			5秒以下(A4横)
同一原稿連続 プリント速度*2 *7	ORPHIS GL9730 / GL9730C	A4横	片面 : 165枚／分 両面 : 82枚／分
		A4	片面 : 120枚／分 両面 : 60枚／分
		B4	片面 : 102枚／分 両面 : 44枚／分
		A3	片面 : 88枚／分 両面 : 42枚／分
	ORPHIS GL7430 / GL7430C	A4横	片面 : 140枚／分 両面 : 70枚／分
		A4	片面 : 108枚／分 両面 : 54枚／分
		B4	片面 : 90枚／分 両面 : 42枚／分
		A3	片面 : 78枚／分 両面 : 38枚／分
用紙サイズ	給紙台		最大 : 340mm × 550mm*8 最小 : 90mm × 148mm(はがきサイズ相当)
	フロント給紙トレイ		最大 : 297mm × 432mm 最小 : 182mm × 182mm
最大プリント可能範囲			314mm × 548mm
プリント領域*3			標準 : 用紙サイズの周囲余白 3mm 最大 : 用紙サイズの周囲余白 1mm*8

9章 付録

用紙種類・重さ	給紙台	普通紙、再生紙、軽量紙、圧着紙、封筒、日本郵便株式会社製はがき 46g/m ² ～210g/m ²
	フロント給紙トレイ	普通紙、軽量紙、再生紙 52g/m ² ～104g/m ²
給紙最大積載量 *4	給紙台	1000枚(積載高さ110mm)
	フロント給紙トレイ	500枚 × 3トレイ(積載高さ 56mm)
排紙最大積載量*4		500枚(積載高さ 60mm)
PDL		RISORINC/C IV
対応プロトコル		TCP/IP、HTTP、HTTPS (TLS)、DHCP、ftp、lpr、IPP、 SNMP(SNMP v1)、Port9100 (RAW ポート)、IPv4、IPv6、 IPSec(IKEv1)
内蔵フォント		なし
エミュレーション		なし
I/F		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2チャ ンネル
本体メモリ		4GB
SSD*6		512GB(ユーザー使用容量 約370GB)
OS		Linux
消費電力		定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流12A
		最大1200W
		稼働準備 Ready状態*5：110W以下
		スリープ時*9：2W以下 待機(スタンバイ)：0.4W以下
稼働音		印刷時 66dB(A)以下 A4 横送り(片面)最高プリント速度時/理想用紙マルチJ
使用環境		温度：15℃～30℃ 湿度：40%～70%(非結露)
大きさ		使用時：1220mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) 収納時：1160mm(W) × 705mm(D) × 1015mm(H)
質量		約177kg
安全性		屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
機械専有寸法		前カバー 開いた状態、操作パネル90°立てた状態： 1220mm(W) × 1240mm(D) × 1160mm(H)

*1 最終プリント後、10分以内

*2 理想用紙IJ(85g/m²) / プリント濃度標準
使用チャート：電子協標準パターンJ6/1

*3 画像保証範囲は、用紙の周囲から3mm内側
封筒印刷時、余白は10mm

*4 理想用紙IJ(85g/m²)使用時

*5 プリントおよび温度調整動作をしていない状態

*6 1GBを1,073,741,824バイトとして算出

*7 排紙オプションによっては、連続プリント速度が異なります。
オフセットステーブル排紙トレイ使用時(A4横 片面印刷時)
オフセットなし：
165枚 / 分(ORPHIS GL9730 / GL9730C)
140枚 / 分(ORPHIS GL7430 / GL7430C)

オフセットあり：
 125枚 / 分 (ORPHIS GL9730 / GL9730C)
 115枚 / 分 (ORPHIS GL7430 / GL7430C)
 大容量排紙ユニット使用時 (A4横 片面印刷時)
 オフセットなし：
 165枚 / 分 (ORPHIS GL9730 / GL9730C)
 140枚 / 分 (ORPHIS GL7430 / GL7430C)
 オフセットあり：
 110枚 / 分 (ORPHIS GL9730 / GL9730C)
 95枚 / 分 (ORPHIS GL7430 / GL7430C)

*8 周囲余白を1mmにする場合の最大用紙サイズは、316mm × 550mm

*9 [スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定した場合

■ ORPHIS GL9731の仕様

基本機能・プリント機能

モデル名称	ORPHIS GL9731 : 68A02	
形式	コンソール式	
カラープリント	5色 (C/M/Y/K/GR)	
プリント方式	ライン型インクジェット方式	
インク形式	油性顔料インク (C/M/Y/K/GR)	
解像度	標準／高発色設定時 K : 600dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi (主走査方向) × 300dpi (副走査方向) 高精細設定時 K : 600dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向)	
階調数	K : 最大4階調 C/M/Y/GR : 最大12階調	
データ処理解像度	標準設定時 K : 600dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi (主走査方向) × 300dpi (副走査方向) 高精細設定時 K : 600dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向) C/M/Y/GR : 300dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向) 文字スムージング処理強時 600dpi (主走査方向) × 600dpi (副走査方向)	
ウォームアップ時間	2分30秒以下 (室温23℃)	
ファーストプリント*1	5秒以下 (A4横)	
同一原稿連続プリント 速度*2*7	A4横	片面 : 165枚 / 分 両面 : 82枚 / 分
	A4	片面 : 120枚 / 分 両面 : 60枚 / 分
	B4	片面 : 102枚 / 分 両面 : 44枚 / 分
	A3	片面 : 88枚 / 分 両面 : 42枚 / 分
用紙サイズ	給紙台	最大 : 340mm × 550mm*8 最小 : 90mm × 148mm (はがきサイズ相当)
最大プリント可能範囲		314mm × 548mm
プリント領域*3		標準 : 用紙サイズの周囲余白 3mm 最大 : 用紙サイズの周囲余白 1mm*8
用紙種類・重さ	給紙台	普通紙、再生紙、軽量紙、圧着紙、封筒、日本郵便株式会社製はがき 46g/m ² ~ 210g/m ²

9章 付録

給紙最大積載量*4	給紙台	1000枚(積載高さ110mm)
排紙最大積載量*4		500枚(積載高さ60mm)
PDL		RISORINC/C IV
対応プロトコル		TCP/IP、HTTP、HTTPs (TLS)、DHCP、ftp、lpr、IPP、SNMP(SNMP v1)、Port9100 (RAW ポート)、IPv4、IPv6、IPSec(IKEv1)
内蔵フォント		なし
エミュレーション		なし
I/F		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2チャンネル
本体メモリ		4GB
SSD*6		512GB(ユーザー使用容量 約370GB)
OS		Linux
電源		定格電圧100V 定格周波数50-60Hz 定格電流12A
消費電力		最大1200W
		稼働準備 Ready状態*5：110W以下
		スリープ時*9：2W以下
		待機(スタンバイ)：0.4W以下
稼動音		印刷時 66dB(A)以下 A4 横送り(片面)最高プリント速度時/理想用紙マルチJ
使用環境		温度：15℃～30℃ 湿度：40%～70%(非結露)
大きさ		使用時：1220mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) 収納時：1160mm(W) × 705mm(D) × 1015mm(H)
質量		約157kg
安全性		屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
機械専有寸法		前カバー 開いた状態、操作パネル90°立てた状態： 1220mm(W) × 1240mm(D) × 1160mm(H)

*1 最終プリント後、10分以内

*2 理想用紙J(85g/m²) / プリント濃度標準
使用チャート：電子協標準パターンJ6/1

*3 画像保証範囲は、用紙の周囲から3mm内側
封筒印刷時、余白は10mm

*4 理想用紙J(85g/m²)使用時

*5 プリントおよび温度調整動作をしていない状態

*6 1GBを1,073,741,824バイトとして算出

*7 排紙オプションによっては、連続プリント速度が異なります。
オフセットステープル排紙トレイ使用時(A4横 片面印刷時)
オフセットなし：165枚 / 分
オフセットあり：125枚 / 分
大容量排紙ユニット使用時(A4横 片面印刷時)
オフセットなし：165枚 / 分
オフセットあり：110枚 / 分

*8 周囲余白を1mmにする場合の最大用紙サイズは、316mm × 550mm

*9 [スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定した場合

■ ORPHIS GL9730PREMIUMの仕様

基本機能・プリント機能

モデル名称		68A01
形式		コンソール式
カラープリント		5色(C/M/Y/K/GR)
プリント方式		ライン型インクジェット方式
インク形式		油性顔料インク(C/M/Y/K/GR)
解像度		標準／高発色設定時 K：600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR：300dpi(主走査方向) × 300dpi(副走査方向) 高精細設定時 K：600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR：300dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向)
階調数		K：最大4階調 C/M/Y/GR：最大12階調
データ処理解像度		標準設定時 K：600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR：300dpi(主走査方向) × 300dpi(副走査方向) 高精細設定時 K：600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) C/M/Y/GR：300dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向) 文字スムージング処理強時 600dpi(主走査方向) × 600dpi(副走査方向)
ウォームアップ時間		2分30秒以下(室温23℃)
同一原稿連続 プリント速度*1 *6	A4横	片面：165枚／分 両面：82枚／分
	A4	片面：120枚／分 両面：60枚／分
	B4	片面：102枚／分 両面：44枚／分
	A3	片面：88枚／分 両面：42枚／分
用紙サイズ	フロント給紙トレイ	最大：297mm × 432mm 最小：182mm × 182mm
最大プリント可能範囲		314mm × 548mm
プリント領域*2		標準：用紙サイズの周囲余白 3mm 最大：用紙サイズの周囲余白 1mm*7
用紙種類・重さ	フロント給紙トレイ	普通紙、軽量紙、再生紙 52g/m ² ～104g/m ²
給紙最大積載量*3	フロント給紙トレイ	500枚 × 3トレイ(積載高さ 56mm)
排紙最大積載量*3		500枚(積載高さ 60mm)
PDL		RISORINC/C IV
対応プロトコル		TCP/IP、HTTP、HTTPs (TLS)、DHCP、ftp、lpr、IPP、 SNMP(SNMP v1)、Port9100 (RAW ポート)、IPv4、IPv6、 IPSec(IKEv1)
内蔵フォント		なし
エミュレーション		なし
I/F		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T × 2チャ ンネル

9章 付録

本体メモリ		4GB
SSD*5		512GB(ユーザー使用容量 約370GB)
OS		Linux
電源	GL9730本体部	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流12A
	大容量給紙ユニット部	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流1.0A
消費電力*9		最大1300W
		稼働準備 Ready状態*4：155W以下
		スリープ時*8：32W以下
		待機(スタンバイ)：0.9W以下
稼動音		印刷時 66dB(A)以下 A4 横送り(片面)最高プリント速度時/理想用紙マルチJ
使用環境		温度：15℃～30℃ 湿度：40%～70%(非結露)
大きさ		使用時：1565mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) 収納時：1565mm(W) × 710mm(D) × 1015mm(H)
質量		約241kg
安全性		屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
機械専有寸法		前カバー 開いた状態、操作パネル90°立てた状態： 1565mm(W) × 1240mm(D) × 1160mm(H)

- *1 理想用紙IJ(85g/m²) / プリント濃度標準
使用チャート：電子協標準パターンJ6/1
- *2 画像保証範囲は、用紙の周囲から3mm内側
封筒印刷時、余白は10mm
- *3 理想用紙IJ(85g/m²)使用時
- *4 プリントおよび温度調整動作をしていない状態
- *5 1GBを1,073,741,824バイトとして算出
- *6 排紙オプションによっては、連続プリント速度が異なります。
オフセットステابل排紙トレイ使用時(A4横 片面印刷時)
オフセットなし：165枚 / 分
オフセットあり：125枚 / 分
大容量排紙ユニット使用時(A4横 片面印刷時)
オフセットなし：165枚 / 分
オフセットあり：110枚 / 分
- *7 周囲余白を1mmにする場合の最大用紙サイズは、316mm × 550mm
- *8 [スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定した場合
- *9 GL9730本体部+大容量給紙ユニット部

■ ORPHIS GLシリーズ付属品

- 保証書：1部
- 取扱説明書：1式
- RISOソフトウェア DVD-ROM：1式
- 電源コード：1本

■ ORスキャナー HS7000(オプション)

コピー機能・スキャン機能

形式		原稿自動送り装置(AF)付きフラットベッドスキャナー
スキャンニングモード		カラー、モノクロ、オート
最大読み取り範囲		303mm × 432mm(原稿台使用時) 295mm × 430mm(オートフィーダー使用時)
コピー機能	出力解像度	標準設定時：300dpi × 300dpi(Kのみ600dpi × 600dpi) 高精細設定時：300dpi × 600dpi(Kのみ600dpi × 600dpi)
	ファーストコピー・タイム	モノクロ/カラー：7秒以下(A4横、カラー優先モード時)
	ページ読み取り速度	片面時(A4横オートフィーダー使用時)：80ページ/分 以上 両面時(A4横オートフィーダー使用時)：80ページ/分 以上
	拡大・縮小	50%～200%
オートフィーダー	形式	原稿移動型(両面同時読み取り方式による両面読み取り可能)
	原稿サイズ	最大：297mm × 432mm 最小：100mm × 148mm
	原稿用紙重さ	52g/m ² ～128g/m ²
	原稿最大積載量	80g/m ² ：200枚(積載高さ25mm)
スキャン機能	読み取り階調	RGB各色10ビット入力、8ビット出力
	読み取り解像度	600dpi、400dpi、300dpi、200dpi
	ページ読み取り速度	モノクロ/カラー：100ページ/分(片面時) ※当社標準原稿(A4横)、300dpi、JPEG、PDF、本体SSD保存時
	拡大・縮小	解像度 200dpi / 300dpi：50%～200% 解像度 400dpi / 600dpi：100%(等倍のみ)
	I/F* ¹	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
	データ保存方法* ¹	本体SSD保存、サーバー保存、USBメモリ保存、メール送信
電源		定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流1.2A
消費電力		最大100W
大きさ		640mm(W) × 560mm(D) × 255mm(H)
質量		約25kg
安全性		屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境

本体接続時の専有寸法 (専用スキャナー台使用時)	使用時：1235mm(W) × 825mm(D) × 1260mm(H) 前カバー 開いた状態、操作パネル90°立てた状態： 1235mm(W) × 1345mm(D) × 1635mm(H)
-----------------------------	--

*1 本体内蔵コントローラ経由

■ オフセットステープル排紙トレイ(オプション)

形式	ステープル機能付き1段シフト排紙トレイ方式
使用可能用紙サイズ	オフセットなし 最大：340mm × 550mm 最小：90mm × 148mm
	オフセット排紙時 定形：182mm × 257mm～297mm × 431.8mm 不定形：131mm × 148mm～305mm × 550mm
使用可能用紙・重さ	46g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙、軽量紙、日本郵便株式会社製はがき)
トレイ容量	1000枚* ¹ (積載高さ 108mm) A3、B4、A4、A4横、B5、B5横、Ledger、Legal、Letter、 Letter-R、Foolscap 100枚 A5、A5横、B6、A6、はがき、不定形
ステープル可能枚数	50枚* ¹ A4、A4横、B5、B5横、Letter、Letter-R 25枚* ¹ A3、B4、Ledger、Legal、Foolscap
ステープル可能用紙サイズ	A3、B4、A4、A4横、B5、B5横、Ledger、Legal、Letter、 Letter-R、Foolscap
ステープル可能用紙・重さ	52g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙、軽量紙)
ステープル位置	フロント側1ヵ所(斜め打)／リア側1ヵ所(斜め打)／中央2ヵ所(平行打)
電源	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流1.2A
消費電力	最大110W
大きさ	760mm(W) × 680mm(D) × 585mm(H)
質量	約30kg
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
本体接続時の専有寸法	使用時： 1440mm(W) × 725mm(D) × 1345mm(H) カバー 開いた状態： 1440mm(W) × 1240mm(D) × 1345mm(H)

*1 理想用紙IJ(85g/m²)使用時

■ OR大容量給紙ユニットII(オプション)

形式	外付け式大容量給紙ユニット
用紙サイズ	最大：340mm × 465mm 最小：90mm × 148mm
用紙種類・重さ	46g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙、軽量紙、封筒、日本郵便株式会社製はがき)
給紙最大積載量	4000枚* ¹ (積載高さ 440mm)
電源	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流1.0A
消費電力	最大100W
	稼動準備 Ready 状態* ² ：30W 以下
	スリープ時* ³ ：30W 以下
	待機(スタンバイ)：0.5W 以下
稼動音	68dB(A)以下 A4 横送り(片面)最高プリント速度時
大きさ	790mm(W) × 630mm(D) × 740mm(H)
質量	約69kg
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
本体接続時の専有寸法	使用時： 1565mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) カバー 開いた状態： 1565mm(W) × 1240mm(D) × 1160mm(H)

*1 理想用紙IJ(85g/m²)使用時

*2 プリント動作をしていない状態

*3 [スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定した場合

■ OR大容量排紙ユニットII(オプション)

形式	オフセット機能付き大容量排紙ユニット
フィニッシング種類	ノンソート/ オフセット排紙
用紙サイズ	最大：340mm × 460mm 最小：90mm × 148mm オフセット時：90mm × 182mm～340mm × 432mm(封筒を除く)
用紙種類・重さ	46g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙、軽量紙、日本郵便株式会社製はがき)
排紙最大積載量	ノンソート時 4000枚* ¹ (積載高さ 440mm) オフセット時 3650枚* ² (積載高さ 405mm)
電源	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流1.4A
消費電力	最大140W
	稼動準備 Ready 状態* ³ ：30W 以下
	スリープ時* ⁴ ：30W 以下
	待機(スタンバイ)：0.5W 以下
稼動音	68dB(A)以下 A4 横送り(片面)最高プリント速度時

大きさ	1000mm(W) × 700mm(D) × 960mm(H)
質量	約135kg
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
本体接続時の専有寸法	使用時： 2200mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) カバー 開いた状態： 2210mm(W) × 1315mm(D) × 1160mm(H)

- *1 理想用紙IJ(85g/m²)使用時
A5、ハガキ、封筒、不定形サイズなどは積載高さ110mm以下
- *2 理想用紙IJ(85g/m²)使用時
A5、ハガキ、封筒、不定形サイズなどは適用外
- *3 プリント動作をしていない状態
- *4 [スリープ時の消費電力]を[少ない]に設定した場合

■ ORマルチフィニッシャー(M/S)(オプション)

形式	外付け式用紙後処理ユニット	
トレイ種類	ORマルチフィニッシャーS：トップトレイ、スタックトレイ ORマルチフィニッシャーM：トップトレイ、スタックトレイ、 小冊子トレイ	
フィニッシング種類	ORマルチフィニッシャーS：オフセット排紙、ステープル、パンチ ORマルチフィニッシャーM：オフセット排紙、ステープル、パンチ、 小冊子製本、二つ折り	
使用可能用紙サイズ	トップトレイ	最大：330mm × 488mm 最小：100mm × 148mm(はがきサイズ相当)
	スタックトレイ	最大：330mm × 488mm 最小：148mm × 148mm
	ステープル時	最大：297mm × 432mm(A3相当) 最小：182mm × 148mm
	小冊子トレイ	最大：330mm × 488mm 最小：182mm × 257mm (ORマルチフィニッシャーMのみ対応)
使用可能用紙・重さ	トップトレイ	52g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙、封筒、日本郵便株式会社製はがき)
	スタックトレイ	52g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙)
	小冊子トレイ	60g/m ² ～90g/m ² (表紙は90～210g/m ²)
トレイ容量	トップトレイ*2	500枚
	スタックトレイ	ORマルチフィニッシャーS：3,000枚または200部*2 *3 ORマルチフィニッシャーM：2,000枚または200部*2 *3
	小冊子トレイ	20部(15枚とじ)*2

速度	最高排紙速度	165枚/分* ⁸ (ORPHIS GL9730 / GL9730C / GL9731) 140枚/分* ⁸ (ORPHIS GL7430 / GL7430C)
	ステープル排紙時	80枚/分* ⁹ (ORPHIS GL9730 / GL9730C / GL9731) 70枚/分* ⁹ (ORPHIS GL7430 / GL7430C)
	オフセット排紙時	80枚/分* ⁹ (ORPHIS GL9730 / GL9730C / GL9731) 70枚/分* ⁹ (ORPHIS GL7430 / GL7430C)
	小冊子排紙時 (ORマルチフィニッシャーMのみ対応)	2冊/分* ¹⁰
ステープル	ステープル可能枚数	100枚* ² * ⁴ * ⁷
	ステープル可能用紙サイズ	最大：297mm × 432mm(A3相当) 最小：182mm × 148mm
	使用可能用紙・重さ	52g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙)
	ステープル位置	フロント側1ヶ所(斜め打/平行打) リア側1ヶ所(斜め打* ⁵ /平行打) 中央2ヶ所(平行打)
パンチ* ¹¹	パンチ数	2穴、4穴
	パンチ可能用紙サイズ	2穴時：A3/B4/A4横/A4/B5横/Ledger/Legal/Letter/ Letter-R/Foolscap 4穴時：A3/A4横/Ledger/Letter-R
	使用可能用紙・重さ	52g/m ² ～210g/m ² (普通紙、再生紙)
小冊子製本、二つ折り	最大枚数* ² * ⁶	中とじ：20枚(80ページ) 二つ折り：5枚(20ページ) (ORマルチフィニッシャーMのみ対応)
大きさ* ¹	ORマルチフィニッシャーS： 1165mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H) ORマルチフィニッシャーM： 1205mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H)	
質量* ¹ * ¹³	ORマルチフィニッシャーS：約124kg ORマルチフィニッシャーM：約140kg	
電源	定格電圧AC100V 定格周波数50-60Hz 定格電流2.3A* ¹²	
消費電力* ¹⁴	最大230W	
稼動音	68dB(A)以下(ORマルチフィニッシャー動作時)	
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境	

本体接続時の専有寸法	紙折りユニットあり	ORマルチフィニッシャーS使用時： 2615mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H) ORマルチフィニッシャーM使用時： 2655mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H)
		ORマルチフィニッシャーS カバー、トレイ引き出し時： 2615mm(W) × 1325mm(D) × 1215mm(H) ORマルチフィニッシャーM カバー、トレイ引き出し時： 2655mm(W) × 1325mm(D) × 1215mm(H)
	紙折りユニットなし	ORマルチフィニッシャーS使用時： 2375mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H) ORマルチフィニッシャーM使用時： 2415mm(W) × 735mm(D) × 1215mm(H)
		ORマルチフィニッシャーS カバー、トレイ引き出し時： 2375mm(W) × 1325mm(D) × 1215mm(H) ORマルチフィニッシャーM カバー、トレイ引き出し時： 2415mm(W) × 1325mm(D) × 1215mm(H)

- *1 搬送ユニットを含む
- *2 理想用紙J(85g/m²)使用時
- *3 A4使用時、
A4以外のサイズの場合は1,500枚(100部)
- *4 A4を超えるサイズまたは用紙の幅と高さともに216mmを超えるサイズの場合は65枚
- *5 A4横、A3のみリア側斜め打が可能
- *6 表紙付けした表紙を含む
- *7 Z折りが混在した場合、A3用紙Z折りはA4横用紙10枚分、B4用紙Z折りはB5横用紙20枚分に相当します。
- *8 A4横送り、片面印刷時
- *9 A4横送り、20ページ原稿、両面印刷時
- *10 A4縦送り、60ページ原稿(15枚)時
- *11 パンチ機能を使用するには、オプションのパンチユニットが必要です。
- *12 マルチフィニッシャー紙折りユニット接続時は3.0A(マルチフィニッシャー紙折りユニット：0.7A)
- *13 パンチユニットを含まず
- *14 マルチフィニッシャー紙折りユニット接続時は300W(マルチフィニッシャー紙折りユニット：70W)

■ マルチフィニッシャー紙折りユニット(ORマルチフィニッシャー(M/S)のオプション)

紙折り 使用可能用紙サイズ 使用可能用紙・重さ	Z 折り* ¹	用紙サイズ：A3、B4、Ledger、八開 用紙厚(重さ)：60g/m ² ～90g/m ² (普通紙、再生紙)
	三つ折り (外三つ折り/内三つ折り)	用紙サイズ：A4、Letter 用紙厚(重さ)：60g/m ² ～90g/m ² (普通紙、再生紙)
三つ折りトレイ容量* ²		約30枚
折り可能枚数		1枚
大きさ		235mm(W) × 735mm(D) × 1005mm(H)
質量		約52kg

- *1 スタックトレイに排出する場合、用紙サイズにより積載可能枚数が異なります。(A3：80枚/B4：60枚)
- *2 理想用紙J(85g/m²)使用時

■ 増設2000枚給紙トレイ(オプション)

形式	外付け式給紙トレイユニット
使用可能用紙サイズ	A4横、B5横、Letter-R、十六開横
使用可能用紙・重さ	52g/m ² ～104g/m ² (普通紙、再生紙)
トレイ容量	2000枚* ¹ (積載高さ 220mm)
電源	なし(本体より供給)
大きさ	415mm(W) × 600mm(D) × 390mm(H)
質量	約29kg
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境
本体接続時の専有寸法	使用時： 1220mm(W) × 725mm(D) × 1160mm(H) 用紙ガイド、トレイ引き出し時： 1480mm(W) × 1240mm(D) × 1160mm(H)

*1 理想用紙J(85g/m²)使用時

■ ICカード認証キット(オプション)

適用カード	ISO 14443 TypeA/TypeB/FeliCa [®]
電波法区分	誘導式読み書き通信設備
電源	USBポートより給電
安全性	屋内専用 汚染度2* 標高2000m以下 *空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境

■ OR-PostScriptキット(オプション)

接続可能プリンター	ORPHIS GLシリーズ
形式	RIPオプション
PDL	PostScript [®] Level3(CPSI:3019)* ¹ PDF(1.7) PCL 5c、PCL 6(PCL XL)* ² TIFF(6.0)* ³
対応プロトコル	TCP/IP、HTTP、HTTPs(TLS)、DHCP、ftp、lpr、IPP、 SNMP(SNMPv1)、Port9100(RAWポート)、IPv4、IPv6、 IPSec(IKEv1)
搭載フォント	PS:136書体+日本語フォント2書体 PCL:88書体

*1 Adobe純正

*2 PCLプリンタードライバーは提供いたしません。PCL出力時はPSプリンタードライバー出力時と印刷機能が異なります。サポートしていない印刷機能をご利用される場合は、PSプリンタードライバーをご使用ください。

*3 TIFF出力時はPSプリンタードライバー出力時と印刷機能が異なります。

消耗品

消耗品は以下の推奨消耗品をご使用ください。

消耗品の仕様・種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

価格は本体お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

インクカートリッジ

種類	色	分量	単位
RISO GLインク F	シアン マゼンタ イエロー グレイ ブラック	1,000ml	1 個
RISO GLインク H		500ml	
RISO GLインク C		1,000ml	

インクカートリッジは、製造年月日から24カ月以内(常温保存)を目安にご使用ください。

より良い状態でお使いいただくため、購入後はなるべく早めにご使用いただくことをおすすめいたします。

製造年月日は、インクカートリッジに記載してあります。

推奨紙

種類	サイズ	単位	特長
理想用紙IJ	A3	1包500枚 × 3包	重さ85g/m ² のプリント用紙です。 両面プリントが可能な普通紙です。
	B4	1包500枚 × 5包	
	A4		
	B5		
理想用紙IJマット(W)	A3	1包500枚 × 3包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ85g/m ² のプリント用紙です。両面プリントに適しています。
	B4		
	A4	1包500枚 × 4包	
理想用紙IJマット	A3	1包500枚 × 3包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ99g/m ² のプリント用紙です。片面のみのプリントに適しています。
	B4		
	A4	1包500枚 × 4包	
理想用紙マルチ	A3	1包500枚 × 5包	重さ70g/m ² のプリント用紙です。裏抜けも少なく両面プリントに適した普通紙です。
	B4		
	A4		
	B5		
理想用紙マルチJ	A3	1包500枚 × 5包	重さ64g/m ² のプリント用紙です。裏抜けも少なく両面プリントに適した普通紙です。
	B4		
	A4		
	B5		

種類	サイズ	単位	特長
理想用紙IJ Eライト	A4	1包700枚 × 5包	重さ52g/m ² の薄くて軽いプリント用紙です。両面プリント可能な ORPHIS GL/GD/FT/FW/EXシリーズ専用の軽量紙です。
	B5		

索引

A

AF連続読み込み 67

E

FORCEJETリンクマーク 33

I

IJハガキ 113

IJマット用紙 113

IJ用紙 113

IPアドレス 161

L

LANシールドケーブル 18

M

MACアドレス 161

P

PostScriptキット 220

R

RISOコンソールにログインする 159

RISOコンソールの起動 159

RISOコンソールのボタン操作 160

S

SNMPコミュニティ名 129

SSD使用量 38

U

USB画面 39

USBポート 30

USB保存／原稿保存画面 39

USBメモリー内の文書をフォルダーへコピーする 155

USBメモリーに保存する 113

USB利用／一覧画面 40

USB利用／設定画面 40

USB利用の設定項目 152, 235

W

Wake On LAN 129

Z

Z折り 210, 218

Z折り混在 218

あ

合紙 77, 121

宛先／保存先 88

宛先／保存先を削除する 99

アドレス帳を登録する 98

アドレス帳を編集する 98

網点処理 124

暗証番号 91, 126

い

イメージ処理タブ 122

インクカートリッジ 244, 258

インク残量 33

印刷位置調整 228

印刷濃度 67, 123

印刷の向き 111

印刷部数 111

印刷物を取り出す 198

う

ウェイクアップキー 32

ウォーターマーク 117

内三つ折り 210, 218

え

エラーLED 31

お

応用タブ 126

オートフィーダー 30

オートフェンス排紙台 191

オーナー名 126

オーバーレイ 75

お気に入り 83, 153

お気に入りタブ 114

お気に入りとして登録する 84, 109

お気に入り編集 114

お気に入りリスト	114
お気に入りを編集する	84
オフセットステーブルトレイ	178
オフセットステーブルトレイ用ソケット	178
オフセット排紙	183, 183, 183, 214, 216, 216
オフラインアイコン	33
折り方向	210

か

解像度	94
外部システム連携	133
外部システム連携画面	41
確認プリント	111
カスタムメニュー	84, 98
画像位置調整	74, 119
画像回転	119
画像詳細設定	74, 95
画像品質	73, 123
紙折り	210, 217
紙折りユニット	204
紙揃えプレートノブ	191
紙づまり表示LED	204
カラー	63, 92, 110
カラープロファイル	113, 229
カラーモード	63, 92, 110
環境タブ	128
ガンマ補正	73, 95, 124, 229
管理者メニュー画面	41
管理者メニューボタン	33

き

機種情報画面	42
機種別構成表	17
機能を並べ替える	86
基本タブ	110
逆順印刷	233
給紙圧調節レバー	29, 187
給紙台	29
給紙台穴埋めカバー	187, 189
給紙台上下ボタン	29, 187
給紙台に用紙を追加する	50
給紙台に用紙を載せ替える	50
給紙トレイ選択	112
給紙フェンス	29, 187
給紙フェンスレバー	30, 187
共通ボタン	109
共有プリンターを経由する	128

く

クリアキー	32
-------	----

グレースケール	93
---------	----

け

軽量紙	25, 113
原稿カバー	29
原稿サイズ	23, 111
原稿サイズ混在	67, 94, 111
原稿種類	23, 73, 95, 122
原稿セット方向	66, 91, 184, 217
原稿台ガラス	29
原稿の重さ	23
原稿排紙トレイ	30
原稿フェンス	30
原稿保存	142, 153
原稿ユニットレバー	30
検索	144

こ

高品位紙	113
誤差拡散処理	123
コピー画面	35
コピーの途中で設定を変更する	60
コピーの途中でメンテナンスを行う	60
コピーを中止する	59
コピーを予約する	59
コルゲーター	197, 198
コントラスト	124

さ

再生紙	25
最大積載枚数	23, 25
最大プリント面積	24
彩度	124
残金表示	43

し

地色除去	74, 95
システム情報画面	42, 161
システム情報ボタン	33
自動画像回転	81, 218
ジャム解除カバー	178
重送検知	64
終了(履歴)画面	55, 167
出力方法	113
出力用紙サイズ	112
主電源LED	31
主電源スイッチ	30
上下開き	116
詳細カウントを確認する	162
小冊子	70, 116

小冊子製本	212, 228
小冊子トレイ	204
省電力機能	46
消耗品	258
消耗品情報画面	42, 161
初期値として登録する	85
初期値をクリアする	85
ジョブアイコン	54
ジョブ確認キー	31
ジョブコメント	126
ジョブの進捗状況を確認する	54
ジョブ名	126
ジョブリスト	54
処理速度優先	123
処理中/待機中画面	54, 167
白黒	63, 93, 110
仕分け	79

す

推奨紙	258
スキャナー	29
スキャナーLED	29
スキャン画面	35
スキャンジョブ結合	81, 96
スキャンジョブをパソコンにダウンロードする	164
スキャンメニュー画面	164
スクリーニング	123
スタートキー	31
スタックトレイ	204
スタンプ	71, 118
ステープル	180, 184, 208, 216
ステープル機能と用紙のセット方向	182, 209
ストッパー	48
ストップキー	31

せ

製本	215
設定確認	84, 97
設定変更画面	37
専用台車	197, 200

そ

操作パネル	30, 31
送信プレビュー	97
増設トレイ	185
ソート	66, 111
ソートの区切りごと	121
外三つ折り	210, 218

た

大容量給紙ユニット	187
大容量給紙ユニット用ソケット	187
大容量排紙ユニット	197
大容量排紙ユニット用ソケット	197
大量の用紙をセットする	190
大量の用紙を追加する	190
タッチパネル	31, 43
試しコピー	83
単色シアン	63, 110
単色マゼンタ	63, 110

ち

チャージカウントを確認する	162
---------------	-----

こ

追加コピー	83
使えない原稿	23
使えない用紙	26
使える原稿	23
使える用紙	25

て

低速モード	80, 128
データLED	31
データの保存形式	93
テキストスタンプ	72, 119
テンキー	32
電源キー	32

と

とじ	78, 120
とじ位置	78, 120, 182, 184, 209, 211, 217
とじしろ	79, 184, 217
トップトレイ	204
ドラフト	123

な

中とじしろ	213, 215
-------	----------

に

日時表示	33
------	----

ね

ネットワーク接続	132
----------	-----

は

バーコード	124
バーコードアプリのインストール	170
バーコードアプリの操作	171
バーコード原稿のプリント	176
バーコード領域指定	124
バージョン表示	128
ハフトーン	123
排紙先	195, 195, 202, 203, 214, 219
排紙先選択	195
排紙台	197
排紙台(W)	191
排紙台下降ボタン	197
排紙トレイ	29
排紙トレイセット位置	178
排紙フェンス	197
排紙フェンス(エンド)	191
排紙フェンス(サイド)	191
排紙フェンスオープンボタン	191
排紙フェンス調整	196
排紙面	195, 203, 219
倍率	63, 96
倍率指定	112
白紙節約	128
搬送カバー	187, 204
搬送ユニット	204
パンチ	210, 216

ひ

左カバー	30, 197
左開き	116
左向き	66
日付スタンプ	72, 118
表紙付け	78, 121
表紙別プリント	213
標準に戻す	109

ふ

ファイル形式	93
ファイルとして保存	113
ファンクションキー	31
封筒	25
封筒ガイド	187
封筒ガイド角度調節レバー	187
封筒ガイド給紙圧調節レバー	187
封筒画像処理	126
封筒にプリントする	49
封筒のプリント領域	24
フェイスアップ排紙台	191
フォーム合成	230

フォームデータ画面	233
フォルダー追加	143
複写プリント	128
部ごと	66, 111
二つ折り	210, 218
普通紙	25
ブック原稿	68, 94
不定形サイズの原稿の設定	111
不定形サイズの用紙の設定	112
プリンターから情報を取得	131
プリンター構成	129
プリンタードライバ画面	105
プリンタードライバのインストールとアンインストール	52
プリント画面	36
プリント終了時	121
プリントの途中で設定を変更する	103
プリントメニュー画面	165
プログラム印刷	76, 126
プログラムオフセット排紙	183, 202, 214
分冊処理	212, 215, 228
文書名	92

へ

ページ罫線	72
ページごと	66, 111
ページごととトレイ指定	227
ページ集約	70, 115
ページスタンプ	71, 118
ページ分割	68, 95
ヘッドクリーニング	42, 168

ほ

ホーム1画面	33
ホーム2画面	34
ホームキー	31
ポスター	117
保存サイズ	94
保存先	113
保存先/宛先	88
保存先フォルダー登録	131
保存プレビュー	142
ボックス	113
ボックス画面	37
ボックス内の文書をUSBメモリーへコピーする	144
ボックス内の文書を検索する	144
ボックス内の文書をフォルダーへコピーする	145
ボックスにフォルダーを追加する	143
ボックスの利用画面	166
ボックス保存/一覧画面	37
ボックス保存/原稿保存画面	38

9章 付録

ボックス保存の設定項目	139
ボックス利用／一覧画面	38
ボックス利用の設定項目	141
保留ジョブ一覧画面	36
本体	29
本体用ソケット	30

ま

前カバー	30, 187
前カバーロック解除	30, 42
マルチフィニッシャー	204

み

右カバー	197, 204
右開き	116
三つ折りトレイ	204
三つ折りトレイ引き出しボタン	204

め

明度	124
メンテナンス画面	42
メンテナンスボタン	33
メンテナンスメニュー画面	168

も

モード選択ボタン	33
文字スムージング	123
文字入力	44

ゆ

ユーザー情報画面	43, 163
ユーザー設定に戻す	109
ユーザー名	33

よ

用紙サイズ	25
用紙サイズ登録	130
用紙種類	25, 63, 65, 113
用紙選択	63
用紙トレイ	30
用紙トレイの設定を変更する	64
用紙について	25
用紙の重さ	25
用紙のセット	48
用紙のセット方向	182, 209
読み取りサイズ	65, 93
読み取り濃度	66, 94
読める向き	66

ら

ライセンス情報画面	43, 163
-----------------	---------

り

リセットキー	31
理想用紙各種	25
両面 / 片面	66, 91, 110

れ

レイアウトタブ	115
連写	70, 116
連続給紙	81
連続排紙	195, 196, 202, 203, 214, 219

ろ

ログイン	47
ログイン/ログアウトキー	31
ログインパスワードを変更する	47, 163

わ

割り込みキー	31
割り込みコピー	81

アフターサービスについて

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間

商品購入日より6 カ月以内またはトータルカウントが50 万カウント(50 万枚)に早期に達した場合
保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。期間中において本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理をいたします。

有償修理

保証期間を過ぎた場合は有償となります。また、以下の場合は保証期間内であっても有償となりますので、ご了承ください。

- 保証書の提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 本機取扱説明書に従った正常な使用が行われていない場合の故障や損傷
- 当社認定のORPHIS テクニカルスタッフ以外の者による修理に起因した故障
- 当社が推奨した推奨消耗品や推奨部品以外の消耗品や部品の使用に起因した故障や損傷
- 有償部品の交換
- お客様による輸送、移動による落下および衝撃に起因する故障や損傷
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災事変、公害、異常電圧等に起因する故障や損傷

有償部品

- 給紙ローラー
- サバキ板
- 排紙ローラー
- 搬送ローラー
- クリーニングインクタンク

推奨消耗品

- RISO GL インク(シアン、マゼンタ、イエロー、グレイ、ブラック)
- 理想用紙IJ / 理想用紙IJマット(W) / 理想用紙IJマット / 理想用紙マルチ / 理想用紙マルチJ / 理想用紙IJ Eライト

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、本製品の製造終了後、最低7 年間保有しています。

修理ご依頼に際しての注意事項

- 本機では、当社の定める研修を受講し、ORPHIS テクニカルスタッフと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずORPHISテクニカルスタッフ認定証の提示を求め、該当するORPHIS テクニカルスタッフであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置(操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意)をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製 プリンタードライバー/ソフトウェア/アプリケーションの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話 (03) 5441-6112

ホームページ <https://www.riso.co.jp/>